

基本計画書

基		本		計		画									
事		項		記		入		欄		備		考			
計		画		の		区		分		大学の収容定員に係る学則変更					
フ		リ		ガ		ナ		ガッコウホウジンメイジョウダイガク							
設		置		者		学校法人名城大学									
フ		リ		ガ		ナ		メイジョウダイガク							
大		学		の		名		名城大学 (Meijo University)							
大		学		本		部		の位置				愛知県名古屋市中白区塩釜口一丁目501番地			
大		学		の		目		的				本大学は、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、学術の中心として、深く専門の教育研究を行い、合わせて広汎な教養を培い、創造的な知性と豊かな人間性を備えた有能な人材を養成するとともに学術・文化の進展に寄与することを目的とする。			
新		設		学		部		等				の目的		幅広い素養を備え、社会に通用する情報工学の専門知識とその応用力を持ち、情報技術者として自らの手で新しい分野を創造的に切り拓いてゆく人材を養成することを目的に、理工学部情報工学科を基礎とする情報工学部情報工学科を収容定員変更を伴う学部届出設置により開設する。加えて、近年安定的に推移している学生募集動向・人材需要動向等に鑑み、受験生からの進学需要及び社会からの人材需要に応えることを目的に都市情報学部都市情報学科の収容定員を変更する。	
新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		平成28年度より学生募集停止				
	法学部 [Faculty of Law]		年	人	年次人	人		年 月 第 年次	愛知県名古屋市中白区塩釜口一丁目501番地						
	法学科 [Department of Legal Science]		4	400	—	1,600	学士(法学) [Bachelor of Law]	平成11年4月 第1年次							
	応用実務法学科 [Department of Practical Law]		4	—	—	—	学士(法学) [Bachelor of Law]	平成11年4月 第1年次							
	経営学部 [Faculty of Business Management]														
	経営学科 [Department of Business Management]		4	215	—	860	学士(経営学) [Bachelor of Business Management]	平成12年4月 第1年次							
	国際経営学科 [Department of International Business Management]		4	95	—	380	学士(経営学) [Bachelor of Business Management]	平成12年4月 第1年次							
	経済学部 [Faculty of Economics]														
	経済学科 [Department of Economics]		4	210	—	840	学士(経済学) [Bachelor of Economics]	平成12年4月 第1年次							
	産業社会学科 [Department of Industrial and Social Economics]		4	100	—	400	学士(経済学) [Bachelor of Economics]	平成12年4月 第1年次							
	理工学部 [Faculty of Science and Technology]														
	数学科 [Department of Mathematics]		4	90	—	360	学士(理学) [Bachelor of Science]	平成12年4月 第1年次							
	情報工学科 [Department of Information Engineering]		4	0 (150)	—	0 (600)	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	令和4年4月 第1年次							
	電気電子工学科 [Department of Electrical and Electronic Engineering]		4	150	—	600	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	平成12年4月 第1年次							
材料機能工学科 [Department of Materials Science and Engineering]		4	80	—	320	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	平成12年4月 第1年次								
応用化学科 [Department of Applied Chemistry]		4	70	—	280	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	平成25年4月 第1年次								
機械工学科 [Department of Mechanical Engineering]		4	125	—	500	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	平成12年4月 第1年次								
交通機械工学科 [Department of Vehicle and Mechanical Engineering]		4	125	—	500	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	平成12年4月 第1年次								
メカトロニクス工学科 [Department of Mechatronics Engineering]		4	80	—	320	学士(工学) [Bachelor of Engineering]	平成25年4月 第1年次								

新設学部等の概要	社会基盤デザイン工学科 〔Department of Civil Engineering〕		4	90	—	360	学士(工学) 【Bachelor of Engineering】	平成12年4月 第1年次	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地	令和2年度より学生募集停止	
	環境創造学科 〔Department of Environmental Science and Technology〕		4	—	—	—	学士(工学) 【Bachelor of Engineering】	平成12年4月 第1年次			
	環境創造工学科 〔Department of Environmental Technology〕		4	80	—	320	学士(工学) 【Bachelor of Engineering】	令和2年4月 第1年次			
	建築学科 〔Department of Architecture〕		4	145	—	580	学士(工学) 【Bachelor of Engineering】	平成12年4月 第1年次			
	農学部 〔Faculty of Agriculture〕								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地		
	生物資源学科 〔Department of Agrobiological Resources〕		4	110	—	440	学士(農学) 【Bachelor of Agriculture】	平成11年4月 第1年次			
	応用生物化学科 〔Department of Applied Biological Chemistry〕		4	110	—	440	学士(農学) 【Bachelor of Agriculture】	平成11年4月 第1年次			
	生物環境科学科 〔Department of Environmental Bioscience〕		4	110	—	440	学士(農学) 【Bachelor of Agriculture】	平成17年4月 第1年次			
	薬学部 〔Faculty of Pharmacy〕								愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地		
	薬学科 〔Department of Pharmacy〕		6	265	—	1,590	学士(薬学) 【Bachelor of Pharmacy】	平成18年4月 第1年次			
	都市情報学部 〔Faculty of Urban Science〕								愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9		
	都市情報学科 〔Department of Urban Science〕		4	235 (220)	—	940 (880)	学士(都市情報学) 【Bachelor of Urban Science】	令和4年4月 第1年次			
人間学部 〔Faculty of Human Studies〕											
人間学科 〔Department of Human Studies〕		4	220	—	880	学士(人間学) 【Bachelor of Humanity】	平成15年4月 第1年次				
外国語学部 〔Faculty of Foreign Studies〕								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地			
国際英語学科 〔Department of English and International Studies〕		4	130	—	520	学士(外国語学) 【Bachelor of Arts in Foreign Studies】	平成28年4月 第1年次				
情報工学部 〔Faculty of Information Engineering〕								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地	※令和3年4月設置届出予定		
情報工学科 〔Department of Information Engineering〕		4	180 (0)	—	720 (0)	学士(工学) 【Bachelor of Engineering】	令和4年4月 第1年次				
計			3,415 (3,370)	—	14,190 (14,010)						
同一設置者内における変更状況 (定員の移行, 名称の変更等)			情報工学部情報工学科 (180) (令和3年6月届出済)								
			名城大学大学院								
			法学研究科		法律学専攻 (M)		〔定員減〕 (△9)		(令和3年4月届出済)		
					法律学専攻 (D)		〔定員減〕 (△6)		(同上)		
			経営学研究科		経営学専攻 (M)		〔定員減〕 (△10)		(同上)		
					経済学研究科		経済学専攻 (M)		〔定員減〕 (△7)		(同上)
			農学研究科		経済学専攻 (D)		〔定員減〕 (△1)		(同上)		
					農学専攻 (D)		〔定員減〕 (△2)		(同上)		
			都市情報学研究科		都市情報学専攻 (M)		〔定員減〕 (△2)		(同上)		
都市情報学専攻 (D)		〔定員減〕 (△1)			(同上)						
人間学研究科		人間学専攻 (M)		〔定員減〕 (△3)		(同上)					
教育課程	新設学部等の名称		開設する授業科目の総数					卒業要件単位数			
			講義	演習	実験・実習		計				
	—		—	—	—		—	—			
教員組織の概要	学部等の名称				専任教員等					兼任教員等	「新設分」の「計」、及び「合計」には法学部応用実務法学科（平成29年度より学生募集停止）に所属し、授業科目を担当する専任教員を含む。
					教授	准教授	講師	助教	計		
	新設			人	人	人	人	人	人	人	
		法学部	法学科	18 (18)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	32 (32)	0 (0)	110 (110)	
	設	経営学部	経営学科	11 (11)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	16 (16)	0 (0)	103 (103)	
			国際経営学科	10 (10)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	93 (93)	
	分	経済学部	経済学科	8 (9)	6 (6)	0 (0)	2 (2)	16 (17)	0 (0)	97 (97)	
			産業社会学科	8 (8)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	12 (12)	0 (0)	97 (97)	
	分	理工学部	数学科	8 (8)	7 (7)	0 (0)	3 (3)	18 (18)	0 (0)	66 (66)	

教 員 組 織 の 概 要	新 分	理工学部	電気電子工学科	12 (12)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	18 (18)	0 (0)	75 (75)	
			材料機能工学科	8 (8)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	76 (76)	
			応用化学科	5 (5)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	72 (72)	
			機械工学科	9 (9)	4 (4)	0 (0)	2 (2)	15 (15)	0 (0)	83 (83)	
			交通機械工学科	6 (6)	6 (6)	1 (1)	2 (2)	15 (15)	0 (0)	68 (68)	
			メカトロニクス工学科	5 (5)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	76 (76)	
			社会基盤デザイン工学科	8 (9)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	12 (13)	0 (0)	80 (80)	
			環境創造工学科	5 (5)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	83 (83)	
			建築学科	9 (10)	6 (6)	0 (0)	2 (2)	17 (18)	0 (0)	83 (83)	
			教養教育等	11 (11)	5 (5)	0 (0)	3 (3)	19 (19)	0 (0)	0 (0)	
	設	農学部	生物資源学科	8 (8)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	13 (13)	0 (0)	67 (67)	
			応用生物化学科	7 (7)	4 (4)	0 (0)	2 (2)	13 (13)	0 (0)	66 (66)	
			生物環境科学科	6 (6)	5 (5)	0 (0)	2 (2)	13 (13)	0 (0)	69 (69)	
			教養教育等	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	
			附属農場	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	
	薬学部	薬学科	31 (31)	20 (20)	0 (0)	16 (16)	67 (67)	0 (0)	108 (108)		
		教養教育等	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)		
		分析センター	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)		
	都市情報学部	都市情報学科	23 (23)	1 (1)	0 (0)	4 (4)	28 (28)	0 (0)	29 (29)		
	人間学部	人間学科	16 (16)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	22 (22)	0 (0)	70 (70)		
	外国語学部	国際英語学科	11 (11)	7 (7)	7 (8)	2 (2)	27 (28)	0 (0)	48 (48)		
	情報工学部	情報工学科	9 (9)	8 (8)	0 (0)	2 (2)	19 (19)	0 (0)	118 (118)		
	計			264 (267)	150 (150)	11 (12)	47 (47)	472 (476)	1 (1)	－ (－)	
既 分	名城大学		1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)		
	教職センター		4 (4)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	48 (48)		
	国際化推進センター		0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)		
	計		5 (5)	4 (4)	0 (1)	0 (0)	9 (10)	0 (0)	－ (－)		
	合 計			269 (272)	154 (154)	11 (13)	47 (47)	481 (486)	1 (1)	－ (－)	
教員以外の職員の概要	職 種			専 任		兼 任		計			
	事 務 職 員			233 (235)		142 (140)		375 (375)			
	技 術 職 員			8 (8)		2 (2)		10 (10)			
	図 書 館 専 門 職 員			5 (5)		4 (4)		9 (9)			
	そ の 他 の 職 員			0 (0)		0 (0)		0 (0)			
	計			246 (248)		148 (146)		394 (394)			
校 地 等	区 分		専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地		186,687 m ²	0 m ²		0 m ²		186,687 m ²			
	運 動 場 用 地		167,348 m ²	0 m ²		0 m ²		167,348 m ²			
	小 計		354,035 m ²	0 m ²		0 m ²		354,035 m ²			
	そ の 他		129,184 m ²	0 m ²		0 m ²		129,184 m ²			
	合 計		483,219 m ²	0 m ²		0 m ²		483,219 m ²			
校 舎			専 用	共 用		共用する他の 学校等の専用		計			
			242,002 m ² (249,188 m ²)	0 m ² (0 m ²)		0 m ² (0 m ²)		242,002 m ² (249,188 m ²)			

教室等		講義室		演習室		実験実習室		情報処理学習施設		語学学習施設		大学全体			
		151 室		152 室		430 室		24 室 (補助職員 13 人)		5 室 (補助職員 4 人)					
専 任 教 員 研 究 室				新設学部等の名称				室 数							
				大学全体				453 室							
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕 冊		学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点		機械・器具 点		標本 点		
	大学全体		1, 227, 616 [386, 922] (1, 227, 616 [386, 922])		41, 628 [26, 424] (41, 628 [26, 424])		19, 602 [19, 577] (19, 602 [19, 577])		29, 057 (29, 057)		9, 679 (9, 235)		43 (40)		
	計		1, 227, 616 [386, 922] (1, 227, 616 [386, 922])		41, 628 [26, 424] (41, 628 [26, 424])		19, 602 [19, 577] (19, 602 [19, 577])		29, 057 (29, 057)		9, 679 (9, 235)		43 (40)		
図書館			面積			閲覧座席数			収 納 可 能 冊 数			大学全体			
			15, 504. 27 m ²			1, 712			1, 575, 305						
体育館			面積			体育館以外のスポーツ施設の概要									
			8, 345. 18 m ²			プール			テニスコート						
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分		開設前年度	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次					
		教員 1 人当り研究費等			473 千円	473 千円	473 千円	473 千円	—	—					
		共同研究費等			77, 986 千円	77, 986 千円	77, 986 千円	77, 986 千円	—	—					
		図書購入費		188, 894 千円	188, 894 千円	188, 894 千円	188, 894 千円	188, 894 千円	—	—					
		設備購入費		600, 106 千円	600, 106 千円	600, 106 千円	600, 106 千円	600, 106 千円	—	—					
	学生 1 人当り納付金	学部名		第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次						
		法学部 経営学部 経済学部		1, 045 千円	845 千円	845 千円	845 千円	—	—						
		理工学部 情報工学部		1, 445 千円	1, 245 千円	1, 245 千円	1, 245 千円	—	—						
		農学部		1, 485 千円	1, 285 千円	1, 285 千円	1, 285 千円	—	—						
		薬学部		2, 100 千円	1, 900 千円	1, 900 千円	1, 900 千円	2, 200 千円	1, 900 千円						
		都市情報学部		1, 345 千円	1, 145 千円	1, 145 千円	1, 145 千円	—	—						
		人間学部		1, 105 千円	905 千円	905 千円	905 千円	—	—						
		外国語学部		1, 390 千円	1, 190 千円	1, 190 千円	1, 190 千円	—	—						
	学生納付金以外の維持方法の概要				補助金収入、手数料収入、資産運用収入、雑収入										
既設大学等の状況	大 学 の 名 称		名城大学												
	学 部 等 の 名 称		修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地					
	法学部		年	人	年次 人	人		倍		愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地					
	法学科		4	400	—	1,600	学士(法学)	1.03	平成11年度						
	応用実務法学科		4	—	—	—	学士(法学)	—	平成11年度						
	経営学部							1.01							
	経営学科		4	215	—	860	学士(経営学)	0.99	平成12年度						
	国際経営学科		4	95	—	380	学士(経営学)	1.06	平成12年度						
	経済学部							1.03							
	経済学科		4	210	—	840	学士(経済学)	0.99	平成12年度						
	産業社会学科		4	100	—	400	学士(経済学)	1.13	平成12年度						
	理工学部							0.99		令和4年度より学生募集停止					
	数学科		4	90	—	360	学士(理学)	0.97	平成12年度						
	情報工学科		4	150	—	600	学士(工学)	1.03	平成16年度						
	電気電子工学科		4	150	—	600	学士(工学)	1.03	平成12年度						
	材料機能工学科		4	80	—	320	学士(工学)	1.05	平成12年度						
	応用化学科		4	70	—	280	学士(工学)	0.90	平成25年度						
	機械工学科		4	125	—	500	学士(工学)	0.95	平成12年度						
	交通機械工学科		4	125	—	500	学士(工学)	0.97	平成12年度						

既設大学等の状況	メカトロニクス工学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.01	平成25年度	愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地		
	社会基盤デザイン工学科	4	90	—	360	学士(工学)	0.96	平成12年度			
	環境創造学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成12年度		令和2年度より学生募集停止	
	環境創造工学科	4	80	—	160	学士(工学)	0.98	令和2年度		令和2年度開設（80人）	
	建築学科	4	145	—	580	学士(工学)	0.99	平成12年度			
	農学部						1.01		愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地		
	生物資源学科	4	110	—	440	学士(農学)	1.04	平成11年度			
	応用生物化学科	4	110	—	440	学士(農学)	0.99	平成11年度			
	生物環境科学科	4	110	—	440	学士(農学)	1.00	平成17年度			
	薬学部						1.06		愛知県名古屋市 天白区八事山 150番地		
	薬学科	6	265	—	1,575	学士(薬学)	1.06	平成18年度		平成29年度入学定員増(15人)	
	都市情報学部						0.97		愛知県名古屋市 東区矢田南 四丁目102番9		
	都市情報学科	4	220	—	880	学士(都市情報学)	0.97	平成7年度		令和4年度入学定員増(15人)	
	人間学部						1.05				
	人間学科	4	220	—	880	学士(人間学)	1.05	平成15年度			
	外国語学部						1.03				
	国際英語学科	4	130	—	520	学士(外国語学)	1.03	平成28年度			
	大 学 の 名 称	名城大学大学院									
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	定 員 超過率	開設 年度	所 在 地		
		年	人	年次 人	人		倍				
	法学研究科								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地		
	法律学専攻										
	修士課程	2	15	—	30	修士(法学)	0.20	昭和42年度		令和4年度入学定員減(△9人)	
	博士後期課程	3	8	—	24	博士(法学)	0.12	昭和44年度		令和4年度入学定員減(△6人)	
	経営学研究科										
	経営学専攻										
	修士課程	2	20	—	40	修士(経営学)	0.25	平成13年度		令和4年度入学定員減(△10人)	
博士後期課程	3	3	—	9	博士(経営学)	0.22	平成13年度				
経済学研究科											
経済学専攻											
修士課程	2	10	—	20	修士(経済学)	0.15	平成12年度	令和4年度入学定員減(△7人)			
博士後期課程	3	3	—	9	博士(経済学)	0.33	平成14年度	令和4年度入学定員減(△1人)			
理工学研究科								愛知県名古屋市 天白区塩釜口 一丁目501番地			
数学専攻											
博士前期課程	2	8	—	16	修士(理学)	0.18	平成14年度				
博士後期課程	3	2	—	6	博士(理学)	0.33	平成7年度				
情報工学専攻											
修士課程	2	30	—	60	修士(工学)	0.66	平成14年度				
電気電子工学専攻											
博士前期課程	2	25	—	50	修士(工学)	1.10	平成14年度				

既設大学等の状況	材料機能工学専攻								
	修士課程	2	35	—	70	修士(工学)	0.84	平成14年度	
	応用化学専攻								
	修士課程	2	24	—	48	修士(工学)	0.49	平成29年度	
	機械工学専攻								
	修士課程	2	30	—	60	修士(工学)	1.06	平成14年度	
	博士後期課程	3	5	—	15	博士(工学)	0.20	平成4年度	
	交通機械工学専攻								
	修士課程	2	25	—	50	修士(工学)	0.76	平成14年度	
	メカトロニクス工学専攻								
	修士課程	2	24	—	48	修士(工学)	0.76	平成29年度	
	社会基盤デザイン工学専攻								
	修士課程	2	18	—	36	修士(工学)	0.32	平成14年度	
	環境創造学専攻								
	修士課程	2	8	—	16	修士(工学)	0.62	平成14年度	
	建築学専攻								
	修士課程	2	16	—	32	修士(工学)	0.71	平成14年度	
	電気・情報・材料・物質工学専攻								
	博士後期課程	3	10	—	30	博士(工学)	0.13	平成5年度	
	社会環境デザイン工学専攻								
	博士課程	3	5	—	15	博士(工学)	0.60	平成4年度	
	農学研究科								
	農学専攻								
	修士課程	2	20	—	40	修士(農学)	1.55	昭和48年度	
	博士後期課程	3	5	—	15	博士(農学)	0.13	昭和51年度	令和4年度入学定員減(△2人)
	薬学研究科								
	薬学専攻								
	博士課程	4	4	—	16	博士(薬学)	1.37	平成24年度	
	都市情報学研究科								
	都市情報学専攻								
	修士課程	2	8	—	16	修士(都市情報学)	0.50	平成11年度	令和4年度入学定員減(△2人)
	博士後期課程	3	4	—	12	博士(都市情報学)	0.25	平成13年度	令和4年度入学定員減(△1人)
	人間学研究科								
	人間学専攻								
	修士課程	2	8	—	16	修士(人間学)	0.06	平成23年度	令和4年度入学定員減(△3人)
	総合学術研究科								
	総合学術専攻								
	博士前期課程	2	8	—	16	修士(学術)	0.06	平成14年度	
	博士後期課程	3	4	—	12	博士(学術)	0.25	平成14年度	

附属施設の概要	該当なし	
---------	------	--

- (注)
- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 2 「教員組織の概要」の「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとする。
 - 3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室等」，「専任教員研究室」，「図書・設備」，「図書館」，「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
 - 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
 - 6 空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

学校法人名城大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和3（2021）年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和4（2022）年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
名城大学				名城大学				
法学部				法学部				
法学科	400	—	1,600	法学科	400	—	1,600	
応用実務法学科	0	—	0	応用実務法学科	0	—	0	
経営学部				経営学部				
経営学科	215	—	860	経営学科	215	—	860	
国際経営学科	95	—	380	国際経営学科	95	—	380	
経済学部				経済学部				
経済学科	210	—	840	経済学科	210	—	840	
産業社会学科	100	—	400	産業社会学科	100	—	400	
理工学部				理工学部				
数学科	90	—	360	数学科	90	—	360	
情報工学科	150	—	600	情報工学科	<u>0</u>	—	<u>0</u>	令和4年4月学生募集停止
電気電子工学科	150	—	600	電気電子工学科	150	—	600	
材料機能工学科	80	—	320	材料機能工学科	80	—	320	
応用化学科	70	—	280	応用化学科	70	—	280	
機械工学科	125	—	500	機械工学科	125	—	500	
交通機械工学科	125	—	500	交通機械工学科	125	—	500	
メカトロニクス工学科	80	—	320	メカトロニクス工学科	80	—	320	
社会基盤デザイン工学科	90	—	360	社会基盤デザイン工学科	90	—	360	
環境創造学科	0	—	0	環境創造学科	0	—	0	
環境創造工学科	80	—	320	環境創造工学科	80	—	320	
建築学科	145	—	580	建築学科	145	—	580	
農学部				農学部				
生物資源学科	110	—	440	生物資源学科	110	—	440	
応用生物化学科	110	—	440	応用生物化学科	110	—	440	
生物環境科学科	110	—	440	生物環境科学科	110	—	440	
薬学部				薬学部				
薬学科（6年制）	265	—	1,590	薬学科（6年制）	265	—	1,590	
都市情報学部				都市情報学部				
都市情報学科	220	—	880	都市情報学科	<u>235</u>	—	<u>940</u>	定員変更（15）
人間学部				人間学部				
人間学科	220	—	880	人間学科	220	—	880	
外国語学部				外国語学部				
国際英語学科	130	—	520	国際英語学科	130	—	520	
				情報工学部				学部の設置（届出）
				情報工学科	<u>180</u>	<u>二</u>	<u>720</u>	
計	3,370	—	14,010	計	<u>3,415</u>	—	<u>14,190</u>	

学校法人名城大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和3（2021）年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和4（2022）年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
名城大学大学院				名城大学大学院				
法学研究科				法学研究科				
法律学専攻(M)	15	—	30	法律学専攻(M)	<u>6</u>	—	<u>12</u>	定員変更（△9）
法律学専攻(D)	8	—	24	法律学専攻(D)	<u>2</u>	—	<u>6</u>	定員変更（△6）
経営学研究科				経営学研究科				
経営学専攻(M)	20	—	40	経営学専攻(M)	<u>10</u>	—	<u>20</u>	定員変更（△10）
経営学専攻(D)	3	—	9	経営学専攻(D)	3	—	9	
経済学研究科				経済学研究科				
経済学専攻(M)	10	—	20	経済学専攻(M)	<u>3</u>	—	<u>6</u>	定員変更（△7）
経済学専攻(D)	3	—	9	経済学専攻(D)	<u>2</u>	—	<u>6</u>	定員変更（△1）
理工学研究科				理工学研究科				
数学専攻(M)	8	—	16	数学専攻(M)	8	—	16	
数学専攻(D)	2	—	6	数学専攻(D)	2	—	6	
情報工学専攻(M)	30	—	60	情報工学専攻(M)	30	—	60	
電気電子工学専攻(M)	25	—	50	電気電子工学専攻(M)	25	—	50	
材料機能工学専攻(M)	35	—	70	材料機能工学専攻(M)	35	—	70	
応用化学専攻(M)	24	—	48	応用化学専攻(M)	24	—	48	
機械工学専攻(M)	30	—	60	機械工学専攻(M)	30	—	60	
機械工学専攻(D)	5	—	15	機械工学専攻(D)	5	—	15	
交通機械工学専攻(M)	25	—	50	交通機械工学専攻(M)	25	—	50	
メカトロニクス工学専攻(M)	24	—	48	メカトロニクス工学専攻(M)	24	—	48	
社会基盤デザイン工学専攻(M)	18	—	36	社会基盤デザイン工学専攻(M)	18	—	36	
環境創造学専攻(M)	8	—	16	環境創造学専攻(M)	8	—	16	
建築学専攻(M)	16	—	32	建築学専攻(M)	16	—	32	
電気・情報・材料・物質工学専攻(D)	10	—	30	電気・情報・材料・物質工学専攻(D)	10	—	30	
社会環境デザイン工学専攻(D)	5	—	15	社会環境デザイン工学専攻(D)	5	—	15	
農学研究科				農学研究科				
農学専攻(M)	20	—	40	農学専攻(M)	20	—	40	
農学専攻(D)	5	—	15	農学専攻(D)	<u>3</u>	—	<u>9</u>	定員変更（△2）
薬学研究科				薬学研究科				
薬学専攻(D)（4年制）	4	—	16	薬学専攻(D)（4年制）	4	—	16	
都市情報学研究科				都市情報学研究科				
都市情報学専攻(M)	8	—	16	都市情報学専攻(M)	<u>6</u>	—	<u>12</u>	定員変更（△2）
都市情報学専攻(D)	4	—	12	都市情報学専攻(D)	<u>3</u>	—	<u>9</u>	定員変更（△1）
人間学研究科				人間学研究科				
人間学専攻(M)	8	—	16	人間学専攻(M)	<u>5</u>	—	<u>10</u>	定員変更（△3）
総合学術研究科				総合学術研究科				
総合学術専攻(M)	8	—	16	総合学術専攻(M)	8	—	16	
総合学術専攻(D)	4	—	12	総合学術専攻(D)	4	—	12	
計	385	—	827	計	<u>344</u>	—	<u>735</u>	

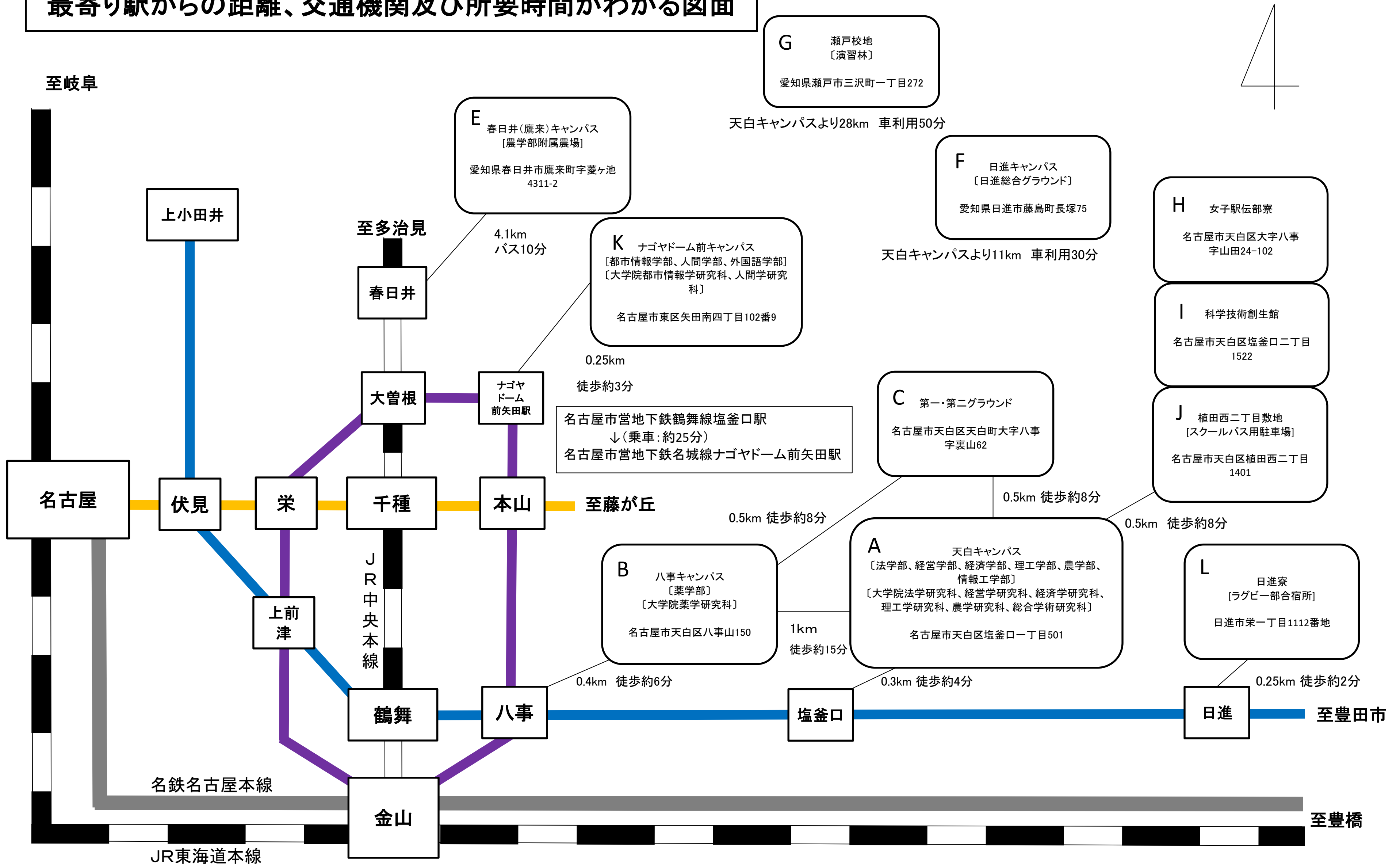
都道府県内における位置関係の図面



*出典：Google 社「Google マップ」

本学施設の位置関係を示すため、本学にて地図上に施設名を記入した。

最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



校舎, 運動場等の配置図

名城大学天白キャンパス全体配置図 1 : 3000

A

情報工学部
法・経営・経済・理工・農・薬・都市情報・人間・外国語学部
法学・経営学・経済学・理工学・農学・薬学
都市情報学・人間学研究科 共用部分

大学所有の校地

情報工学部
法・経営・経済・理工・農学部
法学・経営学・経済学・理工学・農学研究科 共用部分
情報工学部
理工学部・理工学研究科 共用部分



NO	名 称
1	2号館
2	3号館
3	研究実験棟Ⅳ
4	研究実験棟Ⅲ
5	9号館
6	10号館
7	11号館
8	12号館
9	13号館
10	タワー75
11	共通講義棟南
12	共通講義棟北
13	研究実験棟Ⅰ
14	研究実験棟Ⅱ
15	附属図書館
16	体育館
17	本部棟
18	7号館
19	8号館
20	6号館
21	14号館
22	車庫
23	理工機械科倉庫
24	本部附属施設
25	共通講義棟東
26	温室倉庫
27	校友会館
28	守衛棟

天白校舎

校舎敷地	121,955㎡	校舎面積	187,555㎡
その他校地	1,710㎡		
校地面積	123,665㎡		

※申請時に着工の承認がない新築工事、解体工事にかかる建築物については、図面に反映していません。

名城大学第一グラウンド全体配置図 1 : 1000

 : 大学所有の校地

C

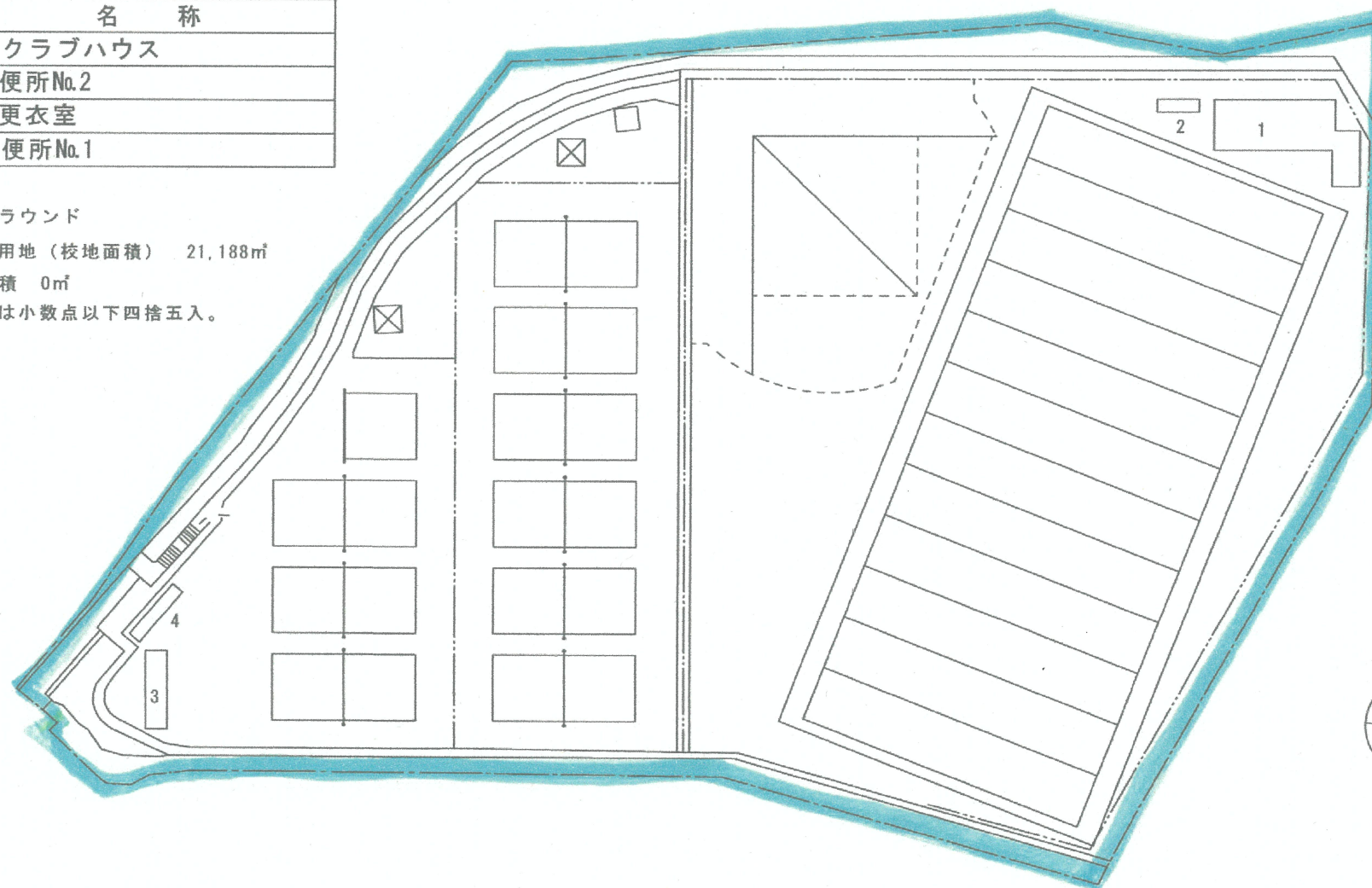
No.	名 称
1	クラブハウス
2	便所No.2
3	更衣室
4	便所No.1

・第一グラウンド

運動場用地（校地面積） 21,188㎡

校舎面積 0㎡

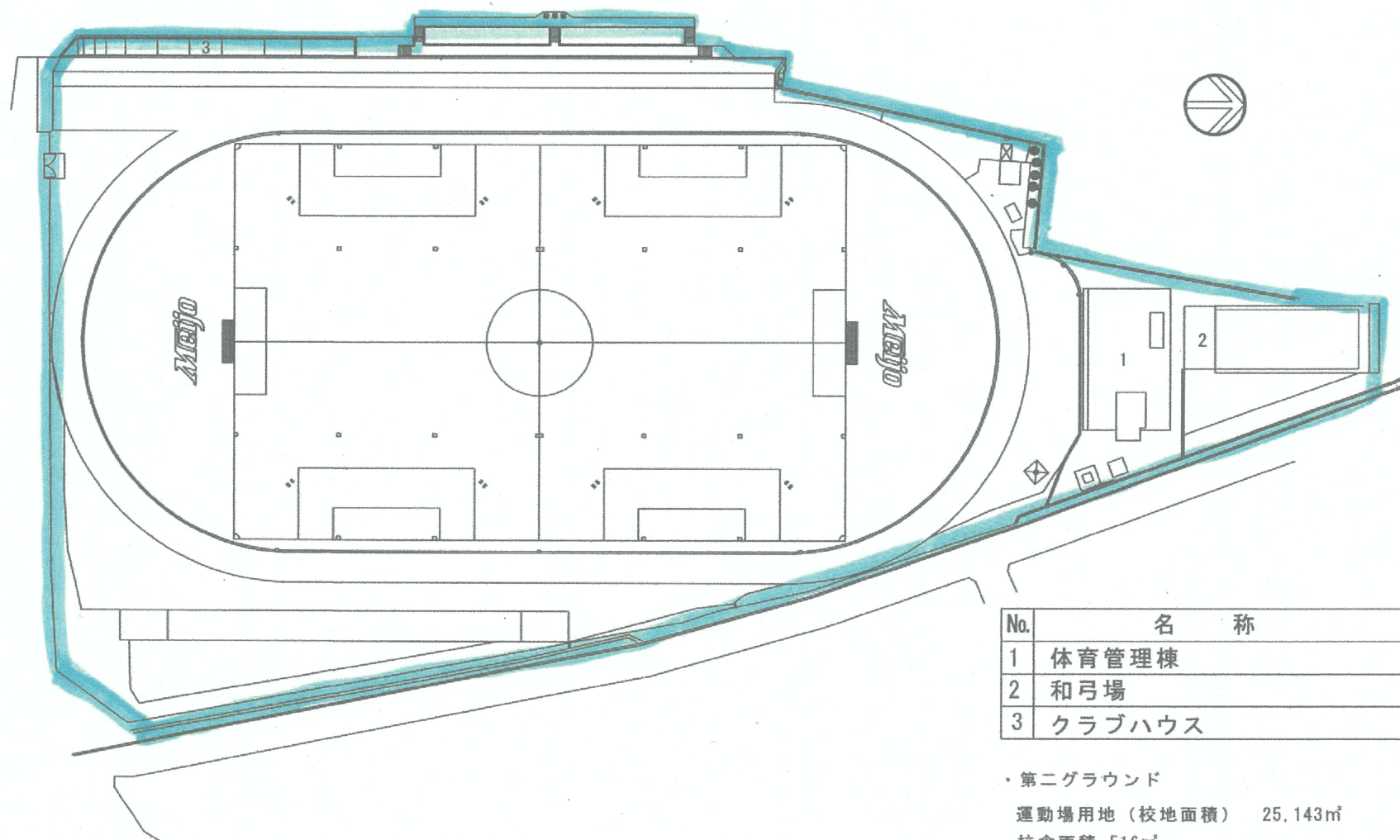
※面積は小数点以下四捨五入。



名城大学第二グラウンド全体配置図 1 : 1000

C

■ : 大学所有の校地



No.	名 称
1	体育管理棟
2	和弓場
3	クラブハウス

・ 第二グラウンド

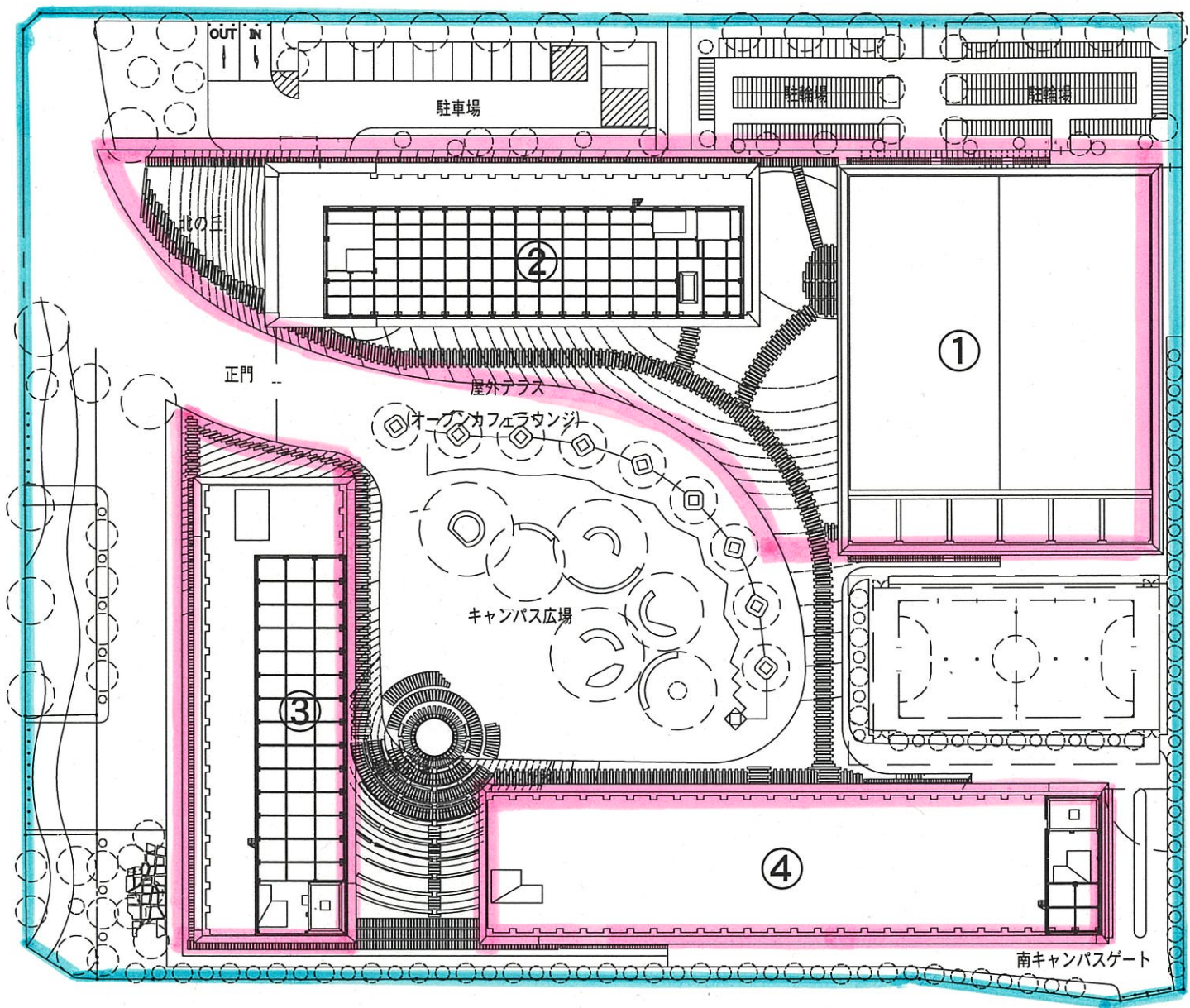
運動場用地（校地面積） 25,143㎡

校舎面積 516㎡

※面積は小数点以下四捨五入。

名城大学ナゴヤドーム前キャンパス全体配置図 1 : 800

K



：大学所有の校地

No.	名称
①	東館 [地上4階、一部地下1階]
②	北館 [地上5階]
③	西館 [地上7階]
④	南館 [地上7階、一部地下1階]

ナゴヤドーム前キャンパス

校舎敷地： 17,347㎡ 校舎面積： 32,654㎡

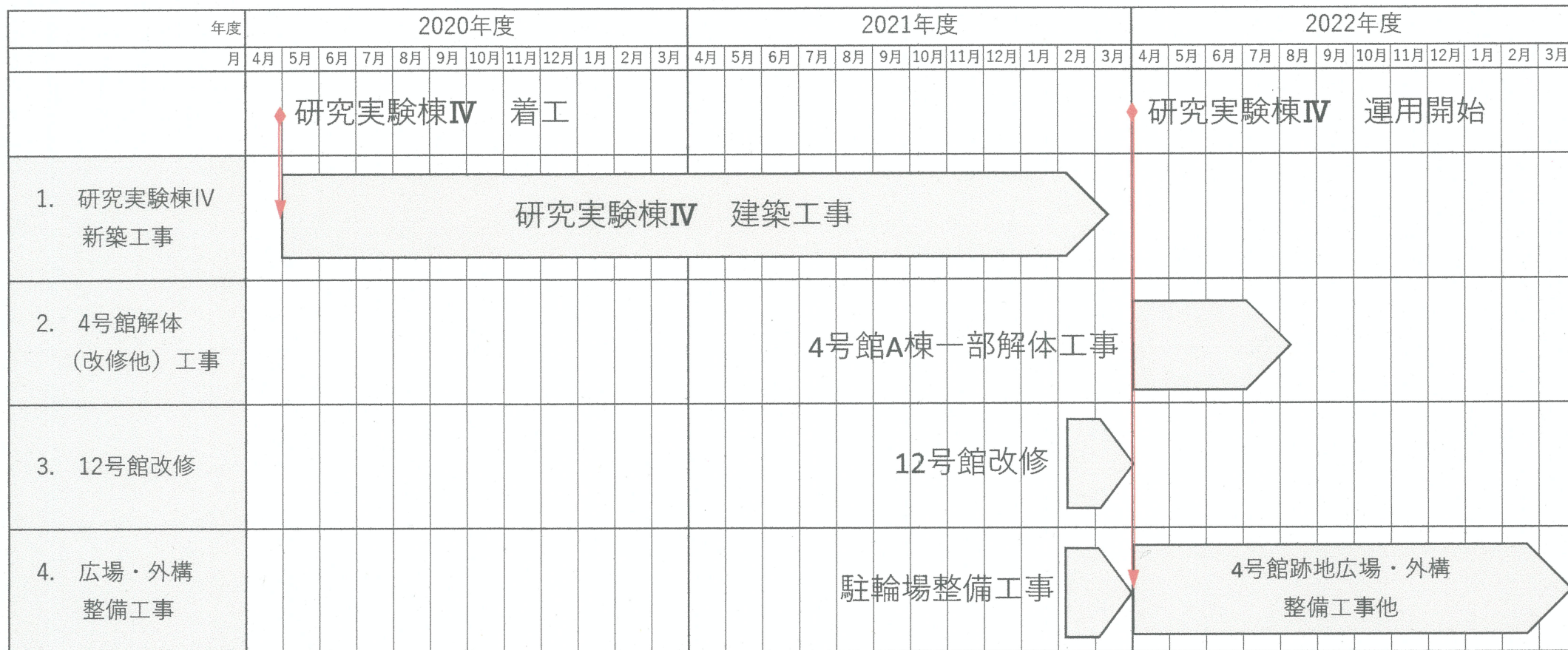
運動場用地： 590㎡

校地面積： 17,937㎡

※面積は、小数点以下四捨五入

：都市情報・人間・外国語学部
都市情報学・人間学研究科 共用部分

■名城大学天白キャンパス 研究実験棟Ⅳ新築及び12号館改修工事等 工程表



12号館1階は改修工事を予定しています。添付されている図面は改修工事前のものです。

(案)

令和 4 年 4 月 1 日改正

名城大学学則

名城大学学則

第1章 総則

(目的)

第1条 本大学は、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、学術の中心として、深く専門の教育研究を行い、合わせて広汎な教養を培い、創造的な知性と豊かな人間性を備えた有能な人材を養成するとともに学術・文化の進展に寄与することを目的とする。

(自己評価等)

第2条 本大学は、その教育研究水準の向上を図り、本大学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

② 前項の点検、評価等に関することは、別に定める。

③ 第1項の点検及び評価の結果については、本大学の職員以外の者による検証を行う。

(情報の積極的な提供)

第2条の2 本大学における教育研究活動等の状況については、刊行物への掲載等によって、積極的に情報の提供を行う。

第2章 組織

(学部)

第3条 本大学に、次の学部及び学科を置く。

法学部	法学科
経営学部	経営学科、国際経営学科
経済学部	経済学科、産業社会学科
理工学部	数学科、電気電子工学科、材料機能工学科、応用化学科、機械工学科、交通機械工学科、メカトロニクス工学科、社会基盤デザイン工学科、環境創造工学科、建築学科
農学部	生物資源学科、応用生物化学科、生物環境科学科
薬学部	薬学科
都市情報学部	都市情報学科
人間学部	人間学科
外国語学部	国際英語学科
情報工学部	情報工学科

② 前項の各学部及び学科の収容定員は、別表第1のとおりとする。

(学部の人材の養成に関する目的)

第3条の2 前条に定める学部ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的に関しては、以下のように定める。

- (1) 法学部は、法的思考及び法的素養を修得させることにより、社会のみならず自己に対する客観的な視点を持ち、正義感と倫理観を兼ね備えて、自分で考え判断することのできる人材の養成を目的とする。
- (2) 経営学部は、国際感覚に富み、幅広い教養に支えられた経営諸科学の理論的・実践的能力を社会の多様な領域で発揮する人材の養成を目的とする。
- (3) 経済学部は、経済という一つの窓を通じて社会を見つめ、多様化・複雑化する社会に柔軟に対応できる自立的人間の養成を目的とする。
- (4) 理工学部は、幅広い素養を備え、社会に通用する専門知識とその応用力を持ち、科学技術者として自らの手で新しい分野を創造的に切り拓いてゆく人材の養成を目的とする。

- (5) 農学部は、生命科学、食料・健康科学、環境科学を基盤とした幅広い専門的学識を有し、洞察力、創造力および実践力を備え、社会に貢献できる人材の養成を目的とする。
- (6) 薬学部は、薬学の確かな知識、技能とともに、生命の尊さを知り、豊かな人間性と倫理観をもち、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材の養成を目的とする。
- (7) 都市情報学部は、サービスサイエンスの観点から、都市に関する総合的知識とバランス感覚を併せ持ち、まちづくりや組織経営に関する様々な課題を分析し、解決する人材の養成を目的とする。
- (8) 人間学部は、人間性への洞察を中核にすえた広い視野と深い教養を持ち、豊かな人間性に裏打ちされ、国際的な舞台でも活躍できるコミュニケーション能力と行動力を備えた人材の養成を目的とする。
- (9) 外国語学部は、国際化の推進を理念とし、グローバル化が深化する世界において求められる実践的なコミュニケーション力を有し、国境を越えて活躍できる、以下に掲げる能力を備えた人材の養成を目的とする。
 - ① グローバル化社会の最前線で活躍できる英語の運用能力を有した人材
 - ② アジアをはじめとする海外の事情に通じ、異文化や国際社会に対して深い理解力を持った人材
 - ③ 日本の歴史、文化、社会を深く理解し、日本の立場や事情を世界に発信する能力を備え、グローバル化社会を切り開いて行くことができる人材
- (10) 情報工学部は、幅広い素養を備え、社会に通用する情報工学の専門知識とその応用力を持ち、情報技術者として自らの手で新しい分野を創造的に切り拓いてゆく人材の養成を目的とする。

(大学院)

第4条 本大学に、大学院を置く。

- ② 大学院に関することは、別に定める。

(専攻科)

第5条 本大学に、専攻科を置く。

- ② 専攻科に関することは、別に定める。

(附属施設等)

第6条 本大学に、次の教育研究の施設等を置く。

- (1) 研究所
- (2) 農学部附属農場
- (3) その他附属施設等

- ② 教育研究の施設等に関することは、別に定める。

(附属図書館)

第7条 本大学に、附属図書館を置く。

- ② 附属図書館に関することは、別に定める。

(事務組織)

第8条 本大学に、総合企画部、総務部、渉外部、財務部、施設部、東京オフィス、開学100周年事業室、社会連携センター、入学センター、学務センター、障がい学生支援センター、大学教育開発センター、学術研究支援センター、キャリアセンター、国際化推進センター、情報センター、附属図書館、学部事務室、ナゴヤドーム前キャンパス事務室及び教職センター事務室を置く。

- ② 事務組織に関することは、別に定める。

(職員)

第9条 本大学に、学長、教授、准教授、助教、助手及び事務職員を置く。

- ② 本大学に、副学長、学部長、講師及びその他必要な職員を置くことができる。

(教授会)

第10条 各学部に、教授会を置く。

- ② 教授会は、各学部の教授をもって構成する。ただし、必要に応じ、准教授等専任の教

育職員を参加させ、その他の職員を出席させることができる。

③ 教授会は、次の場合に学部長が招集し、その議長となる。

- (1) 学部長が必要と認めたとき
- (2) 教授会構成員の3分の1以上の要請があったとき
- (3) 学長が教授会の招集を要請したとき

④ 教授会は、次の事項を審議する。

- (1) 教育課程及び成績評価に関する事項
- (2) 学生の資格認定及びその身分に関する事項
- (3) 教授、准教授、助教、講師、助手等の専任教育職員の教育研究業績の審査及び専任教育職員の進退に関する事項
- (4) 教育研究に係る学則の変更に関する事項
- (5) その他教育研究に関する重要な事項

⑤ 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学及び卒業に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) その他教育研究に関する事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

⑥ 教授会に関することは、別に定める。

(大学協議会)

第11条 本大学に、大学協議会を置く。

② 大学協議会に関することは、別に定める。

(学部長会)

第11条の2 本大学に、学部長会を置く。

② 学部長会に関することは、別に定める。

第3章 学年・学期及び休業日

(学年)

第12条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第13条 学年を次の2学期に分ける。

前期 4月1日から9月13日まで

後期 9月14日から翌年3月31日まで

(休業日)

第14条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に定める休日
- (3) 夏季休業日 8月上旬から9月13日まで
- (4) 冬季休業日 12月下旬から翌年1月上旬まで
- (5) 春季休業日 2月上旬から3月31日まで

② 必要がある場合、前項に定めるもののほか、休業日を定め、又は変更することができる。

第4章 修業年限及び在学年限

(修業年限)

第15条 学部の修業年限は、4年とする。ただし、薬学部においては、6年とする。

(在学年限)

第16条 学生は、8年を超えて在学することはできない。ただし、第22条又は第23

条の規定により入学又は転学部等が許可された者の在学年限は、別に定める。

② 前項の規定にかかわらず、薬学部の在学年限は、12年とする。

第5章 入学

(入学の時期)

第17条 本大学の入学の時期は、毎年4月とする。ただし、第10章及び第11章に定めるものについては、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第18条 本大学に、入学できる者は、次の各号の1に該当する者とする。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 高等学校に2年以上在学した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものであって、本大学において、数学の分野における特に優れた資質を有し、かつ、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (9) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者

(入学の出願)

第19条 本大学に入学を志願する者は、所定の書類を添えて願出しなければならない。

(入学者の選考)

第20条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第21条 前条の選考結果に基づき、合格通知を受けた者は、指定する期日までに、所定の入学手続をしなければならない。

② 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(編入学・転入学及び再入学)

第22条 次の各号の1に該当する者で、編入学、転入学又は再入学（以下「編入学等」という。）を志願する者については、選考のうえ、相当年次に編入学等を許可する。

- (1) 大学を卒業した者又は退学した者
- (2) 短期大学、高等専門学校、旧国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上であるものに限る。）を修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- (4) 学校教育法施行規則附則第7条に定める従前の規定による高等学校、専門学校若しくは教員養成諸学校等の課程を修了、又は卒業した者
- (5) 高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣

の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。)

(転学部等)

第23条 転学部・転学科・コース変更(以下「転学部等」という。)を志願する者については、選考のうえ、当該の学部、学科、コースの相当年次に転学部等を許可する。

第6章 教育課程・履修方法等

(教育課程)

第24条 教育課程は、各授業科目を必修科目、選択科目及び自由科目とし、選択科目については、学修方法により選択必修科目又は選択科目に区分する。

② 前項に定める教育課程は、各年次に配当して編成するものとする。

③ 授業科目、単位数及び卒業要件は、別表第2及び各学部履修要項のとおりとする。

④ 第43条及び第44条で定める外国人留学生及び帰国子女として入学した者については、前項別表第2に規定する授業科目のほか、別表第3に定める授業科目を置く。

⑤ 第44条の2に定める交換留学生として入学した者については、別表第2に規定する授業科目のほか、別表第3の2に定める授業科目を置く。

⑥ 履修方法に関することは、別に定める。

(教育内容等の改善)

第24条の2 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を行う。

② 前項の研修及び研究に関することは、別に定める。

(単位)

第25条 授業科目の単位は、次の各号の基準によるものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの授業時間をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの授業時間をもって1単位とする。

② 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を与えることができる。

(単位の授与)

第26条 授業科目を履修し、試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(入学前の既修得単位等の認定)

第27条 教育上有益と認めるときは、本大学の第1年次に入学した者が、入学前に、次の教育施設等(外国の大学を含む。)において行った学修及び修得した単位を、大学設置基準に定めるところにより、本大学が定める授業科目を履修して修得したものとみなし、60単位を超えない範囲で認定することができる。

(1) 大学又は短期大学

(2) 短期大学又は高等専門学校の特攻科

(3) 文部科学大臣の定めるもの

(本大学以外における修得単位等の認定)

第28条 学生が、本大学以外の教育施設等で行った学修及び修得した単位の認定は、前条の規定を準用する。

② 前項の修得したものとみなす単位数は、第27条により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えない範囲で認定することができる。

(編入学等及び転学部等の単位等の認定)

第29条 編入学等及び転学部等をした学生の既に履修した授業科目及び修得した単位は、各学部において認定する。

(多様なメディアを高度に利用して行う授業)

第29条の2 本大学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用し

て行う授業を教室等以外の場所で履修させることができる。

(成績)

第30条 履修科目の成績は、優(A)、良(B)、可(C)及び不可(F)の4種の評語をもって表わし、優(A)、良(B)及び可(C)を合格とする。

第7章 休学・転学・留学・退学等

(休学)

第31条 疾病その他やむを得ない理由により、3月以上修学することができない者は、学部教授会の議を経て、学部長の許可を得て休学することができる。

② 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として、休学期間の延長を認めることができる。

③ 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

④ 休学期間は、在学年限に算入しない。

(復学)

第32条 休学期間中にその理由が消滅したときは、学部教授会の議を経て、学部長の許可を得て復学することができる。

(転学)

第33条 他の大学に入学又は転入学を志願する者は、学部長に願い出て、あらかじめその許可を得なければならない。

(留学)

第34条 外国の大学又は短期大学で学修することを志願する者は、学部長の許可を得て留学することができる。

② 留学期間は、第38条に定める在学期間を含めることができる。

(退学)

第35条 疾病その他やむを得ない理由により、退学しようとする者は、学部教授会の議を経て、学長の許可を得て退学することができる。

(除籍)

第36条 次の各号の1に該当する者は、学部教授会の議を経て、学長が除籍する。

(1) 第16条に定める在学年限を超えた者

(2) 第31条に定める休学期間を超えてなお修学できない者

(3) 学費を納入しない者

(4) その他成業の見込みがないと認められる者

(復籍)

第37条 前条により除籍された者で復籍しようとするものは、学部教授会の議を経て、学長の許可を得て復籍することができる。ただし、前条第1号により除籍された者は除く。

第8章 卒業及び学位の授与

(卒業及び学位の授与)

第38条 次の各号の1に該当する者には、学部教授会の議を経て、学部長が卒業を認定し、学長は、学士の学位を授与する。

(1) 本大学に4年以上在学し、第24条に定める124以上の単位を修得した者

(2) 本大学に3年以上在学し、別に定める要件を満たした者

第9章 教職課程及び学芸員課程

(教育職員免許状の取得)

第39条 教育職員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同施行規則に定

める単位を修得しなければならない。

- ② 教職課程に関する授業科目、単位数、履修方法等は、別表第4のとおりとする。

(教育職員免許状の種類)

第40条 本大学において、所定の単位を修得した者は、別表第5の教育職員免許状を取得することができる。

(学芸員資格の取得)

第40条の2 学芸員の資格を取得しようとする者は、博物館法及び同施行規則に定める単位を修得しなければならない。

- ② 学芸員課程に関する授業科目及び単位数は、別表第6のとおりとする。

(教員免許状更新講習)

第40条の3 本大学において、教育職員免許法に基づく教員免許状更新講習を開設することができる。

- ② 教員免許状更新講習に関することは別に定める。

第10章 科目等履修生及び研究生

(科目等履修生)

第41条 本大学において、授業科目につき履修することを志願する者については、教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、科目等履修生として入学を許可する。

- ② 授業科目を履修し、試験に合格した者には、所定の単位を与える。

(研究生)

第42条 本大学において、専門事項につき研究することを志願する者については、教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、研究生として入学を許可する。

第11章 外国人留学生、帰国子女及び交換留学生

(外国人留学生)

第43条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本大学に入学を志願する者については、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可する。

(帰国子女)

第44条 帰国子女で、本大学に入学を志願する者については、選考のうえ、帰国子女として入学を許可する。

(交換留学生)

第44条の2 本大学との交流協定及び加盟校間の交換留学を推進する団体との協定に基づき海外の大学から本大学へ派遣された者は、選考のうえ、交換留学生として入学を許可する。

第12章 賞罰

(表彰)

第45条 学生として表彰に価する行為があった者は、学部教授会及び協議会の議を経て、学長が表彰する。

(懲戒)

第46条 本大学の規則に違反又は学生としての本分に反する行為をした者は、学部教授会及び大学協議会の議を経て、学長が懲戒する。懲戒の手続き等については、別に定める。

- ② 前項の懲戒の種類は、退学、停学及び訓告とする。

- ③ 前項の退学は、次の各号の1に該当する場合に行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第 13 章 厚生施設

(学生寮等)

第 47 条 本大学に、学生寮等を置く。

② 学生寮等に関することは、別に定める。

第 14 章 公開講座

(公開講座)

第 48 条 市民及び地域社会の教育文化の発展に貢献するため、本大学に公開講座を開設することができる。

② 公開講座に関することは、別に定める。

第 15 章 学費等

(学費等)

第 49 条 学費等の種類及びその額は、学校法人名城大学の設置する学校の学費等に関する規則に定めるところによる。

附 則

この学則は、昭和 42 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 46 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 30 条、第 31 条、第 32 条、第 37 条、第 38 条及び第 38 条の 2 は、昭和 46 年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和 47 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 48 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 49 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 25 条及び第 25 条の 2 は、昭和 49 年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和 50 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 50 年 9 月 19 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 52 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 5 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 5 5 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 4 条第 4 号は、昭和 5 5 年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和 5 6 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 2 8 条第 4 号及び第 2 8 条の 2 第 4 号は、昭和 5 6 年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和 5 7 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 2 5 条の 3、第 3 0 条及び第 3 1 条は、昭和 5 7 年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和 5 8 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 5 8 年 4 月 1 日から施行し、昭和 5 8 年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和 5 9 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 0 条の 2 及び第 3 1 条の 2 は、昭和 5 9 年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和 6 0 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 6 0 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 6 0 年 5 月 3 0 日から施行する。ただし、第 3 8 条の 2 は、昭和 6 0 年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、昭和 6 1 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 6 1 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 6 1 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、昭和 6 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 2 条第 2 項の規定にかかわらず、昭和 6 2 年度から平成 7 年度までの間の学生定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	総定員
法学部一部	法学科	4 5 0 名	1 , 8 0 0 名
法学部二部	法学科	2 0 0 名	8 0 0 名

商学部 一部	商学科	2 5 0 名	1 , 0 0 0 名
	経済学科	2 5 0 名	1 , 0 0 0 名
商学部 二部	商学科	2 0 0 名	8 0 0 名
理工学部 一部	数学科	8 0 名	3 2 0 名
	電気電子工学科	1 2 0 名	4 8 0 名
	機械工学科	1 2 0 名	4 8 0 名
	交通機械学科	1 2 0 名	4 8 0 名
	土木工学科	1 2 0 名	4 8 0 名
	建築学科	1 2 0 名	4 8 0 名
理工学部 二部	数学科	5 0 名	2 0 0 名
	電気電子工学科	8 0 名	3 2 0 名
	機械工学科	8 0 名	3 2 0 名
	交通機械学科	5 0 名	2 0 0 名
	土木工学科	5 0 名	2 0 0 名
	建築学科	8 0 名	3 2 0 名
農学部	農学科	1 2 0 名	4 8 0 名
	農芸化学科	1 2 0 名	4 8 0 名
薬学部	薬学科	1 6 0 名	6 4 0 名
	製薬学科	8 0 名	3 2 0 名
合 計		2 , 9 0 0 名	1 1 , 6 0 0 名

附 則

- ① この学則は、昭和 6 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 2 8 条及び第 2 8 条の 3 は、昭和 6 2 年 4 月 1 日から適用する。
- ② 第 2 5 条第 1 号及び第 2 5 条の 4 第 1 号に規定する「情報処理概論 A・B」は、昭和 6 3 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

この学則は、昭和 6 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 2 8 条の 2 第 1 号、同条第 4 号及び第 2 8 条の 4 第 1 号並びに同条第 4 号は、昭和 6 3 年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 2 8 条の 5 は、平成元年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行し、平成 2 年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- ① この学則は、平成 3 年 4 月 1 日から施行し、平成 2 年 4 月 1 日以後に入学する者から適用する。
- ② 平成 2 年 3 月 3 1 日に在学している者は、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- ① 第 2 条第 2 項及び附則（昭和 6 2 年 4 月 1 日施行）の学生定員にかかわらず、平成 3 年度から平成 1 1 年度までの間の学生定員は、次のとおりとする。

(1) 平成3年度から平成7年度まで

学部	学科	入学定員	総定員
法学部一部	法学科	450名	1,800名
法学部二部	法学科	200名	800名
商学部一部	商学科	250名	1,000名
	経済学科	250名	1,000名
商学部二部	商学科	200名	800名
理工学部一部	数学科	80名	320名
	電気電子工学科	140名	560名
	機械工学科	140名	560名
	交通機械学科	140名	560名
	土木工学科	140名	560名
	建築学科	140名	560名
理工学部二部	数学科	50名	200名
	電気電子工学科	80名	320名
	機械工学科	80名	320名
	交通機械学科	50名	200名
	土木工学科	50名	200名
	建築学科	80名	320名
農学部	農学科	120名	480名
	農芸化学科	120名	480名
薬学部	薬学科	160名	640名
	製薬学科	80名	320名
合計		3,000名	12,000名

(2) 平成8年度から平成11年度まで

学部	学科	入学定員	総定員
法学部一部	法学科	400名	1,600名
法学部二部	法学科	200名	800名
商学部一部	商学科	200名	800名
	経済学科	200名	800名
商学部二部	商学科	200名	800名
理工学部一部	数学科	80名	320名
	電気電子工学科	140名	560名
	機械工学科	140名	560名
	交通機械学科	140名	560名
	土木工学科	140名	560名
	建築学科	140名	560名
理工学部二部	数学科	50名	200名
	電気電子工学科	80名	320名
	機械工学科	80名	320名
	交通機械学科	50名	200名
	土木工学科	50名	200名
	建築学科	80名	320名
農学部	農学科	120名	480名
	農芸化学科	120名	480名
薬学部	薬学科	160名	640名
	製薬学科	80名	320名
合計		2,850名	11,400名

② この学則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則

- ① この学則は、平成3年4月1日から施行し、第30条第4号(1)及び第31条第1項第4号のうち、数学科に係る規定は、平成3年4月1日以後に入学する者から適用し、第44条第2項は、平成2年4月1日以後に聴講が許可された者から適用する。
- ② 平成3年3月31日に在籍している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成3年10月1日から施行し、平成3年7月1日から適用する。

附 則

- ① この学則は、平成4年4月1日から施行する。
- ② 平成4年3月31日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、第24条に定める教育課程の適用に関する経過措置については、別に定める。

附 則

この学則は、平成5年4月1日から施行する。ただし、平成5年3月31日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成6年4月1日から施行する。ただし、平成6年3月31日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- ① この学則は、平成7年4月1日から施行する。ただし、平成7年3月31日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- ② 別表第1（第3条第2項関係）及び附則（平成3年4月1日施行）の学生定員にかかわらず、平成7年度から平成11年度までの間の学生定員は、次のとおりとする。

(1) 平成7年度

学部	学科	入学定員	総定員
法学部一部	法学科	430名	1,720名
法学部二部	法学科	200名	800名
商学部一部	商学科	235名	940名
	経済学科	235名	940名
商学部二部	商学科	200名	800名
理工学部一部	数学科	70名	280名
	電気電子工学科	140名	560名
	機械工学科	130名	520名
	交通機械学科	140名	560名
	土木工学科	140名	560名
	建築学科	130名	520名
理工学部二部	数学科	50名	200名
	電気電子工学科	80名	320名
	機械工学科	80名	320名
	交通機械学科	50名	200名
	土木工学科	50名	200名
	建築学科	80名	320名
農学部	農学科	120名	480名
	農芸化学科	110名	440名

薬学部	薬学科	150名	600名
	製薬学科	80名	320名
都市情報学部	都市情報学科	200名	800名

(2) 平成8年度から11年度まで

学部	学科	入学定員	総定員
法学部一部	法学科	380名	1,520名
法学部二部	法学科	200名	800名
商学部一部	商学科	185名	740名
	経済学科	185名	740名
商学部二部	商学科	200名	800名
理工学部一部	数学科	70名	280名
	電気電子工学科	140名	560名
	機械工学科	130名	520名
	交通機械学科	140名	560名
	土木工学科	140名	560名
	建築学科	130名	520名
理工学部二部	数学科	50名	200名
	電気電子工学科	80名	320名
	機械工学科	80名	320名
	交通機械学科	50名	200名
	土木工学科	50名	200名
	建築学科	80名	320名
農学部	農学科	120名	480名
	農芸化学科	110名	440名
薬学部	薬学科	150名	600名
	製薬学科	80名	320名
都市情報学部	都市情報学科	200名	800名

附 則

- ① この学則は、平成8年4月1日から施行する。
- ② 従前の薬学部薬学科及び製薬学科は、改正後の規定にかかわらず、平成8年3月31日に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- ③ 別表第1（第3条第2項関係）及び附則（平成7年4月1日施行）の学生定員にかかわらず、平成8年度から平成11年度までの間の学生定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	収容定員
法学部一部	法学科	430名	1,720名
法学部二部	法学科	200名	800名
商学部一部	商学科	235名	940名
	経済学科	235名	940名
商学部二部	商学科	200名	800名
理工学部一部	数学科	70名	280名
	電気電子工学科	140名	560名
	機械工学科	130名	520名
	交通機械学科	140名	560名
	土木工学科	140名	560名
	建築学科	130名	520名
理工学部二部	数学科	50名	200名
	電気電子工学科	80名	320名
	機械工学科	80名	320名
	交通機械学科	50名	200名
	土木工学科	50名	200名

	建築学科	80名	320名
農学部	農学科	120名	480名
	農芸化学科	110名	440名
薬学部	医療薬学科	115名	460名
	薬学科	115名	460名
都市情報学部	都市情報学科	200名	800名

附 則

この学則は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

- ① この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- ② 従前の法学部一部法学科、法学部二部法学科、商学部一部商学科、経済学科、商学部二部商学科、理工学部一部数学科、電気電子工学科、機械工学科、交通機械学科、土木工学科、建築学科、理工学部二部数学科、電気電子工学科、機械工学科、交通機械学科、土木工学科、建築学科、農学部農学科、農芸化学科は、改正後の規定にかかわらず、平成11年3月31日に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- ③ 別表第1（第3条第2項関係）及び附則（平成8年4月1日施行）の学生定員にかかわらず、平成11年度の学生定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員		収容定員	
		昼間主コース	夜間主コース	昼間主コース	夜間主コース
法学部	法学科	380名	50名	1,520名	200名
	応用実務法学科	50名	150名	200名	600名
商学部	商学科	235名	200名	940名	800名
	経済学科	235名		940名	
理工学部	数学科	70名	50名	280名	200名
	電気電子工学科	140名	80名	560名	320名
	機械工学科	130名	80名	520名	320名
	交通機械学科	140名	50名	560名	200名
	土木工学科	140名	50名	560名	200名
	建築学科	130名	80名	520名	320名
農学部	生物資源学科	115名		460名	
	応用生物化学科	115名		460名	
薬学部	医療薬学科	115名		460名	
	薬学科	115名		460名	
都市情報学部	都市情報学科	200名		800名	

備考 農学部、薬学部及び都市情報学部の定員は、昼間主コースの定員の欄に記載する。

附 則

この学則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

- ① この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- ② 従前の商学部商学科、経済学科、理工学部機械工学科、交通機械学科、土木工学科は、改正後の規定にかかわらず、平成12年3月31日に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。
- ③ 別表第1（第3条第2項関係）の学生定員にかかわらず、平成12年度から平成16年度までの学生定員は、次のとおりとする。

(1) 平成12年度

学部	学科	入学定員		収容定員		
		昼間主コース	夜間主コース	昼間主コース	夜間主コース	合計
法学部	法学科	375名	50名	1,500名	200名	1,700名
	応用実務法学科	50名	150名	200名	600名	800名
経営学部	経営学科	160名	60名	640名	240名	880名
	国際経営学科	70名	40名	280名	160名	440名
経済学部	経済学科	120名	40名	480名	160名	640名
	産業社会学科	110名	60名	440名	240名	680名
理工学部	数学科	50名	40名	200名	160名	360名
	情報科学学科	60名	40名	240名	160名	400名
	電気電子工学科	108名	45名	432名	180名	612名
	材料機能工学科	60名	40名	240名	160名	400名
	機械システム工学科	108名	45名	432名	180名	612名
	交通科学学科	98名	45名	392名	180名	572名
	建設システム工学科	98名	45名	392名	180名	572名
	環境創造学科	60名	40名	240名	160名	400名
農学部	生物資源学科	115名		460名		460名
	応用生物化学科	115名		460名		460名
薬学部	医療薬学科	115名		460名		460名
	薬学科	115名		460名		460名
都市情報学部	都市情報学科	200名		800名		800名
合 計		2,285名	790名	9,140名	3,160名	12,300名

備考 農学部、薬学部及び都市情報学部の定員は、昼間主コースの定員の欄に記載する。

(2) 平成13年度

学部	学科	入学定員		収容定員		
		昼間主コース	夜間主コース	昼間主コース	夜間主コース	合計
法学部	法学科	370名	50名	1,480名	200名	1,680名
	応用実務法学科	50名	150名	200名	600名	800名
経営学部	経営学科	155名	60名	620名	240名	860名
	国際経営学科	70名	40名	280名	160名	440名
経済学部	経済学科	115名	40名	460名	160名	620名
	産業社会学科	110名	60名	440名	240名	680名
理工学部	数学科	50名	40名	200名	160名	360名
	情報科学学科	60名	40名	240名	160名	400名
	電気電子工学科	106名	45名	424名	180名	604名
	材料機能工学科	60名	40名	240名	160名	400名
	機械システム工学科	106名	45名	424名	180名	604名
	交通科学学科	96名	45名	384名	180名	564名
	建設システム工学科	96名	45名	384名	180名	564名
	環境創造学科	60名	40名	240名	160名	400名
農学部	生物資源学科	115名		460名		460名
	応用生物化学科	115名		460名		460名
薬学部	医療薬学科	115名		460名		460名
	薬学科	115名		460名		460名
都市情報学部	都市情報学科	200名		800名		800名
合 計		2,260名	790名	9,040名	3,160名	12,200名

備考 農学部、薬学部及び都市情報学部の定員は、昼間主コースの定員の欄に記載する。

(3) 平成14年度

学部	学科	入学定員		収容定員		
		昼間主コース	夜間主コース	昼間主コース	夜間主コース	合計
法学部	法学科	365名	50名	1,460名	200名	1,660名
	応用実務法学科	50名	150名	200名	600名	800名
経営学部	経営学科	150名	60名	600名	240名	840名
	国際経営学科	70名	40名	280名	160名	440名
経済学部	経済学科	110名	40名	440名	160名	600名
	産業社会学科	110名	60名	440名	240名	680名
理工学部	数学科	50名	40名	200名	160名	360名
	情報科学科	60名	40名	240名	160名	400名
	電気電子工学科	104名	45名	416名	180名	596名
	材料機能工学科	60名	40名	240名	160名	400名
	機械システム工学科	104名	45名	416名	180名	596名
	交通科学科	94名	45名	376名	180名	556名
	建設システム工学科	94名	45名	376名	180名	556名
	環境創造学科	60名	40名	240名	160名	400名
	建築学科	94名	50名	376名	200名	576名
農学部	生物資源学科	115名		460名		460名
	応用生物化学科	115名		460名		460名
薬学部	医療薬学科	115名		460名		460名
	薬学科	115名		460名		460名
都市情報学部	都市情報学科	200名		800名		800名
合 計		2,235名	790名	8,940名	3,160名	12,100名

備考 農学部、薬学部及び都市情報学部の定員は、昼間主コースの定員の欄に記載する。

(4) 平成15年度

学部	学科	入学定員		収容定員		
		昼間主コース	夜間主コース	昼間主コース	夜間主コース	合計
法学部	法学科	360名	50名	1,440名	200名	1,640名
	応用実務法学科	50名	150名	200名	600名	800名
経営学部	経営学科	145名	60名	580名	240名	820名
	国際経営学科	70名	40名	280名	160名	440名
経済学部	経済学科	105名	40名	420名	160名	580名
	産業社会学科	110名	60名	440名	240名	680名
理工学部	数学科	50名	40名	200名	160名	360名
	情報科学科	60名	40名	240名	160名	400名
	電気電子工学科	102名	45名	408名	180名	588名
	材料機能工学科	60名	40名	240名	160名	400名
	機械システム工学科	102名	45名	408名	180名	588名
	交通科学科	92名	45名	368名	180名	548名
	建設システム工学科	92名	45名	368名	180名	548名
	環境創造学科	60名	40名	240名	160名	400名
	建築学科	92名	50名	368名	200名	568名
農学部	生物資源学科	115名		460名		460名
	応用生物化学科	115名		460名		460名
薬学部	医療薬学科	115名		460名		460名
	薬学科	115名		460名		460名
都市情報学部	都市情報学科	200名		800名		800名
合 計		2,210名	790名	8,840名	3,160名	12,000名

備考 農学部、薬学部及び都市情報学部の定員は、昼間主コースの定員の欄に記載する。

(5) 平成16年度

学部	学科	入学定員		収容定員		
		昼間主コース	夜間主コース	昼間主コース	夜間主コース	合計
法学部	法学科	355 名	50 名	1, 420 名	200 名	1, 620 名
	応用実務法学科	50 名	150 名	200 名	600 名	800 名
経営学部	経営学科	140 名	60 名	560 名	240 名	800 名
	国際経営学科	70 名	40 名	280 名	160 名	440 名
経済学部	経済学科	100 名	40 名	400 名	160 名	560 名
	産業社会学科	110 名	60 名	440 名	240 名	680 名
理工学部	数学科	50 名	40 名	200 名	160 名	360 名
	情報科学科	60 名	40 名	240 名	160 名	400 名
	電気電子工学科	100 名	45 名	400 名	180 名	580 名
	材料機能工学科	60 名	40 名	240 名	160 名	400 名
	機械システム工学科	100 名	45 名	400 名	180 名	580 名
	交通科学科	90 名	45 名	360 名	180 名	540 名
	建設システム工学科	90 名	45 名	360 名	180 名	540 名
	環境創造学科	60 名	40 名	240 名	160 名	400 名
	建築学科	90 名	50 名	360 名	200 名	560 名
農学部	生物資源学科	115 名		460 名		460 名
	応用生物化学科	115 名		460 名		460 名
薬学部	医療薬学科	115 名		460 名		460 名
	薬学科	115 名		460 名		460 名
都市情報学部	都市情報学科	200 名		800 名		800 名
合 計		2, 185 名	790 名	8, 740 名	3, 160 名	11, 900 名

備考 農学部、薬学部及び都市情報学部の定員は、昼間主コースの定員の欄に記載する。

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、平成12年3月31日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成12年6月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成12年12月6日から施行する。

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 18 年 1 月 26 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 18 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則

この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- ① この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
- ② 第 9 条第 2 項に規定するその他必要な職員として、当分の間、助教授を置くことができるものとする。

附 則

この学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 20 年 8 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行し、平成 23 年度入学者から適用する。ただし、平成 23 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 23 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 24 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 24 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 24 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行し、平成 25 年度入学者から適用する。ただし、平成 25 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行し、平成 25 年度入学者から適用する。ただし、平成 25 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 25 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成２７年４月１日から施行する。ただし、平成２７年３月３１日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成２７年４月１日から施行し、平成２７年度入学者から適用する。ただし、平成２７年３月３１日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成２７年４月１日から施行する。ただし、平成２７年３月３１日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成２７年４月１日から施行する。ただし、平成２７年３月３１日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

- ① この学則は、平成２７年４月１日から施行する。ただし、平成２７年３月３１日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- ② 法学部法学科及び応用実務法学科については、平成２８年４月１日から適用する。ただし、平成２８年３月３１日に在学している者については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成２７年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、平成２８年４月１日から施行する。

附 則

- ① この学則は、平成２８年４月１日から施行する。ただし、平成２８年３月３１日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- ② 法学部応用実務法学科は、平成２８年４月から募集を停止し、当該学科に在学している者がいなくなった時に廃止する。

附 則

この学則は、平成２８年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、平成２８年４月１日から施行する。ただし、平成２８年３月３１日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成２８年９月１４日から施行する。

附 則

この学則は、平成２９年４月１日から施行する。

附 則

この学則は、平成２９年４月１日から施行する。ただし、平成２９年３月３１日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行し、平成 31 年度入学者から適用する。ただし、平成 31 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 31 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 31 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、平成 32 年 4 月 1 日から施行し、平成 32 年度入学者から適用する。ただし、平成 32 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 32 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 2 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 2 年 6 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 3 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行し、令和 4 年度入学者から適用する。ただし、令和 4 年 3 月 31 日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、令和４年４月１日から施行する。ただし、令和４年３月３１日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第１（第３条第２項関係）

学部	学科	入学定員	収容定員
法学部	法学科	４００名	１，６００名
経営学部	経営学科	２１５名	８６０名
	国際経営学科	９５名	３８０名
経済学部	経済学科	２１０名	８４０名
	産業社会学科	１００名	４００名
理工学部	数学科	９０名	３６０名
	電気電子工学科	１５０名	６００名
	材料機能工学科	８０名	３２０名
	応用化学科	７０名	２８０名
	機械工学科	１２５名	５００名
	交通機械工学科	１２５名	５００名
	メカトロニクス工学科	８０名	３２０名
	社会基盤デザイン工学科	９０名	３６０名
	環境創造工学科	８０名	３２０名
	建築学科	１４５名	５８０名
農学部	生物資源学科	１１０名	４４０名
	応用生物化学科	１１０名	４４０名
	生物環境科学科	１１０名	４４０名
薬学部	薬学科	２６５名	１，５９０名
都市情報学部	都市情報学科	２３５名	９４０名
人間学部	人間学科	２２０名	８８０名
外国語学部	国際英語学科	１３０名	５２０名
情報工学部	情報工学科	１８０名	７２０名
合 計		３，４１５名	１４，１９０名

別表第2（第24条第3項関係）

1（法学部法学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
教養教育部門	哲学Ⅰ		2	
	哲学Ⅱ		2	
	倫理学Ⅰ		2	
	倫理学Ⅱ		2	
	国文学Ⅰ		2	
	国文学Ⅱ		2	
	外国文学Ⅰ		2	
	外国文学Ⅱ		2	
	日本史		2	
	外国史		2	
	地理学		2	
	地誌学		2	
	自然地理学		2	
	社会学Ⅰ		2	
	社会学Ⅱ		2	
	心理学Ⅰ		2	
	心理学Ⅱ		2	
	経済学Ⅰ		2	
	経済学Ⅱ		2	
	会計学Ⅰ		2	
	会計学Ⅱ		2	
	論理的思考法		2	
	社会科学のための数学Ⅰ		2	
	社会科学のための数学Ⅱ		2	
	情報リテラシーⅠ		2	
	情報リテラシーⅡ		2	
	ボランティア入門		2	
	インターンシップⅠ		1	
	インターンシップⅡ		1	
	教養特設科目A		4	
	教養特設科目B		2	
	実践英語Ⅰ		1	
	実践英語Ⅱ		1	
	実践英語Ⅲ		1	
	実践英語Ⅳ		1	
	英語講読Ⅰ		1	
	英語講読Ⅱ		1	
	英語講読Ⅲ		1	
	英語講読Ⅳ		1	
	英会話Ⅰ		1	

	英会話Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅲ		1	
	ドイツ語Ⅳ		1	
	ドイツ語Ⅴ		1	
	ドイツ語Ⅵ		1	
	応用ドイツ語		1	
	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	フランス語Ⅲ		1	
	フランス語Ⅳ		1	
	フランス語Ⅴ		1	
	フランス語Ⅵ		1	
	応用フランス語		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	中国語Ⅲ		1	
	中国語Ⅳ		1	
	中国語Ⅴ		1	
	中国語Ⅵ		1	
	応用中国語		1	
	生涯体育		2	
	健康スポーツと実践		2	
	生涯スポーツと実践		2	
共通部門	法学入門		4	
	政治学入門		4	
	外国語文献講読		2	
	特設科目 A		4	
	特設科目 B		2	
演習部門	基礎演習Ⅰ		2	
	基礎演習Ⅱ		2	
	応用演習Ⅰ		2	
	応用演習Ⅱ		2	
	専門演習Ⅰ		4	
	専門演習Ⅱ		4	
基礎法学部門	法哲学		4	
	法社会学		4	
	日本法制史		4	
	日本近代法史		4	
	西洋法制史		4	
	東洋法史論		4	
	比較法		2	
	外国法Ⅰ		2	
	外国法Ⅱ		2	

公 法 部 門	憲法Ⅰ		4	
	憲法Ⅱ		4	
	行政法Ⅰ		4	
	行政法Ⅱ		4	
	行政法Ⅲ		2	
	環境法		2	
	地方自治法		4	
	租税法		4	
刑 事 法 部 門	刑法Ⅰ		4	
	刑法Ⅱ		4	
	刑事訴訟法		4	
	刑事政策		4	
民 事 法 部 門	民法Ⅰ		4	
	民法Ⅱ		4	
	民法Ⅲ		4	
	民法Ⅳ		4	
	民法Ⅴ		4	
	民事訴訟法		4	
	民事執行法		4	
	倒産法		4	
	消費者法		2	
企 業 ・ 社 会 法 部 門	企業法Ⅰ		4	
	企業法Ⅱ		4	
	企業法Ⅲ		4	
	企業法Ⅳ		4	
	労働法		4	
	経済法		4	
	社会保障法		4	
	知的財産法		4	
政 治 学 部 門	政治史		4	
	政治思想史		4	
	政治過程論		4	
	現代日本政治		4	
	国際政治学		4	
	行政学		4	
	国際政治史		4	
国 際 法 部 門	国際法		4	
	国際私法		4	
	国際組織法		2	
	国際人権法		2	
	国際取引法		2	

② 卒業に必要な要件

選択科目

124単位以上

2の1 (経営学部経営学科)

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
教養教育部門	歴史と文化		2	
	文学と人間		2	
	欧米文化論		2	
	アジア文化論		2	
	哲学		2	
	心の科学		2	
	日本国憲法		2	
	法と社会		2	
	政治と社会		2	
	社会学		2	
	ジェンダーと社会		2	
	物質の成り立ち		2	
	生命の多様性		2	
	数と論理		2	
	現象と論理		2	
	人間と環境		2	
	英語（リーディング）Ⅰ	1		
	英語（リーディング）Ⅱ	1		
	英語（コミュニケーション）Ⅰ	1		
	英語（コミュニケーション）Ⅱ	1		
	英語（リーディング）Ⅲ		1	
	英語（リーディング）Ⅳ		1	
	英語（コミュニケーション）中級Ⅰ		1	
	英語（コミュニケーション）中級Ⅱ		1	
	英語特別演習Ⅰ		1	
	英語特別演習Ⅱ		1	
	英語実践演習Ⅰ		2	
	英語実践演習Ⅱ		2	
	英語実践演習Ⅲ		2	
	英語実践演習Ⅳ		2	
	フランス語入門Ⅰ		1	
	フランス語入門Ⅱ		1	
	フランス語初級Ⅰ		1	
	フランス語初級Ⅱ		1	
	フランス語応用Ⅰ		1	
	フランス語応用Ⅱ		1	
	フランス語オーラルコミュニケーション（初級）Ⅰ		1	
	フランス語オーラルコミュニケーション（初級）Ⅱ		1	
	フランス語オーラルコミュニケーション（中級）Ⅰ		1	
	フランス語オーラルコミュニケーション（中級）Ⅱ		1	
	ドイツ語入門Ⅰ		1	

ドイツ語入門Ⅱ		1	
ドイツ語初級Ⅰ		1	
ドイツ語初級Ⅱ		1	
ドイツ語応用Ⅰ		1	
ドイツ語応用Ⅱ		1	
ドイツ語オーラルコミュニケーション（初級）Ⅰ		1	
ドイツ語オーラルコミュニケーション（初級）Ⅱ		1	
ドイツ語オーラルコミュニケーション（中級）Ⅰ		1	
ドイツ語オーラルコミュニケーション（中級）Ⅱ		1	
中国語入門Ⅰ		1	
中国語入門Ⅱ		1	
中国語初級Ⅰ		1	
中国語初級Ⅱ		1	
中国語応用Ⅰ		1	
中国語応用Ⅱ		1	
中国語オーラルコミュニケーション（初級）Ⅰ		1	
中国語オーラルコミュニケーション（初級）Ⅱ		1	
中国語オーラルコミュニケーション（中級）Ⅰ		1	
中国語オーラルコミュニケーション（中級）Ⅱ		1	
ハングル入門Ⅰ		1	
ハングル入門Ⅱ		1	
ハングル初級Ⅰ		1	
ハングル初級Ⅱ		1	
ハングル応用Ⅰ		1	
ハングル応用Ⅱ		1	
ハングルオーラルコミュニケーション（初級）Ⅰ		1	
ハングルオーラルコミュニケーション（初級）Ⅱ		1	
ハングルオーラルコミュニケーション（中級）Ⅰ		1	
ハングルオーラルコミュニケーション（中級）Ⅱ		1	
フランス語特別演習Ⅰ		1	
フランス語特別演習Ⅱ		1	
中国語特別演習Ⅰ		1	
中国語特別演習Ⅱ		1	
情報処理実習		1	
プログラミング実習		1	
情報社会と倫理		2	
健康・スポーツ科学Ⅰ	1		
健康・スポーツ科学Ⅱ	1		
健康・スポーツ科学Ⅲ		1	
健康・スポーツ科学Ⅳ		1	
健康・スポーツ科学Ⅴ		2	
健康科学論		2	

専門基礎部門	基本簿記	4		
	現代経済入門		2	
	会計学入門		2	
	ファイナンス入門		2	
	経営学入門		2	
	流通入門		2	
	マーケティング入門		2	
	統計学入門		2	
	経営分析入門		2	
	キャリア・デザイン論		2	
マネジメント部門	経営史		2	
	国際比較経営史		2	
	現代企業論		2	
	経営管理史		2	
	現代経営管理論		2	
	国際経営論		2	
	ワーク・ライフ・バランス論		2	
	人的資源管理論		2	
	経営組織論		2	
	コーポレート・ガバナンス論		2	
	ベンチャービジネス論		2	
	中小企業論		2	
	経営戦略論		2	
	生産管理論		2	
	ネットワーク組織論		2	
	環境経営論		2	
	労働衛生論		2	
マーケティング部門	マーケティング論		2	
	マーケティング戦略論		2	
	消費者行動論		2	
	マーケティング・コミュニケーション論		2	
	国際流通論		2	
	国際マーケティング論		2	
	マーケティング・リサーチ論		2	
	サービス・マーケティング論		2	
	グリーン・マーケティング論		2	
	マーケティング情報システム論		2	
	小売企業経営論		2	
	卸売企業経営論		2	
	プロダクト・デザイン論		2	
	プロダクト・デザイン実習		2	
	ロジスティクス論		2	
	ソーシャル・マーケティング論		2	

会計・ファイナンス部門	上級簿記Ⅰ		2	
	上級簿記Ⅱ		2	
	中級簿記		2	
	工業簿記		2	
	原価計算論		2	
	経営分析論		2	
	金融論		2	
	金融政策論		2	
	金融商品取引論		2	
	企業財務論		2	
	財務会計論Ⅰ		2	
	財務会計論Ⅱ		2	
	財務会計論Ⅲ		2	
	原価管理論		2	
	管理会計論Ⅰ		2	
	管理会計論Ⅱ		2	
	会計監査論		2	
	税務会計論		2	
	キャッシュフロー会計論		2	
	国際会計論		2	
	非営利組織体会計論		2	
	社会環境会計論		2	
	財務戦略論		2	
	国際金融システム論		2	
	国際金融機関論		2	
経営科学・情報システム部門	経営数学		2	
	情報システム論		2	
	統計学Ⅰ		2	
	統計学Ⅱ		2	
	経営科学Ⅰ		2	
	経営科学Ⅱ		2	
	システム設計Ⅰ		2	
	システム設計Ⅱ		2	
	経営シミュレーションⅠ		2	
	経営シミュレーションⅡ		2	
	経済データ実習		2	
	経営データ実習		2	
	意思決定の科学		2	
経済学・法学部門	ミクロ経済学入門		2	
	マクロ経済学入門		2	
	現代産業組織論		2	
	情報産業組織論		2	
	会社法入門		2	
	産業集積論		2	
	社会思想史		2	

実務・実習部門	インターンシップ		2	
	海外語学実習		2	
	国際フィールドワーク		4	
	職業指導論		2	
ゼミナール部門	基礎ゼミナール		4	
	専門ゼミナールⅠ		4	
	専門ゼミナールⅡ		4	
	専門ゼミナールⅢ		4	
	特殊講義		1	
	特殊講義Ⅰ		2	
	特殊講義Ⅱ		4	

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目	10単位
(2) 選択科目	114単位以上
合計	124単位以上

2の2（経営学部国際経営学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
歴史と文化			2	
文学と人間			2	
欧米文化論			2	
アジア文化論			2	
哲学			2	
心の科学			2	
日本国憲法			2	
法と社会			2	
政治と社会			2	
社会学			2	
ジェンダーと社会			2	
物質の成り立ち			2	
生命の多様性			2	
数と論理			2	
現象と論理			2	
人間と環境			2	
英語（リーディング）Ⅰ	1			
英語（リーディング）Ⅱ	1			
英語（コミュニケーション）Ⅰ	1			
英語（コミュニケーション）Ⅱ	1			
英語（リーディング）Ⅲ			1	
英語（リーディング）Ⅳ			1	
英語（コミュニケーション）中級Ⅰ			1	
英語（コミュニケーション）中級Ⅱ			1	
英語特別演習Ⅰ			1	

英語特別演習Ⅱ		1	
英語実践演習Ⅰ		2	
英語実践演習Ⅱ		2	
英語実践演習Ⅲ		2	
英語実践演習Ⅳ		2	
フランス語入門Ⅰ		1	
フランス語入門Ⅱ		1	
フランス語初級Ⅰ		1	
フランス語初級Ⅱ		1	
フランス語応用Ⅰ		1	
フランス語応用Ⅱ		1	
フランス語オーラルコミュニケーション（初級）Ⅰ		1	
フランス語オーラルコミュニケーション（初級）Ⅱ		1	
フランス語オーラルコミュニケーション（中級）Ⅰ		1	
フランス語オーラルコミュニケーション（中級）Ⅱ		1	
ドイツ語入門Ⅰ		1	
ドイツ語入門Ⅱ		1	
ドイツ語初級Ⅰ		1	
ドイツ語初級Ⅱ		1	
ドイツ語応用Ⅰ		1	
ドイツ語応用Ⅱ		1	
ドイツ語オーラルコミュニケーション（初級）Ⅰ		1	
ドイツ語オーラルコミュニケーション（初級）Ⅱ		1	
ドイツ語オーラルコミュニケーション（中級）Ⅰ		1	
ドイツ語オーラルコミュニケーション（中級）Ⅱ		1	
中国語入門Ⅰ		1	
中国語入門Ⅱ		1	
中国語初級Ⅰ		1	
中国語初級Ⅱ		1	
中国語応用Ⅰ		1	
中国語応用Ⅱ		1	
中国語オーラルコミュニケーション（初級）Ⅰ		1	
中国語オーラルコミュニケーション（初級）Ⅱ		1	
中国語オーラルコミュニケーション（中級）Ⅰ		1	
中国語オーラルコミュニケーション（中級）Ⅱ		1	
ハングル入門Ⅰ		1	
ハングル入門Ⅱ		1	
ハングル初級Ⅰ		1	
ハングル初級Ⅱ		1	
ハングル応用Ⅰ		1	
ハングル応用Ⅱ		1	
ハングルオーラルコミュニケーション（初級）Ⅰ		1	
ハングルオーラルコミュニケーション（初級）Ⅱ		1	
ハングルオーラルコミュニケーション（中級）Ⅰ		1	
ハングルオーラルコミュニケーション（中級）Ⅱ		1	

	フランス語特別演習Ⅰ		1	
	フランス語特別演習Ⅱ		1	
	中国語特別演習Ⅰ		1	
	中国語特別演習Ⅱ		1	
	情報処理実習		1	
	プログラミング実習		1	
	情報社会と倫理		2	
	健康・スポーツ科学Ⅰ	1		
	健康・スポーツ科学Ⅱ	1		
	健康・スポーツ科学Ⅲ		1	
	健康・スポーツ科学Ⅳ		1	
	健康・スポーツ科学Ⅴ		2	
	健康科学論		2	
専門基礎部門	基本簿記	4		
	現代経済入門		2	
	会計学入門		2	
	ファイナンス入門		2	
	経営学入門		2	
	流通入門		2	
	マーケティング入門		2	
	統計学入門		2	
	経営分析入門		2	
	キャリア・デザイン論		2	
国際経営・経済学部門	国際経営論		2	
	国際マーケティング論		2	
	国際流通論		2	
	国際貿易論		2	
	国際経済論		2	
	アメリカ経済論		2	
	アメリカ企業論		2	
	E U経済論		2	
	E U企業論		2	
	中国経済論		2	
	中国企業論		2	
	アジア企業論		2	
	アジア経済論		2	
	国際比較経営史		2	
	国際経営戦略論		2	
	国際金融システム論		2	
	国際金融機関論		2	
国際地域部門	国際関係論		2	
	海外N G O論		2	
	国際地域文化研究（英語圏）		2	
	国際地域文化研究（フランス）		2	
	国際地域文化研究（中国）		2	
	国際コミュニケーション論		2	

経営学部門	経営組織論		2	
	経営史		2	
	現代企業論		2	
	経営管理史		2	
	現代経営管理論		2	
	マーケティング論		2	
	人的資源管理論		2	
	経営戦略論		2	
	生産管理論		2	
	ワーク・ライフ・バランス論		2	
会計・ファイナンス部門	上級簿記Ⅰ		2	
	上級簿記Ⅱ		2	
	中級簿記		2	
	工業簿記		2	
	原価計算論		2	
	経営分析論		2	
	企業財務論		2	
	金融論		2	
	金融商品取引論		2	
	財務会計論Ⅰ		2	
	財務会計論Ⅱ		2	
	財務戦略論		2	
	国際会計論		2	
	非営利組織体会計論		2	
	キャッシュフロー会計論		2	
	社会環境会計論		2	
	管理会計論Ⅰ		2	
	管理会計論Ⅱ		2	
経営科学・情報システム部門	経営数学		2	
	情報システム論		2	
	統計学Ⅰ		2	
	統計学Ⅱ		2	
	経営科学Ⅰ		2	
	経営科学Ⅱ		2	
	経済データ実習		2	
	経営データ実習		2	
	システム設計Ⅰ		2	
	システム設計Ⅱ		2	
	経営シミュレーションⅠ		2	
	経営シミュレーションⅡ		2	
	意思決定の科学		2	

経済学・法学部門	ミクロ経済学入門		2	
	マクロ経済学入門		2	
	現代産業組織論		2	
	情報産業組織論		2	
	環境経済論		2	
	社会思想史		2	
	会社法入門		2	
実務・実習部門	インターンシップ		2	
	海外語学実習		2	
	国際フィールドワーク		4	
	職業指導論		2	
ゼミナール部門	基礎ゼミナール		4	
	専門ゼミナールⅠ		4	
	専門ゼミナールⅡ		4	
	専門ゼミナールⅢ		4	
	特殊講義		1	
	特殊講義Ⅰ		2	
	特殊講義Ⅱ		4	

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目	10単位
(2) 選択科目	114単位以上
合計	124単位以上

3の1（経済学部経済学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目	単位数		
	必修科目	選択科目	自由科目
教養教育部門	現代社会に生きる	2	
	文学と人間	2	
	芸術文化論	2	
	文化人類学の世界	2	
	哲学	2	
	倫理学	2	
	心の科学	2	
	宗教の世界	2	
	日本史	2	
	外国史	2	
	地理学	2	
	地誌学	2	
	日本国憲法	2	
	法と社会	2	
	経営と社会	2	
	政治と社会	2	
	社会学	2	
	ジェンダーと社会	2	
	地球と宇宙	2	
	物質の成り立ち	2	
	生命の多様性	2	
	数と論理	2	
	現象と論理	2	
	人間と環境	2	
	自然地理学	2	
	コンピュータリテラシー	2	
	情報活用リテラシー	2	
	情報処理入門	2	
	情報社会と倫理	2	
	健康・スポーツ科学Ⅰ	1	
	健康・スポーツ科学Ⅱ	1	
	健康・スポーツ科学Ⅲ	1	
	健康・スポーツ科学Ⅳ	1	
	健康・スポーツ科学Ⅴ	2	
	健康科学論Ⅰ	2	
	健康科学論Ⅱ	2	
	キャリア形成論	2	
	職業指導論	2	
	教養演習Ⅰ（日本語表現）	2	
	英語Ⅰ	1	
	英語Ⅱ	1	
	英語Ⅲ（コミュニケーション）	1	
	英語Ⅳ（コミュニケーション）	1	
	英語Ⅴ	1	
	英語Ⅵ	1	
	英語Ⅶ	1	

	英語Ⅷ		1	
	上級英語Ⅰ		1	
	上級英語Ⅱ		1	
	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	フランス語Ⅲ		1	
	フランス語Ⅳ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅲ		1	
	ドイツ語Ⅳ		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	中国語Ⅲ		1	
	中国語Ⅳ		1	
	ハングルⅠ		1	
	ハングルⅡ		1	
	ハングルⅢ		1	
	ハングルⅣ		1	
	スペイン語初級Ⅰ		1	
	スペイン語初級Ⅱ		1	
専門基礎部門	マクロ経済学入門	2		
	ミクロ経済学入門	2		
	経済理論入門	2		
	現代資本主義入門	2		
	経済史総論Ⅰ		2	
	経済史総論Ⅱ		2	
	基本簿記		4	
	経済数学Ⅰ		2	
	経済数学Ⅱ		2	
	統計学Ⅰ		2	
	統計学Ⅱ		2	
	社会思想史		2	
	特殊講義Ⅰ		2	
	特殊講義Ⅱ		4	
ゼミナール部門	基礎ゼミナール		4	
	専門ゼミナールⅠ		4	
	専門ゼミナールⅡ		4	
	専門ゼミナールⅢ（卒業研究）		4	
	外国書講読ゼミナールⅠ		2	
	外国書講読ゼミナールⅡ		2	
	特殊講義Ⅰ		2	
	特殊講義Ⅱ		4	
フィールドワーク・実習部門	社会フィールドワークⅠ		4	
	社会フィールドワークⅡ		4	
	経済データ分析Ⅰ		2	
	経済データ分析Ⅱ		2	
	経営データ分析Ⅰ		2	
	経営データ分析Ⅱ		2	
	ビジネスプラン		2	

	ビジネス英語Ⅰ		2	
	ビジネス英語Ⅱ		2	
	インターンシップ		2	
	海外語学実習		2	
	特殊講義Ⅰ		2	
	特殊講義Ⅱ		4	
理論経済部門	マクロ経済学Ⅰ		2	
	マクロ経済学Ⅱ		2	
	ミクロ経済学Ⅰ		2	
	ミクロ経済学Ⅱ		2	
	情報の経済学Ⅰ		2	
	情報の経済学Ⅱ		2	
	経済思想史		2	
	経済理論Ⅰ		2	
	経済理論Ⅱ		2	
	現代資本主義論Ⅰ		2	
	現代資本主義論Ⅱ		2	
	応用経済理論Ⅰ		2	
	応用経済理論Ⅱ		2	
	公共経済学Ⅰ		2	
	公共経済学Ⅱ		2	
	計量経済学Ⅰ		2	
	計量経済学Ⅱ		2	
	特殊講義Ⅰ		2	
	特殊講義Ⅱ		4	
歴史・政策・金融部門	日本経済史Ⅰ		2	
	日本経済史Ⅱ		2	
	西洋経済史Ⅰ		2	
	西洋経済史Ⅱ		2	
	イギリス近代思潮		2	
	経済政策論Ⅰ		2	
	経済政策論Ⅱ		2	
	労働経済論Ⅰ		2	
	労働経済論Ⅱ		2	
	財政学Ⅰ		2	
	財政学Ⅱ		2	
	地方財政論Ⅰ		2	
	地方財政論Ⅱ		2	
	商法入門Ⅰ		2	
	商法入門Ⅱ		2	
	金融論		2	
	金融政策論		2	
	国際金融論		2	
	国際通貨論		2	
	証券市場論Ⅰ		2	
	証券市場論Ⅱ		2	
	国際経済論Ⅰ		2	
	国際経済論Ⅱ		2	
	開発経済論		2	

アジア経済論		2	
アメリカ経済論		2	
E U経済論		2	
中国経済論Ⅰ		2	
中国経済論Ⅱ		2	
特殊講義Ⅰ		2	
特殊講義Ⅱ		4	

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目	10単位
(2) 選択科目	114単位以上
合計	124単位以上

3の2（経済学部産業社会学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
教養教育部門	現代社会に生きる		2	
	文学と人間		2	
	芸術文化論		2	
	文化人類学の世界		2	
	哲学		2	
	倫理学		2	
	心の科学		2	
	宗教の世界		2	
	日本史		2	
	外国史		2	
	地理学		2	
	地誌学		2	
	日本国憲法		2	
	法と社会		2	
	経営と社会		2	
	政治と社会		2	
	社会学		2	
	ジェンダーと社会		2	
	地球と宇宙		2	
	物質の成り立ち		2	
	生命の多様性		2	
	数と論理		2	
	現象と論理		2	
	人間と環境		2	
	自然地理学		2	
	コンピュータリテラシー		2	
	情報活用リテラシー		2	
	情報処理入門		2	
	情報社会と倫理		2	
	健康・スポーツ科学Ⅰ	1		
	健康・スポーツ科学Ⅱ	1		
	健康・スポーツ科学Ⅲ		1	
	健康・スポーツ科学Ⅳ		1	
	健康・スポーツ科学Ⅴ		2	
	健康科学論Ⅰ		2	
	健康科学論Ⅱ		2	

	キャリア形成論		2	
	職業指導論		2	
	教養演習Ⅰ（日本語表現）		2	
	英語Ⅰ		1	
	英語Ⅱ		1	
	英語Ⅲ（コミュニケーション）		1	
	英語Ⅳ（コミュニケーション）		1	
	英語Ⅴ		1	
	英語Ⅵ		1	
	英語Ⅶ		1	
	英語Ⅷ		1	
	上級英語Ⅰ		1	
	上級英語Ⅱ		1	
	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	フランス語Ⅲ		1	
	フランス語Ⅳ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅲ		1	
	ドイツ語Ⅳ		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	中国語Ⅲ		1	
	中国語Ⅳ		1	
	ハングルⅠ		1	
	ハングルⅡ		1	
	ハングルⅢ		1	
	ハングルⅣ		1	
	スペイン語初級Ⅰ		1	
	スペイン語初級Ⅱ		1	
専門基礎部門	マクロ経済学入門	2		
	ミクロ経済学入門	2		
	経済理論入門	2		
	現代資本主義入門	2		
	経済史総論Ⅰ		2	
	経済史総論Ⅱ		2	
	基本簿記		4	
	経済数学Ⅰ		2	
	経済数学Ⅱ		2	
	統計学Ⅰ		2	
	統計学Ⅱ		2	
	社会思想史		2	
	特殊講義Ⅰ		2	
	特殊講義Ⅱ		4	
ゼミナール部門	基礎ゼミナール		4	
	専門ゼミナールⅠ		4	
	専門ゼミナールⅡ		4	
	専門ゼミナールⅢ（卒業研究）		4	
	外国書講読ゼミナールⅠ		2	
	外国書講読ゼミナールⅡ		2	

	特殊講義Ⅰ		2	
	特殊講義Ⅱ		4	
フィールドワーク・実習部門	社会フィールドワークⅠ		4	
	社会フィールドワークⅡ		4	
	経済データ分析Ⅰ		2	
	経済データ分析Ⅱ		2	
	経営データ分析Ⅰ		2	
	経営データ分析Ⅱ		2	
	ビジネスプラン		2	
	ビジネス英語Ⅰ		2	
	ビジネス英語Ⅱ		2	
	インターンシップ		2	
	海外語学実習		2	
	特殊講義Ⅰ		2	
	特殊講義Ⅱ		4	
理論経済部門	マクロ経済学Ⅰ		2	
	マクロ経済学Ⅱ		2	
	ミクロ経済学Ⅰ		2	
	ミクロ経済学Ⅱ		2	
	経済思想史		2	
	情報の経済学Ⅰ		2	
	情報の経済学Ⅱ		2	
	経済理論Ⅰ		2	
	経済理論Ⅱ		2	
	現代資本主義論Ⅰ		2	
	現代資本主義論Ⅱ		2	
	応用経済理論Ⅰ		2	
	応用経済理論Ⅱ		2	
	公共経済学Ⅰ		2	
	公共経済学Ⅱ		2	
	計量経済学Ⅰ		2	
	計量経済学Ⅱ		2	
	特殊講義Ⅰ		2	
	特殊講義Ⅱ		4	
現代社会部門	農業経済論		2	
	食料経済論		2	
	工業経済論		2	
	産業技術論		2	
	商業経済論		2	
	中小企業論		2	
	中小企業政策論		2	
	交通論		2	
	産業集積論		2	
	経営戦略論		2	
	サービス経済論		2	
	起業経営論		2	
	物流論		2	
	経済地理学		2	
	地域福祉論		2	
	地域政策論		2	
	地域経済論		2	
	社会保障論		2	

環境ビジネス論		2	
環境経済論		2	
公共政策論		2	
特殊講義Ⅰ		2	
特殊講義Ⅱ		4	

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目	10単位
(2) 選択科目	114単位以上
合計	124単位以上

4の1 (理工学部数学科)

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
総合基礎部門	英語コミュニケーションⅠ		1	
	英語コミュニケーションⅡ		1	
	英語コミュニケーションⅢ		1	
	英語コミュニケーションⅣ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅠ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅡ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅲ		1	
	ドイツ語Ⅳ		1	
	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	フランス語Ⅲ		1	
	フランス語Ⅳ		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	中国語Ⅲ		1	
	中国語Ⅳ		1	
	体育科学Ⅰ		1	
	体育科学Ⅱ		1	
	体育科学Ⅲ		1	
	体育科学Ⅳ		1	
	人文科学基礎Ⅰ		2	
	人文科学基礎Ⅱ		2	
	社会科学基礎Ⅰ		2	
	社会科学基礎Ⅱ		2	
	アジア文化論Ⅰ		2	
	アジア文化論Ⅱ		2	
	欧米文化論Ⅰ		2	
	欧米文化論Ⅱ		2	
	国際関係論		2	
	文学		2	
	日本国憲法		2	
	国際経済論		2	
	心理学		2	
	基礎ゼミナールⅠ		1	
	基礎ゼミナールⅡ		1	
	微分積分Ⅰ	2		
	微分積分Ⅱ	2		
	線形代数Ⅰ	2		
	線形代数Ⅱ	2		
	微分積分Ⅰ演習	1		
	微分積分Ⅱ演習	1		

線形代数Ⅰ演習	1		
線形代数Ⅱ演習	1		
数学序論Ⅰ	2		
数学序論Ⅱ	2		
物理学Ⅰ		2	
物理学Ⅱ		2	
物理学演習		1	
化学Ⅰ		2	
化学Ⅱ		2	
技術者倫理		2	
コンピューターリテラシー		2	
数学基礎演習Ⅰ			1
数学基礎演習Ⅱ			1
物理学基礎演習Ⅰ			1
物理学基礎演習Ⅱ			1
化学基礎演習Ⅰ			1
化学基礎演習Ⅱ			1
英語基礎演習Ⅰ			1
英語基礎演習Ⅱ			1
総合数理基礎演習Ⅰ			1
総合数理基礎演習Ⅱ			1
総合数理基礎演習Ⅲ			1
総合数理基礎演習Ⅳ			1
サイエンス・ボランティア入門Ⅰ			1
サイエンス・ボランティア入門Ⅱ			1
探究活動入門Ⅰ			2
探究活動入門Ⅱ			2
数理科学Ⅰ		2	
数理科学Ⅱ		2	
数理物理学Ⅰ		2	
数理物理学Ⅱ		2	
コンピューターサイエンス		2	
情報科学Ⅰ		2	
情報科学Ⅱ		2	
情報科学Ⅲ		2	
情報科学Ⅳ		2	
情報社会と情報倫理		2	
情報技術の応用と職業		2	
アルゴリズム・データ構造論		2	
経営情報論		2	
情報ネットワーク論		2	
パターン情報処理論		2	
人間情報処理論		2	
微分積分Ⅲ		2	
微分積分Ⅳ		2	
線形代数Ⅲ		2	
線形代数Ⅳ		2	

数学通論Ⅰ		2	
数学通論Ⅱ		2	
解析学Ⅰ		2	
解析学Ⅱ		2	
解析学Ⅲ		2	
解析学Ⅳ		2	
解析学Ⅴ		2	
解析学Ⅵ		2	
解析学Ⅶ		2	
解析学Ⅷ		2	
代数学Ⅰ		2	
代数学Ⅱ		2	
代数学Ⅲ		2	
代数学Ⅳ		2	
代数学Ⅴ		2	
代数学Ⅵ		2	
代数学Ⅶ		2	
代数学Ⅷ		2	
幾何学Ⅰ		2	
幾何学Ⅱ		2	
幾何学Ⅲ		2	
幾何学Ⅳ		2	
幾何学Ⅴ		2	
幾何学Ⅵ		2	
幾何学Ⅶ		2	
幾何学Ⅷ		2	
数理情報Ⅰ		2	
数理情報Ⅱ		2	
数理情報Ⅲ		2	
数理情報Ⅳ		2	
数理情報Ⅴ		2	
数理情報Ⅵ		2	
数理情報Ⅶ		2	
数理情報Ⅷ		2	
計算機科学Ⅰ		4	
計算機科学Ⅱ		4	
計算機科学Ⅲ		2	
計算機科学Ⅳ		2	
計算機科学Ⅴ		2	
計算機科学Ⅵ		2	
計算機科学Ⅶ		2	
計算機科学Ⅷ		2	
教職研究Ⅰ			1
教職研究Ⅱ			1
数学研究		4	
数学講究	8		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目		24単位
(2) 選択科目	総合基礎部門	20単位以上
	専門教育部門	80単位以上
	計	100単位以上
	合計	124単位以上

4の2（理工学部電気電子工学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
総合基礎部門	英語コミュニケーションⅠ		1	
	英語コミュニケーションⅡ		1	
	英語コミュニケーションⅢ		1	
	英語コミュニケーションⅣ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅠ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅡ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅲ		1	
	ドイツ語Ⅳ		1	
	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	フランス語Ⅲ		1	
	フランス語Ⅳ		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	中国語Ⅲ		1	
	中国語Ⅳ		1	
	体育科学Ⅰ		1	
	体育科学Ⅱ		1	
	体育科学Ⅲ		1	
	体育科学Ⅳ		1	
	人文科学基礎Ⅰ		2	
	人文科学基礎Ⅱ		2	
	社会科学基礎Ⅰ		2	
	社会科学基礎Ⅱ		2	
	アジア文化論Ⅰ		2	
	アジア文化論Ⅱ		2	
	欧米文化論Ⅰ		2	
	欧米文化論Ⅱ		2	
	国際関係論		2	
	文学		2	
	日本国憲法		2	
	国際経済論		2	
	心理学		2	
	基礎ゼミナールⅠ		1	
	基礎ゼミナールⅡ		1	
	職業指導論		2	

専門教育部門	微分積分Ⅰ		2	
	微分積分Ⅱ		2	
	線形代数Ⅰ		2	
	線形代数Ⅱ		2	
	物理学Ⅰ		2	
	物理学Ⅱ		2	
	物理学演習		1	
	物理学実験Ⅰ		1	
	物理学実験Ⅱ		1	
	化学Ⅰ		2	
	化学Ⅱ		2	
	化学実験Ⅰ		1	
	化学実験Ⅱ		1	
	地学Ⅰ		2	
	地学Ⅱ		2	
	地学実験Ⅰ		1	
	地学実験Ⅱ		1	
	生物学		2	
	生物学実験		1	
	理工学概論		2	
	技術者倫理		2	
	コンピューターリテラシー		2	
	数学基礎演習Ⅰ			1
	数学基礎演習Ⅱ			1
	物理学基礎演習Ⅰ			1
	物理学基礎演習Ⅱ			1
	化学基礎演習Ⅰ			1
	化学基礎演習Ⅱ			1
	英語基礎演習Ⅰ			1
	英語基礎演習Ⅱ			1
	電気磁気学Ⅰおよび演習	3		
	電気磁気学Ⅱおよび演習	3		
	電気磁気学Ⅲ		2	
	電気回路Ⅰおよび演習	3		
	電気回路Ⅱおよび演習	3		
	電気回路Ⅲ		2	
	電子回路A	2		
	電子回路B	2		
	電子回路C		2	
	デジタル回路Ⅰ	2		
	デジタル回路Ⅱ		2	
	デジタル信号処理Ⅰ		2	
	デジタル信号処理Ⅱ		2	
	コンピューターサイエンス	2		
	プログラミングⅠおよび演習	3		
	プログラミングⅡおよび演習	3		
	組み込みシステムⅠおよび演習		3	
	組み込みシステムⅡおよび演習		3	
	電気計測	2		

電気基礎理論Ⅰ		2	
電気基礎理論Ⅱ		2	
電気基礎理論Ⅲ		2	
電気基礎理論Ⅳ		2	
電気電子工学概論		2	
エネルギー変換・発生工学		2	
エネルギー伝送工学		2	
電気機器工学		2	
高電圧工学		2	
電力系統工学		2	
電気設計・製図		2	
電気法規・施設管理		2	
制御工学Ⅰ		2	
制御工学Ⅱ		2	
パワーエレクトロニクス		2	
電気電子物性論Ⅰ		2	
電気電子物性論Ⅱ		2	
電気電子物性論Ⅲ		2	
半導体工学Ⅰ		2	
半導体工学Ⅱ		2	
電気化学		2	
電子計測		2	
センサ・センシング		2	
基礎通信工学		2	
情報理論		2	
通信システム		2	
電磁波工学		2	
ネットワーク		2	
データベース		2	
電気電子工学基礎実験	1		
電気電子工学実験Ⅰ	2		
電気電子工学実験Ⅱ	2		
電気電子工学実験Ⅲ	2		
電気電子ゼミナールⅠ		1	
電気電子ゼミナールⅡ	1		
卒業研究	4		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目		40単位
(2) 選択科目	総合基礎部門	20単位以上
	専門教育部門	64単位以上
	計	84単位以上
	合計	124単位以上

4の3（理工学部材料機能工学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
	英語コミュニケーションⅠ	1		
	英語コミュニケーションⅡ	1		
	英語コミュニケーションⅢ	1		

総合基礎部門	英語コミュニケーションⅣ	1		
	プラクティカル・イングリッシュⅠ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅡ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅲ		1	
	ドイツ語Ⅳ		1	
	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	フランス語Ⅲ		1	
	フランス語Ⅳ		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	中国語Ⅲ		1	
	中国語Ⅳ		1	
	体育科学Ⅰ		1	
	体育科学Ⅱ		1	
	体育科学Ⅲ		1	
	体育科学Ⅳ		1	
	人文科学基礎Ⅰ		2	
	人文科学基礎Ⅱ		2	
	社会科学基礎Ⅰ		2	
	社会科学基礎Ⅱ		2	
	アジア文化論Ⅰ		2	
	アジア文化論Ⅱ		2	
	欧米文化論Ⅰ		2	
	欧米文化論Ⅱ		2	
	国際関係論		2	
	文学		2	
	日本国憲法		2	
	国際経済論		2	
	心理学		2	
	基礎ゼミナールⅠ		1	
	基礎ゼミナールⅡ		1	
	職業指導論		2	
	微分積分Ⅰ		2	
	微分積分Ⅱ		2	
	線形代数Ⅰ		2	
	線形代数Ⅱ		2	
	物理学Ⅰ		2	
	物理学Ⅱ		2	
	物理学演習		1	
	物理学実験Ⅰ		1	
	物理学実験Ⅱ		1	
	化学Ⅰ		2	
	化学Ⅱ		2	
	化学実験Ⅰ		1	

化学実験Ⅱ		1	
地学Ⅰ		2	
地学Ⅱ		2	
地学実験Ⅰ		1	
地学実験Ⅱ		1	
生物学		2	
生物学実験		1	
理工学概論		2	
技術者倫理	2		
コンピューターリテラシー	2		
数学基礎演習Ⅰ			1
数学基礎演習Ⅱ			1
物理学基礎演習Ⅰ			1
物理学基礎演習Ⅱ			1
化学基礎演習Ⅰ			1
化学基礎演習Ⅱ			1
英語基礎演習Ⅰ			1
英語基礎演習Ⅱ			1
応用数学Ⅰ		2	
応用数学Ⅱ		2	
応用数学Ⅲ		2	
電磁気学Ⅰおよび演習		3	
電磁気学Ⅱおよび演習		3	
工業力学		2	
材料力学Ⅰおよび演習		3	
材料力学Ⅱおよび演習		3	
量子力学Ⅰおよび演習		3	
量子力学Ⅱおよび演習		3	
物性論Ⅰおよび演習		3	
物性論Ⅱおよび演習		3	
熱力学		2	
統計力学		2	
製図基礎		2	
真空工学		2	
表面工学		2	
電気回路および演習		3	
電子回路設計・製作		2	
アナログ電子回路		2	
デジタル電子回路		2	
半導体デバイス		2	
量子エレクトロニクス		2	
半導体基礎論		2	
半導体工学		2	
結晶材料		2	
結晶成長		2	
磁性材料		2	

光・誘電工学		2	
鉄鋼材料		2	
合金材料		2	
焼結材料		2	
高分子材料		2	
複合材料		2	
材料強度学		2	
結晶塑性学		2	
機械加工		2	
溶融加工		2	
機械要素		2	
機械設計・製図		2	
エレクトロニクス材料分析・評価法		2	
機械材料分析・評価法		2	
分析化学		2	
材料機能工学概論	2		
科学技術リテラシー	2		
材料機能工学実験Ⅰ	2		
材料機能工学実験Ⅱ	2		
材料機能工学実験Ⅲ	2		
材料機能ゼミナール	2		
先端技術管理		2	
卒業研究	4		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目		24単位
(2) 選択科目	総合基礎部門	16単位以上
	専門教育部門	84単位以上
	計	100単位以上
	合計	124単位以上

4の4（理工学部応用化学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目	単位数		
	必修科目	選択科目	自由科目
英語コミュニケーションⅠ	1		
英語コミュニケーションⅡ	1		
英語コミュニケーションⅢ		1	
英語コミュニケーションⅣ		1	
プラクティカル・イングリッシュⅠ		1	
プラクティカル・イングリッシュⅡ		1	
ドイツ語Ⅰ		1	
ドイツ語Ⅱ		1	
ドイツ語Ⅲ		1	
ドイツ語Ⅳ		1	
フランス語Ⅰ		1	
フランス語Ⅱ		1	
フランス語Ⅲ		1	
フランス語Ⅳ		1	

総合基礎部門	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	中国語Ⅲ		1	
	中国語Ⅳ		1	
	体育科学Ⅰ		1	
	体育科学Ⅱ		1	
	体育科学Ⅲ		1	
	体育科学Ⅳ		1	
	人文科学基礎Ⅰ		2	
	人文科学基礎Ⅱ		2	
	社会科学基礎Ⅰ		2	
	社会科学基礎Ⅱ		2	
	アジア文化論Ⅰ		2	
	アジア文化論Ⅱ		2	
	欧米文化論Ⅰ		2	
	欧米文化論Ⅱ		2	
	国際関係論		2	
	文学		2	
	日本国憲法		2	
	国際経済論		2	
	心理学		2	
	基礎ゼミナールⅠ			1
	基礎ゼミナールⅡ			1
	職業指導論		2	
	微分積分Ⅰ	2		
	微分積分Ⅱ	2		
	線形代数Ⅰ	2		
	線形代数Ⅱ	2		
	物理学Ⅰ		2	
	物理学Ⅱ		2	
	物理学演習		1	
	物理学実験Ⅰ		1	
	物理学実験Ⅱ		1	
	化学Ⅰ		2	
	化学Ⅱ		2	
	化学実験Ⅰ		1	
	化学実験Ⅱ		1	
	地学Ⅰ		2	
	地学Ⅱ		2	
	地学実験Ⅰ		1	
	地学実験Ⅱ		1	
	生物学		2	
	生物学実験		1	
	理工学概論		2	
	技術者倫理	2		
	コンピューターリテラシー	2		
	数学基礎演習Ⅰ			1

数学基礎演習Ⅱ			1
物理学基礎演習Ⅰ			1
物理学基礎演習Ⅱ			1
化学基礎演習Ⅰ			1
化学基礎演習Ⅱ			1
英語基礎演習Ⅰ			1
英語基礎演習Ⅱ			1
有機化学基礎	2		
有機化学Ⅰ		2	
有機化学Ⅱ		2	
有機化学演習		1	
錯体化学		2	
高分子化学Ⅰ		2	
高分子化学Ⅱ		2	
コロイド化学		2	
高分子材料		2	
生化学		2	
生活支援化学		2	
物理化学基礎	2		
物理化学Ⅰ		2	
物理化学Ⅱ		2	
物理化学演習		1	
量子化学Ⅰ		2	
量子化学Ⅱ		2	
量子化学演習		1	
化学結晶学		2	
物質構造学		2	
物性化学		2	
真空工学		2	
表面工学		2	
無機化学基礎	2		
無機化学Ⅰ		2	
無機化学Ⅱ		2	
無機化学演習		1	
電気化学		2	
触媒化学		2	
電子材料		2	
固体物性		2	
エネルギー化学		2	
金属材料		2	
環境材料		2	
先端化学	2		
応用化学数学		2	
安全工学	2		
実験基礎論	2		
分析化学		2	
機器分析		2	

分光化学		2	
化学工学		2	
分離精製工学		2	
流動現象学		2	
製図基礎		2	
科学表現論		2	
先端技術管理		2	
応用化学実験Ⅰ	2		
応用化学実験Ⅱ	2		
応用化学実験Ⅲ	3		
応用化学実験Ⅳ	2		
応用化学ゼミナール	2		
卒業研究	4		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目		41単位
(2) 選択科目	総合基礎部門	18単位以上
	専門教育部門	65単位以上
	計	83単位以上
	合計	124単位以上

4の5（理工学部機械工学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
総合基礎部門	英語コミュニケーションⅠ		1	
	英語コミュニケーションⅡ		1	
	英語コミュニケーションⅢ		1	
	英語コミュニケーションⅣ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅠ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅡ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅲ		1	
	ドイツ語Ⅳ		1	
	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	フランス語Ⅲ		1	
	フランス語Ⅳ		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	中国語Ⅲ		1	
	中国語Ⅳ		1	
	体育科学Ⅰ		1	
	体育科学Ⅱ		1	
	体育科学Ⅲ		1	
	体育科学Ⅳ		1	
	人文科学基礎Ⅰ		2	
	人文科学基礎Ⅱ		2	
	社会科学基礎Ⅰ		2	

	社会科学基礎Ⅱ		2	
	アジア文化論Ⅰ		2	
	アジア文化論Ⅱ		2	
	欧米文化論Ⅰ		2	
	欧米文化論Ⅱ		2	
	国際関係論		2	
	文学		2	
	日本国憲法		2	
	国際経済論		2	
	心理学		2	
	基礎ゼミナールⅠ		1	
	基礎ゼミナールⅡ		1	
	職業指導論		2	
	微分積分Ⅰ	2		
	微分積分Ⅱ	2		
	線形代数Ⅰ	2		
	線形代数Ⅱ	2		
	物理学Ⅰ	2		
	物理学Ⅱ	2		
	物理学演習		1	
	物理学実験Ⅰ		1	
	物理学実験Ⅱ		1	
	化学Ⅰ		2	
	化学Ⅱ		2	
専門教育部門	化学実験Ⅰ		1	
	化学実験Ⅱ		1	
	地学Ⅰ		2	
	地学Ⅱ		2	
	地学実験Ⅰ		1	
	地学実験Ⅱ		1	
	生物学		2	
	生物学実験		1	
	理工学概論		2	
	技術者倫理		2	
	コンピューターリテラシー		2	
	数学基礎演習Ⅰ			1
	数学基礎演習Ⅱ			1
	物理学基礎演習Ⅰ			1
	物理学基礎演習Ⅱ			1
	化学基礎演習Ⅰ			1
	化学基礎演習Ⅱ			1
	英語基礎演習Ⅰ			1
	英語基礎演習Ⅱ			1
	熱力学Ⅰ	2		
	熱力学Ⅱ		2	
	伝熱工学		2	
	熱機関工学		2	

流体力学Ⅰ	2		
流体力学Ⅱ		2	
流体機械		2	
応用流体力学		2	
材料力学Ⅰ	2		
材料力学Ⅱ		2	
材料強度学Ⅰ		2	
材料強度学Ⅱ		2	
機械材料		2	
機械設計基礎	2		
機械設計Ⅰ	2		
機械設計Ⅱ	2		
機械要素	2		
機械加工学		2	
塑性加工学		2	
生産加工学		2	
生産管理		2	
機構学		2	
機械力学Ⅰ	2		
機械力学Ⅱ		2	
機械振動学		2	
制御工学Ⅰ		2	
制御工学Ⅱ		2	
コンピュータープログラミング	2		
コンピューターシミュレーション		2	
機械技術者倫理		2	
基礎電気工学		2	
基礎電子工学		2	
機械設計・製作		4	
機械工学実習	2		
機械工学実験	2		
機械工学概論	2		
応用数学Ⅰ	2		
応用数学Ⅱ		2	
応用力学		2	
電磁気学		2	
データ解析工学		2	
C A E		2	
計測工学		2	
新技術概論		2	
技術英語		2	
インターンシップ		1	
ラボラトリー・セミナー		1	
卒業研究	4		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目		42単位
(2) 選択科目	総合基礎部門	20単位以上
	専門教育部門	62単位以上
	計	82単位以上
	合計	124単位以上

4の6（理工学部交通機械工学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
総合基礎部門	英語コミュニケーションⅠ	1		
	英語コミュニケーションⅡ	1		
	英語コミュニケーションⅢ	1		
	英語コミュニケーションⅣ	1		
	プラクティカル・イングリッシュⅠ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅡ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅲ		1	
	ドイツ語Ⅳ		1	
	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	フランス語Ⅲ		1	
	フランス語Ⅳ		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	中国語Ⅲ		1	
	中国語Ⅳ		1	
	体育科学Ⅰ		1	
	体育科学Ⅱ		1	
	体育科学Ⅲ		1	
	体育科学Ⅳ		1	
	人文科学基礎Ⅰ		2	
	人文科学基礎Ⅱ		2	
	社会科学基礎Ⅰ		2	
	社会科学基礎Ⅱ		2	
	アジア文化論Ⅰ		2	
	アジア文化論Ⅱ		2	
	欧米文化論Ⅰ		2	
	欧米文化論Ⅱ		2	
	国際関係論		2	
	文学		2	
	日本国憲法		2	
	国際経済論		2	
	心理学		2	
	基礎ゼミナールⅠ		1	
	基礎ゼミナールⅡ		1	
	職業指導論		2	

専門教育部門	微分積分Ⅰ	2		
	微分積分Ⅱ	2		
	線形代数Ⅰ	2		
	線形代数Ⅱ	2		
	物理学Ⅰ	2		
	物理学Ⅱ	2		
	物理学演習		1	
	物理学実験Ⅰ		1	
	物理学実験Ⅱ		1	
	化学Ⅰ		2	
	化学Ⅱ		2	
	化学実験Ⅰ		1	
	化学実験Ⅱ		1	
	地学Ⅰ		2	
	地学Ⅱ		2	
	地学実験Ⅰ		1	
	地学実験Ⅱ		1	
	生物学		2	
	生物学実験		1	
	理工学概論		2	
	技術者倫理	2		
	コンピューターリテラシー	2		
	数学基礎演習Ⅰ			1
	数学基礎演習Ⅱ			1
	物理学基礎演習Ⅰ			1
	物理学基礎演習Ⅱ			1
	化学基礎演習Ⅰ			1
	化学基礎演習Ⅱ			1
	英語基礎演習Ⅰ			1
	英語基礎演習Ⅱ			1
	交通機械工学概論	2		
	数値計算法Ⅰ		2	
	数値計算法Ⅱ		2	
	C A E		1	
	応用数学Ⅰ	2		
	応用数学Ⅱ		2	
	工業力学Ⅰ	2		
	工業力学Ⅱ		2	
	工業力学演習		1	
	振動学		2	
	材料力学Ⅰ	2		
	材料力学Ⅱ		2	
	材料力学演習		1	
	構造力学		2	
	流体力学Ⅰ	2		
	流体力学Ⅱ		2	
	流体力学演習		1	

流れ学		2	
熱力学Ⅰ	2		
熱力学Ⅱ		2	
熱力学演習		1	
伝熱工学		2	
材料科学Ⅰ	2		
材料科学Ⅱ		2	
交通機工作法	2		
機構学		2	
機械要素Ⅰ		2	
機械要素Ⅱ		2	
製図Ⅰ	2		
製図Ⅱ		2	
設計・C A D		1	
交通機設計		1	
制御工学Ⅰ		2	
制御工学Ⅱ		2	
知的制御システム		2	
エンジンⅠ		2	
エンジンⅡ		2	
自動車工学Ⅰ		2	
自動車工学Ⅱ		2	
自動車工学Ⅲ		2	
航空宇宙工学Ⅰ		2	
航空宇宙工学Ⅱ		2	
航空宇宙工学Ⅲ		2	
鉄道車両工学Ⅰ		2	
鉄道車両工学Ⅱ		2	
管理科学		2	
エレクトロニクスⅠ		2	
エレクトロニクスⅡ		2	
計測工学		2	
ハンドエンジニアリング		1	
交通システム実習Ⅰ	1		
交通システム実習Ⅱ		1	
交通システム実験Ⅰ	1		
交通システム実験Ⅱ		1	
ゼミナール	2		
卒業研究	4		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目		46単位
(2) 選択科目	総合基礎部門	16単位以上
	専門教育部門	62単位以上
	計	78単位以上
	合計	124単位以上

4の7（理工学部メカトロニクス工学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
総合基礎部門	英語コミュニケーションⅠ		1	
	英語コミュニケーションⅡ		1	
	英語コミュニケーションⅢ		1	
	英語コミュニケーションⅣ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅠ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅡ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅲ		1	
	ドイツ語Ⅳ		1	
	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	フランス語Ⅲ		1	
	フランス語Ⅳ		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	中国語Ⅲ		1	
	中国語Ⅳ		1	
	体育科学Ⅰ		1	
	体育科学Ⅱ		1	
	体育科学Ⅲ		1	
	体育科学Ⅳ		1	
	人文科学基礎Ⅰ		2	
	人文科学基礎Ⅱ		2	
	社会科学基礎Ⅰ		2	
	社会科学基礎Ⅱ		2	
	アジア文化論Ⅰ		2	
	アジア文化論Ⅱ		2	
	欧米文化論Ⅰ		2	
	欧米文化論Ⅱ		2	
	国際関係論		2	
	文学		2	
	日本国憲法		2	
	国際経済論		2	
	心理学		2	
	基礎ゼミナールⅠ		1	
	基礎ゼミナールⅡ		1	
	職業指導論		2	
	微分積分Ⅰ		2	
	微分積分Ⅱ		2	
	線形代数Ⅰ		2	
	線形代数Ⅱ		2	
	物理学Ⅰ		2	
	物理学Ⅱ		2	
	物理学演習		1	

物理学実験Ⅰ		1	
物理学実験Ⅱ		1	
化学Ⅰ		2	
化学Ⅱ		2	
化学実験Ⅰ		1	
化学実験Ⅱ		1	
地学Ⅰ		2	
地学Ⅱ		2	
地学実験Ⅰ		1	
地学実験Ⅱ		1	
生物学		2	
生物学実験		1	
理工学概論		2	
技術者倫理		2	
コンピューターリテラシー		2	
数学基礎演習Ⅰ			1
数学基礎演習Ⅱ			1
物理学基礎演習Ⅰ			1
物理学基礎演習Ⅱ			1
化学基礎演習Ⅰ			1
化学基礎演習Ⅱ			1
英語基礎演習Ⅰ			1
英語基礎演習Ⅱ			1
メカトロニクス概論		2	
コンピューターアーキテクチャ		2	
電気回路基礎	2		
機械部品と材料	2		
図学	2		
アナログ電子回路	2		
コンピュータープログラミング	2		
メカトロニクス基礎演習Ⅰ	2		
メカトロニクス基礎演習Ⅱ	2		
電子回路と部品		2	
技術日本語	2		
材料力学Ⅰ	2		
機械力学Ⅰ	2		
電磁気学Ⅰ	2		
電気設計・製図	2		
応用数学Ⅰ		2	
機械製図	2		
メカトロニクス要素設計	2		
メカトロニクス実験Ⅰ	2		
メカトロニクス実験Ⅱ	2		
制御工学Ⅰ	2		
制御工学Ⅱ	2		
制御工学Ⅲ	2		
集中演習Ⅰ	2		

集中演習Ⅱ	2		
集中演習Ⅲ	2		
組み込みソフトウェア	2		
信号処理工学	2		
機能再現演習	2		
卒業研究	4		
機構学		2	
デジタル電子回路		2	
コンピューターシミュレーション		2	
流体力学		2	
熱力学		2	
材料力学Ⅱ		2	
機械力学Ⅱ		2	
電磁気学Ⅱ		2	
バイオメカニクス		2	
機械技術者倫理	2		
応用数学Ⅱ		2	
ソフトウェア工学		2	
伝熱工学		2	
機械加工学		2	
医療機械工学		2	
電気機器工学		2	
ネットワーク		2	
自動車工学		2	
ベクトルとキネマティクス		2	
生産管理		2	
生体信号処理		2	
パワーエレクトロニクス		2	
センサ・センシング		2	
技術英語		2	
振動学		2	
C A E		2	
電気法規・施設管理		2	
計測工学		2	
制御工学Ⅳ		2	
インターンシップ		1	

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目		56単位
(2) 選択科目	総合基礎部門	20単位以上
	専門教育部門	48単位以上
	計	68単位以上
	合計	124単位以上

4の8（理工学部社会基盤デザイン工学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目	単位数		
	必修科目	選択科目	自由科目
英語コミュニケーションⅠ		1	

総合基礎部門	英語コミュニケーションⅡ		1	
	英語コミュニケーションⅢ		1	
	英語コミュニケーションⅣ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅠ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅡ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅲ		1	
	ドイツ語Ⅳ		1	
	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	フランス語Ⅲ		1	
	フランス語Ⅳ		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	中国語Ⅲ		1	
	中国語Ⅳ		1	
	体育科学Ⅰ		1	
	体育科学Ⅱ		1	
	体育科学Ⅲ		1	
	体育科学Ⅳ		1	
	人文科学基礎Ⅰ		2	
	人文科学基礎Ⅱ		2	
	社会科学基礎Ⅰ		2	
	社会科学基礎Ⅱ		2	
	アジア文化論Ⅰ		2	
	アジア文化論Ⅱ		2	
	欧米文化論Ⅰ		2	
	欧米文化論Ⅱ		2	
	国際関係論		2	
	文学		2	
	日本国憲法		2	
	国際経済論		2	
	心理学		2	
	基礎ゼミナールⅠ		1	
	基礎ゼミナールⅡ		1	
	職業指導論		2	
	微分積分Ⅰ		2	
	微分積分Ⅱ		2	
	線形代数Ⅰ		2	
	線形代数Ⅱ		2	
	物理学Ⅰ		2	
	物理学Ⅱ		2	
	物理学演習		1	
	物理学実験Ⅰ		1	
	物理学実験Ⅱ		1	
	化学Ⅰ		2	

化学Ⅱ		2	
化学実験Ⅰ		1	
化学実験Ⅱ		1	
地学Ⅰ		2	
地学Ⅱ		2	
地学実験Ⅰ		1	
地学実験Ⅱ		1	
生物学		2	
生物学実験		1	
理工学概論		2	
技術者倫理	2		
コンピューターリテラシー		2	
数学基礎演習Ⅰ			1
数学基礎演習Ⅱ			1
物理学基礎演習Ⅰ			1
物理学基礎演習Ⅱ			1
化学基礎演習Ⅰ			1
化学基礎演習Ⅱ			1
英語基礎演習Ⅰ			1
英語基礎演習Ⅱ			1
応用数学Ⅰ	2		
応用数学Ⅱ		2	
数理統計学		2	
力学基礎	2		
材料力学	2		
プログラミング基礎演習		1	
構造力学Ⅰ	2		
構造力学Ⅱ	2		
構造力学Ⅲ		2	
水理学Ⅰ	2		
水理学Ⅱ	2		
水理学Ⅲ		2	
土質力学Ⅰ	2		
土質力学Ⅱ	2		
土質力学Ⅲ		2	
都市デザイン学		2	
都市・国土制度論	2		
社会基盤計画学Ⅰ	2		
社会基盤計画学Ⅱ		2	
建設材料学	2		
測量学	2		
測量学実習Ⅰ	1		
測量学実習Ⅱ		1	
G I S ・ C I M実習		2	
デザイン学入門	2		
デザイン技法		2	
図学・C A D演習		1	

社会基盤デザインセミナーⅠ	2		
社会プロジェクト特別講義		2	
科学技術英語		2	
交通デザイン学		2	
都市解析学		2	
まちづくり実習		1	
都市経済学		2	
プロジェクトマネジメント		2	
土質・材料試験法		2	
構造・水理実験演習		2	
鋼構造学		2	
コンクリート構造学		2	
建設施工法		2	
施設維持管理論		2	
都市安全学		2	
水文・水資源工学		2	
河川工学		2	
地盤防災工学		2	
地圏環境工学		2	
海域工学		2	
水域環境工学		2	
耐震工学		2	
社会基盤デザインセミナーⅡ	2		
キャリアデザイン		2	
グローバルインターンシップ		1	
社会基盤デザイン総合演習Ⅰ		1	
社会基盤デザイン総合演習Ⅱ		1	
卒業研究	4		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目		39単位
(2) 選択科目	総合基礎部門	20単位以上
	専門教育部門	65単位以上
	計	85単位以上
	合計	124単位以上

4の9（理工学部環境創造工学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
総合	英語コミュニケーションⅠ		1	
	英語コミュニケーションⅡ		1	
	英語コミュニケーションⅢ		1	
	英語コミュニケーションⅣ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅠ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅡ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅲ		1	
	ドイツ語Ⅳ		1	

フランス語Ⅰ		1	
フランス語Ⅱ		1	
フランス語Ⅲ		1	
フランス語Ⅳ		1	
中国語Ⅰ		1	
中国語Ⅱ		1	
中国語Ⅲ		1	
中国語Ⅳ		1	
体育科学Ⅰ		1	
体育科学Ⅱ		1	
体育科学Ⅲ		1	
体育科学Ⅳ		1	
人文科学基礎Ⅰ		2	
人文科学基礎Ⅱ		2	
社会科学基礎Ⅰ		2	
社会科学基礎Ⅱ		2	
アジア文化論Ⅰ		2	
アジア文化論Ⅱ		2	
欧米文化論Ⅰ		2	
欧米文化論Ⅱ		2	
国際関係論		2	
文学		2	
日本国憲法		2	
国際経済論		2	
心理学		2	
基礎ゼミナールⅠ		1	
基礎ゼミナールⅡ		1	
職業指導論		2	
微分積分Ⅰ		2	
微分積分Ⅱ		2	
線形代数Ⅰ		2	
線形代数Ⅱ		2	
物理学Ⅰ		2	
物理学Ⅱ		2	
物理学演習		1	
物理学実験Ⅰ		1	
物理学実験Ⅱ		1	
化学Ⅰ		2	
化学Ⅱ		2	
化学実験Ⅰ		1	
化学実験Ⅱ		1	
地学Ⅰ		2	
地学Ⅱ		2	
地学実験Ⅰ		1	
地学実験Ⅱ		1	
生物学		2	
生物学実験		1	

理工学概論		2	
技術者倫理		2	
コンピューターリテラシー		2	
数学基礎演習Ⅰ			1
数学基礎演習Ⅱ			1
物理学基礎演習Ⅰ			1
物理学基礎演習Ⅱ			1
化学基礎演習Ⅰ			1
化学基礎演習Ⅱ			1
英語基礎演習Ⅰ			1
英語基礎演習Ⅱ			1
環境創造工学概論Ⅰ	2		
環境創造工学概論Ⅱ	2		
コミュニケーションスキル		2	
応用数学		2	
確率統計学		2	
情報処理Ⅰ		2	
情報処理Ⅱ		2	
環境計測学		2	
測量学		2	
測量学実習		2	
地域環境調査実習Ⅰ		1	
地域環境調査実習Ⅱ		1	
環境創造工学実験Ⅰ		2	
環境創造工学実験Ⅱ		2	
エネルギー環境論		2	
省エネルギー学		2	
エネルギー管理工学		2	
環境エネルギー変換工学		2	
エネルギープロセスシステム設計		2	
再生可能エネルギー工学		2	
化学工学		2	
有機材料工学		2	
無機材料合成工学		2	
分離精製工学		2	
環境材料学		2	
材料リサイクル		2	
資源循環学		2	
環境配慮創造設計学		2	
環境保全学		2	
環境分析学		2	
水環境工学		2	
水処理学		2	
基礎生態学		2	
環境生態工学		2	
環境アセスメント		2	
環境共生創造論		2	
流れ工学		2	

環境気象学		2	
環境リモートセンシング		2	
土壌地下水汚染学		2	
デザイン図法		2	
住環境創造設計学		2	
居住環境創造設計学Ⅰ		2	
居住環境創造設計学Ⅱ		2	
空間創造学		2	
環境文化論		2	
アーバンデザイン		3	
環境マネジメント		2	
快適性創造学Ⅰ		2	
快適性創造学Ⅱ		2	
環境創造設備学Ⅰ		2	
環境創造設備学Ⅱ		2	
材料力学		2	
構造力学Ⅰ		2	
構造力学Ⅱ		2	
環境構造設計法		3	
建設施工学		2	
建設法規		2	
環境倫理		2	
環境法		2	
インターンシップ		1	
ゼミナール	2		
卒業研究・卒業制作	4		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目		10単位
(2) 選択科目	総合基礎部門	20単位以上
	専門教育部門	94単位以上
	計	114単位以上
	合計	124単位以上

4の10（理工学部建築学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
総合	英語コミュニケーションⅠ		1	
	英語コミュニケーションⅡ		1	
	英語コミュニケーションⅢ		1	
	英語コミュニケーションⅣ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅠ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅡ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅲ		1	
	ドイツ語Ⅳ		1	
	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	フランス語Ⅲ		1	

フランス語Ⅳ		1	
中国語Ⅰ		1	
中国語Ⅱ		1	
中国語Ⅲ		1	
中国語Ⅳ		1	
体育科学Ⅰ		1	
体育科学Ⅱ		1	
体育科学Ⅲ		1	
体育科学Ⅳ		1	
人文科学基礎Ⅰ		2	
人文科学基礎Ⅱ		2	
社会科学基礎Ⅰ		2	
社会科学基礎Ⅱ		2	
アジア文化論Ⅰ		2	
アジア文化論Ⅱ		2	
欧米文化論Ⅰ		2	
欧米文化論Ⅱ		2	
国際関係論		2	
文学		2	
日本国憲法		2	
国際経済論		2	
心理学		2	
基礎ゼミナールⅠ		1	
基礎ゼミナールⅡ		1	
職業指導論		2	
微分積分Ⅰ		2	
微分積分Ⅱ		2	
線形代数Ⅰ		2	
線形代数Ⅱ		2	
物理学Ⅰ		2	
物理学Ⅱ		2	
物理学演習		1	
物理学実験Ⅰ		1	
物理学実験Ⅱ		1	
化学Ⅰ		2	
化学Ⅱ		2	
化学実験Ⅰ		1	
化学実験Ⅱ		1	
地学Ⅰ		2	
地学Ⅱ		2	
地学実験Ⅰ		1	
地学実験Ⅱ		1	
生物学		2	
生物学実験		1	
理工学概論		2	
技術者倫理		2	
コンピューターリテラシー		2	
数学基礎演習Ⅰ			1
数学基礎演習Ⅱ			1

物理学基礎演習Ⅰ			1
物理学基礎演習Ⅱ			1
化学基礎演習Ⅰ			1
化学基礎演習Ⅱ			1
英語基礎演習Ⅰ			1
英語基礎演習Ⅱ			1
建築計画概論	2		
建築計画Ⅰ		2	
建築計画Ⅱ		2	
建築計画Ⅲ		2	
インテリアデザイン		2	
都市計画		2	
住宅計画論		2	
建築法規行政	2		
地域計画		2	
デザイン基礎Ⅰ		2	
デザイン基礎Ⅱ		2	
CADデザイン		2	
基本空間デザインⅠ		2	
基本空間デザインⅡ		2	
建築デザインⅠ		2	
建築デザインⅡ		2	
建築史概論	2		
西洋建築史		2	
日本建築史		2	
近代建築史		2	
アジア建築史		2	
建築環境概論	2		
建築環境工学		2	
建築環境物理		2	
建築環境計画		2	
建築環境実験		2	
建築設備概論	2		
建築設備工学Ⅰ		2	
建築設備工学Ⅱ		2	
都市環境デザイン		2	
構造力学概論	2		
構造力学Ⅰ	2		
構造力学Ⅱ		2	
構造力学Ⅲ		2	
建築構造概論	2		
建築構造計画	2		
建築構造設計		2	
建築各種構造Ⅰ		2	
建築各種構造Ⅱ		2	
建築構造デザインⅠ		2	
建築構造デザインⅡ		2	
建築構造実験		2	
耐震工学		2	

都市防災		2	
建築材料概論	2		
建築材料		2	
建築材料実験		2	
建築生産概論	2		
建築生産Ⅰ		2	
建築生産Ⅱ		2	
建築維持保全		2	
建築応用数学		2	
ワークショップ		1	
設計総合演習		1	
インターンシップ		1	
ゼミナールⅠ	1		
ゼミナールⅡ	1		
卒業研究・卒業制作	4		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目		28単位
(2) 選択科目	総合基礎部門	20単位以上
	専門教育部門	76単位以上
	計	96単位以上
	合計	124単位以上

5の1（農学部生物資源学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
教養教育部門	世界の歴史と文化		2	
	日本の歴史と文化		2	
	哲学		2	
	心理学		2	
	日本語学		2	
	日本国憲法		2	
	暮らしの中の法律		2	
	政治学		2	
	社会学		2	
	経済学		2	
	宗教の世界		2	
	メディアリテラシー		2	
	地球と宇宙		2	
	生命・食料・環境		2	
	物質の成り立ち		2	
	英語基礎Ⅰ		1	
	英語初級Ⅰ		1	
	英語中級Ⅰ		1	
	英語上級Ⅰ		1	
	英会話基礎Ⅰ		1	
	英会話初級Ⅰ		1	
	英会話中級Ⅰ		1	
	英会話上級Ⅰ		1	
	英語基礎Ⅱ		1	
	英語初級Ⅱ		1	
	英語中級Ⅱ		1	
	英語上級Ⅱ		1	
	英会話基礎Ⅱ		1	
	英会話初級Ⅱ		1	
	英会話中級Ⅱ		1	
	英会話上級Ⅱ		1	
	英語基礎Ⅲ		1	
	英語初級Ⅲ		1	
	英語中級Ⅲ		1	
	英語上級Ⅲ		1	
	英会話基礎Ⅲ		1	
	英会話初級Ⅲ		1	
	英会話中級Ⅲ		1	
	英会話上級Ⅲ		1	
	英語基礎Ⅳ		1	
	英語初級Ⅳ		1	

英語中級Ⅳ		1	
英語上級Ⅳ		1	
英会話基礎Ⅳ		1	
英会話初級Ⅳ		1	
英会話中級Ⅳ		1	
英会話上級Ⅳ		1	
中国語Ⅰ		1	
中国語Ⅱ		1	
ドイツ語Ⅰ		1	
ドイツ語Ⅱ		1	
フランス語Ⅰ		1	
フランス語Ⅱ		1	
海外語学研修Ⅰ		1	
海外語学研修Ⅱ		1	
情報機器の操作Ⅰ		1	
情報機器の操作Ⅱ		1	
情報機器の操作Ⅲ		1	
健康・スポーツ科学Ⅰ		1	
健康・スポーツ科学Ⅱ		1	
健康・スポーツ科学Ⅲ		1	
健康・スポーツ科学Ⅳ		2	
健康・スポーツ科学Ⅴ		1	
インターンシップⅠ		1	
インターンシップⅡ		1	
職業指導論		2	
キャリアデザイン学		2	
生物学Ⅰ		2	
生物学Ⅱ		2	
生物学実験	1		
化学Ⅰ		2	
化学Ⅱ		2	
化学実験		1	
物理学		2	
物理学実験		1	
地学		2	
地学実験		1	
数学		2	
情報科学		2	
科学英語Ⅰ		1	
科学英語Ⅱ		1	
生物資源学概説	2		
作物生産科学	2		
園芸学	2		
生物化学Ⅰ	2		
生物化学Ⅱ		2	

農場実習Ⅰ	1		
農場実習Ⅱ	1		
農場実習Ⅲ		1	
農場実習Ⅳ		1	
食用作物学Ⅰ	2		
食用作物学Ⅱ		2	
遺伝学	2		
植物病理学	2		
基礎昆虫学	2		
応用昆虫学		2	
生物生産経営学	2		
生物資源学実験Ⅰ	1		
生物資源学実験Ⅱ	3		
作物学実験		1	
園芸学実験		1	
遺伝育種学実験		1	
生物生産経営学演習		1	
植物病理学実験		1	
昆虫学実験		1	
フィールド生産科学実験		1	
ゼミナールⅠ	1		
ゼミナールⅡ	2		
卒業研究	6		
植物分類・形態学		2	
動物分類・形態学		2	
微生物学		2	
生物資源経済学		2	
有機化学		2	
生物資源統計学		2	
果樹園芸学		2	
野菜園芸学		2	
花き園芸学		2	
植物生理学		2	
細胞生物学		2	
育種学		2	
青果保蔵学		2	
施設園芸学		2	
土壌学		2	
養分動態学		2	
資源作物学		2	
雑草学		2	
植物細胞工学		2	
分子生物学		2	
農業環境微生物学		2	
植物感染制御学		2	
農薬学		2	

食品経済学		2	
国際農産物市場論		2	
GAP概論		1	
GAP実践講座		1	
食品科学		2	
動物生産学		2	
生物資源学特別講義Ⅰ		2	
生物資源学特別講義Ⅱ		2	
生物資源学特別講義Ⅲ		2	
フィールド生産科学		2	
果樹生産・加工品学		2	
農学特別講義Ⅰ		2	
農学特別講義Ⅱ		2	

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目		34単位
(2) 選択科目	教養教育部門	26単位以上
	専門教育部門	64単位以上
	計	90単位以上
	合 計	124単位以上

5の2 (農学部応用生物化学科)

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
教養教育部門	世界の歴史と文化		2	
	日本の歴史と文化		2	
	哲学		2	
	心理学		2	
	日本語学		2	
	日本国憲法		2	
	暮らしの中の法律		2	
	政治学		2	
	社会学		2	
	経済学		2	
	宗教の世界		2	
	メディアリテラシー		2	
	地球と宇宙		2	
	生命・食料・環境		2	
	物質の成り立ち		2	
	英語基礎Ⅰ		1	
	英語初級Ⅰ		1	
	英語中級Ⅰ		1	
	英語上級Ⅰ		1	
	英会話基礎Ⅰ		1	
	英会話初級Ⅰ		1	
	英会話中級Ⅰ		1	

英会話上級Ⅰ		1	
英語基礎Ⅱ		1	
英語初級Ⅱ		1	
英語中級Ⅱ		1	
英語上級Ⅱ		1	
英会話基礎Ⅱ		1	
英会話初級Ⅱ		1	
英会話中級Ⅱ		1	
英会話上級Ⅱ		1	
英語基礎Ⅲ		1	
英語初級Ⅲ		1	
英語中級Ⅲ		1	
英語上級Ⅲ		1	
英会話基礎Ⅲ		1	
英会話初級Ⅲ		1	
英会話中級Ⅲ		1	
英会話上級Ⅲ		1	
英語基礎Ⅳ		1	
英語初級Ⅳ		1	
英語中級Ⅳ		1	
英語上級Ⅳ		1	
英会話基礎Ⅳ		1	
英会話初級Ⅳ		1	
英会話中級Ⅳ		1	
英会話上級Ⅳ		1	
中国語Ⅰ		1	
中国語Ⅱ		1	
ドイツ語Ⅰ		1	
ドイツ語Ⅱ		1	
フランス語Ⅰ		1	
フランス語Ⅱ		1	
海外語学研修Ⅰ		1	
海外語学研修Ⅱ		1	
情報機器の操作Ⅰ		1	
情報機器の操作Ⅱ		1	
情報機器の操作Ⅲ		1	
健康・スポーツ科学Ⅰ		1	
健康・スポーツ科学Ⅱ		1	
健康・スポーツ科学Ⅲ		1	
健康・スポーツ科学Ⅳ		2	
健康・スポーツ科学Ⅴ		1	
インターンシップⅠ		1	
インターンシップⅡ		1	
職業指導論		2	

専門 科目	キャリアデザイン学		2	
	生物学Ⅰ		2	
	生物学Ⅱ		2	
	生物学実験		1	
	化学Ⅰ		2	
	化学Ⅱ		2	
	化学実験		1	
	物理学		2	
	物理学実験		1	
	地学		2	
	地学実験		1	
	数学		2	
	情報科学		2	
	科学英語Ⅰ		1	
	科学英語Ⅱ		1	
	応用生物化学概説	2		
	分析化学	2		
	有機化学Ⅰ	2		
	有機化学Ⅱ	2		
	生物化学Ⅰ	2		
	生物化学Ⅱ	2		
	物理化学Ⅰ	2		
	物理化学Ⅱ	2		
	微生物学Ⅰ	2		
	微生物学Ⅱ	2		
	栄養科学Ⅰ	2		
	栄養科学Ⅱ	2		
	畜産食品製造科学Ⅰ	2		
	畜産食品製造科学Ⅱ	2		
	農薬科学Ⅰ	2		
	農薬科学Ⅱ	2		
	応用生物化学実験Ⅰ	1		
	応用生物化学実験Ⅱ	1		
	応用生物化学実験Ⅲ	1		
	応用生物化学実験Ⅳ	1		
	応用生物化学実験Ⅴ	1		
	応用生物化学実験Ⅵ	1		
	応用生物化学実験Ⅶ	1		
	機器分析化学	2		
	食品安全・衛生学	2		
	ゼミナールⅠ	1		
	ゼミナールⅡ	2		
	卒業研究	6		
	植物生命科学		2	
	無機化学Ⅰ		2	
	無機化学Ⅱ		2	

教育部門

食品化学総論		2	
食物文化論		2	
細胞生物学		2	
農場実習		1	
統計学		2	
代謝生化学		2	
バイオテクノロジー		2	
微生物利用学		2	
食品原料学		2	
畜産食品原料学		2	
食品利用学		2	
生物有機化学		2	
天然物有機化学		2	
生物物理化学		2	
食品加工実習		1	
香粧品化学		2	
食品・環境関連法規		2	
公衆衛生学		2	
動物生命科学		2	
分子生物学		2	
醸造・発酵科学		2	
タンパク質・遺伝子工学		2	
食品機能学Ⅰ		2	
食品機能学Ⅱ		2	
食品保蔵学		2	
生物制御化学		2	
高分子レオロジー		2	
化学工学		2	
応用生物化学特別講義Ⅰ		2	
応用生物化学特別講義Ⅱ		2	
フィールド生産科学		2	
果樹生産・加工品学		2	
農学特別講義Ⅰ		2	
農学特別講義Ⅱ		2	

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目		52単位
(2) 選択科目	教養教育部門	26単位以上
	専門教育部門	46単位以上
	計	72単位以上
	合 計	124単位以上

5の3 (農学部生物環境科学科)

① 授業科目及び単位数

授業科目	単位数		
	必修科目	選択科目	自由科目
世界の歴史と文化		2	
日本の歴史と文化		2	

哲学		2	
心理学		2	
日本語学		2	
日本国憲法		2	
暮らしの中の法律		2	
政治学		2	
社会学		2	
経済学		2	
宗教の世界		2	
メディアリテラシー		2	
地球と宇宙		2	
生命・食料・環境		2	
物質の成り立ち		2	
英語基礎Ⅰ		1	
英語初級Ⅰ		1	
英語中級Ⅰ		1	
英語上級Ⅰ		1	
英会話基礎Ⅰ		1	
英会話初級Ⅰ		1	
英会話中級Ⅰ		1	
英会話上級Ⅰ		1	
英語基礎Ⅱ		1	
英語初級Ⅱ		1	
英語中級Ⅱ		1	
英語上級Ⅱ		1	
英会話基礎Ⅱ		1	
英会話初級Ⅱ		1	
英会話中級Ⅱ		1	
英会話上級Ⅱ		1	
英語基礎Ⅲ		1	
英語初級Ⅲ		1	
英語中級Ⅲ		1	
英語上級Ⅲ		1	
英会話基礎Ⅲ		1	
英会話初級Ⅲ		1	
英会話中級Ⅲ		1	
英会話上級Ⅲ		1	
英語基礎Ⅳ		1	
英語初級Ⅳ		1	
英語中級Ⅳ		1	
英語上級Ⅳ		1	
英会話基礎Ⅳ		1	
英会話初級Ⅳ		1	
英会話中級Ⅳ		1	

英会話上級Ⅳ		1	
中国語Ⅰ		1	
中国語Ⅱ		1	
ドイツ語Ⅰ		1	
ドイツ語Ⅱ		1	
フランス語Ⅰ		1	
フランス語Ⅱ		1	
海外語学研修Ⅰ		1	
海外語学研修Ⅱ		1	
情報機器の操作Ⅰ		1	
情報機器の操作Ⅱ		1	
情報機器の操作Ⅲ		1	
健康・スポーツ科学Ⅰ		1	
健康・スポーツ科学Ⅱ		1	
健康・スポーツ科学Ⅲ		1	
健康・スポーツ科学Ⅳ		2	
健康・スポーツ科学Ⅴ		1	
インターンシップⅠ		1	
インターンシップⅡ		1	
職業指導論		2	
キャリアデザイン学		2	
生物学Ⅰ		2	
生物学Ⅱ		2	
生物学実験		1	
化学Ⅰ		2	
化学Ⅱ		2	
化学実験		1	
物理学		2	
物理学実験		1	
地学		2	
地学実験		1	
数学		2	
情報科学		2	
科学英語Ⅰ		1	
科学英語Ⅱ		1	
生物環境科学概説	2		
生態学	2		
環境化学基礎	2		
環境化学基礎演習	1		
科学論文作成演習	1		
生物環境科学実習	2		
生物化学Ⅰ		2	
生物化学Ⅱ		2	
有機化学		2	

分子生物学		2	
進化生物学		2	
無機化学		2	
生物統計学		2	
生物保全学実験・実習	1		
緑地創造学実験・実習	1		
環境化学実験	1		
生物機能調節科学実験	1		
生物環境科学実験	1		
ゼミナールⅠ	1		
ゼミナールⅡ	2		
卒業研究	6		
植物分類学		2	
農場実習		1	
保全植物学		2	
環境動物学		2	
森林生態学		2	
ランドスケープ・デザイン学		2	
緑地環境学		2	
植物生命化学		2	
植物栄養学		2	
物質循環論		2	
土壌学		2	
環境分析化学		2	
水圏環境化学		2	
微生物学		2	
環境微生物学		2	
動物環境生理学		2	
野生動物管理論		2	
植物繁殖生態学		2	
景観保全論		2	
緑地植物学		2	
樹木医学		2	
環境法		2	
環境アセス論		2	
植物生理学		2	
植物機能科学		2	
環境土壌学		2	
養分動態学		2	
機器分析化学		2	
細胞分子生物学		2	
植物環境適応論		2	
生物環境科学特別講義Ⅰ		2	
生物環境科学特別講義Ⅱ		2	
生物環境科学特別講義Ⅲ		2	
フィールド生産科学		2	

果樹生産・加工品学		2	
農学特別講義Ⅰ		2	
農学特別講義Ⅱ		2	

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目		24単位
(2) 選択科目	教養教育部門	26単位以上
	専門教育部門	74単位以上
	計	100単位以上
	合 計	124単位以上

6（薬学部薬学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目			単位数		
			必修科目	選択科目	自由科目
教養教育部門	科目群	人間と環境		2	
	教養教育科目群	心の科学		2	
		経営と社会		2	
		法と社会		2	
		芸術文化論		2	
		ジェンダーと社会		2	
		数と論理		2	
		情報活用リテラシー		2	
		コンピュータリテラシー		2	
		教養演習Ⅰ		2	
		教養演習Ⅱ		2	
	薬学準備教育科目群	基礎物理	1.5		
		基礎化学	1.5		
		基礎生物	1.5		
		薬剤師の使命Ⅰ	1.5		
		薬剤師の使命Ⅱ	1.5		
		薬学概論Ⅰ	1		
		薬学概論Ⅱ	1		
		コミュニケーション基礎	1		
		キャリア形成	1		
		入門実験	1		
	語学科目群	英語初級Ⅰ－Ⅰ（リーディング）		1	
		英語初級Ⅰ－Ⅰ（コミュニケーション）		1	
		英語初級Ⅰ－Ⅱ（リーディング）		1	
		英語初級Ⅰ－Ⅱ（コミュニケーション）		1	
		英語初級Ⅱ－Ⅰ（リーディング）		1	
		英語初級Ⅱ－Ⅰ（コミュニケーション）		1	
		英語初級Ⅱ－Ⅱ（リーディング）		1	
		英語初級Ⅱ－Ⅱ（コミュニケーション）		1	
		英語中級Ⅰ（リーディング）		1	
		英語中級Ⅰ（コミュニケーション）		1	
		英語中級Ⅱ（リーディング）		1	
		英語中級Ⅱ（コミュニケーション）		1	
	健康・スポーツ科学科目群	健康・スポーツ科学Ⅰ	1		
		健康・スポーツ科学Ⅱ	1		
		健康・スポーツ科学Ⅲ		1	
		健康・スポーツ科学Ⅳ		1	
		健康・スポーツ科学理論		2	
		物理化学Ⅰ	1.5		
		物理化学Ⅱ	1.5		

基礎有機化学	1.5		
有機薬化学Ⅰ	1.5		
有機薬化学Ⅱ	1.5		
有機薬化学Ⅲ	1.5		
機能形態学Ⅰ	1.5		
機能形態学Ⅱ	1.5		
機能形態学Ⅲ	1.5		
生化学Ⅰ	1.5		
生化学Ⅱ	1.5		
生化学Ⅲ	1.5		
薬学英语Ⅰ	1.5		
薬学英语Ⅱ	1.5		
薬局方試験法	1.5		
医薬資源化学	1.5		
微生物学	1.5		
分子生物学Ⅰ	1.5		
分子生物学Ⅱ	1.5		
社会保障と医療経済	1.5		
薬用植物と生薬	1.5		
構造解析学	1.5		
免疫学	1.5		
薬物動態学Ⅰ	1.5		
薬物動態学Ⅱ	1.5		
薬の作用	1.5		
製剤学Ⅰ	1.5		
製剤学Ⅱ	1.5		
分析化学	1.5		
生物有機化学	1.5		
感染予防学	1.5		
公衆衛生学	1.5		
衛生化学Ⅰ	1.5		
衛生化学Ⅱ	1.5		
薬理・病態Ⅰ	1.5		
薬理・病態Ⅱ	1.5		
薬理・病態Ⅲ	1.5		
薬理・病態Ⅳ	1.5		
薬理・病態Ⅴ	1.5		
薬理・病態Ⅵ	1.5		
身体変化のメカニズム	1.5		
異常値のメカニズム	1.5		
薬剤学	1.5		
環境科学	1.5		
医薬品情報学	1.5		
製剤設計学	1.5		
医療法規	1.5		
和漢医薬学	1.5		

	薬物投与設計	1.5		
	セルフメディケーション・医療統計	1.5		
	化学療法・緩和医療	1.5		
	放射科学	1.5		
	臨床心理・倫理学		1.5	
	栄養学		1.5	
	臨床コミュニケーション		1.5	
実 習 科 目 群	分析系基礎実習（分析化学）	0.5		
	分析系基礎実習（生化学）	0.5		
	化学系基礎実習（有機化学Ⅰ）	0.5		
	化学系基礎実習（有機化学Ⅱ）	0.5		
	生物系基礎実習（生理学）	0.5		
	生物系基礎実習（微生物学）	0.5		
	化学系応用実習（有機化学Ⅲ）	0.5		
	化学系応用実習（天然物化学・生薬）	0.5		
	生物系応用実習（薬理Ⅰ）	0.5		
	生物系応用実習（薬理Ⅱ）	0.5		
	物理系基礎実習（物理化学）	0.5		
	物理系基礎実習（製剤）	0.5		
	分析系応用実習（環境科学）	0.5		
	分析系応用実習（衛生化学）	0.5		
	物理系応用実習（薬剤）	0.5		
	物理系応用実習（医薬品情報）	0.5		
	病院実務実習	10		
	薬局実務実習	10		
	基礎化学演習		0.5	
	基礎生物演習		0.5	
	基礎物理演習		0.5	
	物理化学Ⅰ演習		0.5	
	物理化学Ⅱ演習		0.5	
	基礎有機化学演習		0.5	
	有機薬化学Ⅰ演習		0.5	
	有機薬化学Ⅱ演習		0.5	
	有機薬化学Ⅲ演習		0.5	
	機能形態学Ⅰ演習		0.5	
	機能形態学Ⅱ演習		0.5	
	機能形態学Ⅲ演習		0.5	
	生化学Ⅰ演習		0.5	
	生化学Ⅱ演習		0.5	
	生化学Ⅲ演習		0.5	
	薬学英语Ⅰ演習		0.5	
	薬学英语Ⅱ演習		0.5	
	薬局方試験法演習		0.5	
	医薬資源化学演習		0.5	
	微生物学演習		0.5	
	分子生物学Ⅰ演習		0.5	

アドバンスト演習科目群

分子生物学Ⅱ演習		0.5	
社会保障と医療経済演習		0.5	
薬用植物と生薬演習		0.5	
構造解析学演習		0.5	
免疫学演習		0.5	
薬物動態学Ⅰ演習		0.5	
薬物動態学Ⅱ演習		0.5	
薬の作用演習		0.5	
製剤学Ⅰ演習		0.5	
製剤学Ⅱ演習		0.5	
分析化学演習		0.5	
生物有機化学演習		0.5	
感染予防学演習		0.5	
公衆衛生学演習		0.5	
衛生化学Ⅰ演習		0.5	
衛生化学Ⅱ演習		0.5	
薬理・病態Ⅰ演習		0.5	
薬理・病態Ⅱ演習		0.5	
薬理・病態Ⅲ演習		0.5	
薬理・病態Ⅳ演習		0.5	
薬理・病態Ⅴ演習		0.5	
薬理・病態Ⅵ演習		0.5	
身体変化のメカニズム演習		0.5	
異常値のメカニズム演習		0.5	
薬剤学演習		0.5	
環境科学演習		0.5	
医薬品情報学演習		0.5	
製剤設計学演習		0.5	
医療法規演習		0.5	
応用演習 1 (機能形態学Ⅰ／Ⅱ)		0.5	
応用演習 2 (生化学Ⅰ／Ⅱ)		0.5	
応用演習 3 (物理化学Ⅰ／Ⅱ)		0.5	
応用演習 4 (分析化学)		0.5	
応用演習 5 (医薬資源化学／薬用植物と生薬)		0.5	
応用演習 6 (基礎有機化学／有機薬化学Ⅰ)		0.5	
応用演習 7 (機能形態学Ⅲ)		0.5	
応用演習 8 (生化学Ⅲ)		0.5	
応用演習 9 (薬局方試験法／構造解析学)		0.5	
応用演習 10 (分子生物学Ⅰ／Ⅱ)		0.5	
応用演習 11 (微生物学／免疫学)		0.5	
応用演習 12 (異常値／身体変化のメカニズム)		0.5	
応用演習 13 (有機薬化学Ⅱ／Ⅲ)		0.5	
応用演習 14 (環境科学／公衆衛生学)		0.5	
応用演習 15 (薬の作用／薬理・病態Ⅰ)		0.5	
応用演習 16 (薬物動態学Ⅰ／Ⅱ)		0.5	
応用演習 17 (製剤学Ⅰ／Ⅱ)		0.5	

		応用演習 1 8 (生物有機化学／製剤設計学)		0.5	
		応用演習 1 9 (衛生化学 I／II)		0.5	
		応用演習 2 0 (薬理・病態IV／感染予防学)		0.5	
		応用演習 2 1 (薬剤学／医薬品情報学)		0.5	
		応用演習 2 2 (薬理・病態II／III)		0.5	
		応用演習 2 3 (薬理・病態V／VI)		0.5	
統合型薬学 教育部門		薬物治療マネジメント	10		
		基礎薬学総論	3		
		実務実習事前講義・演習	4		
		薬学特別講義	3		
		薬学特別演習		3	
薬学アドバンスト教育部門	実践薬学科目群	発展キャリア形成 1 (物理・分析系)		1	
		発展キャリア形成 2 (化学系)		1	
		発展キャリア形成 3 (生物系)		1	
		発展キャリア形成 4 (衛生系)		1	
		発展キャリア形成 5 (薬理病態系)		1	
		発展キャリア形成 6 (薬剤製剤系)		1	
		発展キャリア形成 7 (プロフェッショナリズム)		1	
		医療の最前線		1	
		薬剤師の専門性		1	
		エクスターンシップ		1	
		多職種連携		0.5	
		医療を知る		1	
		臨床栄養療法学		1	
		医療英語コミュニケーション		1	
		セルフケア・介護		1	
		救命救急・院内感染予防		1	
		運動療法		1	
		医薬品開発論		1	
	薬学研究科目群	薬学卒業研究基礎	3		
		薬学卒業研究 I	5		
		薬学卒業研究 II	5		
		薬学卒業演習 I		1	
		薬学卒業応用演習 I		1	
		薬学卒業演習 II		1	
		薬学卒業応用演習 II		1	

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目	教養教育部門	14.5単位
	専門薬学教育部門	
	基幹科目群	78単位
	実習科目群	28単位
	統合型薬学教育部門	20単位
	薬学アドバンスト教育部門	
	薬学研究科目群	13単位
	計	153.5単位
(2) 選択科目	教養教育部門	23単位以上

専門薬学教育部門	
基幹科目群	3単位以上
アドバンスト演習科目群	6.5単位以上
薬学アドバンスト教育部門	
実践薬学科目群	8単位以上
薬学研究科目群	2単位以上
計	42.5単位以上
合 計	196単位以上

7 (都市情報学部都市情報学科)

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
教養教育部門	歴史と文化		2	
	芸術文化論		2	
	世界遺産とツーリズム		2	
	アジア文化論		2	
	文化人類学の世界		2	
	哲学		2	
	心の科学		2	
	宗教の世界		2	
	日本国憲法		2	
	法と社会		2	
	経済と社会		2	
	経営と社会		2	
	政治と社会		2	
	国際化時代の人間と社会		2	
	社会学		2	
	都市と人間		2	
	ジェンダーと社会		2	
	人間と社会の演習		2	
	数と論理		2	
	現象と論理		2	
	人間と環境		2	
	英語基礎Ⅰ (リーディング)		1	
	英語基礎Ⅰ (コミュニケーション)		1	
	英語基礎Ⅱ (リーディング)		1	
	英語基礎Ⅱ (コミュニケーション)		1	
	英語初級Ⅰ－Ⅰ (リーディング)		1	
	英語初級Ⅰ－Ⅰ (コミュニケーション)		1	
	英語初級Ⅰ－Ⅱ (リーディング)		1	
	英語初級Ⅰ－Ⅱ (コミュニケーション)		1	
	英語初級Ⅱ－Ⅰ (リーディング)		1	
	英語初級Ⅱ－Ⅰ (コミュニケーション)		1	
	英語初級Ⅱ－Ⅱ (リーディング)		1	
	英語初級Ⅱ－Ⅱ (コミュニケーション)		1	
	フランス語入門Ⅰ		1	
	フランス語入門Ⅱ		1	
	フランス語初級Ⅰ		1	
	フランス語初級Ⅱ		1	
	ドイツ語入門Ⅰ		1	
	ドイツ語入門Ⅱ		1	
	ドイツ語初級Ⅰ		1	
	ドイツ語初級Ⅱ		1	
	コンピュータリテラシー		2	

		コンピュータシステム		2	
		プログラミング入門		2	
		情報社会と倫理		2	
		健康・スポーツ科学Ⅰ		1	
		健康・スポーツ科学Ⅱ		1	
		健康科学論Ⅰ		2	
		健康科学論Ⅱ		2	
		教養演習		2	
専 門 基 礎 部 門		都市情報学概論Ⅰ	2		
		都市情報学概論Ⅱ	2		
		都市学英語Ⅰ	1		
		都市学英語Ⅱ	1		
		情報管理の基礎	2		
		情報管理の応用	2		
		情報処理の基礎	2		
		情報処理の応用	2		
		コンピュータ演習Ⅰ（リテラシー）	2		
		コンピュータ演習Ⅱ（基礎プログラミング）	2		
		コンピュータ演習Ⅲ（オペレーティングシステム）	2		
		コンピュータ演習Ⅳ（応用プログラミング）	2		
		コンピュータ演習Ⅴ（プレゼンテーション）		2	
		コンピュータ演習Ⅵ（データベース）		2	
		情報とビジネス		2	
		ユビキタスと社会		2	
		都市と文化		2	
		都市の構造		2	
		数学の基礎A－Ⅰ		2	
		数学の基礎A－Ⅱ		2	
		数学の基礎B－Ⅰ		2	
		数学の基礎B－Ⅱ		2	
	経 済 ・ 経 営	都市の経済		2	
		企業の経営		2	
		事業のマネジメント		2	
		企業の経済		2	
		企業の会計		2	
		経済の政策		2	
		都市と社会		2	
		経済と地理		2	
		貨幣の経済		2	
		都市と金融		2	
		観光のサービス		2	
	財 政 ・ 行 政	都市と行政		2	
		都市と財政		2	
		地方と財政		2	
		都市と自治		2	
		都市と社会保障		2	

専門部門

		都市と福祉		2	
		公共の政策		2	
		観光の政策		2	
		都市と公企業		2	
		都市と国際関係		2	
		国際社会と政治		2	
地域計画		都市の計画		2	
		都市のデザイン		2	
		都市の再生		2	
		防災とまちづくり		2	
		交通の計画		2	
		交通とまちづくり		2	
		水利用の計画		2	
		水環境とまちづくり		2	
		観光と産業		2	
		観光とまちづくり		2	
開発・環境		都市の環境		2	
		都市と事業構想		2	
		国際化と地域開発		2	
		環境の政策		2	
		プロジェクトの評価		2	
		都市と生態環境		2	
		地域環境の保全		2	
		観光の資源		2	
情報・数理		データ分析と確率		2	
		データ分析と統計		2	
		情報と基礎解析		2	
		情報と応用解析		2	
		計画の数理		2	
		意思決定の数理		2	
		評価のOR		2	
		経営のOR		2	
		数理と情報処理		2	
		知識と情報処理		2	
		画像と情報処理		2	
		図形と情報処理		2	
		視環境と情報処理		2	
		認知と情報処理		2	
		知覚情報と脳の働き		2	
		都市生活とストレス		2	
総合科目		コンピュータ総合演習Ⅰ		2	
		コンピュータ総合演習Ⅱ		2	
		データサイエンス		2	
		フィールド調査の方法		2	
		キャリアアップ講座Ⅰ		2	
		キャリアアップ講座Ⅱ		2	

	インターンシップⅠ		1	
	インターンシップⅡ		1	
	異文化コミュニケーション		1	
	ゼミナール	8		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目	専門基礎部門	22単位
	専門部門	8単位
	計	30単位
(2) 選択科目	教養教育部門	32単位以上
	専門基礎部門	8単位以上
	専門部門	54単位以上
	計	94単位以上
	合 計	124単位以上

8（人間学部人間学科）

① 授業科目及び単位数

授業科目			単位数		
			必修科目	選択科目	自由科目
教養教育部門	科基 目軸	現代に生きる		2	
	人間と文化	歴史と文化		2	
		文学と人間		2	
		芸術文化論		2	
		欧米文化論		2	
		アジア文化論		2	
		文化人類学の世界		2	
		哲学		2	
		宗教の世界		2	
	人間と社会	日本国憲法		2	
		法と社会		2	
		経済と社会		2	
		政治と社会		2	
		自己と社会		2	
		都市と人間		2	
		ジェンダーと社会		2	
	自然と環境	地球と宇宙		2	
		物質の成り立ち		2	
		生命の多様性		2	
		数と論理		2	
		人間とデザイン		2	
	言語コミュニケーション	英語基礎Ⅰ（リーディング）	1		
		英語基礎Ⅱ（リスニング）	1		
		英語初級Ⅰ－Ⅰ（リーディング）	1		
		英語初級Ⅰ－Ⅱ（リスニング）	1		
		英語初級Ⅱ－Ⅰ（リーディング）	1		
		英語初級Ⅱ－Ⅱ（リスニング）	1		
		英語中級Ⅰ（リーディング）	1		
		英語中級Ⅱ（リスニング）	1		
		フランス語入門		1	
		フランス語応用		1	
		ドイツ語入門		1	
		ドイツ語応用		1	
		中国語入門		1	
		中国語応用		1	
		ハングル入門		1	
		ハングル応用		1	
		スペイン語入門		1	
		スペイン語応用		1	
	情報技術	コンピュータリテラシー		2	
		情報活用リテラシー		2	
		情報処理入門		2	
		情報社会と倫理		2	

	ポ ー ツ 科 学	健康・スポーツ科学 I		1	
		健康・スポーツ科学 II		1	
	演 習	教養演習		2	
	デ ザ イ ン	キャリア形成論	2		
	基 礎 科 目	人間学総論	2		
		心理学概論	2		
		社会学概論	2		
		国際コミュニケーション概論	2		
		生命倫理入門		2	
		環境人間学		2	
		データ解析入門		2	
	心 理 系	発達心理学		2	
		感情・人格心理学		2	
		教育心理学		2	
		生徒・進路指導論		2	
		臨床心理学概論		2	
		社会・集団・家族心理学		2	
		知覚・認知心理学		2	
		学習・言語心理学		2	
		学校教育相談		2	
		教育・学校心理学		2	
		心理学研究法		2	
		心理学統計法		2	
		心理学実験演習		2	
		福祉心理学		2	
		健康・医療心理学		2	
		障害者・障害児心理学		2	
		心理的アセスメント		2	
		心理学的支援法		2	
		産業・組織心理学		2	
		司法・犯罪心理学		2	
		神経・生理心理学		2	
		人体の構造と機能及び疾病		2	
		特別支援教育論		2	
		精神疾患とその治療		2	
		心理演習		2	
		特殊講義 A		2	
		公認心理師の職責			2
		関係行政論			2
		心理実習			2
		現代社会論		2	
		家族社会学		2	
		教育学概論		2	

地域文化論		2	
環境社会学		2	
社会福祉論		2	
政治学		2	
学習社会論		2	
学校教育論		2	
教育行政論		2	
教育社会学		2	
道德教育論		2	
日本文化史		2	
西洋文化史		2	
ジャーナリズム論		2	
社会調査法		2	
人口社会学		2	
日本社会史		2	
西洋社会史		2	
西洋芸術史		2	
都市文明史		2	
教育史		2	
地域教育論		2	
現代メディア論		2	
日本史		2	
外国史		2	
自然地理学		2	
地理学		2	
地誌学		2	
社会科教材デザイン論		2	
特殊講義B		2	
国際関係論		2	
国際文化論		2	
コミュニケーション論		2	
言語文化論		2	
イングリッシュ・コミュニケーション		2	
英語音声学		2	
英語文学史		2	
異文化理解		2	
国際協力論		2	
英語圏文化研究		2	
地域研究		2	
国際コミュニケーション		2	
ビジネス・コミュニケーション		2	
プレゼンテーション		2	
メディア・イングリッシュ		2	
インテンシブ・イングリッシュ		2	
パラグラフ・ライティング		2	
リスニング・コミュニケーションスキル I		1	
リーディング・ライティングスキル I		1	

	国際・コミュニケーション系	英語学		2	
		英語史		2	
		英語文学概論		2	
		英語文学講読		2	
		フランス語圏文学論		2	
		異文化コミュニケーション		2	
		国際組織論		2	
		多文化社会論		2	
		比較文化論		2	
		比較言語論		2	
		社会言語学		2	
		エッセイ・ライティング		2	
		リスニング・コミュニケーションスキルⅡ		1	
		リーディング・ライティングスキルⅡ		1	
		英語文化表現		2	
		英語文学研究		2	
		英語科教材デザイン論		2	
		リスニング・コミュニケーションスキルⅢ		1	
		リーディング・ライティングスキルⅢ		1	
		特殊講義C		2	
	体験科目	フィールドワーク入門		2	
		ボランティア入門		2	
		海外体験入門		2	
		語学研修		2	
		フィールドワーク		2	
		ボランティア		2	
		インターンシップ		2	
		海外研修		4	
		海外インターンシップ		4	
	文献講読	文献講読A	2		
		文献講読B		2	
	ゼミナール	基礎ゼミナール	2		
		基幹ゼミナール	2		
		卒業研究ゼミナール	4		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目	教養教育部門	10単位
	専門教育部門	18単位
	計	28単位
(2) 選択科目	教養教育部門	20単位以上
	専門教育部門	76単位以上
	計	96単位以上
	合 計	124単位以上

9 (外国語学部国際英語学科)

① 授業科目及び単位数

授業科目			単位数		
			必修科目	選択科目	自由科目
教養教育部門	科基軸	現代に生きる		2	
	発展科目	歴史と文化		2	
		芸術と人間		2	
		哲学		2	
		心の科学		2	
		文化人類学		2	
		日本国憲法		2	
		経済学		2	
		市民と社会		2	
		ジェンダーと社会		2	
		科学と技術の歩み		2	
		海外留学入門		2	
		人間と自然		2	
		地球と宇宙		2	
		生命の多様性		2	
		数と論理		2	
	情報科目教育	コンピュータリテラシー		2	
		ウェブデザイン		2	
		情報社会と倫理	2		
	科体育	健康・スポーツ科学Ⅰ		1	
		健康・スポーツ科学Ⅱ		1	
	キャリア科目ア	キャリア形成論		2	
		インターンシップ		2	
		日本とグローバル人材		2	
		英語コミュニケーションⅠ(基礎1)	2		
		英語コミュニケーションⅡ(基礎2)	2		
		英語コミュニケーションⅢ(応用1)	2		
		英語コミュニケーションⅣ(応用2)	2		
		英語コミュニケーションⅤ(発展)	2		
		英語リーディングⅠ(基礎1)	1		
		英語リーディングⅡ(基礎2)	1		
		英語リーディングⅢ(応用1)	1		
		英語リーディングⅣ(応用2)	1		
		英語リーディングⅤ(発展)	1		
		英語ライティングⅠ(基礎1)	1		
		英語ライティングⅡ(基礎2)	1		
		英語ライティングⅢ(応用1)	1		
		英語ライティングⅣ(応用2)	1		
		英語ライティングⅤ(発展)	1		
		英語ディスカッションⅠ(基礎1)	1		
		英語ディスカッションⅡ(基礎2)	1		

専門教育部門

外国語科目群

英語ディスカッションⅢ(応用1)	1		
英語ディスカッションⅣ(応用2)	1		
パブリック・スピーキング	1		
ディベート	1		
中国語入門Ⅰ		1	
中国語入門Ⅱ		1	
中国語初級Ⅰ		1	
中国語初級Ⅱ		1	
中国語中級Ⅰ		1	
中国語中級Ⅱ		1	
中国語応用Ⅰ		1	
中国語応用Ⅱ		1	
韓国語入門Ⅰ		1	
韓国語入門Ⅱ		1	
韓国語初級Ⅰ		1	
韓国語初級Ⅱ		1	
韓国語中級Ⅰ		1	
韓国語中級Ⅱ		1	
韓国語応用Ⅰ		1	
韓国語応用Ⅱ		1	
フランス語入門Ⅰ		1	
フランス語入門Ⅱ		1	
フランス語初級Ⅰ		1	
フランス語初級Ⅱ		1	
フランス語中級Ⅰ		1	
フランス語中級Ⅱ		1	
フランス語応用Ⅰ		1	
フランス語応用Ⅱ		1	
スペイン語入門Ⅰ		1	
スペイン語入門Ⅱ		1	
スペイン語初級Ⅰ		1	
スペイン語初級Ⅱ		1	
スペイン語中級Ⅰ		1	
スペイン語中級Ⅱ		1	
スペイン語応用Ⅰ		1	
スペイン語応用Ⅱ		1	
英語学概論	2		
英米文学概論	2		
異文化理解	2		
英語音声学		2	
英語の構造と仕組み		2	
コミュニケーションのための英文法		2	
イギリス文学研究		2	
アメリカ文学研究		2	
インタラクティブ・イングリッシュⅠ		2	
インタラクティブ・イングリッシュⅡ		2	

専門基礎科目群

	異文化コミュニケーション		2	
	多文化共生論		2	
	日本中世近世史		2	
	日本文学研究		2	
	日本の伝統文化		2	
	日本の先端文化		2	
	アジアを学ぶ	2		
	地域研究論		2	
専門基幹科目群	アカデミック・イングリッシュⅠ		2	
	アカデミック・イングリッシュⅡ		2	
	メディア・イングリッシュⅠ		2	
	メディア・イングリッシュⅡ		2	
	英語の広がり と 多様性		2	
	第二言語習得論		2	
	英語科教育法Ⅰ		2	
	英語科教育法Ⅱ		2	
	アメリカ地域研究		2	
	イギリス地域研究		2	
	中国地域研究		2	
	韓国地域研究		2	
	ベトナムの言語と文化Ⅰ		2	
	ベトナムの言語と文化Ⅱ		2	
	タイの言語と文化Ⅰ		2	
	タイの言語と文化Ⅱ		2	
	インドネシアの言語と文化Ⅰ		2	
	インドネシアの言語と文化Ⅱ		2	
	国際フィールドワークⅠ(英語圏)		4	
	国際フィールドワークⅡ(非英語圏)		4	
	海外研修		4	
	日本近現代史	2		
	日本の宗教		2	
	日本の経済		2	
	日本の政治		2	
	現代の日本社会		2	
	パブリックリレーションズ		2	
	仏教文化論		2	
	キリスト教文化論		2	
	イスラム教文化論		2	
専門展開科目群	英語通訳演習		2	
	ビジネス英語		2	
	英語プレゼンテーション		2	
	英語科指導法Ⅰ		2	
	英語科指導法Ⅱ		2	
	日本のものづくり		2	
	日本のツーリズム		2	
	国際関係論		2	

		国際経済論		2	
		近現代の日中関係		2	
		近現代の日韓関係		2	
		アセアン事情		2	
		南アジア事情		2	
		ヨーロッパの文学と社会		2	
	ゼミナール科目群	基礎演習Ⅰ	2		
		基礎演習Ⅱ	2		
		基礎演習Ⅲ		2	
		基礎演習Ⅳ		2	
		ゼミナールⅠ	2		
		ゼミナールⅡ	2		
		ゼミナールⅢ	2		
		ゼミナールⅣ	2		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目

50単位

(2) 選択科目

74単位以上

合計

124単位以上

10 (情報工学部情報工学科)

① 授業科目及び単位数

授業科目		単位数		
		必修科目	選択科目	自由科目
総合基礎部門	英語コミュニケーションⅠ		1	
	英語コミュニケーションⅡ		1	
	英語コミュニケーションⅢ		1	
	英語コミュニケーションⅣ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅠ		1	
	プラクティカル・イングリッシュⅡ		1	
	ドイツ語Ⅰ		1	
	ドイツ語Ⅱ		1	
	ドイツ語Ⅲ		1	
	ドイツ語Ⅳ		1	
	フランス語Ⅰ		1	
	フランス語Ⅱ		1	
	フランス語Ⅲ		1	
	フランス語Ⅳ		1	
	中国語Ⅰ		1	
	中国語Ⅱ		1	
	中国語Ⅲ		1	
	中国語Ⅳ		1	
	体育科学Ⅰ		1	
	体育科学Ⅱ		1	
	体育科学Ⅲ		1	
	体育科学Ⅳ		1	
	人文科学基礎Ⅰ		2	
	人文科学基礎Ⅱ		2	
	社会科学基礎Ⅰ		2	
	社会科学基礎Ⅱ		2	
	アジア文化論Ⅰ		2	
	アジア文化論Ⅱ		2	
	欧米文化論Ⅰ		2	
	欧米文化論Ⅱ		2	
	国際関係論		2	
	文学		2	
	日本国憲法		2	
	国際経済論		2	
	心理学		2	
	基礎ゼミナールⅠ		1	
	基礎ゼミナールⅡ		1	
	職業指導論		2	
	微分積分Ⅰ		2	
	微分積分Ⅱ		2	
	線形代数Ⅰ		2	
	線形代数Ⅱ		2	
	物理学Ⅰ		2	
	物理学Ⅱ		2	
	物理学演習		1	

理工学基礎科目	物理学実験Ⅰ		1	
	物理学実験Ⅱ		1	
	化学Ⅰ		2	
	化学Ⅱ		2	
	化学実験Ⅰ		1	
	化学実験Ⅱ		1	
	地学Ⅰ		2	
	地学Ⅱ		2	
	地学実験Ⅰ		1	
	地学実験Ⅱ		1	
	生物学		2	
	生物学実験		1	
	理工学概論		2	
	技術者倫理		2	
	コンピューターリテラシー		2	
	数学基礎演習Ⅰ			1
	数学基礎演習Ⅱ			1
	物理学基礎演習Ⅰ			1
	物理学基礎演習Ⅱ			1
	化学基礎演習Ⅰ			1
	化学基礎演習Ⅱ			1
	英語基礎演習Ⅰ			1
	英語基礎演習Ⅱ			1
情報工学基礎科目	情報工学の世界		2	
	情報工学基礎演習		1	
	テクニカルリテラシー		2	
	プラクティカルICT		1	
専門教育部門	情報通信ネットワーク		2	
	情報理論		2	
	情報セキュリティ		2	
	情報通信システム		2	
	信号伝送論		2	
	符号理論		2	
	ワイヤレス通信		2	
	コンピュータアーキテクチャⅠ		2	
	コンピュータアーキテクチャⅡ		2	
	デジタル回路Ⅰ		2	
	デジタル回路Ⅱ		2	
	電気電子回路Ⅰ		2	
	電気電子回路Ⅱ		2	
	デジタル信号処理Ⅰ		2	
	デジタル信号処理Ⅱ		2	
	システム制御		2	
	フィジカルコンピューティング		2	
	ハードウェア記述言語		2	
	センサ工学		2	
	集積回路設計		2	
	アルゴリズム・データ構造		2	

情報工学専門科目	オペレーティングシステム		2	
	データベース		2	
	ソフトウェア工学		2	
	言語・オートマトン		2	
	人工知能		2	
	数値解析		2	
	コンパイラ		2	
	プログラミング言語論		2	
	パターン認識		2	
	応用アルゴリズム		2	
	数理計画法		2	
	マルチメディア基礎		2	
	画像処理		2	
	コンピュータグラフィックス		2	
	コンピュータビジョン		2	
	感性情報処理		2	
	音声・音響信号処理		2	
	バーチャルリアリティ		2	
	言語情報処理		2	
	離散数学		2	
	確率・統計		2	
	データサイエンス基礎	2		
	応用解析		2	
	電磁気学		2	
	プログラミング演習Ⅰ	1		
	プログラミング演習Ⅱ	1		
	プログラミング演習Ⅲ		1	
	プログラミング演習Ⅳ		1	
	情報工学実験Ⅰ	2		
	情報工学実験Ⅱ		2	
	インターンシップ		1	
	グローバルゼミナール		1	
	モバイルアプリ開発A			1
	モバイルアプリ開発B			1
	キャリアゼミナール		1	
	研究ゼミナール		1	
	情報工学総合ゼミナール		1(総)	
	情報技術の応用と職業		2(総)	
	創造的思考法	2(先)	2(総)	
	研究開発リテラシー	2(先)	2(総)	
	アプリケーション開発	2(先)	2(総)	
	PBL概論	2(先)	2(総)	
	先進プロジェクト実験Ⅰ	2(先)	2(総)	
	先進プロジェクト実験Ⅱ		2(先)	
	先進プロジェクトゼミナール	1(先)		
	卒業研究	4		

備考 (総)は総合コース、(先)は先進プロジェクトコースの単位数

② 卒業に必要な要件

(総合コース)

(1) 必修科目	専門教育部門	10単位
(2) 選択科目	総合基礎部門	20単位以上
	専門教育部門	94単位以上
	計	114単位以上
	合 計	124単位以上

(先進プロジェクトコース)

(1) 必修科目	専門教育部門	21単位
(2) 選択科目	総合基礎部門	20単位以上
	専門教育部門	83単位以上
	計	103単位以上
	合 計	124単位以上

別表第3（第24条第3項関係）

① 日本語に関する授業科目及び単位数

授 業 科 目	単位数
日本事情概説Ⅰ	2
日本事情概説Ⅱ	2
日本語Ⅰ	2
日本語Ⅱ	2
日本語Ⅲ	2
日本語Ⅳ	2
日本語Ⅴ	2

② 外国人留学生及び帰国子女として入学した者が、前号に定める授業科目を履修し、単位を修得した場合は、その単位を別表第2に規定する授業科目のうち、全学共通教育部門の選択科目に代えることができる。

③ 全学共通教育を導入しない学部においては、従前の規定に従う。

別表第3の2（第24条第5項関係）

授業科目及び単位数

授 業 科 目	単位数
国際日本学入門	2
国際日本学Ⅰ	2
国際日本学Ⅱ	2
国際日本学Ⅲ	2
国際日本学Ⅳ	2
国際日本学Ⅴ	2
国際日本学Ⅵ	2
国際日本学Ⅶ	2
国際日本学Ⅷ	2
国際日本学Ⅸ	2
国際日本学Ⅹ	2
国際日本学フィールドワークⅠ	2
国際日本学フィールドワークⅡ	2
初級日本語Ⅰ	2
初級日本語Ⅱ	2
初級日本語Ⅲ	2
初級日本語Ⅳ	2
中級日本語Ⅰ	2
中級日本語Ⅱ	2
中級日本語Ⅲ	2
中級日本語Ⅳ	2
上級日本語Ⅰ	2
上級日本語Ⅱ	2
上級日本語Ⅲ	2
上級日本語Ⅳ	2
上級日本語Ⅴ	2
上級日本語Ⅵ	2
上級日本語Ⅶ	2

上級日本語Ⅷ	2
上級日本語Ⅸ	2
上級日本語Ⅹ	2
上級日本語Ⅺ	2
上級日本語Ⅻ	2

別表第4（第39条第2項関係）

① 教職に関する授業科目及び単位数

授 業 科 目	単 位 数	
	必修科目	選択科目
教職入門		2
教育原論		2
学習社会論		2
教育心理学		2
発達心理学		2
特別支援教育論		2
教育行政論		2
教育法規		2
教育課程論		2
教育情報論		2
社会・地理歴史科教育法		2
社会・公民科教育法		2
社会・地理歴史科指導法		2
社会・公民科指導法		2
数学科教育法A		2
数学科教育法B		2
数学科指導法A		2
数学科指導法B		2
英語科教育法A		2
英語科教育法B		2
英語科指導法A		2
英語科指導法B		2
理科教育法A		2
理科教育法B		2
理科指導法A		2
理科指導法B		2
商業科教育法		2
商業科指導法		2
工業科教育法		2
工業科指導法		2
農業科教育法		2
農業科指導法		2
情報科教育法		2
情報科指導法		2
道徳教育の理論と指導法		2
特別活動と総合的な学習の時間の指導法		2

教育方法・技術論		2
生徒・進路指導論		2
学校教育相談		2
教職実践演習(中・高)		2
教育実習Ⅰ		2
教育実習Ⅱ		2
教育実習指導		1
模擬授業演習		2
学校課題演習		2

- ② 教育職員免許状を取得しようとする者は、免許教科の種類に応じて、前号の授業科目及び別表第2に規定する授業科目のうちから、所定の科目を履修のうえ、必要とする単位を取得しなければならない。

別表第5（第40条関係）

学 部	学 科	種 別	教 科
法学部	法学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史・公民
経営学部	経営学科	高等学校教諭一種免許状	商業
	国際経営学科	高等学校教諭一種免許状	商業
経済学部	経済学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史・公民・商業
	産業社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史・公民・商業
理工学部	数学科	中学校教諭一種免許状	数学
		高等学校教諭一種免許状	数学・情報
	電気電子工学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科・工業
	材料機能工学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科・工業
	応用化学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科・工業
	機械工学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科・工業
	交通機械工学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科・工業
	メカトロニクス工学科	高等学校教諭一種免許状	工業
	社会基盤デザイン工学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科・工業
	環境創造工学科	高等学校教諭一種免許状	工業
	建築学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科・工業
農学部	生物資源学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科・農業
	応用生物化学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科・農業

	生物環境科学科	中学校教諭一種免許状	理科
		高等学校教諭一種免許状	理科・農業
都市情報学部	都市情報学科	高等学校教諭一種免許状	公民・情報
人間学部	人間学科	中学校教諭一種免許状	社会・英語
		高等学校教諭一種免許状	地理歴史・公民・英語
外国語学部	国際英語学科	中学校教諭一種免許状	英語
		高等学校教諭一種免許状	英語
情報工学部	情報工学科	高等学校教諭一種免許状	情報・工業

別表第6（第40条の2関係）

① 学芸員に関する授業科目及び単位数

授 業 科 目		単位数
博 物 館 に 関 する 科 目	生涯学習論	2
	博物館原論	2
	博物館経営論	2
	博物館資料論Ⅰ	2
	博物館資料論Ⅱ	2
	博物館資料保存論	2
	博物館展示論	2
	博物館実習Ⅰ	2
	博物館実習Ⅱ	1
	博物館実習Ⅲ	1
	博物館情報論	1
	教育メディア環境論	2
	博物館教育論	2
関 専 す 門 る 分 科 野 目 に	日本文化の歴史	2
	民俗学	2
	古文書学	2
	考古学	2
	芸術史	2

- ② 学芸員の資格を取得しようとする者は、前号の授業科目及び別表第2に規定する授業科目のうちから、所定の科目を履修のうえ、必要とする単位を取得しなければならない。

変更の事由及び時期を記載した書類

1. 名城大学学則の変更の事由

(1) 第3条第1項、第3条の2、別表第5（第40条関係）の改正

(事由) 理工学部情報工学科の改組による情報工学部の設置に係る学則変更のため。

(2) 別表第1（第3条第2項関係）の改正

(事由) 都市情報学部の定員増及び理工学部情報工学科の改組による情報工学部の設置に係る学則変更のため。

(3) 別表第2（第24条第3項関係）の改正

(事由) 都市情報学部の教育課程の改正及び理工学部情報工学科の改組による情報工学部の設置に係る学則変更のため。

(4) 附則

(事由) 上記改正の施行日を明確にするため。

2. 変更の時期

令和4年4月1日

新旧比較対照表

改 正 規 定	改 正 前 の 規 定
(略)	(略)
(学 部)	(学 部)
第 3 条 本 大 学 に 、 次 の 学 部 及 び 学 科 を 置 く 。	第 3 条 本 大 学 に 、 次 の 学 部 及 び 学 科 を 置 く 。
(略)	(略)
理 工 学 部 数 学 科 、 電 気 電 子 工 学 科 、 材 料 機 能 工 学 科 、 応 用 化 学 科 、 機 械 工 学 科 、 交 通 機 械 工 学 科 、 メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学 科 、 社 会 基 盤 デ ザ イン 工 学 科 、 環 境 創 造 学 科 、 建 築 学 科	理 工 学 部 数 学 科 、 <u>情 報 工 学 科</u> 、 電 気 電 子 工 学 科 、 材 料 機 能 工 学 科 、 応 用 化 学 科 、 機 械 工 学 科 、 交 通 機 械 工 学 科 、 メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学 科 、 社 会 基 盤 デ ザ イン 工 学 科 、 環 境 創 造 学 科 、 建 築 学 科
(略)	(略)
外 国 語 学 部 国 際 英 語 学 科	外 国 語 学 部 国 際 英 語 学 科
<u>情 報 工 学 部 情 報 工 学 科</u>	
② 前 項 の 各 学 部 及 び 学 科 の 収 容 定 員 は 、 別 表 第 1 の と お り と す る 。	② 前 項 の 各 学 部 及 び 学 科 の 収 容 定 員 は 、 別 表 第 1 の と お り と す る 。
(学 部 の 人 材 の 養 成 に 関 す る 目 的)	(学 部 の 人 材 の 養 成 に 関 す る 目 的)
第 3 条 の 2 前 条 に 定 め る 学 部 ご と の 人 材 の 養 成 に 関 す る 目 的 そ の 他 の 教 育 研 究 上 の 目 的 に 関 し て は 、 以 下 の よ う に 定 め る 。	第 3 条 の 2 前 条 に 定 め る 学 部 ご と の 人 材 の 養 成 に 関 す る 目 的 そ の 他 の 教 育 研 究 上 の 目 的 に 関 し て は 、 以 下 の よ う に 定 め る 。
(略)	(略)
(9) 外 国 語 学 部 は 、 国 際 化 の 推 進 を 理 念 と し 、 グ ロ ー バ リ ゼ ー シ ョ ン が 深 化 す る 世 界 に お い て 求 め ら れ る 実 践 的 な コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 力 を 有 し 、 国 境 を 越 え て 活 躍 で き る 、 以 下 に 掲 げ る 能 力 を 備 え た 人 材 の 養 成 を 目 的 と す る 。	(9) 外 国 語 学 部 は 、 国 際 化 の 推 進 を 理 念 と し 、 グ ロ ー バ リ ゼ ー シ ョ ン が 深 化 す る 世 界 に お い て 求 め ら れ る 実 践 的 な コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 力 を 有 し 、 国 境 を 越 え て 活 躍 で き る 、 以 下 に 掲 げ る 能 力 を 備 え た 人 材 の 養 成 を 目 的 と す る 。
① グ ロ ー バ ル 化 社 会 の 最 前 線 で 活 躍 で き る 英 語 の 運 用 能 力 を 有 し た 人 材	① グ ロ ー バ ル 化 社 会 の 最 前 線 で 活 躍 で き る 英 語 の 運 用 能 力 を 有 し た 人 材

② アジアをはじめとする海外の事情に通じ、異文化や国際社会に対して深い理解力を持った人材

(10) 情報工学部は、幅広い素養を備え、社会に通用する情報工学の専門知識とその応用力を持ち、情報技術者として自らの手で新しい分野を創造的に切り拓いてゆく人材の養成を目的とする。

(略)

別表第1 (第3条第2項関係)

学部	学科	入学定員	収容定員
法学部	法学科	400名	1,600名
(略)			
理工学部	数学科	90名	360名
	電気電子工学科	150名	600名
(略)			
都市情報学部	都市情報学科	235名	940名
(略)			
外国語学部	国際英語学科	130名	520名
情報工学部	情報工学科	180名	720名
合計		3,415名	14,190名

② アジアをはじめとする海外の事情に通じ、異文化や国際社会に対して深い理解力を持った人材

(略)

別表第1 (第3条第2項関係)

学部	学科	入学定員	収容定員
法学部	法学科	400名	1,600名
(略)			
理工学部	数学科	90名	360名
	情報工学科	150名	600名
	電気電子工学科	150名	600名
(略)			
都市情報学部	都市情報学科	220名	880名
(略)			
外国語学部	国際英語学科	130名	520名
合計		3,370名	14,010名

別表第2（第24条第3項関係）
（略）

別表第2（第24条第3項関係）
（略）

4の2（理工学部情報工学科）

① 授業科目及び単位数

授 業 科 目	単 位 数		
	必 修 科 目	選 択 科 目	自 由 科 目
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I		1	
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II		1	
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン III		1	
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン IV		1	
プ ラ ク テ イ カ ル ・ イ ン グ リ ッ シ ュ I		1	
プ ラ ク テ イ カ ル ・ イ ン グ リ ッ シ ュ II		1	
ド イ ツ 語 I		1	
ド イ ツ 語 II		1	
ド イ ツ 語 III		1	
ド イ ツ 語 IV		1	
フ ラ ン ス 語 I		1	
フ ラ ン ス 語 II		1	
フ ラ ン ス 語 III		1	
フ ラ ン ス 語 IV		1	
中 国 語 I		1	

総合基礎部門	中国語Ⅱ		1	
	中国語Ⅲ		1	
	中国語Ⅳ		1	
	体育科学Ⅰ		1	
	体育科学Ⅱ		1	
	体育科学Ⅲ		1	
	体育科学Ⅳ		1	
	人文科学基礎Ⅰ		2	
	人文科学基礎Ⅱ		2	
	社会科学基礎Ⅰ		2	
	社会科学基礎Ⅱ		2	
	アジア文化論Ⅰ		2	
	アジア文化論Ⅱ		2	
	欧米文化論Ⅰ		2	
	欧米文化論Ⅱ		2	
	国際関係論		2	
	文学		2	
	日本国憲法		2	
	国際経済論		2	
	心理学		2	
	基礎ゼミナールⅠ		1	
	基礎ゼミナールⅡ		1	
	職業指導論		2	
	微分積分Ⅰ		2	
	微分積分Ⅱ		2	
	線形代数Ⅰ		2	
	線形代数Ⅱ		2	
	物理学Ⅰ		2	
	物理学Ⅱ		2	

物 理 学 演 習		<u>1</u>	
物 理 学 実 験 I		<u>1</u>	
物 理 学 実 験 II		<u>1</u>	
化 学 I		<u>2</u>	
化 学 II		<u>2</u>	
化 学 実 験 I		<u>1</u>	
化 学 実 験 II		<u>1</u>	
地 学 I		<u>2</u>	
地 学 II		<u>2</u>	
地 学 実 験 I		<u>1</u>	
地 学 実 験 II		<u>1</u>	
生 物 学		<u>2</u>	
生 物 学 実 験		<u>1</u>	
理 工 学 概 論		<u>2</u>	
技 術 者 倫 理		<u>2</u>	
コ ン ピ ュ ー タ ー リ テ ラ シ ー		<u>2</u>	
数 学 基 礎 演 習 I			<u>1</u>
数 学 基 礎 演 習 II			<u>1</u>
物 理 学 基 礎 演 習 I			<u>1</u>
物 理 学 基 礎 演 習 II			<u>1</u>
化 学 基 礎 演 習 I			<u>1</u>
化 学 基 礎 演 習 II			<u>1</u>
英 語 基 礎 演 習 I			<u>1</u>
英 語 基 礎 演 習 II			<u>1</u>
情 報 通 信 ネ ッ ト ワ ー ク		<u>2</u>	
情 報 理 論		<u>2</u>	

専 門 教 育 部 門	情 報 セ キ ュ リ テ イ		<u>2</u>	
	情 報 通 信 シ ス テ ム		<u>2</u>	
	信 号 伝 送 論		<u>2</u>	
	符 号 理 論		<u>2</u>	
	ワ イ ヤ レ ス 通 信		<u>2</u>	
	コ ン ピ ュ ー タ ア ー キ テ ク チ ャ I		<u>2</u>	
	コ ン ピ ュ ー タ ア ー キ テ ク チ ャ II		<u>2</u>	
	デ ィ ジ タ ル 回 路 I		<u>2</u>	
	デ ィ ジ タ ル 回 路 II		<u>2</u>	
	電 気 電 子 回 路 I		<u>2</u>	
	電 気 電 子 回 路 II		<u>2</u>	
	デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理 I		<u>2</u>	
	デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理 II		<u>2</u>	
	組 込 シ ス テ ム		<u>2</u>	
	シ ス テ ム 制 御 I		<u>2</u>	
	シ ス テ ム 制 御 II		<u>2</u>	
	ハ ー ド ウ ェ ア 記 述 言 語		<u>2</u>	
	セ ン サ 工 学		<u>2</u>	
	ロ ボ ッ ト シ ス テ ム		<u>2</u>	
	ア ル ゴ リ ズ ム ・ デ ー タ 構 造 I		<u>2</u>	

アルゴリズム・データ構造 II		2	
オペレーティングシステム		2	
データベース		2	
ソフトウェア工学		2	
言語・オートマトン		2	
人工知能		2	
数値解析		2	
コンパイラ		2	
プログラミング言語論		2	
パターン認識		2	
アドバンストアルゴリズム		2	
数理計画法		2	
マルチメディア基礎		2	
画像処理		2	
コンピュータグラフィックス		2	
コンピュータビジョン		2	
感性情報処理		2	
音声・音響信号処理		2	
バーチャリアリティ		2	
言語情報処理		2	

情報工学の世界	2		
情報工学基礎演習	1		
テクニカルリテラシー	2		
離散数学		2	
確率論		2	
統計解析		2	
情報数学基礎	2		
応用解析		2	
電磁気学Ⅰ		2	
電磁気学Ⅱ		2	
プログラミング演習Ⅰ	1		
プログラミング演習Ⅱ	1		
プログラミング演習Ⅲ		1	
プログラミング演習Ⅳ		1	
情報工学実験Ⅰ	2		
情報工学実験Ⅱ		2	
情報工学実験Ⅲ		2	
インターンシップ		1	
ゼミナール	2		
情報技術の応用と職業		2	
卒業研究	4		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目 17単位

(2) 選択科目 総合基礎部門

20単位以上

専門教育部門

87単位以上

(略)				計 107単位以上			
4の2 (理工学部電気電子工学科)				合計 124単位以上			
(略)				(略)			
4の3 (理工学部材料機能工学科)				4の3 (理工学部電気電子工学科)			
(略)				(略)			
4の4 (理工学部応用化学科)				4の4 (理工学部材料機能工学科)			
(略)				(略)			
4の5 (理工学部機械工学科)				4の5 (理工学部応用化学科)			
(略)				(略)			
4の6 (理工学部交通機械工学科)				4の6 (理工学部機械工学科)			
(略)				(略)			
4の7 (理工学部メカトロニクス工学科)				4の7 (理工学部交通機械工学科)			
(略)				(略)			
4の8 (理工学部社会基盤デザイン工学科)				4の8 (理工学部メカトロニクス工学科)			
(略)				(略)			
4の9 (理工学部環境創造工学科)				4の9 (理工学部社会基盤デザイン工学科)			
(略)				(略)			
4の10 (理工学部建築学科)				4の10 (理工学部環境創造工学科)			
(略)				(略)			
7 (都市情報学部都市情報学科)				4の11 (理工学部建築学科)			
① 授業科目及び単位数				(略)			
				7 (都市情報学部都市情報学科)			
				① 授業科目及び単位数			
授業科目		単位数		授業科目		単位数	
		必修科目	選択科目			必修科目	自由科目
	歴史と文化		2		歴史と文化		2
	芸術文化論		2		芸術文化論		2
	<u>世界遺産と</u> <u>ツーリズム</u>		<u>2</u>		<u>欧米文化論</u>		<u>2</u>
	アジア文化論		2		アジア文化論		2
	文化人類学の世界		2		文化人類学の世界		2
	哲学		2		哲学		2

教養教育部門

心の科学		2	
宗教の世界		2	
日本国憲法		2	
法と社会		2	
経済と社会		2	
経営と社会		2	
政治と社会		2	
国際化時代の人間と社会		2	
社会学		2	
都市と人間		2	
ジェンダーと社会		2	
人間と社会の演習		2	
数と論理		2	
現象と論理		2	
人間と環境		2	
英語基礎Ⅰ（リーディング）		1	
英語基礎Ⅰ（コミュニケーション）		1	
英語基礎Ⅱ（リーディング）		1	
英語基礎Ⅱ（コミュニケーション）		1	
英語初級Ⅰ－Ⅰ（リーディング）		1	
英語初級Ⅰ－Ⅰ（コミュニケーション）		1	

教養教育部門

心の科学		2	
宗教の世界		2	
日本国憲法		2	
法と社会		2	
経済と社会		2	
経営と社会		2	
政治と社会		2	
国際化時代の人間と社会		2	
社会学		2	
都市と人間		2	
ジェンダーと社会		2	
人間と社会の演習		2	
数と論理		2	
現象と論理		2	
人間と環境		2	
英語基礎Ⅰ（リーディング）		1	
英語基礎Ⅰ（コミュニケーション）		1	
英語基礎Ⅱ（リーディング）		1	
英語基礎Ⅱ（コミュニケーション）		1	
英語初級Ⅰ－Ⅰ（リーディング）		1	
英語初級Ⅰ－Ⅰ（コミュニケーション）		1	

英 語 初 級 I — II (リ ー デ ィ ン グ)		1	
英 語 初 級 I — II (コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン)		1	
英 語 初 級 II — I (リ ー デ ィ ン グ)		1	
英 語 初 級 II — I (コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン)		1	
英 語 初 級 II — II (リ ー デ ィ ン グ)		1	
英 語 初 級 II — II (コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン)		1	
フ ラ ン ス 語 入 門 I		1	
フ ラ ン ス 語 入 門 II		1	
フ ラ ン ス 語 初 級 I		1	
フ ラ ン ス 語 初 級 II		1	
ド イ ツ 語 入 門 I		1	
ド イ ツ 語 入 門 II		1	
ド イ ツ 語 初 級 I		1	
ド イ ツ 語 初 級 II		1	
コ ン ピ ュ ー タ リ テ ラ シ ー		2	

英 語 初 級 I — II (リ ー デ ィ ン グ)		1	
英 語 初 級 I — II (コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン)		1	
英 語 初 級 II — I (リ ー デ ィ ン グ)		1	
英 語 初 級 II — I (コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン)		1	
英 語 初 級 II — II (リ ー デ ィ ン グ)		1	
英 語 初 級 II — II (コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン)		1	
フ ラ ン ス 語 入 門 I		1	
フ ラ ン ス 語 入 門 II		1	
フ ラ ン ス 語 初 級 I		1	
フ ラ ン ス 語 初 級 II		1	
ド イ ツ 語 入 門 I		1	
ド イ ツ 語 入 門 II		1	
ド イ ツ 語 初 級 I		1	
ド イ ツ 語 初 級 II		1	
コ ン ピ ュ ー タ リ テ ラ シ ー		2	

コ ン ピ ュ ー タ シ ス テ ム		2	
プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門		2	
情 報 社 会 と 倫 理		2	
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学 I		1	
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学 II		1	
健 康 科 学 論 I		2	
健 康 科 学 論 II		2	
<u>教 養 演 習</u>		<u>2</u>	
都 市 情 報 学 概 論 I	2		
都 市 情 報 学 概 論 II	2		
都 市 学 英 語 I	1		
都 市 学 英 語 II	1		
情 報 管 理 の 基 礎	2		
情 報 管 理 の 応 用	2		
情 報 処 理 の 基 礎	2		
情 報 処 理 の 応 用	2		
コ ン ピ ュ ー タ 演 習 I (リ テ ラ シ ー)	2		
コ ン ピ ュ ー タ 演 習 II (基 礎 プ ロ グ ラ ミ ン グ)	2		

コ ン ピ ュ ー タ シ ス テ ム		2	
プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門		2	
情 報 社 会 と 倫 理		2	
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学 I		1	
健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学 II		1	
健 康 科 学 論 I		2	
健 康 科 学 論 II		2	
<u>教 養 演 習 I</u>		<u>2</u>	
都 市 情 報 学 概 論 I	2		
都 市 情 報 学 概 論 II	2		
都 市 学 英 語 I	1		
都 市 学 英 語 II	1		
情 報 管 理 の 基 礎	2		
情 報 管 理 の 応 用	2		
情 報 処 理 の 基 礎	2		
情 報 処 理 の 応 用	2		
コ ン ピ ュ ー タ 演 習 I (リ テ ラ シ ー)	2		
コ ン ピ ュ ー タ 演 習 II (基 礎 プ ロ グ ラ ミ ン グ)	2		

専門基礎部門	コンピューター タ演習Ⅲ（オペレーティングシステム）			2		
	コンピューター タ演習Ⅳ（応用プログラミング）			2		
	コンピューター タ演習Ⅴ（プレゼンテーション）				2	
	コンピューター タ演習Ⅵ（データベース）				2	
	情報とビジネス				2	
	ユビキタスと社会				2	
	都市と文化				2	
	都市の構造				2	
	数学の基礎 A－Ⅰ				2	
	数学の基礎 A－Ⅱ				2	
	数学の基礎 B－Ⅰ				2	
	数学の基礎 B－Ⅱ				2	
	経済・経営 専門部門	都市の経済				2
		企業の経営				2
		事業のマネジメント				2
		企業の経済				2
		企業の会計				2
		経済の政策				2
専門基礎部門	コンピューター タ演習Ⅲ（オペレーティングシステム）			2		
	コンピューター タ演習Ⅳ（応用プログラミング）			2		
	コンピューター タ演習Ⅴ（プレゼンテーション）				2	
	コンピューター タ演習Ⅵ（データベース）				2	
	情報とビジネス				2	
	ユビキタスと社会				2	
	都市と文化				2	
	都市の構造				2	
	数学の基礎 A－Ⅰ				2	
	数学の基礎 A－Ⅱ				2	
	数学の基礎 B－Ⅰ				2	
	数学の基礎 B－Ⅱ				2	
	<u>ディジタル メディア表現入門</u>				<u>2</u>	
	経済・経営 専門部門	都市の経済				2
		企業の経営				2
		事業のマネジメント				2
		企業の経済				2
		企業の会計				2
		経済の政策				2

財政・行政	都市と社会		2	
	経済と地理		2	
	貨幣の経済		2	
	都市と金融		2	
	<u>観光のサー</u>		<u>2</u>	
	<u>ビス</u>			
	都市と行政		2	
	都市と財政		2	
	地方と財政		2	
	都市と自治		2	
	都市と社会		2	
	保障			
	都市と福祉		2	
	公共の政策		2	
	<u>観光の政策</u>		<u>2</u>	
	都市と公企		2	
	業			
	都市と国際		2	
	関係			
	国際社会と		2	
	政治			
地域計画	都市の計画		2	
	都市のデザ		2	
	イン			
	都市の再生		2	
	防災とまち		2	
	づくり			
	交通の計画		2	
	交通とまち		2	
	づくり			
	水利用の計		2	
	画			
	水環境とま		2	
	ちづくり			
	<u>観光と産業</u>		<u>2</u>	
	<u>観光とまち</u>		<u>2</u>	
	<u>づくり</u>			
	都市の環境		2	

財政・行政	都市と社会		2	
	経済と地理		2	
	貨幣の経済		2	
	都市と金融		2	
	都市と行政		2	
	都市と財政		2	
	地方と財政		2	
	都市と自治		2	
	都市と社会		2	
	保障			
	都市と福祉		2	
	公共の政策		2	
	都市と公企		2	
	業			
	都市と国際		2	
	関係			
	国際社会と		2	
	政治			
地域計画	都市の計画		2	
	都市のデザ		2	
	イン			
	都市の再生		2	
	防災とまち		2	
	づくり			
	交通の計画		2	
	交通とまち		2	
	づくり			
	水利用の計		2	
	画			
	水環境とま		2	
	ちづくり			
	<u>観光と政策</u>		<u>2</u>	
	<u>観光と経営</u>		<u>2</u>	
	都市の環境		2	

開
発
・
環
境

都 市 と 事 業 構 想		2	
国 際 化 と 地 域 開 発		2	
環 境 の 政 策		2	
<u>プ ロ ジ ェ ク ト の 評 価</u>		<u>2</u>	
都 市 と 生 態 環 境		2	
地 域 環 境 の 保 全		2	
<u>観 光 の 資 源</u>		<u>2</u>	
デ ー タ 分 析 と 確 率		2	
デ ー タ 分 析 と 統 計		2	
情 報 と 基 礎 解 析		2	
情 報 と 応 用 解 析		2	
計 画 の 数 理		2	
意 志 決 定 の 数 理		2	
評 価 の O R		2	
経 営 の O R		2	
数 理 と 情 報 処 理		2	
知 識 と 情 報 処 理		2	
画 像 と 情 報 処 理		2	
図 形 と 情 報 処 理		2	
視 環 境 と 情 報 処 理		2	

情
報
・
数
理

開
発
・
環
境

都 市 と 事 業 構 想		2	
国 際 化 と 地 域 開 発		2	
環 境 の 政 策		2	
<u>環 境 の 評 価</u>		<u>2</u>	
<u>事 業 の 評 価</u>		<u>2</u>	
<u>紛 争 の マ ネ ジ メ ン ト</u>		<u>2</u>	
<u>危 機 の マ ネ ジ メ ン ト</u>		<u>2</u>	
都 市 と 生 態 環 境		2	
地 域 環 境 の 保 全		2	
デ ー タ 分 析 と 確 率		2	
デ ー タ 分 析 と 統 計		2	
情 報 と 基 礎 解 析		2	
情 報 と 応 用 解 析		2	
計 画 の 数 理		2	
意 志 決 定 の 数 理		2	
評 価 の O R		2	
経 営 の O R		2	
数 理 と 情 報 処 理		2	
知 識 と 情 報 処 理		2	
画 像 と 情 報 処 理		2	
図 形 と 情 報 処 理		2	
視 環 境 と 情 報 処 理		2	

情
報
・
数
理

総合科目	認知と情報処理		2	
	知覚情報と脳の働き		2	
	都市生活とストレス		2	
	コンピュータ総合演習Ⅰ		<u>2</u>	
	コンピュータ総合演習Ⅱ		<u>2</u>	
	データサイエンス		<u>2</u>	
	フィールド調査の方法		<u>2</u>	
	キャリアアップ講座Ⅰ		2	
	キャリアアップ講座Ⅱ		2	
	インターンシップⅠ		<u>1</u>	
	インターンシップⅡ		<u>1</u>	
	異文化コミュニケーション		1	
	ゼミナール	8		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目

専門基礎部門

22単位

専門部門

8単位

計 30単位

(2) 選択科目

教養教育部門

32単位以上

総合科目	認知と情報処理		2	
	知覚情報と脳の働き		2	
	都市生活とストレス		2	
	コンピュータ総合演習Ⅰ		<u>4</u>	
	コンピュータ総合演習Ⅱ		<u>4</u>	
	サービスサイエンス特別講義Ⅰ		<u>2</u>	
	サービスサイエンス特別講義Ⅱ		<u>2</u>	
	キャリアアップ講座Ⅰ		2	
	キャリアアップ講座Ⅱ		2	
	インターンシップ		<u>2</u>	
	異文化コミュニケーション		1	
	ゼミナール	8		

② 卒業に必要な要件

(1) 必修科目

専門基礎部門

22単位

専門部門

8単位

計 30単位

(2) 選択科目

教養教育部門

32単位以上

専 門 基 礎 部 門
8 単 位 以 上
専 門 部 門
5 4 単 位 以 上
計 9 4 単 位 以 上
合 計 1 2 4 単 位 以 上
(略)

9 (外 国 語 学 部 国 際 英 語 学 科)

(略)

1 0 (情 報 工 学 部 情 報 工 学 科)

① 授 業 科 目 及 び 単 位 数

授 業 科 目		単 位 数		
		必 修 科 目	選 択 科 目	自 由 科 目
総 合 基 礎 部 門	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I		1	
	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II		1	
	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン III		1	
	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン IV		1	
	プ ラ ク テ イ カ ル ・ イ ン グ リ ッ シ ュ I		1	
	プ ラ ク テ イ カ ル ・ イ ン グ リ ッ シ ュ II		1	
	ド イ ツ 語 I		1	
	ド イ ツ 語 II		1	
	ド イ ツ 語 III		1	
	ド イ ツ 語 IV		1	
	フ ラ ン ス 語 I		1	

専 門 基 礎 部 門
8 単 位 以 上
専 門 部 門
5 4 単 位 以 上
計 9 4 単 位 以 上
合 計 1 2 4 単 位 以 上
(略)

9 (外 国 語 学 部 国 際 英 語 学 科)

(略)

フ ラ ン ス 語 Ⅱ		1	
フ ラ ン ス 語 Ⅲ		1	
フ ラ ン ス 語 Ⅳ		1	
中 国 語 Ⅰ		1	
中 国 語 Ⅱ		1	
中 国 語 Ⅲ		1	
中 国 語 Ⅳ		1	
体 育 科 学 Ⅰ		1	
体 育 科 学 Ⅱ		1	
体 育 科 学 Ⅲ		1	
体 育 科 学 Ⅳ		1	
人 文 科 学 基 礎 Ⅰ		2	
人 文 科 学 基 礎 Ⅱ		2	
社 会 科 学 基 礎 Ⅰ		2	
社 会 科 学 基 礎 Ⅱ		2	
ア ジ ア 文 化 論 Ⅰ		2	
ア ジ ア 文 化 論 Ⅱ		2	
欧 米 文 化 論 Ⅰ		2	
欧 米 文 化 論 Ⅱ		2	
国 際 関 係 論		2	
文 学		2	
日 本 国 憲 法		2	
国 際 経 済 論		2	
心 理 学		2	
基 礎 ゼ ミ ナ ー ル Ⅰ		1	
基 礎 ゼ ミ ナ ー ル Ⅱ		1	
職 業 指 導 論		2	

専門教育部門 理工学基礎科目	微分積分Ⅰ		2	
	微分積分Ⅱ		2	
	線形代数Ⅰ		2	
	線形代数Ⅱ		2	
	物理学Ⅰ		2	
	物理学Ⅱ		2	
	物理学演習		1	
	物理学実験Ⅰ		1	
	物理学実験Ⅱ		1	
	化学Ⅰ		2	
	化学Ⅱ		2	
	化学実験Ⅰ		1	
	化学実験Ⅱ		1	
	地学Ⅰ		2	
	地学Ⅱ		2	
	地学実験Ⅰ		1	
	地学実験Ⅱ		1	
	生物学		2	
	生物学実験		1	
	理工学概論		2	
	技術者倫理		2	
	コンピューターリテラシー		2	
	数学基礎演習Ⅰ			1
	数学基礎演習Ⅱ			1
	物理学基礎演習Ⅰ			1
	物理学基礎演習Ⅱ			1
	化学基礎演習Ⅰ			1
	化学基礎演習Ⅱ			1
	英語基礎演習Ⅰ			1

情報工 学基 礎科 目	英 語 基 礎 演 習 II			1
	情 報 工 学 の 報 世 界		2	
	工 情 報 工 学 基 学 礎 演 習		1	
	基 テ ク ニ カ ル 礎 リ テ ラ シ ー		2	
	科 プ ラ ク テ ィ 目 カ ル I C T		1	
	情 報 通 信 ネ ッ ト ワ ー ク		2	
	情 報 理 論		2	
	情 報 セ キ ュ リ テ ィ		2	
	情 報 通 信 シ ス テ ム		2	
	信 号 伝 送 論		2	
	符 号 理 論		2	
	ワ イ ヤ レ ス 通 信		2	
	コ ン ピ ュ ー タ ア ー キ テ ク チ ャ I		2	
	コ ン ピ ュ ー タ ア ー キ テ ク チ ャ II		2	
	デ ィ ジ タ ル 回 路 I		2	
	デ ィ ジ タ ル 回 路 II		2	
	電 気 電 子 回 路 I		2	
	電 気 電 子 回 路 II		2	
	デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理 I		2	
	デ ィ ジ タ ル 信 号 処 理 II		2	

システム制御		2	
フィジカル コンピュー ティング		2	
ハードウェア 記述言語		2	
センサ工学		2	
集積回路設計		2	
アルゴリズム ・データ構造		2	
オペレーテ ィングシス テム		2	
データベース		2	
ソフトウェア 工学		2	
言語・オート マトン		2	
人工知能		2	
数値解析		2	
コンパイラ		2	
プログラミング 言語論		2	
パターン認識		2	
応用アルゴ リズム		2	
数理計画法		2	
マルチメディア 基礎		2	
画像処理		2	
コンピュー タグラフィ ックス		2	
コンピュー タビジョン		2	

感 性 情 報 処 理		2	
音 声 ・ 音 響 信 号 処 理		2	
バ ー チ ャ ル リ ア リ テ ィ		2	
言 語 情 報 処 理		2	
離 散 数 学		2	
確 率 ・ 統 計		2	
デ ー タ サ イ エ ン ス 基 礎	2		
応 用 解 析		2	
電 磁 気 学		2	
プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習 I	1		
プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習 II	1		
プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習 III		1	
プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習 IV		1	
情 報 工 学 実 験 I	2		
情 報 工 学 実 験 II		2	
イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	
グ ロ ー バ ル ゼ ミ ナ ー ル		1	
モ バ イ ル ア プ リ 開 発 A			1
モ バ イ ル ア プ リ 開 発 B			1
キ ャ リ ア ゼ ミ ナ ー ル		1	
研 究 ゼ ミ ナ ー ル		1	
情 報 工 学 総 合 ゼ ミ ナ ー		1 (総)	

ル			
情報技術の 応用と職業		2(総)	
創造的思考 法	2(先)	2(総)	
研究開発リ テラシー	2(先)	2(総)	
アプリーケー ション開発	2(先)	2(総)	
PBL概論	2(先)	2(総)	
先進プロジ ェクト実験 I	2(先)	2(総)	
先進プロジ ェクト実験 II		2(先)	
先進プロジ ェクトゼミ ナール	1(先)		
卒業研究	4		

備考 (総)は総合コース、(先)は

先進プロジェクトコースの単位数

② 卒業に必要な要件

(総合コース)

(1) 必修科目 専門教育部門

10単位

(2) 選択科目 総合基礎部門

20単位以上

専門教育部門

94単位以上

計 114単位以上

合計 124単位以上

(先進プロジェクトコース)

(1) 必修科目 専門教育部門

21単位

(2) 選択科目 総合基礎部門

20単位以上

専門教育部門

83単位以上

計 103単位以上

合計 124単位以上

(略)

別表第5 (第40条関係)

学 部	学 科	種 別	教 科
法 学 部	法 学 科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	社 会
		高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	地 理 歴 史 ・ 公 民
(略)			
理 工 学 部	数 学 科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	数 学
		高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	数 学 ・ 情 報
	電 気 電 子 工 学 科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	理 科
(略)			
外 国 語 学 部	国 際 英 語 学 科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	英 語
		高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	英 語

(略)

別表第5 (第40条関係)

学 部	学 科	種 別	教 科
法 学 部	法 学 科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	社 会
		高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	地 理 歴 史 ・ 公 民
(略)			
理 工 学 部	数 学 科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	数 学
		高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	数 学 ・ 情 報
	情 報 工 学 科	高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	工 業 ・ 情 報
	電 気 電 子 工 学 科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	理 科
(略)			
外 国 学 部	国 際 英 語 学 科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	英 語
		高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	英 語

情 報	情 報	高 等 学	情 報 ・ 工
工 学	工 学	校 教 諭	業
部	科	一 種 免	
		許 状	

--	--	--	--

附 則

この学則は、令和４年４月１日から施行し、令和４年度入学者から適用する。ただし、令和４年３月３１日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、令和４年４月１日から施行する。ただし、令和４年３月３１日に在学している者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目次

1. 学則変更（収容定員変更）の内容	・・・	P 2
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性		
1) 都市情報学部都市情報学科		
(1) 社会的背景	・・・	P 3
(2) これまでの教育研究活動	・・・	P 4
(3) 学生募集・就職状況	・・・	P 5
(4) 結論	・・・	P 8
2) 情報工学部情報工学科（令和 3（2021）年 4 月届出予定）		
(1) 社会的背景	・・・	P 8
(2) 設置の趣旨及び目的	・・・	P 9
(3) 基礎となる理工学部情報工学科の学生募集・就職状況	・・・	P 10
(4) 結論	・・・	P 13
3) 理工学部情報工学科	・・・	P 13
4) 大学全体		
(1) 学生募集・就職状況	・・・	P 14
(2) 出身地別入学者数	・・・	P 15
(3) 結論	・・・	P 15
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容		
1) 教育課程の変更内容		
(1) 都市情報学部都市情報学科	・・・	P 16
(2) 情報工学部情報工学科	・・・	P 17
(3) 理工学部情報工学科	・・・	P 17
2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容		
(1) 教育改善への取り組み	・・・	P 18
(2) 履修指導及び学修支援	・・・	P 19
3) 教員組織の変更内容		
(1) 都市情報学部都市情報学科	・・・	P 20
(2) 情報工学部情報工学科	・・・	P 20
(3) 理工学部情報工学科	・・・	P 20
4) 大学全体の施設・設備の変更内容	・・・	P 20
(1) 天白キャンパス	・・・	P 21
(2) ナゴヤドーム前キャンパス	・・・	P 21

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

本学は、教育組織・教育課程の見直しを行った結果、令和4（2022）年度から、都市情報学部都市情報学科の教育課程の再編、並びに情報工学部情報工学科の新たな設置（令和3（2021）年6月届出済）及び情報工学部情報工学科の基礎となる理工学部情報工学科の募集停止に伴い、入学定員・収容定員を次のとおり変更することを申請する（表1）。

これにより大学全体では、入学定員は現行の3,370人から45人増の3,415人、収容定員は現行の14,010人から180人増の14,190人となる。

表1 収容定員変更に伴う令和4（2022）年度以降の定員状況

学部	学科	現行		変更後（令和4（2022）年度以降）		増減	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
法学部	法学科	400	1,600	400	1,600		
経営学部	経営学科	215	860	215	860		
	国際経営学科	95	380	95	380		
経済学部	経済学科	210	840	210	840		
	産業社会学科	100	400	100	400		
<u>理工学部</u>	数学科	90	360	90	360		
	<u>情報工学科</u>	<u>150</u>	<u>600</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>▲150</u>	<u>▲600</u>
	電気電子工学科	150	600	150	600		
	材料機能工学科	80	320	80	320		
	応用化学科	70	280	70	280		
	機械工学科	125	500	125	500		
	交通機械工学科	125	500	125	500		
	メカトロニクス工学科	80	320	80	320		
	社会基盤デザイン工学科	90	360	90	360		
	環境創造工学科	80	320	80	320		
	建築学科	145	580	145	580		
農学部	生物資源学科	110	440	110	440		
	応用生物化学科	110	440	110	440		
	生物環境科学科	110	440	110	440		
薬学部	薬学科	265	1,590	265	1,590		
<u>都市情報学部</u>	<u>都市情報学科</u>	<u>220</u>	<u>880</u>	<u>235</u>	<u>940</u>	<u>15</u>	<u>60</u>
人間学部	人間学科	220	880	220	880		
外国語学部	国際英語学科	130	520	130	520		
<u>情報工学部</u>	<u>情報工学科</u>	<u>二</u>	<u>二</u>	<u>180</u>	<u>720</u>	<u>180</u>	<u>720</u>
合計		<u>3,370</u>	<u>14,010</u>	<u>3,415</u>	<u>14,190</u>	<u>45</u>	<u>180</u>

また、収容定員変更の対象となる学部が所在するキャンパスの構成は次のとおりである（表 2）。

表 2 設置キャンパスの状況

キャンパス名・所在地・最寄り駅	学部
天白キャンパス 名古屋市天白区塩釜ロー丁目 501 番地 最寄り駅：名古屋市営地下鉄鶴舞線 「塩釜口駅」徒歩約 4 分	法学部 経営学部 経済学部 理工学部 農学部 情報工学部（令和 4（2022）年度開設予定）
ナゴヤドーム前キャンパス（平成 28（2016）年度竣工） 名古屋市東区矢田南四丁目 102 番 9 最寄り駅：名古屋市営地下鉄名城線 「ナゴヤドーム前矢田駅」徒歩約 3 分	都市情報学部（平成 29（2017）年度に可児キャンパスから移転） 人間学部（平成 29（2017）年度に天白キャンパスから移転） 外国語学部（平成 28（2016）年度開設）

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

1) 都市情報学部都市情報学科

(1) 社会的背景

人口減少・少子高齢化に加えて、近年多発する大規模自然災害や新型コロナウイルス感染症の拡大等、我が国を取り巻く課題は多い。

令和 2（2020）年 12 月に閣議決定された『「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（2020 改訂版）』において、昨今の状況に鑑みた今後の地方創生について、①感染症による意識・行動変容を踏まえた、ひと・しごとの流れの創出、②各地域の特色を踏まえた自主的・主体的な取組の促進の 2 点を取り組みの方向性とするとともに、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現を目指すことが示された。「活力ある地域社会」の実現には、互いに関連する経済・雇用・子育て・生活環境・教育等の様々な課題の解決が必要である。また、同感染症の状況や経済・生活形式は地域毎に異なり、各課題の解決には地域の実情に応じた対応を講じる必要がある。

「活力ある地域社会」を実現するために重要なファクターの一つとして「観光」が挙げられる。平成 18（2006）年 12 月に成立した観光立国推進基本法において観光振興が国策の重要項目として明確に位置付けられ、平成 19（2007）年 6 月には同基本法に基づき「観光立国推進基本計画」が策定された。平成 29（2017）年 3 月に閣議決定された新たな同計画においては、平成 32（2020）年までに「訪日外国人旅行者数を 4,000 万人にすること」「国内旅行消費額を 21 兆円にすること」等が目標に掲げられている。我が国の観光業の発展は目覚ましく、平成 15

(2003) 年に 521 万人であった訪日外国人旅行者数は、令和元 (2019) 年には 3,188 万人にまで増加している (資料 1)。

昨今の新型コロナウイルス感染症の流行により、訪日外国人旅行者数は大幅に減少し、観光業界や観光業に支えられていた地域は大きな影響を受けた一方で、日本政府による GoTo トラベル事業では約 8,781 万人泊の利用があり (資料 2)、観光地域の経済回復の一助となったとともに、地域政策・経済と観光の関係性が改めて確認された。我が国では東京オリンピック・パラリンピック (令和 3 (2021) 年度)、大阪万博 (令和 7 (2025) 年度) 等の世界的なイベントを控えている他、本学が所在する愛知県には令和 4 (2022) 年度に大型テーマパークの開業も予定されており、同感染症収束後の国内外からの観光需要や観光地域経済の回復・発展が期待できる。

こうした中、明日の日本を支える観光ビジョン構想会議が平成 28 (2016) 年 3 月に策定した「明日の日本を支える観光ビジョン」、或いは観光立国推進閣僚会議が令和 2 (2020) 年 7 月に策定した「観光ビジョン実現プログラム 2020」に掲げられる諸施策を実現していくための人材育成は社会的に要請されるものであり、教育機関にはそれを可能とする総合的な知識を持つ人材を養成することが求められている。

また、愛知県が令和 2 (2020) 年 12 月に策定した「あいち観光戦略 2021-2023」 (計画期間：令和 3 (2021) 年度～令和 5 (2023) 年度) においては、持続可能な観光の実現のための施策の一つに「観光人材の確保・育成」が掲げられ、同県から教育機関に対して観光教育の実施及び観光人材の養成が求められている。

(2) これまでの教育研究活動

都市情報学部は平成 7 (1995) 年度の開設以降、都市の形成及び発展とそこで営まれる市民生活と経済活動を分析するため、経済学、行政学、地域学を中心とした従来の「都市学」に、環境学、情報学を加えた文理融合型の新たな学問としての「都市情報学」を構築し、都市部における課題解決、目標実現に寄与することを目的に教育研究活動を推進してきた。現代社会においては、急速な社会環境の変化や産業構造の変革により、複雑化する都市問題を複眼的な視野と様々な分析手法によって解決していく力がますます重要になっている。こうした背景の下、「情報・数理」「経済・経営」「財政・行政」「地域計画」「開発・環境」の 5 つの領域から成る専門科目群を配置し、都市に関する総合的知識の修得に加え、実社会で顕在化する諸課題をサービスサイエンスの観点から分析・解決することができる人材の養成を目指している。

平成 20 (2008) 年度からは、①事業評価等の分析能力の修得を目的とする「アナリストコース」、②政策立案や事業計画等の計画能力の修得を目的とする「プランナーコース」を設定し、まちづくりや企業経営に関して文系理系どちらの志向にも対応できる柔軟かつ体系的な学びを実施している。

平成 29 (2017) 年度には、可児キャンパス (岐阜県可児市) からナゴヤドーム前キャンパス (名古屋市東区) へ移転し、教育研究活動の場としている。同キャンパスには、交流・活動を生み出していくための拠点として「社会連携ゾーン shake」を設置し、自治体、企業、NPO 等各セクターを超えたつながりを生み出し、社会課題に取り組むプロジェクトの創出を支援して

いる（資料3）。また、本学では開学 100 周年を迎える令和 8（2026）年に向け、本学が掲げるビジョン『多様な経験を通して、学生が大きく羽ばたく「学びのコミュニティ」を創り広げる』の実現に資するため、各学部等での学びのコミュニティの創出に向けた諸施策のスタートアップ支援を行う採択制の事業である「学びのコミュニティ創出支援事業」を平成 27（2015）年度から展開している。同学部は、従来から継続的に実施してきた地域との連携による「生きた課題」を題材とする実践型教育の展開とともに、多種多様なコミュニティの創出を目的とする本事業への積極的な参画を通じて、本学の中長期戦略 Meijo Strategy-2026（MS-26）の実現に向けた一翼を担っている（資料4、資料5）。

以上のように、教育力の維持・発展に資する諸施策の実施や、キャンパス移転を始めとする充実した教育・研究環境の基盤整備など、同学部は開設時から社会環境の動向を常に注視しつつ変化に柔軟に対応し、社会的要請に基づく人材養成を着実にやってきた。こうした取り組みを積極的に学内外に発信することを通じて、同学部の魅力は多くのステークホルダーに認知されてきており、このことは後述する学生募集や就職状況が良好に推移していることからもうかがうことができる。今後も、社会環境の動向を的確に捉えながら、「活力ある地域社会」の担い手となる人材の養成に向けて、教育研究の更なる充実を図っていく。

（3）学生募集・就職状況

①学生募集状況

はじめに、都市情報学部と同様の学問分野である社会科学系学部への進学動向について、全国及び東海地方の状況を確認する。

全国的な傾向については、日本私立学校振興・共済事業団が公表する「令和 2（2020）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」（資料6）によると、社会科学系学部の令和 2（2020）年度の入学定員は 170,182 人、志願者数は 1,576,350 人と全系統において最多であるとともに、直近 5 年間の動向においても当該学問分野への進学需要は安定的に推移している（表3／資料6）。また、東海地方については、競合する近隣他大学社会科学系学部においても同様に、一般選抜による志願者を安定的に確保していることが分かる（表4）。

次に、本学都市情報学部の近年の志願動向を確認する。

都市情報学部都市情報学科の直近 5 年間（平成 28（2016）年度～令和 2（2020）年度）の志願倍率は 6.7 倍～9.4 倍（平均：8.0 倍）、入学定員超過率は 0.91 倍～1.18 倍（平均：1.01 倍）であり、平成 29（2017）年度に実施した入学定員変更後（200 人から 20 人増の 220 人）も安定的に推移しており、適切な定員管理を行っている（表5）。また、入試区分別の学生募集の状況については、一般選抜における志願者を安定的に確保できているとともに、志願倍率は平成 29（2017）年度に実施した入学定員変更（200 人から 20 人増の 220 人）以降、11.8 倍～14.8 倍と推移している（表6）。

以上のように、全国及び東海地方における社会科学系学部への進学動向や、本学都市情報学部において平成 29（2017）年度に実施した入学定員変更後も安定的かつ高水準で志願者を獲得できている状況に鑑みると、「まちづくり」「組織経営」「観光」人材の養成を目指し、「情報・数理」「経済・経営」「財政・行政」「地域計画」「開発・環境」といった社会科学系統の幅広い

領域の教育研究を展開する都市情報学部を進路選択肢に含む可能性がある受験者が多く存在していると同時に、本学の情報発信・広報活動によっては志願者をさらに増加させることが可能と考えられる。

平成 29（2017）年度の収容定員変更から 4 年が経過し、定員の見直しをする時期となり、専任教員一人当たりの学生数の指標（詳細は後述する）等で示される教育研究体制、及び施設・設備等の機能維持を前提に、過年度の志願動向に鑑み、定員変更後も同等の志願倍率を確保することが可能と判断した。

以上の実態等を踏まえ、今回の入学定員変更後（220 人から 15 人増の 235 人）も入学定員を充足する見込みがあると分析する。

表 3 社会科学系学部の入学志願動向

	社会学部		総合政策学部		情報学部		観光学部	
	5 年推移	5 年平均	5 年推移	5 年平均	5 年推移	5 年平均	5 年推移	5 年平均
志願倍率	9.9-12.7	11.6	8.5-9.6	8.9	5.9-11.2	8.3	7.2-9.2	8.1
入学定員超過率	1.01-1.10	1.04	1.00-1.06	1.02	1.03-1.11	1.06	0.96-1.05	1.00

日本私立学校振興・共済事業団公表データを基に集計。

表 4 近隣他大学における一般選抜入試の学生募集状況

大学名	学部名	学科名		平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度
南山大学	総合政策学部	総合政策学科	募集人員(A)	275	275	275
			志願者数(B)	3,630	3,828	2,271
			志願倍率(B/A)	13.2	13.9	8.3
中京大学	総合政策学部	総合政策学科	募集人員(A)	139	140	135
			志願者数(B)	3,380	3,485	2,975
			志願倍率(B/A)	24.3	24.9	22.0
愛知大学	地域政策学部	地域政策学科	募集人員(A)	159	159	160
			志願者数(B)	3,038	3,186	2,994
			志願倍率(B/A)	19.1	20.0	18.7
愛知淑徳大学	交流文化学部	交流文化学科	募集人員(A)	160	160	160
			志願者数(B)	2,061	2,638	1,944
			志願倍率(B/A)	11.7	14.8	11.1

各大学ホームページによる公表情報を基に集計。

表5 都市情報学部都市情報学科における学生募集状況の推移・予測

	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度
入学定員 (A)	200	220	220	220	220	220	235
志願者数 (B)	1,333	2,058	1,654	1,896	1,668	1,832	1,822
受験者数	1,281	1,995	1,614	1,834	1,609		
合格者数	526	477	559	542	678		
入学者数 (C)	237	202	218	218	224		
志願倍率 (B/A)	6.7	9.4	7.5	8.6	7.6	8.3	7.7
入学定員超過率 (C/A)	1.18	0.91	0.99	0.99	1.01		

注：「志願倍率」は小数第2位を四捨五入、「入学定員超過率」は小数第3位を切り捨て。

令和3（2021）年度については、令和3（2021）年3月12日現在の値。

令和4（2022）年度志願者数については、平成29（2017）～令和3（2021）年度志願者数の平均値（小数点以下四捨五入）を推計値として掲載。

表6 都市情報学部都市情報学科における入試区分別の学生募集状況

		平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度
一般選抜	募集人員 (A)	110	130	130	130	130	130
	志願者数 (B)	1,198	1,930	1,528	1,795	1,560	1,726
	合格者数	425	392	484	470	604	
	志願倍率 (B/A)	10.9	14.8	11.8	13.8	12.0	13.3
その他	募集人員 (A)	90	90	90	90	90	90
	志願者数 (B)	135	128	126	101	108	106
	合格者数	101	85	75	72	74	
	志願倍率 (B/A)	1.5	1.4	1.4	1.1	1.2	1.2

注：「志願倍率」は小数第2位を四捨五入。

令和3（2021）年度については、令和3（2021）年3月12日現在の値。

②卒業生の就職状況

都市情報学部都市情報学科の直近5年間（平成27（2015）年度～令和元（2019）年度卒業生）の就職率は98.2%～100.0%である（表7）。これは文部科学省及び厚生労働省が毎年公表する「大学等卒業生及び高校卒業生の就職状況調査」における対象大学全体の直近5年間の就職率である97.3%～98.0%（資料7）を上回る水準であり、同学科が輩出する人材への社会的な需要があると分析する。

表 7 都市情報学部都市情報学科における就職率、実就職率の推移

	平成 27 (2015) 年度	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度
卒業生数 (A)	180	188	174	217	239
就職希望者数 (B)	160	171	160	201	228
進学者数 (D)	6	4	4	4	5
受付求人社数	11,214	12,983	12,973	14,463	14,357
就職者数 (C)	160	168	160	201	225
東海三県への就職者数	109	107	97	143	152
就職率 (C / B)	100.0%	98.2%	100.0%	100.0%	98.7%
実就職率 (C / (A - D))	92.0%	91.3%	94.1%	94.4%	96.2%

注：「就職率」「実就職率」は小数第 2 位を四捨五入。

(4) 結論

以上の実態及び分析を踏まえ、次に掲げる 2 点を理由に令和 4 (2022) 年度から、都市情報学部都市情報学科の入学定員を 220 人から 15 人増の 235 人に、収容定員を 880 人から 60 人増の 940 人に変更する。

①都市情報学部が掲げる人材養成目的 (*1) を踏まえ、地域政策・経済と観光の関係性や今後の観光需要回復の可能性を視野に入れ、「観光」分野の課題を分析・解決するための専門性を有した人材を新たに養成し、「活力ある地域社会」の実現への更なる寄与を目指すことを目的とした教育課程の改正を行うため（教育課程の改正の詳細は「3. 学則変更（収容定員変更）」に伴う教育課程等の変更内容」に記載）。

②受験生及び企業等からの都市情報学部への進学・人材需要は継続的に高く推移しており、より多くの学修機会の提供を行うために、収容定員を拡大する必要があると判断したため。

*1 都市情報学部の人材養成目的

都市情報学部は、サービスサイエンスの観点から、都市に関する総合的知識とバランス感覚を併せ持ち、まちづくりや組織経営に関するさまざまな課題を分析し、解決する人材の養成を目的とする。

2) 情報工学部情報工学科（令和 3 (2021) 年 6 月届出済）

(1) 社会的背景

現代社会の高度情報化を背景に、今後更なる発展が見込まれる IT 技術を最大限活用することを通じて、我々の生活や社会の在り方の転換、新たな価値創造に向けた取り組みが国家戦略として加速度的に進められている。

人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来社会の姿として、平成 28 (2016) 年 1 月

に閣議決定された「第5期科学技術基本計画」で提唱されている Society5.0 の実現にあたっては、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムが必要とされ、そのために不可欠な IoT（Internet of Things）やビッグデータ、人工知能（AI）に精通した技術者に対する需要は、今後ますます増大することは間違いない。このことは平成 28（2016）年 6 月に閣議決定された「日本再興戦略 2016」において、IoT・ビッグデータ・人工知能等の進展に対応した未来社会を創造する人材の育成・確保に向け、高等教育において高度なレベルのデータサイエンティストなどを育成する学部・大学院の整備を促進していくことが明示されている。

しかしながら、現在、IT 人材の不足は深刻であり、独立行政法人情報処理推進機構（以下、「IPA」という。）が令和 2（2020）年 8 月に公表した「IT 人材白書 2020」では、「IT 人材の“量”に対する過不足感」の調査結果について、IT 企業の 26.2%が「大幅に不足している」、66.8%が「やや不足している」と回答している（資料 8）。また、IT 技術者の慢性的な不足状況を反映して、IPA が令和元（2019）年 5 月に公表した「IT 人材白書 2019」では、「IT 企業の今後重点的に取り組む予定の AI 人材の獲得・確保方法」として、「社内の人材を育成して確保する」と回答した企業も多い（資料 9）。このことは、社会人の学び直しのニーズが高まる可能性を示唆しており、近年は AI 人材の即戦力育成プログラムを展開する大学も出始めている。

さらに、令和 2（2020）年度から始まった小学校におけるプログラミング教育の必修化に代表される初等教育における情報教育の高度化により、大学の情報系学部・学科を志望する受験生の情報スキルの高度化並びに多様化が予測され、そのような受験生にとって魅力ある教育内容にシフトしていかなければならない。また、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムを用いる Society5.0 の実現にあたっては、分野を超えて様々な人々と協働して経済発展と社会的課題の解決を図っていく力を涵養することが必要であり、IT 技術に関する知識だけでなく、幅広い素養を身につけた技術者の養成が求められている。

（2）設置の趣旨及び目的

情報工学部情報工学科の基礎となる理工学部情報工学科は、平成 16（2004）年の設置以降、最先端の情報通信技術・情報処理技術を中心に、次代の「ものづくり」を支える情報工学の教育・研究を推進するとともに、学び得たテクノロジーを用いて産業界に貢献できるスペシャリストの育成・輩出に努めており、他学科との連携を深めながら本学理工学部における情報教育の先駆的・先導的な役割を果たしてきた。

他方、前述の高度情報社会の急速な進展等を背景に、今後学生たちが送り出される社会は先行き不透明であり、求められる人材像も大きく変わっていくことが想定される。「超スマート社会」という未来像において、様々な領域・産業分野が IT 技術により枠を超えて繋がり、イノベーションを起こしていくためには、日進月歩の情報通信技術・情報処理技術等に関する専門知識の修得だけでなく、他の専門分野や背景の異なる多様な人々と連携・協働していくための素養を身につけることが必要である。こうした考え方は、近年の社会的要請を考慮すると、文系・理系問わず重要なものであり、統合イノベーション戦略推進会議が令和元（2019）年 6 月に決定した「AI 戦略 2019」においては、「文理を問わず、全ての大学・高専生（約 50 万人

卒/年)が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得」することが具体目標として掲げられている。また、急速な社会変化や技術の進化に敏感に反応しつつ、課題解決や新たな価値創造に取り組んでいくために、知識の新たな修得や情報技術の応用を試行するといった学びの継続性がより重要となってくる。人文・社会科学、理学、工学、農学、薬学といった多様な学問領域を教育・研究の対象とする本学において、理工学部情報工学科が培ってきた教育・研究力を礎に、これまで以上に全学的な学部間相互の連携を深め、社会が求めるIT技術の作り手や使い手、繋ぎ手を養成していくことが必要である。これらのことは、本学の中長期戦略 Meijo Strategy-2026 (MS-26) における「学びのコミュニティ」による多様な経験を積むことの重要性や、「生涯学びを楽しむ (Enjoy Learning for Life)」といった同戦略プランに掲げる価値観と深く関係するものである。

このような観点から検討した結果、既存の理工学部情報工学科を発展的に改組し、令和4(2022)年度から情報工学部情報工学科を新たに設置することとした。理工学部から独立し、新たな学部となることにより、今後更なる発展が見込まれるIT分野の動向を踏まえた教育研究に係る迅速かつ柔軟な意思決定を可能にするとともに、他学部・専門分野間との連携の更なる充実、社会環境の動向を踏まえた本学の情報教育を全学に波及するフラッグシップとしての役割を果たすことで、豊かな未来社会創造の担い手となる人材養成の機能を更に強化することを目指していく。情報工学部における教育課程の内容は後述するが、企業や自治体等との連携の下、実社会での業務や地域課題と関わりの強い実践的な題材をテーマに据え、最先端のツールを用いつつチームで課題に取り組むPBL (Project-Based Learning) を充実する。実際にIT企業で開発等の業務に従事する技術者による直接的な指導を積極的に導入するとともに、チームでの活動を推奨し、他者と協働して問題解決にあたる能力の育成や企業の方々との交流によるキャリア意識の醸成などを図っていく。

(3) 基礎となる理工学部情報工学科の学生募集・就職状況

①学生募集状況と高校生の志願動向の把握

はじめに、情報工学部情報工学科の基礎となる理工学部情報工学科及び東海地方における競合大学の志願動向を確認する。

理工学部情報工学科の直近5年間(平成28(2016)年度～令和2(2020)年度)の志願倍率は17.4倍～23.0倍(平均:21.4倍)、入学定員超過率は0.87倍～1.20倍(平均:1.03倍)であり、平成29(2017)年度に実施した入学定員変更後(145人から5人増の150人)も安定的に推移している(表8)。また、入試区分別の学生募集の状況については、一般選抜における志願者を安定的に確保できているとともに、志願倍率は平成29(2017)年度に実施した入学定員変更(145人から5人増の150人)以降、32.1倍～33.9倍と推移している(表9)。また、東海地方については、競合する近隣他大学においても同様に、一般選抜による志願者を安定的に確保していることが分かる(表10)。

次に、情報工学部情報工学科への志願動向の把握等を目的に、令和3(2021)年3月に実施した、高校生への進学意向アンケート調査について確認する(資料10)。

本アンケート調査は、令和3(2021)年4月に高校1、2、3年生となる者を対象に、①進学

したいと考えている学問分野、②本学情報工学部情報工学科に対する進学希望の有無を聴取した。東海地方から多くの志願者の獲得を目指すことを前提としつつ、全国的な情報系学部への進学ニーズや傾向を併せて確認することで、今後の学生募集戦略を形成するための一助とすること等を目的に、調査対象エリアを東海地方に加え関東・近畿圏に拡大した。

実施結果は次のとおりである。有効回答数 1,237 人中、大学・短大・専門学校等への「進学を希望する」と回答した者は全学年合計 1,043 人であり、このうち、本学の情報工学部情報工学科への「進学を希望する」「進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかで回答した者は全学年合計で 317 人であった。この学年別内訳は、3 年生が 157 人中 33 人（21%）、2 年生が 430 人中 115 人（27%）、1 年生が 456 人中 169 人（37%）であった。本アンケートは情報工学部設置基本構想を説明し実施したものであるが、各学年において情報系学部への進学意向を持つ者が一定割合存在することが明らかになった。今後、進学を検討する過程で本学情報工学部情報工学科を「進学先の候補の一つ」として検討する高校生をはじめとする幅広い層に対して、より詳細な教育研究内容を伝える理解・広報活動を積極的に展開することを通じて、「興味・関心のある層」から「進学を希望する層」に繋げ、より多くの志願者確保に努めていく。

以上のように、情報人材の養成に対する社会からの要請や高校生の情報系学部への進学意向を踏まえると、新たに設置する情報工学部情報工学科（理工学部情報工学科の 150 人から 30 人増の 180 人）において入学定員を充足する見込みがあると分析する。

表 8 理工学部情報工学科における学生募集状況の推移・予測

	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度
入学定員 (A)	145	150	150	150	150	150	180
志願者数 (B)	2,522	3,334	3,365	3,452	3,276	3,688	3,423
受験者数	2,445	3,241	3,262	3,360	3,156		
合格者数	737	812	726	787	1,114		
入学者数 (C)	152	181	138	131	170		
志願倍率 (B/A)	17.4	22.2	22.4	23.0	21.8	24.6	19.0
入学定員超過率 (C/A)	1.04	1.20	0.92	0.87	1.13		

注：「志願倍率」は小数第 2 位を四捨五入、「入学定員超過率」は小数第 3 位を切り捨て。

令和 3（2021）年度については、令和 3（2021）年 3 月 12 日現在の値。

令和 4（2022）年度志願者数については、平成 29（2017）～令和 3（2021）年度志願者数の平均値（小数点以下四捨五入）を推計値として掲載。

表 9 理工学部情報工学科における入試区分別の学生募集の状況

		平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度
一般選抜	募集人員 (A)	97	97	97	97	97	97
	志願者数 (B)	2,383	3,184	3,249	3,288	3,113	3,527
	合格者数	676	757	668	725	1,051	
	志願倍率 (B/A)	24.6	32.8	33.5	33.9	32.1	36.4
その他	募集人員 (A)	48	53	53	53	53	53
	志願者数 (B)	139	150	116	164	163	161
	合格者数	61	55	58	62	63	
	志願倍率 (B/A)	2.9	2.8	2.2	3.1	3.1	3.0

注：「志願倍率」は小数第 2 位を四捨五入。

令和 3 (2021) 年度については、令和 3 (2021) 年 3 月 12 日現在の値。

表 10 近隣他大学における一般選抜入試の学生募集状況

大学名	学部名	学科名		平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度
中京大学	工学部	情報工学科	募集人員(A)	50	57	57
			志願者数(B)	1,695	2,095	2,019
			志願倍率(B/A)	33.9	36.8	35.4
中部大学	工学部	情報工学科	募集人員(A)	76	76	72
			志願者数(B)	1,282	1,319	1,198
			志願倍率(B/A)	16.9	17.4	16.6

各大学ホームページによる公表情報を基に集計。

②卒業生の就職状況

情報工学部情報工学科の基礎となる理工学部情報工学科の直近 5 年間（平成 27（2015）年度～令和元（2019）年度卒業生）の就職率は 98.4%～100.0%である（表 11）。これは文部科学省及び厚生労働省が毎年公表する「大学等卒業生及び高校卒業生の就職状況調査」における対象大学全体の直近 5 年間の就職率である 97.3%～98.0%（資料 7）を上回る水準であることから、同学科が輩出する人材への社会的な需要があり、新たに設置する情報工学部情報工学科においても安定的な人材需要の見込みがあると分析する。

表 1 1 理工学部情報工学科における就職率、実就職率の推移

	平成 27 (2015) 年度	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度
卒業生数 (A)	148	135	134	138	138
就職希望者数 (B)	123	107	111	113	115
進学者数 (D)	22	23	22	22	16
受付求人社数	13,475	15,215	14,834	14,137	14,019
就職者数 (C)	121	107	111	112	114
東海三県への就職者数	81	69	74	72	62
就職率 (C / B)	98.4%	100.0%	100.0%	99.1%	99.1%
実就職率 (C / (A-D))	96.0%	95.5%	99.1%	96.6%	93.4%

注：「就職率」「実就職率」は小数第 2 位を四捨五入。

(4) 結論

以上の実態及び分析を踏まえ、次に掲げる 2 点を理由に令和 4 (2022) 年度から、新たに情報工学部情報工学科を設置する。加えて、定員について、基礎となる理工学部情報工学科の入学定員 150 人から 30 人増の 180 人に、収容定員を 600 人から 120 人増の 720 人に変更する。

①情報工学部の人材養成目的 (*2) に掲げる人材の養成を通じ、経済発展並びに社会的課題の解決に寄与するため。

②情報工学部情報工学科の基礎となる理工学部情報工学科に対する受験生及び企業等からの進学・人材需要は継続的に高く推移しており、より多くの学修機会の提供を行うために、収容定員を拡大する必要があると判断したため。

*2 情報工学部の人材養成目的

情報工学部は、幅広い素養を備え、社会に通用する情報工学の専門知識とその応用力を持ち、情報技術者として自らの手で新しい分野を創造的に切り拓いてゆく人材の養成を目的とする。

3) 理工学部情報工学科

情報工学部情報工学科の設置に伴い令和 4 (2022) 年度から、同学科の基礎学科となる理工学部情報工学科は学生募集を停止する。

4) 大学全体

(1) 学生募集・就職状況

①学生募集状況

大学全体の直近 5 年間（平成 28（2016）年度～令和 2（2020）年度）の志願倍率は 12.1 倍～12.3 倍（平均：12.2 倍）、入学定員超過率は 0.97 倍～1.08 倍（平均：1.02 倍）であり、平成 29（2017）年度に実施した入学定員変更後（3,155 人から 215 人増の 3,370 人）も安定的に推移している（表 1 2）。このことから、今回の入学定員変更後（3,370 人から 45 人増の 3,415 人）も入学定員を充足する見込みがあると分析する。

表 1 2 大学全体における学生募集状況の推移

	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度
入学定員 (A)	3,155	3,370	3,370	3,370	3,370
志願者数 (B)	38,314	41,602	40,872	41,243	41,493
受験者数	36,898	40,203	39,491	39,898	39,827
合格者数	12,544	12,554	12,506	13,196	15,253
入学者数 (C)	3,437	3,567	3,394	3,287	3,479
志願倍率 (B/A)	12.1	12.3	12.1	12.2	12.3
入学定員超過率 (C/A)	1.08	1.05	1.00	0.97	1.03

注：「志願倍率」は小数第 2 位を四捨五入、「入学定員超過率」は小数第 3 位を切り捨て。

②学部卒業生の就職状況

大学全体の直近 5 年間（平成 27（2015）年度～令和元（2019）年度卒業生）の就職率は 99.4%～99.7%である（表 1 3）。これは文部科学省及び厚生労働省が毎年公表する「大学等卒業者及び高校卒業者の就職状況調査」における対象大学全体の直近 5 年間の就職率である 97.3%～98.0%（資料 7）と比較しても優れた水準であり、本学が輩出する人材への社会的な需要があると分析する。

また、本学の受入求人社数は近年 17,000 件程に増加していることから、今回の入学定員変更（3,370 人から 45 人増の 3,415 人）は社会的な人材需要を踏まえた対応と考える。

表 1 3 大学全体における就職率、実就職率の推移

	平成 27 (2015) 年度	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度
卒業生数 (A)	3,122	3,238	3,143	3,278	3,232
就職希望者数 (B)	2,688	2,798	2,777	2,915	2,859
進学者数 (D)	244	275	245	246	254
受付求人社数	14,202	16,017	15,623	17,615	17,213
就職者数 (C)	2,671	2,790	2,770	2,900	2,844
東海三県への就職者数	1,899	1,922	1,840	1,945	1,850
就職率 (C / B)	99.4%	99.7%	99.7%	99.5%	99.5%
実就職率 (C / (A-D))	92.8%	94.2%	95.6%	95.6%	95.5%

注：「就職率」「実就職率」は小数第 2 位を四捨五入。

(2) 出身地別入学者数

大学全体の直近 5 年間（平成 28（2016）年度～令和 2（2020）年度）の本学入学者のうち東海地方出身者の割合は 91.3%～92.6%（平均：92.2%）、愛知県出身者の割合は 62.9%～65.7%（平均：64.2%）である（表 1 4）。リクルート進学総研が公表する「リクルート進学総研マーケットレポート」（資料 1 1）において、東海地方の大学入学者の地元残留率は全国値を上回っており、本学においても同様の傾向が見られる。

表 1 4 出身地別入学者数（学部生）

		平成 28 (2016) 年度		平成 29 (2017) 年度		平成 30 (2018) 年度		令和元 (2019) 年度		令和 2 (2020) 年度	
		人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
東海地方 内訳		3,181	92.6%	3,289	92.2%	3,128	92.2%	3,040	92.5%	3,178	91.3%
	愛知県	2,257	65.7%	2,287	64.1%	2,190	64.5%	2,101	63.9%	2,190	62.9%
	岐阜県	488	14.2%	529	14.8%	490	14.4%	507	15.4%	511	14.7%
	三重県	325	9.5%	351	9.8%	306	9.0%	297	9.0%	306	8.8%
	静岡県	111	3.2%	122	3.4%	142	4.2%	135	4.1%	171	4.9%
その他		256	7.4%	278	7.8%	266	7.8%	247	7.5%	301	8.7%
入学者合計		3,437	100.0%	3,567	100.0%	3,394	100.0%	3,287	100.0%	3,479	100.0%

注：入学者の「出身高校所在地」から算出。

(3) 結論

以上の実態及び分析を踏まえ、都市情報学部・情報工学部・理工学部の定員変更に伴う大学全体の定員変更について検討した結果、過年度の傾向に鑑みれば、本学に対する進学需要や企業等からの人材需要は安定的に推移しており、大学全体の収容定員の増加は妥当と考えられる。

ため、大学全体の定員増加とすることとし、入学定員を 3,370 人から 45 人増の 3,415 人に、収容定員を 14,010 人から 180 人増の 14,190 人に変更する。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

1) 教育課程の変更内容

(1) 都市情報学部都市情報学科

都市情報学部都市情報学科における教育課程等の概要は資料 12 のとおりである。

9 科目（18 単位）からなる「観光系科目群」（表 15）の新設、及び専門部門を中心とする一部科目の改編を行う。変更後の開講科目数は 138 科目であり変更前と同数である（表 16）。

観光系科目群の設定は、既存の「経済・経営」「財政・行政」「地域計画」「開発・環境」「情報・数理」の専門教育との相乗効果により、新たな専門性を修得する機会を提供し、変更前の教育課程と同等以上の教育内容を担保する。また、観光系科目群のうち 8 科目を修得し、かつ学部で定める修了要件を満たした都市情報学部生が、職業人として必要な一定レベルの専門的スキルを有していることを認定する「キャリア認証プログラム（ツーリズム分野）」を制定し、該当する学生には修了証を授与する。

他学部生に対しては、副専攻制度として観光系科目群のうち 6 科目（12 単位）を履修可能とし、そのうち、同制度において定める必修科目 5 科目（10 単位）以上を修得した学生には「副専攻単位修得証明書」を授与する。

表 15 観光系科目群

科目区分		科目名	単位数			備考	副専攻 制度 ◎：必修 ○：対象
			必修 科目	選択 科目	自由 科目		
教養教育部門		世界遺産とツーリズム		2		改編	
専門 部門	経済・経営	観光のサービス		2		新設	◎
	財政・行政	観光の政策		2		改編	◎
	地域計画	観光と産業		2		改編	◎
		観光とまちづくり		2		新設	◎
	開発・環境	プロジェクトの評価		2		改編	○
		観光の資源		2		新設	◎
	総合科目	データサイエンス		2		改編	
		フィールド調査の方法		2		改編	

表 1 6 教育課程全体の変更概要

	必修科目		選択科目		自由科目		合計	
	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
変更前(令和3(2021)年度)	13	30	125	231	0	0	138	261
変更後(令和4(2022)年度)	13	30	125	225	0	0	138	255

(2) 情報工学部情報工学科

情報工学部情報工学科における教育課程等の概要は資料13のとおりである。

情報工学部情報工学科は、卒業認定・学位授与の方針に示す能力の修得に向け、教養教育と専門教育により構成される教育課程を編成する。教養教育課程及び専門教育課程のそれぞれにおいて一定数以上の単位の修得を義務付け、情報工学の枠を超えた深い知識・理解を身につけるための幅広い学修を求める。

教養教育は、教養科目（総合基礎部門）と理工学基礎科目（専門教育部門の一部）により編成する。幅広い視野、倫理観、そして必要な知識を修得するとともに、他者と協働して課題解決に取り組むことのできる人材を養成する上で、教養教育は重要な役割を担う。教養教育は1、2年次のうちにその多くの科目を開講する。専門教育、特に情報工学専門科目を学ぶ前に履修することで、学年進行により基礎的学修から発展的学修へと段階的に学べるようにする。

2年次以上の学生は総合コースまたは先進プロジェクトコースのいずれかに属して教育を受ける(*3)。総合コースは、後述の4つのプログラムのいずれか1つ以上を、より深く学ぶことを目的に設計している。先進プロジェクトコースは、学生／教員比率を低く設定するPBL科目を充実させ、実社会での問題に即したテーマを情報工学の技術・知見を活かして解決する方法を学ぶ。

プログラムに関しては、ネットワークシステム、フィジカルコンピューティング、データエンジニアリング、ヒューマン・メディアという4つのプログラムを置く。各プログラムに学生が属するのではなく、プログラムごとに設けられた修了条件を意識しつつ、自身の望むプログラムのための履修計画を学生自身が立案し、修得する。卒業判定時に、自身の属するコースでの各プログラムの修了条件を1プログラム以上満たすことが卒業の要件となっている。学生は自身が目標とするプログラムはいつでも変更可能であり、また、その意欲と能力に合わせて、複数のプログラムを修了することが可能な教育体制となっている。

*3 コースの選抜方法

入学定員180人のうち、総合コースは120人、先進プロジェクトコースは60人を目安とする。コースの選抜は、学生からの希望調査を行った上で、1年次までの成績等を判断材料にして目安の人数に近づけるように振り分ける。
なお、転コースを希望する学生については面接を行い、希望理由の妥当性などにより適否を判断する。

(3) 理工学部情報工学科

理工学部情報工学科における教育課程等の概要は資料14のとおりである。

収容定員の変更に伴う教育課程の変更は行わないが、理工学部情報工学科の在学生全員が卒

業するまで、同学科の人材養成目的に基づく人材の養成を可能とする教育課程を編成・実施するとともに、引き続き教育の質の維持・向上に努める。

2) 教育方法及び履修指導方法の変更内容

全ての学科において、収容定員変更に伴う教育方法及び履修指導方法の変更は行わないが、教育の質の維持・向上に向け、全学で次の取り組みを継続する。

(1) 教育改善への取り組み

①FD 活動

本学の教育改善の推進を担う大学教育開発センターと各学部 FD 委員会等が連携し、授業改善アンケート・FD フォーラム・FD 学習会等を実施し、本学の教育状況、優れた教育手法等を全学で共有することにより、教育内容の改善を図っている。各取り組みの概要は次のとおりである。

ア. 授業改善アンケート

平成 12 (2000) 年度から、魅力ある授業づくりを持続的に行うために学生の視点から見た教育改善に必要な情報を得ることを目的に、授業改善アンケートを実施している。集計結果は全学に共有されるとともに、各学部において授業改善に役立てている。現在は、Web 方式で前期・後期にそれぞれ実施している。

また、令和 2 (2020) 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、多くの授業をオンライン（遠隔）形式で実施したが、学生・教員ともに緊急的対応であったことを踏まえ、今後の改善に役立てることを目的に、オンライン授業の質や学生の学修状況等を内容とするアンケートを新たに実施した。

イ. FD フォーラム

平成 12 (2000) 年度から、学内外の特色ある教育改善の取り組みを全学的に共有することを目的に、年に 1 度、本学教職員並びに他大学関係者等を対象に FD フォーラムを実施しており、令和元 (2019) 年度までに計 21 回開催している。近年取り扱われたテーマは次のとおりであり、各回において学外有識者による基調講演に加え、学内外の教職員により事例報告を行った。

(近年取り扱われた主なテーマ)

- ・学生の成長につながる教育の質保証について考える－第三期認証評価を踏まえて－
- ・学生の主体的な学びと学修ポートフォリオ
- ・「大学教養」で何を学ぶか

ウ. FD 学習会

平成 26 (2014) 年度から、高等教育政策への本学の対応を提起することを目的に、本学教

職員・非常勤講師・大学院生を対象に FD 学習会を実施している。本学習会では、講師を主に本学教員が務め、当該学部における事例・課題の共有や意見交換を行い、各学部等における教育課程編成等に役立てている。令和 2（2020）年度までに計 11 回開催しており、近年取り扱われたテーマは次のとおりである。

（近年取り扱われた主なテーマ）

- ・数理・データサイエンス・AI 教育の必要性和実践
- ・遠隔授業における WebClass（*4）の活用
- ・ポートフォリオの活用とアクティブラーニングの評価

*4 本学で導入している Learning Management System の名称。

②シラバスの作成と点検

本学ではシラバスを教育の質保証・向上のための重要な学修支援ツールと位置付けており、全学で記載内容の充実を図るために「シラバス作成要項」を策定している。非常勤講師を含む各授業担当教員が同要項に基づき作成した後、各学部の事務職員及び教務委員等の教員による第三者チェックを経て完成となる。同要項はシラバスの更なる充実を目的に毎年見直しを行っている。

③教育課程の検証

各学部において、「学位授与方針対応表」と「履修系統図」を活用した自己点検・評価活動を行い、教育課程の体系性や、人材養成目的及び学位授与方針と教育課程との関連性を検証している。各学部における検証結果は、全学的視点による自己点検・評価の推進を目的とする「大学評価専門委員会（*5）」において報告され、教育課程編成に係る各学部等の優れた事例や課題を共有している。

*5 委員長：学長／委員には副学長及び各学部長・研究科長に加え学外有識者を含む。

（2）履修指導及び学修支援

①履修指導

オリエンテーション並びに学務センター窓口において履修指導を行っている。加えて、全教員がオフィスアワーを設定し、研究室での質問・相談が可能である。

また、各学部において履修科目の年間登録上限数を設定し、各科目の事前・事後学修時間の確保並びに在学期間を通したバランスの良い学修の実施を図ることに加え、令和 2（2020）年度からは成績優秀者を対象とする年間登録上限数の緩和制度を導入し、より幅広い学びの機会を提供している。

②学修ポートフォリオ

学生が自身の学修成果等を把握し自律的な学修・課外活動に取り組むための支援を行うこと

を目的に、令和 3（2021）年 4 月から全学で学修ポートフォリオを導入する。導入に先立ち、一部学生を対象に実施した試行運用で得られた感想・要望等を踏まえ、利便性及び利用効果等、学生視点に立ったシステムを構築した。

3）教員組織の変更内容

収容定員変更に伴い、教員組織を以下のとおり整備する。

（1）都市情報学部都市情報学科

都市情報学部都市情報学科には申請時点において 26 人（内訳：教授 22 人、准教授 2 人、助教 2 人）の専任教員が所属している。収容定員を変更する令和 4（2022）年度までに専門科目を担当する専任教員 2 人を新規採用し、専任教員 28 人とする予定である。

変更後の収容定員（940 人）に基づく設置基準上必要な教員数は 18 人（うち教授 9 人以上）であるため、教員数の規定を充足する。

専任教員一人当たりの学生数は、定員変更前 33.8 人（収容定員 880 人／専任教員 26 人）、定員変更後 33.6 人（収容定員 940 人／専任教員 28 人）と概ね同規模である。

（2）情報工学部情報工学科

理工学部情報工学科所属教員 19 人（内訳：教授 9 人、准教授 8 人、助教 2 人）が情報工学部情報工学科に移籍することに加え、完成年度を迎えるまでに専任教員 3 人（うち 1 人以上は教授とする予定）の新規採用を行い、専任教員 22 人とする予定である。

なお、専任教員のうち 1 人（教授）は情報工学部開設 3 年目である令和 6（2024）年度に定年退職年齢を迎えるが、学校法人名城大学職員規則（資料 15）に基づき当該教員の定年を令和 7（2025）年度末まで 1 年間延長することを機関決定している。また、当該教員の後任者は令和 8（2026）年度の採用を予定しており、令和 6（2024）年度の常勤理事会で審議・承認の後、情報工学部において採用活動を開始する予定である。

収容定員（720 人）に基づく設置基準上必要な教員数は 17 人（うち教授 9 人以上）であるため、教員数の規定を充足する。

専任教員一人当たりの学生数は、定員変更前 31.6 人（収容定員 600 人／専任教員 19 人）、定員変更後 32.7 人（収容定員 720 人／専任教員 22 人）と概ね同規模である。

（3）理工学部情報工学科

理工学部情報工学科所属教員 19 人は、同学科の学生募集停止に伴い令和 4（2022）年度から情報工学部情報工学科に移籍する。移籍後も理工学部情報工学科の在学生全員が卒業するまでは、引き続き同学科の授業並びに学科運営業務を行うことが両学部間で確認されているため、従来どおりの学科運営が可能である。

4）大学全体の施設・設備の変更内容

変更後の大学全体の収容定員（14,190 人）に基づく設置基準上必要な校地面積は 141,900 m²、

校舎面積は 120,194 m²であるのに対し、大学全体の校地面積は 483,219 m²、校舎面積は 224,863 m²であるため、施設に関する規定を充足する。

本学では、教育効果向上及び正課外活動を含む学生生活の更なる充実に向けたキャンパス再開発の推進に向け、令和元(2019)年度にキャンパス再開発基本計画(計画期間:令和元(2019)年度～令和 16(2034)年度)を策定した。同基本計画には含まれない施設・設備の小さな改修についても、「学生第一」の視点に立ち、各部局で日々実施している。

(1) 天白キャンパス

法学部・経営学部・経済学部・理工学部・農学部・情報工学部の計 6 学部の学生が通う天白キャンパスは、主に情報工学部の利用する研究実験棟Ⅲが令和元(2019)年度に竣工した。この研究実験棟Ⅲは研究室、実験室、演習室、ラーニングコモンズを整備している。理工学部の利用する研究実験棟Ⅳは令和 4(2022)年度の竣工に向けた工事が進められている。令和 6(2024)年度に体育施設機能を有する全学共用棟(仮称)の新築、令和 7(2025)年度に食堂棟(仮称)の新築、令和 10(2028)年度に附属図書館本館の改修等を計画している。

(2) ナゴヤドーム前キャンパス

都市情報学部・人間学部・外国語学部の計 3 学部の学生が通うナゴヤドーム前キャンパスは、平成 28(2016)年度に開設された新しいキャンパスであるため、同基本計画における施設・設備の変更は予定していない。

以 上

学則の変更の趣旨等を記載した書類

資料目次

資料 1	年別 訪日外客数,出国日本人数の推移
資料 2	Go To トラベル事業の利用実績
資料 3	社会連携ゾーン shake 早わかりガイド
資料 4	学びのコミュニティ創出支援事業実践事例 ー地域と連携した実践型教育プログラムー
資料 5	学びのコミュニティ創出支援事業実践事例 ー学部を越えた共同プログラムー
資料 6	私立大学・短期大学等入学志願動向
資料 7	大学等卒業者及び高校卒業者の就職状況調査
資料 8	IT 人材白書 2020
資料 9	IT 人材白書 2019
資料 1 0	情報工学部情報工学科（仮称）の設置に関するアンケート調査結果
資料 1 1	リクルート進学総研マーケットリポート（東海・全国）
資料 1 2	教育課程等の概要（都市情報学部都市情報学科）
資料 1 3	教育課程等の概要（情報工学部情報工学科）
資料 1 4	教育課程等の概要（理工学部情報工学科）
資料 1 5	学校法人名城大学職員規則（抜粋）

年別 訪日外客数, 出国日本人数の推移

Visitor Arrivals, Japanese Overseas Travelers

年 Year		旅行者数 International Travelers			
		訪日外客数 (*1) Visitor Arrivals	伸 率 Change	出国日本人数 (*2) Japanese Overseas Travelers	伸 率 Change
		人 persons	%	人 persons	%
1964	昭和39年	352,832	15.5	127,749	27.7
1965	昭和40年	366,649	3.9	158,827	24.3
1966	昭和41年	432,937	18.1	212,409	33.7
1967	昭和42年	476,771	10.1	267,538	26.0
1968	昭和43年	519,004	8.9	343,542	28.4
1969	昭和44年	608,744	17.3	492,880	43.5
1970	昭和45年	854,419	40.4	663,467	34.6
1971	昭和46年	660,715	△22.7	961,135	44.9
1972	昭和47年	723,744	9.5	1,392,045	44.8
1973	昭和48年	784,691	8.4	2,288,966	64.4
1974	昭和49年	764,246	△2.6	2,335,530	2.0
1975	昭和50年	811,672	6.2	2,466,326	5.6
1976	昭和51年	914,772	12.7	2,852,584	15.7
1977	昭和52年	1,028,140	12.4	3,151,431	10.5
1978	昭和53年	1,038,875	1.0	3,525,110	11.9
1979	昭和54年	1,112,606	7.1	4,038,298	14.6
1980	昭和55年	1,316,632	18.3	3,909,333	△3.2
1981	昭和56年	1,583,043	20.2	4,006,388	2.5
1982	昭和57年	1,793,164	13.3	4,086,138	2.0
1983	昭和58年	1,968,461	9.8	4,232,246	3.6
1984	昭和59年	2,110,346	7.2	4,658,833	10.1
1985	昭和60年	2,327,047	10.3	4,948,366	6.2
1986	昭和61年	2,061,526	△11.4	5,516,193	11.5
1987	昭和62年	2,154,864	4.5	6,829,338	23.8
1988	昭和63年	2,355,412	9.3	8,426,867	23.4
1989	平成 元年	2,835,064	20.4	9,662,752	14.7
1990	平成 2 年	3,235,860	14.1	10,997,431	13.8
1991	平成 3 年	3,532,651	9.2	10,633,777	△3.3
1992	平成 4 年	3,581,540	1.4	11,790,699	10.9
1993	平成 5 年	3,410,447	△4.8	11,933,620	1.2
1994	平成 6 年	3,468,055	1.7	13,578,934	13.8
1995	平成 7 年	3,345,274	△3.5	15,298,125	12.7
1996	平成 8 年	3,837,113	14.7	16,694,769	9.1
1997	平成 9 年	4,218,208	9.9	16,802,750	0.6
1998	平成 10年	4,106,057	△2.7	15,806,218	△5.9
1999	平成 11年	4,437,863	8.1	16,357,572	3.5
2000	平成 12年	4,757,146	7.2	17,818,590	8.9
2001	平成 13年	4,771,555	0.3	16,215,657	△9.0
2002	平成 14年	5,238,963	9.8	16,522,804	1.9
2003	平成 15年	5,211,725	△0.5	13,296,330	△19.5
2004	平成 16年	6,137,905	17.8	16,831,112	26.6
2005	平成 17年	6,727,926	9.6	17,403,565	3.4
2006	平成 18年	7,334,077	9.0	17,534,565	0.8
2007	平成 19年	8,346,969	13.8	17,294,935	△1.4
2008	平成 20年	8,350,835	0.0	15,987,250	△7.6
2009	平成 21年	6,789,658	△18.7	15,445,684	△3.4
2010	平成 22年	8,611,175	26.8	16,637,224	7.7
2011	平成 23年	6,218,752	△27.8	16,994,200	2.1
2012	平成 24年	8,358,105	34.4	18,490,657	8.8
2013	平成 25年	10,363,904	24.0	17,472,748	△5.5
2014	平成 26年	13,413,467	29.4	16,903,388	△3.3
2015	平成 27年	19,737,409	47.1	16,213,789	△4.1
2016	平成 28年	24,039,700	21.8	17,116,420	5.6
2017	平成 29年	28,691,073	19.3	17,889,292	4.5
2018	平成 30年	31,191,856	8.7	18,954,031	6.0
2019	平成31 / 令和元 年	31,882,049	2.2	20,080,669	5.9

- ◆注 (*1): 法務省資料に基づき、外国人正規入国者のうちから日本に永続的に居住する外国人を除き、さらに一時上陸客等を加えて集計した。
 (*2): 法務省出入国管理統計 出入(帰)国者数より。
 (*3): 値はすべて確定値である。

- ◆Notes (*1): These figures are compiled from the data of the Ministry of Justice. The recalculation serves to bring the visitor figures into line with the international standards.
 (*2): Source is the Ministry of Justice.

- (*3): Figures from 1964 to 設置等の趣旨 (資料) -2

出典：日本政府観光局ホームページ

観光庁について



政策について



委員会・審議会等



統計情報・白書



予算・調達情報



報道・会見

[観光庁ホーム](#) > [報道・会見](#) > [報道発表](#) > [2021年](#) > Go To トラベ[予算・税制・財政投融资](#)[入札・契約情報](#)

Go To トラベル事業の利用実績等について

最終更新日：2021年2月10日

Go To トラベル事業の利用実績及び利用状況について、以下のとおり発表いたします。

（１）Go To トラベル事業の利用実績について

Go To トラベル事業における最新の利用実績について、以下の通りGo To トラベル事務局から報告がありましたので、お知らせいたします（詳細は[別紙1](#)及び[別紙2](#)ご参照）。

【利用実績】

利用人数：少なくとも約8,781万人泊（7/22～12/28チェックアウト分）

支援額：少なくとも約5,399億円

宿泊・旅行代金の割引：少なくとも約4,082億円（7/22～12/28チェックアウト分）

地域共通クーポン利用額：少なくとも約1,317億円（10/1～12/28）

※ 本数値は推計値を含む速報値であり、確定値ではありませんので、その旨ご注意ください。

※ 地域共通クーポン利用額については、2/1までにGo To トラベル事務局に換金請求があったものを集計しております。

（２）Go To トラベル事業の利用状況について

Go To トラベル事業の昨年7月～10月の利用実績をもとに、利用価格帯分布を取りまとめたので、お知らせいたします（詳細は[別紙3](#)ご参照）。

このページに関するお問い合わせ

観光庁参事官（旅行振興）

TEL：03-5253-8330

出典：観光庁ホームページ

観光庁 [\[アクセス・地図\]](#)

住所：〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-2

電話：03-5253-8111（国土交通省代表）

[ご質問・使い方](#) | [サイトポリシー](#) | [著作権・リンク、免責事項について](#)

て

Copyright © Japan Tourism Agency. All Rights Reserved.

社会連携ゾーン shake 早わかりガイド

フラットつながる、学ぶ自由空間。



社会連携ゾーンshakeは、地域・企業・大学の自由な交流・活動の拠点。在学生・卒業生・教職員だけではなく、地域・行政・企業など、多様な方が年齢・職業を超えてフラットに集い交流し、情報や学びを共有するオープンなパブリックスペースです。使い方は人それぞれ。個人利用からプロジェクト活動まで、思い思いにご活用ください。

読書や考え事に

ちょっとした会議に

交流会に

情報発信に

shake は予約不要で自由に利用できます(一部スペース除く)

※資料 1 「利用スペースのご案内」 参照

でも、できれば事前に予約したい

一定の条件を満たした団体であれば予約利用も可能です。

パートナーシップ団体にご登録ください。

※資料 2 「パートナーシップ団体 登録のご案内」 参照

<利用可能者>

- ・学内利用者（在学生、教職員）
- ・学外利用者（卒業生、一般）

<利用可能日時>

原則として学休日を除く 9:00～21:00

<利用方法>

利用申請は不要。予約なしで自由にご利用いただけます。

※ただし「アイデアエクスチェンジスペース」での情報発信および「プロジェクトルーム」の利用については事前申請が必要です。

※学内行事およびその準備のためご利用いただけない場合があります。ご了承ください。

利用スペース（「資料 1」参照）	利用方法
アイデアエクスチェンจ์スペース （チラシ・ポスター掲示など）	原則 2 週間前までに事前申請必要(窓口：社会連携センター) ※本スペースの設置目的に準じて、利用の可否を判断させていただきます。
ダイアログスペース	利用申請不要・予約不可（パートナーシップ団体除く→「資料 2」参照）
ワークスペース	利用申請不要・予約不可（パートナーシップ団体除く→「資料 2」参照）
プロジェクトルーム （3 か月限定貸出。更新可）	原則 1 か月前までに事前申請必要(窓口：社会連携センター) ※以下の基準に基づいて、利用の可否を判断させていただきます。 ■ 社会課題に取り組むプロジェクトであること。 ■ 学外利用については本学との協働のプロジェクトであること。

<遵守事項>

- ・共有スペースですので、できるだけ多くの方が使えるように場所を譲りあってください。
- ・レイアウト変更やポスター掲示（事前申請必要）は利用者が行い、利用後の原状復帰も行っていただきます。
- ・事前申請を行った場合であっても、掲示場所は原則 shake スペース内に限らせていただきます。その他の場所へのポスター等の掲示はご遠慮ください。
- ・施設及び備品等を破損、紛失した場合、直ちにナゴヤドーム前キャンパス事務室（西館 1 階）へ報告してください。

<利用に際しての制限事項>

次にあげる事項に該当すると認められるときは、利用を制限させていただきます。

1. 公の秩序を乱し、善良な風俗を害するおそれがあるとき
2. 営利を目的に利用するとき
3. 政治的、宗教的活動を目的とする活動
4. 施設又は付属設備を損傷するおそれがあるとき
5. 消防法等の法令に接触するとき
6. 施設運営管理上、支障があるとき
7. 他の利用者に迷惑をかける、又は迷惑をかける恐れがあるとき
8. その他この利用ルールに記された諸事項に違反し、大学の指示に従わないとき

<お問い合わせ>

1. 社会連携ゾーン shake、各種申請について

名城大学 社会連携センター（天白キャンパス タワー75 11 階）

TEL：052-838-2473 ／ FAX：052-832-1175

E-mail：shake@ccml.meijo-u.ac.jp

2. ナゴヤドーム前キャンパスについて

名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス事務室（西館 1 階）

TEL：052-768-6405 ／ FAX：052-721-8881

資料 4

大学概要

【2020年度実施分】地域と協同し課題の発見・提案・解決を実践的に学ぶ学生主体の教育プログラム CBML 'Community Based Machizukuri Learning'

都市情報学部

ツイート

いいね！

No. 24

実施責任者 鎌田 繁則

実際の“まち”と連携し、フィールドワークや地域での活動を通して、その“まち”の課題を発見・検証し、解決に向けて取り組む、学生主体の実践型教育プログラム。

対象は都市情報学部1・2年次生で、インプットやグループワーク、プレゼン発表を通して、日々の修学意欲向上と学部での学びが主体的に考えられ、早期に“学部での学び”を実践的に体現でき、学部でのこれからの学びのイメージと社会の“リアル”を知ることができます。

昨年度に引き続き、今年度も『岐阜県美濃加茂市』をフィールドに、市からのテーマについて、課題の本質を掴み、解決策を見出していきます。

[» 2020年度活動](#)
[» 2019年度活動](#)

活動報告(8) CBML第7回 12月10日 美濃加茂市のリアルな社会課題の解決にチャレンジ
～ふりかえり～

2020/12/18

キックオフから始まり、美濃加茂市からいただいた5つの課題を考えてきた今年度のCBMLでしたが、少しでも主体的に考える力はつきましたか？今回はふりかえりです。まずは各自で、全体を通した感想、関心のあったテーマ、CBMLを通じて感じた自分の強みや弱み、受講後の変化をワークシートに記入していきました。そして、2人一組になってお互いに発表、質問をしました。アイデアを出す事は得意だが、時間内にうまく整理できない、意見を話し合う事は好きだが、発表が苦手など、自分の強みと弱みを考え、自分の言葉で説明することでまた違った気づきが出てきました。更に、今後学部で詳しく学びたいこと、市職員へのメッセージを書き加え、先ほどと違うペアで意見交換を行いました。更にワークシートの裏面に「新たな一歩宣言」を書き加えました。入学して8カ月、その半分以上が遠隔講義となった1年生ですが、今の自分の一歩を

みんなの前で宣言することができました。学部から鈴木淳生先生、福島茂先生から、ふりかえりのご意見をいただき、最後に美濃加茂市の河地さん、井戸さんから暖かい激励のお言葉をいただきました。今年度のCBMLは終了ですが、学部、大学での学びはこれからです。学ぶ楽しみを見つけて行きましょう。



ペアになって発表、質問をする事で自分の言葉になります。

資料 5

大学概要

【2020年度実施分】Bridge ～学ぶと働くをつなぐ～

都市情報学部 人間学部 外国語学部

ツイート

いいね！

No. 25

実施責任者 鎌田 繁則

神谷 俊次

藤田 衆

大学での学びは社会で役に立たないと言われることがあります。しかし、「知的生産」という意味では、大学と社会が目指す方向は異なるものではありません。大学は特定の業界に関する専門知識等を学ぶだけでなく、学問を通して「考える力」を身につけ、真理を探究する場であり、社会で働くことの価値は、様々な人と協力しながら、問題を解決していくことや、新しいサービスを創出していくことだからです。

本プログラムでは、「思考力」を土台とした問題解決プロセスを中心に学び、大学と社会のつながりを改めて考えていきます。また、所属学部が異なる人達とお互いの知識や経験を組み合わせ、新しい概念の創出、新しい問いを立てる経験を積むことができる内容になっています。

» 2020年度活動

» 2019年度活動

Bridge Day4 ～プレゼンテーション／リーダーシップ～

2020/12/09

今回は

- ・前回の復習
- ・業界研究プレゼン → 来週からスタート
- ・1分間プレゼン → 9マス
- ・プレゼンテーション → ワーク
- ・リーダーシップ

について学びました。

そして、来週から7回にわたり、「業界研究プレゼン」がスタートすることが告知されました!5人チームを作り、チーム毎に業界を指定します。各チームは自分たちの発表日までに、その業界について調査し、7分でプレゼンをしてもらいます!このプレゼンを通して、大体の業界が網羅でき、聞く側も、どんどん質問をして、探求していきます。

今日は、第1弾として、講師の佐藤裕さんによるプレゼンがありました。業界は「人材業界／メディカル業界」です。また、業界プレゼンに必要なアウトライン(業界全体の説明や業界とは、市場規模など)も共有され、来週から早速スタートします!業界は「不動産／建設業界」です。

●プレゼンテーション

「誰に伝えるか」:対象は?わからなくても予測をちゃんとする。

「ストーリー」:構成を記憶

「プレゼンと資料のバランス」:数字で説明したい時、強調したい時で話す量が違う

「自分のキャラクター認知」:自分はどのようなタイプかで、話し方を工夫する。

「柔軟性」(準備・場数):場数を踏んで鍛える。不足の事態が起きても乗り切れるようになる。

ここで、突然、みんなのレベルチェックをしました!!

着席位置でチームを組み、リーダーを決めました。

方法:①リーダーだけに画像を見せ、リーダーは完璧に覚えます。30秒) →②リーダーは40秒でその画像を完璧にグループに伝えます。 →③リーダー以外に対象画像を共有して答え合わせ →④イメージがずれていたら、起立 →⑤リーダーが現状を確認しました。

ほとんど立っていました。これはプレゼンの極意と通じます。

「自分と同じ映像を相手に伝える」→プレゼンをする時には、「映像化」させることを意識しましょう!

このポイントを押さえながら、画像を変えてもう一度ワークを行いました!

●リーダーシップ

まずは、みんなが思っているリーダー像を共有しました。みんなが思っているイメージは、監督や旗振り役などでした。

「リーダーシップ」ということが言われて来た数年前から、時代も変わり、皆が持っていなくてはいけなくなってきました。そして、これからのビジネスリーダーには、「チームの中で自身の役割を理解して、事業推進に主体的に関与する能力」が求められます!

自分がどのようなポジション・役割かをちゃんと把握して、どのように発揮するか、これが、裏方で下支えする役割を与えられていれば、その中で発揮する時代で、そして、ちゃんとバージョンアップをさせていくことが求められていきます。

私立大学・短期大学等入学志願動向

1. 社会科学系学部 of 令和 2 年度入学志願動向

系統区分 学部名	集計学部数	入学定員	志願者数	入学者数
社会科学系	520	170,182	1,576,350	176,402
社会学部	24	8,313	96,310	8,410
総合政策学部	13	3,005	25,450	3,096
情報学部	9	2,040	22,907	2,155
観光学部	6	1,030	8,133	1,065

* 日本私立学校振興・共済事業団「令和 2（2020）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」を基に作成。

2. 社会科学系学部の直近 5 年間の入学志願動向

学部名		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	平均
社会学部	志願倍率	9.9	11.0	12.7	12.7	11.6	11.6
	入学定員超過率	1.07	1.10	1.02	1.01	1.01	1.04
総合政策学部	志願倍率	8.8	8.5	9.3	9.6	8.5	8.9
	入学定員超過率	1.04	1.00	1.00	1.06	1.03	1.02
情報学部	志願倍率	5.9	6.8	7.5	10.1	11.2	8.3
	入学定員超過率	1.07	1.04	1.03	1.11	1.05	1.06
観光学部	志願倍率	7.2	7.2	9.2	8.9	7.9	8.1
	入学定員超過率	0.97	1.01	0.96	1.05	1.03	1.00

* 日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」（平成 28（2016）年度～令和 2（2020）年度）を基に集計。

志願倍率は小数点以下第 2 位四捨五入、入学定員超過率は同第 3 位切捨。

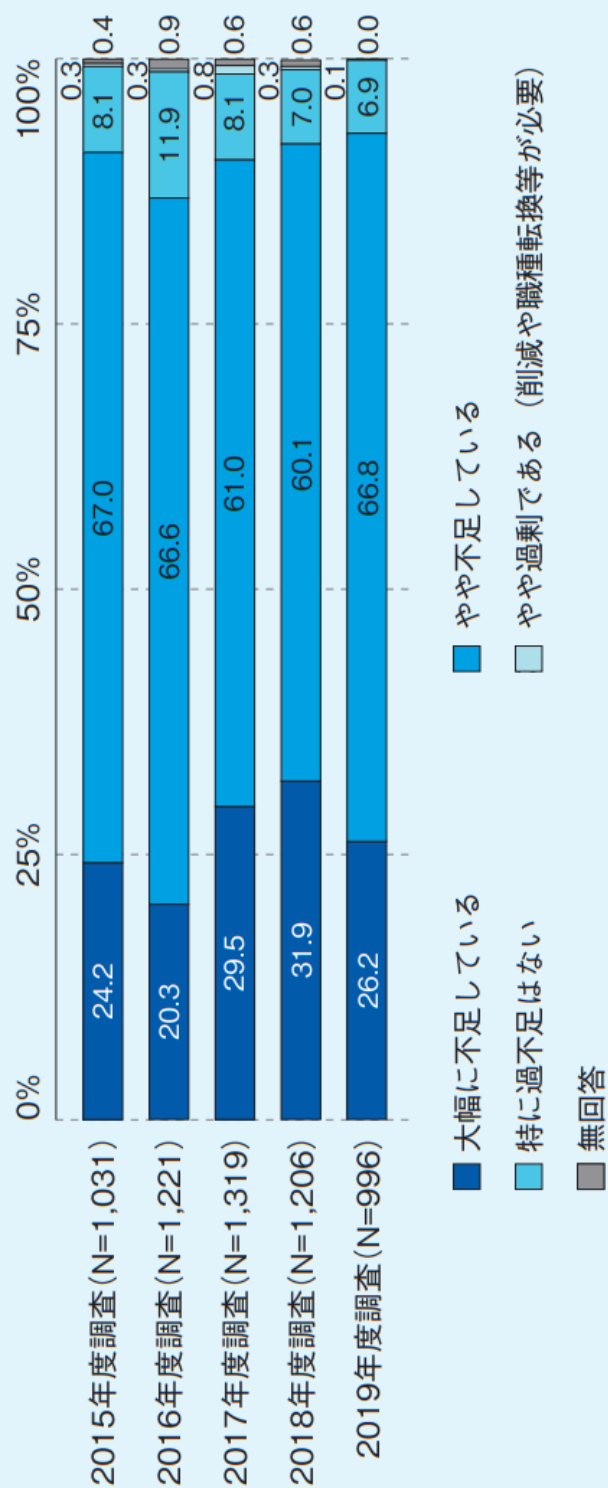
大学等卒業者及び高校卒業者の就職状況調査

1. 大学卒業者の就職率

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
97.3%	97.6%	98.0%	97.6%	98.0%

* 文部科学省「大学等卒業者及び高校卒業者の就職状況調査」（平成 27 年度～令和元年度卒業者を対象とする調査結果）を基に作成。

図表2-1-27 IT企業のIT人材の“量”に対する過不足感【過去5年間の変化】

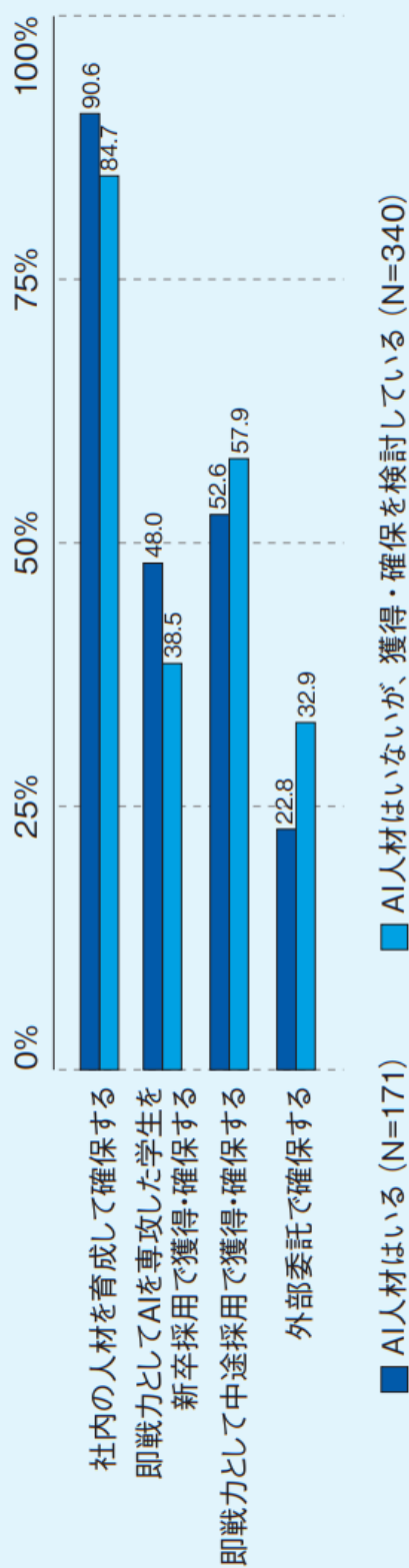


出典：独立行政法人情報処理推進機構「IT人材白書 2020」（55 頁）

IT 企業における IT 人材の“量”に対する過不足感

図表2-3-8

IT企業の今後重点的に取り組む予定のAI人材の獲得・確保方法【AIに携わる人材の獲得・確保状

況⁵⁾ その他、無回答を除く

出典：独立行政法人情報処理推進機構「IT 人材白書 2019」（91 頁）

IT 企業の今後重点的に取り組む予定の AI 人材の獲得・確保方法

名城大学 情報工学部情報工学科（仮称）の設置に関するアンケート調査結果

1. 調査目的 : 2022（令和 4）年度の設置を構想している本学情報工学部情報工学科（仮称）について、高校生からの進学ニーズを把握する。これまでの本学への入学実績を考慮し、調査対象エリアを関東圏、中部圏、近畿圏に在住する高校生とした。

2. 調査概要 :

調査対象	2021（令和 3）年 4 月以降高校 1、2、3 年生となる者
調査エリア	関東圏（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川） 中部圏（富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重） 近畿圏（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）
調査方法	ウェブ調査
調査実施期間	2021（令和 3）年 3 月 8 日から 3 月 16 日
有効回答数	1,237 件
調査委託先	株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

3. 調査項目 : 別紙「調査票」参照

4. 調査結果 :

各選択肢の％は小数点第 2 位以下を四捨五入しており、合計が 100.0%とならない場合がある。

1) 回答者属性

①性別

		n	%
	全体	(1,237)	
1	男性	366	29.6
2	女性	871	70.4

②学年

		n	%
	全体	(1,237)	
1	高校 1 年生	527	42.6
2	高校 2 年生	516	41.7
3	高校 3 年生	194	15.7

③地域

		n	%
	全体	(1,237)	
1	関東圏	618	50.0
2	中部圏	310	25.1
3	近畿圏	309	25.0

2) 調査結果

Q1 あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。

次の中から1つ選んでください。

		n	%
	全体	(1,237)	
1	大学進学	821	66.4
2	短期大学進学	35	2.8
3	専門学校進学	187	15.1
4	就職	163	13.2
5	その他	31	2.5

Q2 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。

次の中から第2希望まで選んでください。

※Q1で4.5を選択した者は除外し、1～3を選択したN=1,043を対象とする。

		n	%
	全体		
1	理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など）	244	23.4
2	社会科学（法学・政治学、商学・経営学、経済学、社会学など）	281	26.9
3	人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）	247	23.7
4	農学（農学、農業経済学、林学、水産学など）	53	5.1
5	医学・歯学・薬学	136	13.0
6	保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）	116	11.1
7	教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）	117	11.2
8	家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）	70	6.7
9	芸術学（音楽、デザイン、美術など）	130	12.5
10	その他	86	8.2

Q3 名城大学では、2022年4月に既存の理工学部情報工学科を発展させた「情報工学部 情報工学科」設置を検討しています。あなたはこの「情報工学部」に進学したいと思いますか。

次の中から1つ選んでください。

※Q1で4.5を選択した者は除外し、1～3を選択したN=1,043を対象とする。

		n	%
	全体	(1,043)	
1	進学を希望する	36	3.5
2	進学先の候補の一つとして検討する	281	26.9
3	進学を希望しない	726	69.6

学年別内訳

		高校1年生		高校2年生		高校3年生	
		n	%	n	%	n	%
	全体	(456)		(430)		(157)	
1	進学を希望する	22	4.8	12	2.8	2	1.3
2	進学先の候補の一つとして検討する	147	32.2	103	32.7	31	19.7
3	進学を希望しない	287	62.9	315	73.3	124	79.0

以上

あなたご自身に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。



「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。決して第三者に口外しないよう、ご協力をお願いします。



アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

戻る

回答をやめる

次へ

(戻るボタンは回答者には表示されません)

© Macromill, Inc. All Rights Reserved.

Q1

50%

あなたの現住所についておたずねします。
次の中から1つ選んでください。

☐ 単一回答 ☒ 必須回答

▲ とじる

【関東】

- ① 茨城県
- ② 栃木県
- ③ 群馬県
- ④ 埼玉県
- ⑤ 千葉県
- ⑥ 東京都
- ⑦ 神奈川県

【中部】

- ⑧ 富山県
- ⑨ 石川県
- ⑩ 福井県
- ⑪ 山梨県
- ⑫ 長野県
- ⑬ 岐阜県
- ⑭ 静岡県
- ⑮ 愛知県
- ⑯ 三重県

【近畿】

- ⑰ 滋賀県
- ⑱ 京都府
- ⑲ 大阪府
- ⑳ 兵庫県
- ㉑ 奈良県
- ㉒ 和歌山県
- ㉓ その他



Q2

100%

2021年4月からのあなたの学年についておたずねします。
次の中から1つ選んでください。

○ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 高校1年生
- ② 高校2年生
- ③ 高校3年生
- ④ その他／高校生ではない

アンケートは以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

＜
戻る

送 信

大学に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

.....

このアンケート調査は、2021年4月以降に高校1～3年生となる皆さんの進路についてお聞きし、2022年4月設置を構想している名城大学情報工学部の基礎資料にするものです。
なお、このアンケート調査の結果は、統計資料としてのみ用い、その他の用途に使用することはありません。
ご協力をお願いします。

.....



「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。決して第三者に口外しないよう、ご協力をお願いします。



アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

戻る

回答をやめる

次へ

(戻るボタンは回答者には表示されません)

© Macromill, Inc. All Rights Reserved.

Q1

33%

あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。

次の中から1つ選んでください。

Ⓐ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

① 大学進学

② 短期大学進学

③ 専門学校進学

④ 就職

⑤ その他

<
戻る

次へ

Q2

66%

あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。
次の中から第2希望まで選んでください。

✓ 複数回答 (2個まで選択)

★ 必須回答

▲ とじる

1 理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など）

2 社会科学（法学・政治学、商学・経営学、経済学、社会学など）

3 人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）

4 農学（農学、農業経済学、林学、水産学など）

5 医学・歯学・薬学

6 保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）

7 教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）

8 家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）

9 芸術学（音楽、デザイン、美術など）

10 その他

<
戻る

次へ

情報工学部 情報工学科 の特色

【興味と適性に応じて選べる2つのコース】

総合コース：

情報工学の異なる4つの領域から自らが選んだプログラムを中心に、情報工学の考え方や技術を深く体系的に学びます。

先進プロジェクトコース：

PBL (Project Based Learning) 教育を導入し、実社会で利用されている情報工学を実践的・体験的に学びます。

【情報工学を広くカバーする4つのプログラム】

情報処理技術の基礎を学んだうえで、卒業までに1つ以上のプログラムを修得します。意欲次第で全プログラムを修了することも可能です。

(1) フィジカルコンピューティングプログラム：

情報を実体化する分野を扱います。情報を取得するためのハードウェアとそれを利用するためのソフトウェア、その両方のしくみを理解します。

(2) データエンジニアリングプログラム：

情報を処理する分野を扱います。基本ソフトウェアをはじめとするソフトウェアの原理や、情報管理、アルゴリズム、知識情報処理の方法論を理解します。

(3) ヒューマン・メディアプログラム：

情報を表現する分野を扱います。画像・音・言語などのメディアから情報を抽出するしくみや、それらを加工して利用する方法を理解します。

(4) ネットワークシステムプログラム：

情報を交換する分野を扱います。伝送路を介して情報を高速に伝える方法や、ネットワークを介して情報を確実かつ安全に交換するしくみを理解します。

詳細は【<https://www.meijo-u.ac.jp/>】をご覧ください。

Q3

名城大学では、2022年4月に既存の理工学部情報工学科を発展させた「情報工学部 情報工学科」設置を検討しています。

あなたはこの「情報工学部」に進学したいと思いますか。

次の中から1つ選んでください。

☐ 単一回答

☒ 必須回答

とじる

☐ ① 進学を希望する

☐ ② 進学先の候補の一つとして検討する

☐ ③ 進学を希望しない

アンケートは以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

く
戻る

送 信

リクルート進学総研マーケットレポート（東海・全国）

1. 大学進学者の地元残留率の推移（2010 年～2019 年）

	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年
東海	47.6	48.0	47.5	48.4	48.0	48.9	48.9	49.2	49.5	49.5
岐阜	18.8	18.7	19.2	18.4	18.8	18.9	18.9	19.7	20.1	21.5
静岡	26.6	26.6	26.1	28.2	28.4	27.7	27.9	28.3	29.4	29.2
愛知	72.6	72.8	71.2	72.0	70.6	72.0	71.4	72.0	71.2	70.7
三重	19.2	20.4	19.5	19.4	20.2	21.3	20.3	20.5	21.8	22.2
全国	43.4	43.2	43.2	43.4	43.2	43.6	43.7	44.1	44.2	44.4

*1 リクルート進学総研公表資料「リクルート進学総研マーケットレポート Vol.70」及び「リクルート進学総研マーケットレポート Vol.77 東海版」を基に作成。

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格A4縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要														
（都市情報学部都市情報学科）														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教 養 教 育 部 門	歴史と文化	1前		2		○								兼1
	芸術文化論	1後		2		○								兼1
	世界遺産とツーリズム	1後		2		○								兼1
	アジア文化論	1後		2		○								兼1
	文化人類学の世界	1前		2		○								兼1
	哲学	1前		2		○								兼1
	心の科学	1後		2		○								兼1
	宗教の世界	1後		2		○								兼1
	日本国憲法	1後		2		○								兼1
	法と社会	1前		2		○								兼1
	経済と社会	1前		2		○			1					
	経営と社会	1後		2		○			1					
	政治と社会	1後		2		○			1					
	国際化時代の人間と社会	1前		2		○			1					
	社会学	1後		2		○								兼1
	都市と人間	1前		2		○						1		
	ジェンダーと社会	1前		2		○								兼1
	人間と社会の演習	1前		2		○			1					
	数と論理	1後		2		○			1					
	現象と論理	1前		2		○			1					
	人間と環境	1前		2		○			1					
	英語基礎Ⅰ（リーディング）	1前		1		○								兼2
	英語基礎Ⅰ（コミュニケーション）	1前		1		○								兼1
	英語基礎Ⅱ（リーディング）	1後		1		○								兼2
	英語基礎Ⅱ（コミュニケーション）	1後		1		○								兼1
	英語初級ⅠーⅠ（リーディング）	1前		1		○								兼2
	英語初級ⅠーⅠ（コミュニケーション）	1前		1		○								兼2
	英語初級ⅠーⅡ（リーディング）	1後		1		○								兼2
	英語初級ⅠーⅡ（コミュニケーション）	1後		1		○								兼2
	英語初級ⅡーⅠ（リーディング）	1前		1		○								兼1
	英語初級ⅡーⅠ（コミュニケーション）	1前		1		○								兼2
	英語初級ⅡーⅡ（リーディング）	1後		1		○								兼1
	英語初級ⅡーⅡ（コミュニケーション）	1後		1		○								兼2
	フランス語入門Ⅰ	1前		1		○								兼1
	フランス語入門Ⅱ	1後		1		○								兼1
	フランス語初級Ⅰ	1前		1		○								兼1
	フランス語初級Ⅱ	1後		1		○								兼1
	ドイツ語入門Ⅰ	1前		1		○								兼1
	ドイツ語入門Ⅱ	1後		1		○								兼1
	ドイツ語初級Ⅰ	1前		1		○								兼1
	ドイツ語初級Ⅱ	1後		1		○								兼1
	コンピュータリテラシー	1前		2		○			1					
	コンピュータシステム	1後		2		○						1		
	プログラミング入門	1後		2		○			1					
	情報社会と倫理	1前		2		○								兼1
	健康・スポーツ科学Ⅰ	1前		1				○						兼4 ※講義

教 育 課 程 等 の 概 要														
（都市情報学部都市情報学科）														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養 教育 部 門	健康・スポーツ科学Ⅱ	1後		1				○						兼4 兼1 兼1 兼1 ※講義
	健康科学論Ⅰ	2前		2		○								
	健康科学論Ⅱ	2後		2		○								
	教養演習	1前		2		○								
	小計（50科目）	—	0	78	0	—			9	0	0	2	0	兼23 兼1
専 門 基 礎 部 門	都市情報学概論Ⅰ	1前	2			○			13			1		オムニバス オムニバス
	都市情報学概論Ⅱ	1後	2			○			10	1		3		
	都市学英語Ⅰ	1前	1			○			10					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 共同 共同 共同（一部） 共同（一部）
	都市学英語Ⅱ	1後	1			○			10					
	情報管理の基礎	2前	2			○			1					
	情報管理の応用	2後	2			○			1					
	情報処理の基礎	2前	2			○			1					
	情報処理の応用	2後	2			○			1					
	コンピュータ演習Ⅰ（リテラシー）	1前	2				○		9	1		1		
	コンピュータ演習Ⅱ（基礎プログラミング）	1後	2				○		9	1		1		
	コンピュータ演習Ⅲ（オペレーティングシステム）	2前	2				○		8			1		
	コンピュータ演習Ⅳ（応用プログラミング）	2後	2				○		8			1		
	コンピュータ演習Ⅴ（プレゼンテーション）	2前		2			○					1		
	コンピュータ演習Ⅵ（データベース）	2前		2			○							
	情報とビジネス	1前		2		○								
	ユビキタスと社会	1後		2		○								
	都市と文化	1前		2		○								
	都市の構造	2後		2		○			1					
	数学の基礎A—Ⅰ	1前		2		○			1					
	数学の基礎A—Ⅱ	1後		2		○			1					
	数学の基礎B—Ⅰ	1前		2		○			1					
	数学の基礎B—Ⅱ	1後		2		○			1					
	小計（22科目）	—	22	20	0	—			23	1	0	4	0	兼4 兼1
専 門 部 門	都市の経済	2後		2(両)		○			1					兼1
	企業の経営	2前		2(両)		○			1					
	事業のマネジメント	3後		2(ブ)		○			1					
	企業の経済	3前		2(ブ)		○			1					
	企業の会計	3前		2(ブ)		○			1					
	経済の政策	3後		2(ブ)		○			1					
	都市と社会	3前		2(ブ)		○			1					
	経済と地理	3後		2(ブ)		○			1					
	貨幣の経済	3前		2(両)		○			1					
	都市と金融	3前		2(両)		○			1					
	観光のサービス	3前		2(ブ)		○								
	小計（11科目）	—	0	22	0	—			7	0	0	0	0	兼1 兼1
	都市と行政	2前		2(両)		○			1					
	都市と財政	2後		2(両)		○			1					
	地方と財政	3前		2(ブ)		○			1					
	都市と自治	3後		2(ブ)		○			1					
	都市と社会保障	3前		2(ブ)		○			1					
	都市と福祉	3後		2(ブ)		○			1					

教 育 課 程 等 の 概 要																
(都市情報学部都市情報学科)																
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門部門	財政・行政	公共の政策	3前		2(ブ)		○			1						
		観光の政策	2前		2(両)		○			1						
		都市と公企業	3後		2(ブ)		○			1						
		都市と国際関係	3前		2(ブ)		○			1						
		国際社会と政治	3後		2(ブ)		○			1						
		小計 (11科目)	—	0	22	0	—			7	0	0	0	0	0	—
	地域計画	都市の計画	2前		2(両)		○			1						
		都市のデザイン	2後		2(両)		○						1			
		都市の再生	3後		2(両)		○						1			
		防災とまちづくり	3後		2(両)		○			1						
		交通の計画	3前		2(ア)		○			1						
		交通とまちづくり	3後		2(ア)		○			1						
		水利用の計画	3前		2(ア)		○			1						
		水環境とまちづくり	3後		2(ア)		○			1						
		観光と産業	3後		2(ア)		○								兼1	
		観光とまちづくり	2後		2(両)		○						1			
	小計 (10科目)	—	0	20	0	—			3	0	0	2	0	兼1	—	
	開発・環境	都市の環境	2後		2(両)		○			1						
		都市と事業構想	2後		2(両)		○			1						
		国際化と地域開発	3前		2(両)		○			1						
		環境の政策	3前		2(両)		○			1						
		プロジェクトの評価	3後		2(ア)		○			1						
		都市と生態環境	3前		2(ブ)		○			1						
		地域環境の保全	3後		2(ブ)		○			1						
		観光の資源	3前		2(ブ)		○						1			
		小計 (8科目)	—	0	16	0	—			4	0	0	1	0		—
	情報・数理	データ分析と確率	2前		2(両)		○			1						
		データ分析と統計	2後		2(両)		○			1						
		情報と基礎解析	3前		2(ア)		○			1						
		情報と応用解析	3後		2(ア)		○			1						
		計画の数理	3後		2(ア)		○			1						
		意思決定の数理	3後		2(ア)		○			1						
		評価のOR	3前		2(ア)		○				1					
		経営のOR	3後		2(ア)		○				1					
		数理と情報処理	3前		2(ア)		○			1						
		知識と情報処理	3後		2(ア)		○			1						
		画像と情報処理	3前		2(ア)		○			1						
		図形と情報処理	3後		2(ア)		○			1						
		視環境と情報処理	3後		2(ア)		○								兼1	
		認知と情報処理	3前		2(ア)		○						1			
		知覚情報と脳の働き	3前		2(ブ)		○			1						
		都市生活とストレス	3後		2(ブ)		○			1						
		小計 (16科目)	—	0	32	0	—			7	1	0	1	0	兼1	—
総合科目	コンピュータ総合演習Ⅰ	2前		2			○							兼1		
	コンピュータ総合演習Ⅱ	2後		2			○		1							
	データサイエンス	3前		2(ア)		○						1			※演習	

教 育 課 程 等 の 概 要																
(都市情報学部都市情報学科)																
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 部 門	総 合 科 目	フィールド調査の方法	2後		2(両)		○			1			2		中実習、共同（一部） オムニバス オムニバス 集中 集中 集中	
		キャリアアップ講座Ⅰ	2前		2(両)		○			6						
		キャリアアップ講座Ⅱ	2後		2(両)		○			6						
		インターンシップⅠ	2前		1				○	1						
		インターンシップⅡ	2前		1				○	1						
		異文化コミュニケーション	1前		1				○	1						
		ゼミナール	3～4通	8				○		23	1		4			
		小計（10科目）	—	8	15	0	—			23	1	0	4	0		兼1
合計（138科目）			—	30	225	0	—			23	1	0	4	0	兼30	—
学位又は称号		学士（都市情報学）		学位又は学科の分野				経済学関係								
卒 業 要 件 及 び 履 修 方 法							授業期間等									
(1) 必修科目		専門基礎部門	2 2単位				1 学年の学期区分					2期				
		専門部門	8 単位													
		計	3 0 単位				1 学期の授業期間					15週				
(2) 選択科目		教養教育部門	3 2 単位以上													
		専門基礎部門	8 単位以上				1 時限の授業時間					90分				
		専門部門	5 4 単位以上													
		計	9 4 単位以上													
		合計	1 2 4 単位以上													
(履修科目の登録の上限：4 8 単位（年間）） 選択科目のうち、教養教育部門では英語科目から4 単位以上、専門部門 では各コースで定める科目から3 6 単位以上を選択必修とする。3 年次 からは「アナリストコース」「プランナーコース」のいずれかのコース を選択し、履修する。																

- (注)
- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行うとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 2 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 5 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 6 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
- (1) 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
- (2) 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
- (3) 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

- (名城大学注)
- 1 「単位数」の「選択」に記載の”（ア）”は「アナリストコース」、”（ブ）”は「プランナーコース」、”（両）”は両コースにおいて「選択必修科目」であることを示す。記載が無いコースにおいては「選択科目」となる。

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格A4縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要														
(情報工学部情報工学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎部門	英語コミュニケーションⅠ	1前		1		○								兼5
	英語コミュニケーションⅡ	1後		1		○								兼5
	英語コミュニケーションⅢ	2前		1		○								兼4
	英語コミュニケーションⅣ	2後		1		○								兼4
	プラクティカル・イングリッシュⅠ	3前		1		○								兼2
	プラクティカル・イングリッシュⅡ	3後		1		○								兼2
	ドイツ語Ⅰ	1前		1		○								兼1
	ドイツ語Ⅱ	1後		1		○								兼1
	ドイツ語Ⅲ	2前		1		○								兼1
	ドイツ語Ⅳ	2後		1		○								兼1
	フランス語Ⅰ	1前		1		○								兼1
	フランス語Ⅱ	1後		1		○								兼1
	フランス語Ⅲ	2前		1		○								兼1
	フランス語Ⅳ	2後		1		○								兼1
	中国語Ⅰ	1前		1		○								兼2
	中国語Ⅱ	1後		1		○								兼2
	中国語Ⅲ	2前		1		○								兼2
	中国語Ⅳ	2後		1		○								兼2
	体育科学Ⅰ	1前		1				○						兼6
	体育科学Ⅱ	1後		1				○						兼6
	体育科学Ⅲ	2前		1				○						兼5
	体育科学Ⅳ	2後		1				○						兼5
	人文科学基礎Ⅰ	1前		2		○								兼2
	人文科学基礎Ⅱ	1後		2		○								兼2
	社会科学基礎Ⅰ	1前		2		○								兼2
	社会科学基礎Ⅱ	1後		2		○								兼2
	アジア文化論Ⅰ	2前		2		○								兼2
	アジア文化論Ⅱ	2後		2		○								兼2
	欧米文化論Ⅰ	2前		2		○								兼2
	欧米文化論Ⅱ	2後		2		○								兼2
	国際関係論	3後		2		○								兼1
	文学	3後		2		○								兼1
	日本国憲法	3後		2		○								兼2
	国際経済論	3前		2		○								兼1
	心理学	3前		2		○								兼2
	基礎ゼミナールⅠ	1前		1			○			1				兼17
	基礎ゼミナールⅡ	1後		1				○		1				兼16
	職業指導論	3前		2		○								兼1
	日本語Ⅰ	1通		2		○								兼1
	日本語Ⅱ	1通		2		○								兼1
	日本語Ⅲ	1通		2		○								兼1
	日本語Ⅳ	1通		2		○								兼1
	日本語Ⅴ	1通		2		○								兼1
	小計（43科目）	—	0	62	0	—	—	—	—	1	0	0	0	0
														—

教 育 課 程 等 の 概 要														
(情報工学部情報工学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門教育部門	理工学基礎科目	微分積分Ⅰ	1前	2		○								兼6
		微分積分Ⅱ	1後	2		○								兼6
		線形代数Ⅰ	1前	2		○								兼6
		線形代数Ⅱ	1後	2		○								兼6
		物理学Ⅰ	1前	2		○								兼6
		物理学Ⅱ	1後	2		○								兼6
		物理学演習	1後	1			○							兼2
		物理学実験Ⅰ	1前	1				○						兼5
		物理学実験Ⅱ	1後	1				○						兼5
		化学Ⅰ	1前	2		○								兼1
		化学Ⅱ	1後	2		○								兼1
		化学実験Ⅰ	1前	1				○						兼2
		化学実験Ⅱ	1後	1				○						兼2
		地学Ⅰ	2前	2		○								兼1
		地学Ⅱ	2後	2		○								兼1
		地学実験Ⅰ	3前	1				○						兼2
		地学実験Ⅱ	3後	1				○						兼2
		生物学	1後	2		○								兼1
		生物学実験	2前	1				○						兼1
		理工学概論	1前	2		○			3	1				兼11
		技術者倫理	2後	2		○								兼1
		コンピューターリテラシー	1前	2			○							兼1
		数学基礎演習Ⅰ	1前		1		○							兼8
		数学基礎演習Ⅱ	1後		1		○							兼8
		物理学基礎演習Ⅰ	1前		1		○							兼1
		物理学基礎演習Ⅱ	1後		1		○							兼1
		化学基礎演習Ⅰ	1前		1		○							兼1
		化学基礎演習Ⅱ	1後		1		○							兼1
		英語基礎演習Ⅰ	1前		1		○							兼2
		英語基礎演習Ⅱ	1後		1		○							兼2
		小計（30科目）	—	0	36	8	—	—	3	1	0	0	0	兼48
	情報工学基礎科目	情報工学の世界	1前	2		○			9	8		2		兼0
		情報工学基礎演習	1前	1			○			1				兼0
		テクニカルリテラシー	1後	2		○				1				兼0
		プラクティカルICT	1後	1			○			1				兼0
		小計（4科目）	—	0	6	0	—	—	9	8	0	2	0	兼0
	情報工学専門科目	情報通信ネットワーク	1後	2		○				1				兼0
		情報理論	2後	2		○				1				兼0
		情報セキュリティ	3前	2		○					1			兼0
		情報通信システム	3後	2		○				1				兼0
		信号伝送論	3後	2		○				1				兼0
		符号理論	4前	2		○				1				兼0
		ワイヤレス通信	4前	2		○				1				兼0
		コンピュータアーキテクチャⅠ	1後	2		○			1					兼0
		コンピュータアーキテクチャⅡ	3前	2		○			1					兼0
		デジタル回路Ⅰ	2前	2		○			1					兼0
		デジタル回路Ⅱ	2後	2		○			1					兼0
		電気電子回路Ⅰ	2前	2		○			1					兼0

教 育 課 程 等 の 概 要														
(情報工学部情報工学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
情報工学専門科目 専門教育部門	電気電子回路Ⅱ	3前		2		○			1					
	デジタル信号処理Ⅰ	2前		2		○			1					
	デジタル信号処理Ⅱ	2後		2		○				1				
	システム制御	3前		2		○			1					
	フィジカルコンピューティング	3後		2		○			1					
	ハードウェア記述言語	3後		2		○						1		
	センサ工学	4前		2		○			1					
	集積回路設計	4前		2		○			1					
	アルゴリズム・データ構造	2前		2		○			1					
	オペレーティングシステム	2前		2		○				1				
	データベース	2前		2		○				1				
	ソフトウェア工学	2後		2		○				1				
	言語・オートマトン	2後		2		○				1				
	人工知能	3前		2		○			1					
	数値解析	3前		2		○			1					
	コンパイラ	3前		2		○			1					
	プログラミング言語論	3後		2		○			1					
	パターン認識	3後		2		○			1					
	応用アルゴリズム	4前		2		○			1					
	数理計画法	4前		2		○						1		
	マルチメディア基礎	1前		2		○			1					
	画像処理	2後		2		○			1					
	コンピュータグラフィックス	3前		2		○			1					
	コンピュータビジョン	3後		2		○			1					
	感性情報処理	3後		2		○				1				
	音声・音響信号処理	3後		2		○				1				
	バーチャルリアリティ	4前		2		○			1					
	言語情報処理	4前		2		○			1					
	離散数学	1前		2		○			1					
	確率・統計	1後		2		○						1		
	データサイエンス基礎	2前	2			○				1				
	応用解析	2後		2		○				1				
	電磁気学	2前		2		○			1					
	プログラミング演習Ⅰ	1前	1				○			1				兼1
	プログラミング演習Ⅱ	1後	1				○			1				兼1
	プログラミング演習Ⅲ	2前		1			○					1		
	プログラミング演習Ⅳ	2後		1			○					1		
	情報工学実験Ⅰ	2前	2					○		3		1		兼2
	情報工学実験Ⅱ	2後		2				○	2	2				兼2
	インターンシップ	3後		1			○		1					集中
	グローバルゼミナール	1後		1			○			1				集中
	モバイルアプリ開発A	2後			1		○							兼1
	モバイルアプリ開発B	2後			1		○							兼1
	キャリアゼミナール	3後		1			○		9	8		2		オムニバス
	研究ゼミナール	3後		1			○		9	8		2		
	情報工学総合ゼミナール	3前		1(総)			○		9	8		2		オムニバス
	情報技術の応用と職業	3後		2(総)		○			2	1				兼7
	創造的思考法	1後	2(先)	2(総)		○				1				

教 育 課 程 等 の 概 要																
(情報工学部情報工学科)																
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育 部門	情報 工学 専門 科目	研究開発リテラシー	2前	2(先)	2(総)		○				1				オムニバス・共同 オムニバス・共同・集中	
		アプリケーション開発	2後	2(先)	2(総)		○				1					
		PBL概論	2後	2(先)	2(総)		○				1					
		先進プロジェクト実験Ⅰ	3前	2(先)	2(総)				○	1	2		2			
		先進プロジェクト実験Ⅱ	3後		2(先)				○	2	3					
		先進プロジェクトゼミナール	3前	1(先)				○	1							
		卒業研究	4通	4				○	9	8		2				
		小計（67科目）	—	10(総) 21(先)	109(総) 98(先)	2	—			9	8	0	2	0		兼13
合計（144科目）			—	10(総) 21(先)	213(総) 202(先)	10	—			9	8	0	2	0	兼118	—
学位又は称号		学士（工学）		学位又は学科の分野				工学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
【総合コース】 (1) 総合基礎部門 選択科目 20単位以上 計 20単位以上 (2) 専門教育部門 必修科目 10単位 選択科目 94単位以上 計 104単位以上 合計 124単位以上 【先進プロジェクトコース】 (1) 総合基礎部門 選択科目 20単位以上 計 20単位以上 (2) 専門教育部門 必修科目 21単位 選択科目 83単位以上 計 104単位以上 合計 124単位以上 履修科目の登録の上限（両コース共通）：49単位（年間） なお、選択科目のうち、総合コースでは、理工学基礎科目から12単位、情報工学基礎科目及び情報工学専門科目から36単位を選択必修とする。先進プロジェクトコースでは、理工学基礎科目から12単位、情報工学基礎科目及び情報工学専門科目から29単位を選択必修とする。								1 学年の学期区分				2 学期				
								1 学期の授業期間				1 5 週				
								1 時限の授業時間				9 0 分				

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は、各授業科目について、該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし、専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち、臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を、連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し、若しくは変更する場合は、次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には、当該専門職大学の全課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え、前期課程に係る科目数、「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には、当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え、当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には、当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え、前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

(名城大学注)

- 「単位数」のうち、「（総）」は「総合コース」、「（先）」は「先進プロジェクトコース」における単位設定を示す。

別記様式第2号（その2の1）

（用紙 日本産業規格A4縦型）

教 育 課 程 等 の 概 要														
（理工学部情報工学科）														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎部門	英語コミュニケーションⅠ	1前		1		○								兼5
	英語コミュニケーションⅡ	1後		1		○								兼5
	英語コミュニケーションⅢ	2前		1		○								兼6
	英語コミュニケーションⅣ	2後		1		○								兼6
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	3前		1		○								兼2
	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	3後		1		○								兼2
	ドイツ語Ⅰ	1前		1		○								兼1
	ドイツ語Ⅱ	1後		1		○								兼1
	ドイツ語Ⅲ	2前		1		○								兼1
	ドイツ語Ⅳ	2後		1		○								兼1
	フランス語Ⅰ	1前		1		○								兼1
	フランス語Ⅱ	1後		1		○								兼1
	フランス語Ⅲ	2前		1		○								兼1
	フランス語Ⅳ	2後		1		○								兼1
	中国語Ⅰ	1前		1		○								兼2
	中国語Ⅱ	1後		1		○								兼2
	中国語Ⅲ	2前		1		○								兼2
	中国語Ⅳ	2後		1		○								兼2
	体育科学Ⅰ	1前		1				○						兼5
	体育科学Ⅱ	1後		1				○						兼5
	体育科学Ⅲ	2前		1				○						兼4
	体育科学Ⅳ	2後		1				○						兼4
	人文科学基礎Ⅰ	1前		2		○								兼2
	人文科学基礎Ⅱ	1後		2		○								兼2
	社会科学基礎Ⅰ	1前		2		○								兼3
	社会科学基礎Ⅱ	1後		2		○								兼3
	アジア文化論Ⅰ	2前		2		○								兼2
	アジア文化論Ⅱ	2後		2		○								兼2
	欧米文化論Ⅰ	2前		2		○								兼2
	欧米文化論Ⅱ	2後		2		○								兼2
	国際関係論	3後		2		○								兼1
	文学	3後		2		○								兼1
	日本国憲法	3後		2		○								兼2
	国際経済論	3前		2		○								兼1
	心理学	3前		2		○								兼2
	基礎ゼミナールⅠ	1前		1			○							兼19
	基礎ゼミナールⅡ	1後		1			○							兼19
	職業指導論	3前		2		○								兼1
	日本語Ⅰ	1通		2		○								兼1
	日本語Ⅱ	1通		2		○								兼1
	日本語Ⅲ	1通		2		○								兼1
	日本語Ⅳ	1通		2		○								兼1
	日本語Ⅴ	1通		2		○								兼1
	小計（43科目）	—	0	62	0	—	—	—	0	0	0	0	0	兼68 —

教 育 課 程 等 の 概 要

(理工学部情報工学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門 教育 部 門	微分積分Ⅰ	1前		2		○								兼5	集中 オムニバス	
	微分積分Ⅱ	1後		2		○								兼5		
	線形代数Ⅰ	1前		2		○								兼5		
	線形代数Ⅱ	1後		2		○								兼5		
	物理学Ⅰ	1前		2		○								兼1		
	物理学Ⅱ	1後		2		○								兼1		
	物理学演習	1後		1			○							兼2		
	物理学実験Ⅰ	1前		1				○						兼5		
	物理学実験Ⅱ	1後		1				○						兼4		
	化学Ⅰ	1前		2		○								兼2		
	化学Ⅱ	1後		2		○								兼2		
	化学実験Ⅰ	1前		1				○						兼2		
	化学実験Ⅱ	1後		1				○						兼2		
	地学Ⅰ	2前		2		○								兼1		
	地学Ⅱ	2後		2		○								兼1		
	地学実験Ⅰ	3前		1				○						兼1		
	地学実験Ⅱ	3後		1				○						兼2		
	生物学	1後		2		○								兼1		
	生物学実験	2前		1				○						兼1		集中
	理工学概論	1前		2		○				1				兼14		オムニバス
	技術者倫理	2後		2		○								兼2		
	コンピューターリテラシー	1前		2				○						兼2		
	数学基礎演習Ⅰ	1前			1			○						兼6		
	数学基礎演習Ⅱ	1後			1			○						兼6		
	物理学基礎演習Ⅰ	1前			1			○						兼1		
	物理学基礎演習Ⅱ	1後			1			○						兼1		
	化学基礎演習Ⅰ	1前			1			○						兼1		
	化学基礎演習Ⅱ	1後			1			○						兼1		
	英語基礎演習Ⅰ	1前			1			○						兼3		
	英語基礎演習Ⅱ	1後			1			○						兼3		
	情報通信ネットワーク	1後		2		○				1						
	情報理論	2後		2		○				1						
	情報セキュリティ	3前		2		○						1				
	情報通信システム	3後		2		○				1						
	信号伝送論	3後		2		○				1						
	符号理論	4前		2		○				1						
	ワイヤレス通信	4後		2		○				1						
	コンピュータアーキテクチャⅠ	1後		2		○			1							
	コンピュータアーキテクチャⅡ	3前		2		○			1							
	ディジタル回路Ⅰ	2前		2		○			1							
	ディジタル回路Ⅱ	2後		2		○			1							
	電気電子回路Ⅰ	2前		2		○			1							
	電気電子回路Ⅱ	3前		2		○			1							
	ディジタル信号処理Ⅰ	2後		2		○			1							
	ディジタル信号処理Ⅱ	3前		2		○				1						
	組込システム	3前		2		○			1							
	システム制御Ⅰ	3前		2		○				1						
	システム制御Ⅱ	3後		2		○			1							
	ハードウェア記述言語	3後		2		○				1						

教 育 課 程 等 の 概 要														
(理工学部情報工学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 教育 部門	センサ工学	4前		2		○			1					
	ロボットシステム	4前		2		○				1				
	アルゴリズム・データ構造Ⅰ	2前		2		○			1					
	アルゴリズム・データ構造Ⅱ	3前		2		○				1				
	オペレーティングシステム	2前		2		○				1				
	データベース	2前		2		○				1				
	ソフトウェア工学	2後		2		○			1	1				
	言語・オートマトン	2後		2		○			1	1				
	人工知能	3前		2		○			1					
	数値解析	3後		2		○			1					
	コンパイラ	3前		2		○			1					
	プログラミング言語論	3後		2		○			1					
	パターン認識	3後		2		○			1					
	アドバンストアルゴリズム	4前		2		○			1					
	数理計画法	4前		2		○						1		
	マルチメディア基礎	1後		2		○			1					
	画像処理	2後		2		○			1					
	コンピュータグラフィックス	3前		2		○			1					
	コンピュータビジョン	3後		2		○			1					
	感性情報処理	3後		2		○				1				
	音声・音響信号処理	3後		2		○				1				
	バーチャルリアリティ	4前		2		○			1					
	言語情報処理	4前		2		○			1					
	情報工学の世界	1前	2			○			9	8		2		オムニバス
	情報工学基礎演習	1前	1				○			1				
	テクニカルレラシー	1後	2			○				1				
	離散数学	1前		2		○			1					
	確率論	1後		2		○						1		
	統計解析	2前		2		○						1		
	情報数学基礎	2前	2			○				1				
	応用解析	2後		2		○				1				
	電磁気学Ⅰ	2前		2		○			1					
	電磁気学Ⅱ	2後		2		○			1					
	プログラミング演習Ⅰ	1前	1				○			1				兼1
	プログラミング演習Ⅱ	1後	1				○			1				兼1
	プログラミング演習Ⅲ	2前		1			○			1				
	プログラミング演習Ⅳ	2後		1			○					1		
	情報工学実験Ⅰ	2前	2					○		3		1		兼2 オムニバス
	情報工学実験Ⅱ	2後		2				○	2	2				兼2 オムニバス
	情報工学実験Ⅲ	3前		2				○	2	1		1		オムニバス
	インターンシップ	3後		1			○		1					集中
	ゼミナール	3後	2				○		9	8		2		オムニバス
	情報技術の応用と職業	3後		2		○			2	1				兼7 オムニバス
	卒業研究	4通	4				○		9	8		2		
小計（93科目）		—	17	141	8	—			9	8	0	2	0	兼56 —
合計（136科目）		—	17	203	8	—			9	8	0	2	0	兼105 —

教 育 課 程 等 の 概 要														
(理工学部情報工学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
学位又は称号		学士（工学）		学位又は学科の分野			工学関係							
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
(1) 必修科目			17単位			1学年の学期区分			2学期					
(2) 選択科目			総合基礎部門 20単位以上 専門教育部門 87単位以上 計 107単位以上											
合計			124単位以上			1学期の授業期間			15週					
履修科目の登録の上限：49単位（年間） 選択科目のうち、専門教育部門から46単位を選択必修とする。						1時限の授業時間			90分					

- 学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には，授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等，研究科等若しくは高等専門学校の学科（学位の種類及び分野の変更等に関する基準（平成十五年文部科学省告示第三十九号）別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。）についても作成すること。
- 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて，適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 「授業形態」の欄は，各授業科目について，該当する授業形態の欄に「○」を記入すること。ただし，専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目のうち，臨地実務実習については「実験・実習」の欄に「臨」の文字を，連携実務演習等については「演習」又は「実験・実習」の欄に「連」の文字を記入すること。
- 課程を前期課程及び後期課程に区分する専門職大学若しくは専門職大学の学部等を設置する場合又は前期課程及び後期課程に区分する専門職大学の課程を設置し，若しくは変更する場合は，次により記入すること。
 - 各科目区分における「小計」の欄及び「合計」の欄には，当該専門職大学全課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」に加え，前期課程に係る科目数，「単位数」及び「専任教員等の配置」を併記すること。
 - 「学位又は称号」の欄には，当該専門職大学を卒業した者に授与する学位に加え，当該専門職大学の前期課程を修了した者に授与する学位を併記すること。
 - 「卒業・修了要件及び履修方法」の欄には，当該専門職大学の卒業要件及び履修方法に加え，前期課程の修了要件及び履修方法を併記すること。

学校法人名城大学職員規則（抜粋）

第1章 総則

（定年）

第20条 職員が、次の各号のいずれかに該当する場合には、これを定年とし、定年に達した日の属する学年度末をもって退職するものとする。

- （1） 大学教員及び教務技術員は、満65歳。ただし、65歳以降の任用については別に定める。
- （2） 高等学校教員は、満65歳。ただし、学校長の任期がこれを超える場合については、任期満了の日。
- （3） 事務職員等は、満65歳
- ② 任命権者は、前項の各号のいずれかに定める定年年齢によらない職員を任用をすることができる。なお、この任用の場合は、別に定めるものとする。

附 則

- ① この規則は、平成7年4月2日から施行する。
- ② 平成7年4月1日に在職する大学教員等（教務技術員は除く。）の定年は、第20条第1号イの規定にかかわらず、なお従前の例（満72歳）による。
- ③ 都市情報学部を設置認可時に文部省が認めた教育職員で、平成7年4月2日以降に採用した場合の定年は、第20条第1号イの規定にかかわらず、なお従前の例（満72歳）による。
- ④ 教務技術員に移行した者（昭和59年3月31日以前の在職者に限る。）の定年は、第20条第1号ロの規定にかかわらず、満72歳とする。

附 則

- ① この規則は、平成17年4月2日から施行する。
- ② 平成17年4月1日に在職する大学教員（教務技術員を除く。以下同じ。）の定年は、第20条第1号の規定にかかわらず、なお従前の例（平成7年4月1日に在職する大学教員は満72歳、都市情報学部を設置認可時に文部省が認めた教育職員で、平成7年4月2日以降に採用した大学教員は満72歳、平成7年4月2日から平成17年4月1日までに採用した大学教員は満68歳又は当該学部教授会等で特に必要と認めた者で大学協議会等の議を経て満70歳を定年とした者は当該年齢）による。

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	
1) 学生の確保の見通し	
ア. 定員充足の見込み	・・・ P 2
イ. 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	・・・ P 8
2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	
ア. 多様な入試方式の実施	・・・ P 15
イ. 広報活動	・・・ P 15
ウ. 本学独自の給付型奨学金制度による経済的支援	・・・ P 16
2. 人材需要の動向等社会の要請	
1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	・・・ P 16
2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであること の客観的な根拠	・・・ P 18

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

1) 学生の確保の見通し

ア. 定員充足の見込み

(1) 大学全体

リクルート進学総研が公表する「リクルート進学総研マーケットリポート（以下、「マーケットリポート」という。）」において、本学が所在する東海地方並びに愛知県の「18歳人口予測」「大学進学率（現役）」「大学入学者の地元残留率」はいずれも全国値を上回っていることが示されている（資料1）。本学においても入学者の地元志向は高水準で推移しており、例年入学者の9割以上を東海地方出身者が占めている（表1）。

表1 出身地別入学者数（学部生）

	平成 28 (2016) 年度		平成 29 (2017) 年度		平成 30 (2018) 年度		令和元 (2019) 年度		令和 2 (2020) 年度		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
東海地方	3,181	92.6%	3,289	92.2%	3,128	92.2%	3,040	92.5%	3,178	91.3%	
内 訳	愛知県	2,257	65.7%	2,287	64.1%	2,190	64.5%	2,101	63.9%	2,190	62.9%
	岐阜県	488	14.2%	529	14.8%	490	14.4%	507	15.4%	511	14.7%
	三重県	325	9.5%	351	9.8%	306	9.0%	297	9.0%	306	8.8%
	静岡県	111	3.2%	122	3.4%	142	4.2%	135	4.1%	171	4.9%
その他	256	7.4%	278	7.8%	266	7.8%	247	7.5%	301	8.7%	
入学者合計	3,437	100.0%	3,567	100.0%	3,394	100.0%	3,287	100.0%	3,479	100.0%	

注：入学者の「出身高校所在地」から算出。

また、リクルート進学総研が実施した「進学ブランド力調査 2020（以下、「進学ブランド力調査」という。）」のうち東海地方の高校3年生を対象とした調査において、本学は「志願したい大学ランキング」で「全体（4年連続）」「男子（4年連続）」「女子」「理系（3年連続）」で1位になったことに加え、「イメージ項目別ランキング」並びに「分野別志願度ランキング」の多くの項目で上位になり、同地方における本学への志願度は高水準で安定的に推移している（資料2）。

大学全体の直近5年間（平成28（2016）年度～令和2（2020）年度）の志願倍率は12.1倍～12.3倍（平均：12.2倍）、入学定員超過率は0.97倍～1.08倍（平均：1.02倍）であり、平成29（2017）年度に実施した入学定員変更後（3,155人から215人増の3,370人）も安定的に推移している（表2）。

表2 大学全体における学生募集状況

	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度
入学定員 (A)	3,155	3,370	3,370	3,370	3,370
志願者数 (B)	38,314	41,602	40,872	41,243	41,493
受験者数	36,898	40,203	39,491	39,898	39,827
合格者数	12,544	12,554	12,506	13,196	15,253
入学者数 (C)	3,437	3,567	3,394	3,287	3,479
志願倍率 (B/A)	12.1	12.3	12.1	12.2	12.3
入学定員超過率 (C/A)	1.08	1.05	1.00	0.97	1.03

注：「志願倍率」は小数第2位を四捨五入、「入学定員超過率」は小数第3位を切り捨て。

以上の実態及び分析を踏まえ、過年度の傾向に鑑みれば、本学に対する進学需要は依然高く、今回の入学定員変更後（3,370 人から 45 人増の 3,415 人）も入学定員を充足する見込みがあると分析する。

（2）都市情報学部都市情報学科

はじめに、都市情報学部と同様の学問分野である社会科学系学部への進学動向について、全国及び東海地方の状況を確認する。

全国的な傾向については、日本私立学校振興・共済事業団が公表する「令和 2（2020）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、都市情報学部と同様の学問分野である社会科学系学部の令和 2（2020）年度の入学定員は 170,182 人、志願者数は 1,576,350 人と全系統区分において最多であるとともに、直近 5 年間の動向においても当該学問分野への進学需要は安定的に推移している（表 3／資料 3）。また、東海地方については、競合する近隣他大学社会科学系学部においても同様に、一般選抜による志願者を安定的に確保していることが分かる（表 4）。

次に、本学都市情報学部都市情報学科の近年の志願動向を確認する。

「進学ブランド力調査」における、東海地方の高校 3 年生を対象とした、本学に対する分野別志願度ランキングのうち、都市情報学部と同様の学問分野である「経済・経営・商」「情報」や、関連する「観光・コミュニケーション・メディア」の分野で本学は 1 位となり、これらの分野を取り扱う都市情報学部への志願度が高いことが分かる（資料 2）。

また、同学科の直近 5 年間（平成 28（2016）年度～令和 2（2020）年度）の志願倍率は 6.7 倍～9.4 倍（平均：8.0 倍）、入学定員超過率は 0.91 倍～1.18 倍（平均：1.01 倍）であり、平成 29（2017）年度に実施した入学定員変更後（200 人から 20 人増の 220 人）も同学科への進学需要は安定的に推移している（表 5）。入試区分別の学生募集の状況についても、平成 29 年（2017）年度に実施した入学定員変更後の一般選抜における志願倍率は 11.8 倍～14.8 倍と安定的に推移している（表 6）。

以上のように、全国及び東海地方における社会科学系学部への進学動向や、本学都市情報学部において平成 29（2017）年度に実施した入学定員変更後も安定的かつ高水準で志願者を獲得できている状況に鑑みると、「まちづくり」「組織経営」「観光」人材の養成を目指し、「情報・

数理」「経済・経営」「財政・行政」「地域計画」「開発・環境」といった社会科学系統の幅広い領域の教育研究を展開する都市情報学部を進路選択肢に含む可能性がある受験者が多く存在していると同時に、本学の情報発信・広報活動によっては志願者をさらに増加させることが可能であり、今回の入学定員変更後（220 人から 15 人増の 235 人）も入学定員を充足する見込みがあると分析する。

表 3 社会科学系学部の入学志願動向

	社会学部		総合政策学部		情報学部		観光学部	
	5 年推移	5 年平均	5 年推移	5 年平均	5 年推移	5 年平均	5 年推移	5 年平均
志願倍率	9.9-12.7	11.6	8.5-9.6	8.9	5.9-11.2	8.3	7.2-9.2	8.1
入学定員超過率	1.01-1.10	1.04	1.00-1.06	1.02	1.03-1.11	1.06	0.96-1.05	1.00

日本私立学校振興・共済事業団公表データを基に集計。

表 4 近隣他大学における一般選抜入試の学生募集状況

大学名	学部名	学科名		平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度
南山大学	総合政策学部	総合政策学科	募集人員(A)	275	275	275
			志願者数(B)	3,630	3,828	2,271
			志願倍率(B/A)	13.2	13.9	8.3
中京大学	総合政策学部	総合政策学科	募集人員(A)	139	140	135
			志願者数(B)	3,380	3,485	2,975
			志願倍率(B/A)	24.3	24.9	22.0
愛知大学	地域政策学部	地域政策学科	募集人員(A)	159	159	160
			志願者数(B)	3,038	3,186	2,994
			志願倍率(B/A)	19.1	20.0	18.7
愛知淑徳大学	交流文化学部	交流文化学科	募集人員(A)	160	160	160
			志願者数(B)	2,061	2,638	1,944
			志願倍率(B/A)	11.7	14.8	11.1

各大学ホームページによる公表情報を基に集計。

表5 都市情報学部都市情報学科における学生募集状況の推移・予測

	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度
入学定員 (A)	200	220	220	220	220	220	235
志願者数 (B)	1,333	2,058	1,654	1,896	1,668	1,832	1,822
受験者数	1,281	1,995	1,614	1,834	1,609		
合格者数	526	477	559	542	678		
入学者数 (C)	237	202	218	218	224		
志願倍率 (B/A)	6.7	9.4	7.5	8.6	7.6	8.3	7.7
入学定員超過率 (C/A)	1.18	0.91	0.99	0.99	1.01		

注：「志願倍率」は小数第2位を四捨五入、「入学定員超過率」は小数第3位を切り捨て。

令和3(2021)年度については、令和3(2021)年3月12日現在の値。

令和4(2022)年度志願者数については、平成29(2017)～令和3(2021)年度志願者数の平均値(小数点以下四捨五入)を推計値として掲載。

表6 都市情報学部都市情報学科における入試区分別の学生募集状況

		平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度
一般選抜	募集人員 (A)	110	130	130	130	130	130
	志願者数 (B)	1,198	1,930	1,528	1,795	1,560	1,726
	合格者数	425	392	484	470	604	
	志願倍率 (B/A)	10.9	14.8	11.8	13.8	12.0	13.3
その他	募集人員 (A)	90	90	90	90	90	90
	志願者数 (B)	135	128	126	101	108	106
	合格者数	101	85	75	72	74	
	志願倍率 (B/A)	1.5	1.4	1.4	1.1	1.2	1.2

注：「志願倍率」は小数第2位を四捨五入。

令和3(2021)年度については、令和3(2021)年3月12日現在の値。

(3) 情報工学部情報工学科

はじめに、情報工学部情報工学科の基礎となる理工学部情報工学科及び東海地方における競合大学の志願動向を確認する。

理工学部情報工学科の直近5年間(平成28(2016)年度～令和2(2020)年度)の志願倍率は17.4倍～23.0倍(平均：21.4倍)、入学定員超過率は0.87倍～1.20倍(平均：1.03倍)であり、平成29(2017)年度に実施した入学定員変更後(145人から5人増の150人)も安定的に推移している(表7)。また、入試区分別の学生募集の状況については、一般選抜における志願者数を安定的に確保できているとともに、志願倍率は平成29(2017)年度に実施した入学定員変更(145人から5人増の150人)以降、32.1倍～33.9倍と推移している(表8)。また、東海地方については、競合する近隣他大学においても同様に、一般選抜による志願者を

安定的に確保していることが分かる（表9）。

次に、情報工学部情報工学科への志願動向の把握等を目的に、令和3（2021）年3月に実施した、高校生への進学意向アンケート調査について確認する（資料4）。

本アンケート調査は、令和3（2021）年4月に高校1、2、3年生となる者を対象に、①進学したいと考えている学問分野、②本学情報工学部情報工学科に対する進学希望の有無を聴取した。東海地方から多くの志願者の獲得を目指すことを前提としつつ、全国的な情報系学部への進学ニーズや傾向を併せて確認することで、今後の学生募集戦略を形成するための一助とすること等を目的に、調査対象エリアを東海地方に加え関東・近畿圏に拡大した。

実施結果は次のとおりである。有効回答数1,237人中、大学・短大・専門学校等への「進学を希望する」と回答した者は全学年合計1,043人であり、このうち、本学の情報工学部情報工学科への「進学を希望する」「進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかで回答した者の合計は全学年合計で317人であった。この学年別内訳は、3年生が157人中33人（21%）、2年生が430人中115人（27%）、1年生が456人中169人（37%）であった。本アンケートは情報工学部設置基本構想を説明し実施したものであるが、各学年において情報系学部への進学意向を持つ者が一定割合存在することが明らかになった。

また、「進学ブランド力調査」（資料2）においては、東海地方の高校3年生を対象とした、本学に対する分野別志願度ランキングのうち、「工学（電気・電子・情報）」分野で本学は3位（2年連続／私立大学の中では2年連続1位）となり、同分野に含まれる理工学部情報工学科への志願度は高水準で推移している。

今後、情報系学部進学を検討する過程で本学情報工学部情報工学科を「進学先の候補の一つ」として検討する高校生をはじめとする幅広い層に対して、より詳細な教育研究内容を伝える理解・広報活動を積極的に展開することを通じて、「興味・関心のある層」から「進学を希望する層」に繋げ、より多くの志願者確保に努めていく。

以上のように、高校生の情報系学部への進学意向を踏まえると、新たに設置する情報工学部情報工学科（理工学部情報工学科の150人から30人増の180人）において入学定員を充足する見込みがあると分析する。

表7 理工学部情報工学科における学生募集状況の推移・予測

	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度
入学定員 (A)	145	150	150	150	150	150	180
志願者数 (B)	2,522	3,334	3,365	3,452	3,276	3,688	3,423
受験者数	2,445	3,241	3,262	3,360	3,156		
合格者数	737	812	726	787	1,114		
入学者数 (C)	152	181	138	131	170		
志願倍率 (B/A)	17.4	22.2	22.4	23.0	21.8	24.6	19.0
入学定員超過率 (C/A)	1.04	1.20	0.92	0.87	1.13		

注：「志願倍率」は小数第2位を四捨五入、「入学定員超過率」は小数第3位を切り捨て。

令和3(2021)年度については、令和3(2021)年3月12日現在の値。

令和4(2022)年度志願者数については、平成29(2017)～令和3(2021)年度志願者数の平均値(小数点以下四捨五入)を推計値として掲載。

表8 理工学部情報工学科における入試区分別の学生募集状況

		平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度
一般選抜	募集人員 (A)	97	97	97	97	97	97
	志願者数 (B)	2,383	3,184	3,249	3,288	3,113	3,527
	合格者数	676	757	668	725	1,051	
	志願倍率 (B/A)	24.6	32.8	33.5	33.9	32.1	36.4
その他	募集人員 (A)	48	53	53	53	53	53
	志願者数 (B)	139	150	116	164	163	161
	合格者数	61	55	58	62	63	
	志願倍率 (B/A)	2.9	2.8	2.2	3.1	3.1	3.0

注：「志願倍率」は小数第2位を四捨五入。

令和3(2021)年度については、令和3(2021)年3月12日現在の値。

表9 近隣他大学における一般選抜入試の学生募集状況

大学名	学部名	学科名		平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度
中京大学	工学部	情報工学科	募集人員(A)	50	57	57
			志願者数(B)	1,695	2,095	2,019
			志願倍率(B/A)	33.9	36.8	35.4
中部大学	工学部	情報工学科	募集人員(A)	76	76	72
			志願者数(B)	1,282	1,319	1,198
			志願倍率(B/A)	16.9	17.4	16.6

各大学ホームページによる公表情報を基に集計。

（４）理工学部情報工学科

学生募集を停止するものであるため該当なし

イ．定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

定員充足の根拠となるデータについて、大学全体及び都市情報学部、情報工学部毎に「18 歳人口予測」「進学率」「イメージ調査」等を用いて説明する。

（１）大学全体

①東海地方並びに愛知県の 18 歳人口予測

「マーケットリポート」（資料 1）において、東海地方では、令和元（2019）年度の 147,041 人から令和 13（2031）年度には 129,707 人に推移し、令和元（2019）年度対比 88.2%は全国値 88.0%と概ね同じである。

愛知県では、令和元（2019）年度の 73,454 人から令和 13（2031）年度には 67,453 人に推移するが、令和元（2019）年度対比 91.8%は全都道府県で 6 番目に高く（減少幅が小さく）、人数 67,453 人も東京都、神奈川県、大阪府に次ぐものであることから、他県と比較し 18 歳人口減少傾向は緩やかであり、学生募集への影響も小さいと考えられる。

②東海地方並びに愛知県の大学進学率（現役）

「マーケットリポート」（資料 1）において、東海地方では、平成 21（2009）年度の 50.1%から平成 30（2018）年度には 50.7%に推移し、全ての年度において全国値を上回っている。

愛知県では、平成 21（2009）年度の 52.7%から平成 30（2018）年度には 53.7%に推移し、全国値と比較し例年 4～5%程高く、安定的に推移している。

③東海地方並びに愛知県の大学入学者の地元残留率

「マーケットリポート」（資料 1）において、東海地方では、平成 22（2010）年度の 47.6%から令和元（2019）年度には 49.5%に推移し、全国値と比較し例年 4～5%程高く、安定的に推移している。

愛知県では、平成 22（2010）年度の 72.6%から令和元（2019）年度には 70.7%に推移する。全都道府県のうち、平成 22（2010）年度から令和元（2019）年度までの全ての年度において 70.0%を超える都道府県は愛知県のみであり、大学入学時の地元志向が強いことがうかがえる。

④出身地別入学者数

大学全体の直近 5 年間（平成 28（2016）年度～令和 2（2020）年度）の入学者のうち東海地方出身者の割合は 91.3%～92.6%（平均：92.2%）、愛知県出身者の割合は 62.9%～65.7%（平均：64.2%）であり（表 1 【再掲】）、上記③における東海地方の傾向と同様に本学においても入学者に占める地元出身者の割合が高いことがうかがえる。

表1 出身地別入学者数（学部生）【再掲】

	平成 28 (2016) 年度		平成 29 (2017) 年度		平成 30 (2018) 年度		令和元 (2019) 年度		令和 2 (2020) 年度		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
東海地方	3,181	92.6%	3,289	92.2%	3,128	92.2%	3,040	92.5%	3,178	91.3%	
内 訳	愛知県	2,257	65.7%	2,287	64.1%	2,190	64.5%	2,101	63.9%	2,190	62.9%
	岐阜県	488	14.2%	529	14.8%	490	14.4%	507	15.4%	511	14.7%
	三重県	325	9.5%	351	9.8%	306	9.0%	297	9.0%	306	8.8%
	静岡県	111	3.2%	122	3.4%	142	4.2%	135	4.1%	171	4.9%
その他	256	7.4%	278	7.8%	266	7.8%	247	7.5%	301	8.7%	
入学者合計	3,437	100.0%	3,567	100.0%	3,394	100.0%	3,287	100.0%	3,479	100.0%	

注：入学者の「出身高校所在地」から算出。

⑤志願度・イメージ調査

「進学ブランド力調査」(資料2)における、東海地方の高校3年生が全国の大学から選択する志願大学・大学のイメージ等の調査結果は以下のとおりである。本学は志願度をはじめとする各指標の結果が高水準で安定的に推移しており、定員変更後も現在と同等の進学需要を維持する見込みがあると分析する。

I. 「志願したい大学」ランキング

本学は「全体」で全国公私立大学において1位(4年連続)となった。男女別では、男子1位(4年連続)、女子1位、文理別では、文系3位、理系1位(3年連続)となり、4区分のうち3区分で1位となった。

特筆すべき点として、「女子」が過去5年間は3位～7位で推移していたが、令和2(2020)年度において平成20(2008)年度の調査開始以来初めて1位となった。要因として、外国語学部の新設(平成28(2016)年度)、ナゴヤドーム前キャンパスの開設(同)、エアライン・ホテル・ブライダル・観光等のホスピタリティ業界への就職支援プログラム「M-CAP」の新設(同)、学業等成績優秀者を対象とする全学選抜型キャリア形成プログラム「名城大学チャレンジ支援プログラム」の設置(平成30(2018)年度)をはじめとする教育改革を推進したことが考えられる。

II. イメージ項目別ランキング(順位は「全体」の結果を記載)

教育研究・学修環境等の機能的価値に関する項目では、「学びたい学部・学科がある」1位(2年連続)、「自分の興味や可能性が広げられる」7位、「教授・講師陣が魅力的である」8位、「校風や雰囲気が良い」7位、「学習設備や環境が整っている」10位、「キャンパスがきれいである」1位となった。

感性的価値に関する項目では、「先進的な」12位、「力強い」14位、「自由な」11位となった。

本結果からは、本学の教育研究活動及びキャンパス再開発の動向や、ノーベル賞受賞者等の

著名教員を擁する充実した教員体制、女子駅伝部をはじめとする多様な正課外活動等が高校生に広く認知され、本学での学修や学生生活に関心・期待を抱いていることが分かる。

Ⅲ. 分野別志願度ランキング

全 21 分野のうち「経済・経営・商」「情報」「観光・コミュニケーション・メディア」「工学（建築・土木）」「生物・農・獣医・林産・水産」が 1 位となった。5 分野での 1 位は東海地方において最多である。その他にも、「法律・政治」「理学」「薬学」が 2 位、「社会」「人間・心理」「工学（エネルギー）」「工学（機械）」「工学（電気・電子・情報）」等が 3 位、「外国語」等が 4 位に入るなど、調査対象 21 分野の全てにおいて上位 10 位以内となった。

⑥学生募集状況

大学全体の直近 5 年間（平成 28（2016）年度～令和 2（2020）年度）の志願倍率は 12.1 倍～12.3 倍（平均：12.2 倍）、入学定員超過率は 0.97 倍～1.08 倍（平均：1.02 倍）であり、平成 29（2017）年度に実施した入学定員変更後（3,155 人から 215 人増の 3,370 人）も安定的に推移している（表 2【再掲】）。このことから、今回の入学定員変更後（3,370 人から 45 人増の 3,415 人）も入学定員を充足する見込みがあると分析する。

表 2 大学全体における学生募集状況【再掲】

	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度
入学定員 (A)	3,155	3,370	3,370	3,370	3,370
志願者数 (B)	38,314	41,602	40,872	41,243	41,493
受験者数	36,898	40,203	39,491	39,898	39,827
合格者数	12,544	12,554	12,506	13,196	15,253
入学者数 (C)	3,437	3,567	3,394	3,287	3,479
志願倍率 (B/A)	12.1	12.3	12.1	12.2	12.3
入学定員超過率 (C/A)	1.08	1.05	1.00	0.97	1.03

注：「志願倍率」は小数第 2 位を四捨五入、「入学定員超過率」は小数第 3 位を切り捨て。

(2) 都市情報学部都市情報学科

①私立大学の社会科学系学部の入学志願動向

全国的な傾向については、日本私立学校振興・共済事業団が公表する「令和 2（2020）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、都市情報学部と同様の学問分野である社会科学系学部の令和 2（2020）年度の入学定員は 170,182 人、志願者数は 1,576,350 人と全系統区分において最多であるとともに、直近 5 年間の動向においても当該学問分野への進学需要は安定的に推移している（表 3【再掲】／資料 3）。

また、東海地方については、競合する近隣他大学社会科学系学部においても同様に、一般選抜による志願者を安定的に確保していることが分かる（表 4【再掲】）。

表3 社会科学系学部の入学志願動向【再掲】

	社会学部		総合政策学部		情報学部		観光学部	
	5年推移	5年平均	5年推移	5年平均	5年推移	5年平均	5年推移	5年平均
志願倍率	9.9-12.6	11.5	8.4-9.6	8.9	5.9-11.2	8.3	7.2-9.2	8.1
入学定員超過率	1.01-1.10	1.04	1.00-1.06	1.02	1.03-1.11	1.06	0.96-1.05	1.00

日本私立学校振興・共済事業団公表データを基に集計。

表4 近隣他大学における一般選抜入試の学生募集状況【再掲】

大学名	学部名	学科名		平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度
南山大学	総合政策学部	総合政策学科	募集人員(A)	275	275	275
			志願者数(B)	3,630	3,828	2,271
			志願倍率(B/A)	13.2	13.9	8.3
中京大学	総合政策学部	総合政策学科	募集人員(A)	139	140	135
			志願者数(B)	3,380	3,485	2,975
			志願倍率(B/A)	24.3	24.9	22.0
愛知大学	地域政策学部	地域政策学科	募集人員(A)	159	159	160
			志願者数(B)	3,038	3,186	2,994
			志願倍率(B/A)	19.1	20.0	18.7
愛知淑徳大学	交流文化学部	交流文化学科	募集人員(A)	160	160	160
			志願者数(B)	2,061	2,638	1,944
			志願倍率(B/A)	11.7	14.8	11.1

各大学ホームページによる公表情報を基に集計。

②志願度調査

「進学ブランド力調査」（資料2）における、東海地方の高校3年生が全国の大学から選択する分野別志願大学のうち、都市情報学部と同様の学問分野である「経済・経営・商」「情報」や、関連する「観光・コミュニケーション・メディア」の分野において本学は1位となった。

③学生募集状況

同学科の直近5年間（平成28（2016）年度～令和2（2020）年度）の志願倍率は6.7倍～9.4倍（平均：8.0倍）、入学定員超過率は0.91倍～1.18倍（平均：1.01倍）であり、平成29（2017）年度に実施した入学定員変更後（200人から20人増の220人）も同学科への進学需要は安定的に推移している（表5【再掲】）。入試区分別の学生募集の状況についても、平成29年（2017）年度に実施した入学定員変更後の一般選抜における志願倍率は11.8倍～14.8倍と安定的に推移している（表6【再掲】）。

表5 都市情報学部都市情報学科における学生募集状況の推移・予測【再掲】

	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度	令和 4 (2022) 年度
入学定員 (A)	200	220	220	220	220	220	235
志願者数 (B)	1,333	2,058	1,654	1,896	1,668	1,832	1,822
受験者数	1,281	1,995	1,614	1,834	1,609		
合格者数	526	477	559	542	678		
入学者数 (C)	237	202	218	218	224		
志願倍率 (B/A)	6.7	9.4	7.5	8.6	7.6	8.3	7.7
入学定員超過率 (C/A)	1.18	0.91	0.99	0.99	1.01		

注：「志願倍率」は小数第2位を四捨五入、「入学定員超過率」は小数第3位を切り捨て。

令和3(2021)年度については、令和3(2021)年3月12日現在の値。

令和4(2022)年度志願者数については、平成29(2017)～令和3(2021)年度志願者数の平均値(小数点以下四捨五入)を推計値として掲載。

表6 都市情報学部都市情報学科における入試区分別の学生募集状況【再掲】

		平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度	令和 3 (2021) 年度
一般選抜	募集人員 (A)	110	130	130	130	130	130
	志願者数 (B)	1,198	1,930	1,528	1,795	1,560	1,726
	合格者数	425	392	484	470	604	
	志願倍率 (B/A)	10.9	14.8	11.8	13.8	12.0	13.3
その他	募集人員 (A)	90	90	90	90	90	90
	志願者数 (B)	135	128	126	101	108	106
	合格者数	101	85	75	72	74	
	志願倍率 (B/A)	1.5	1.4	1.4	1.1	1.2	1.2

注：「志願倍率」は小数第2位を四捨五入

令和3(2021)年度については、令和3(2021)年3月12日現在の値。

以上のことから、「まちづくり」「組織経営」「観光」人材の養成を目指し、「情報・数理」「経済・経営」「財政・行政」「地域計画」「開発・環境」といった社会科学系統の幅広い領域の教育研究を展開する都市情報学部を進路選択肢に含む可能性がある受験者が多く存在しているとともに、本学の情報発信・広報活動によっては志願者をさらに増加させることが可能であり、今回の入学定員変更後(220人から15人増の235人)も入学定員を充足する見込みがあると分析する。

(3) 情報工学部情報工学科

①学生募集状況

基礎学科となる理工学部情報工学科の直近5年間(平成28(2016)年度～令和2(2020)

年度)の志願倍率は17.4倍～23.0倍(平均:21.4倍)、入学定員超過率は0.87倍～1.20倍(平均:1.03倍)であり、平成29(2017)年度に実施した入学定員変更後(145人から5人増の150人)も安定的に推移している(表7【再掲】)。また、入試区分別の学生募集の状況については、一般選抜における志願者数を安定的に確保できているとともに、志願倍率は平成29(2017)年度に実施した入学定員変更(145人から5人増の150人)以降、32.1倍～33.9倍と推移している(表8【再掲】)。また、東海地方については、競合する近隣他大学においても同様に、一般選抜による志願者を安定的に確保していることが分かる(表9【再掲】)。

表7 理工学部情報工学科における学生募集状況の推移・予測【再掲】

	平成28 (2016) 年度	平成29 (2017) 年度	平成30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度
入学定員(A)	145	150	150	150	150	150	180
志願者数(B)	2,522	3,334	3,365	3,452	3,276	3,688	3,423
受験者数	2,445	3,241	3,262	3,360	3,156		
合格者数	737	812	726	787	1,114		
入学者数(C)	152	181	138	131	170		
志願倍率(B/A)	17.4	22.2	22.4	23.0	21.8	24.6	19.0
入学定員超過率(C/A)	1.04	1.20	0.92	0.87	1.13		

注:「志願倍率」は小数第2位を四捨五入、「入学定員超過率」は小数第3位を切り捨て。

令和3(2021)年度については、令和3(2021)年3月12日現在の値。

令和4(2022)年度志願者数については、平成29(2017)～令和3(2021)年度志願者数の平均値(小数点以下四捨五入)を推計値として掲載。

表8 理工学部情報工学科における入試区分別の学生募集状況【再掲】

		平成28 (2016) 年度	平成29 (2017) 年度	平成30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度
一般選抜	募集人員(A)	97	97	97	97	97	97
	志願者数(B)	2,383	3,184	3,249	3,288	3,113	3,527
	合格者数	676	757	668	725	1,051	
	志願倍率(B/A)	24.6	32.8	33.5	33.9	32.1	36.4
その他	募集人員(A)	48	53	53	53	53	53
	志願者数(B)	139	150	116	164	163	161
	合格者数	61	55	58	62	63	
	志願倍率(B/A)	2.9	2.8	2.2	3.1	3.1	3.0

注:「志願倍率」は小数第2位を四捨五入。

令和3(2021)年度については、令和3(2021)年3月12日現在の値。

表9 近隣他大学における一般選抜入試の学生募集状況【再掲】

大学名	学部名	学科名		平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度	令和 2 (2020) 年度
中京大学	工学部	情報工学科	募集人員(A)	50	57	57
			志願者数(B)	1,695	2,095	2,019
			志願倍率(B/A)	33.9	36.8	35.4
中部大学	工学部	情報工学科	募集人員(A)	76	76	72
			志願者数(B)	1,282	1,319	1,198
			志願倍率(B/A)	16.9	17.4	16.6

各大学ホームページによる公表情報を基に集計。

②志願度調査

「進学ブランド力調査」（資料2）における、東海地方の高校3年生を対象とした、本学に対する分野別志願度ランキングのうち、「工学（電気・電子・情報）」分野で本学は3位（2年連続／私立大学の中では2年連続1位）となり、同分野に含まれる理工学部情報工学科への志願度は高水準で推移している。

次に、情報工学部情報工学科への志願動向の把握等を目的に、令和3（2021）年3月に実施した、高校生への進学意向アンケート調査について確認する（資料4）。

本アンケート調査は、令和3（2021）年4月に高校1、2、3年生となる者を対象に、①進学したいと考えている学問分野、②本学情報工学部情報工学科に対する進学希望の有無を聴取した。東海地方から多くの志願者の獲得を目指すことを前提としつつ、全国的な情報系学部への進学ニーズや傾向を併せて確認することで、今後の学生募集戦略を形成するための一助とすること等を目的に、調査対象エリアを東海地方に加え関東・近畿圏に拡大した。

実施結果は次のとおりである。有効回答数1,237人中、大学・短大・専門学校等への「進学を希望する」と回答した者は全学年合計1,043人であり、このうち、本学の情報工学部情報工学科への「進学を希望する」「進学先の候補の一つとして検討する」のいずれかで回答した者の合計は全学年合計で317人であった。この学年別内訳は、3年生が157人中33人（21%）、2年生が430人中115人（27%）、1年生が456人中169人（37%）であった。本アンケートは情報工学部設置基本構想を説明し実施したものであるが、各学年において情報系学部への進学意向を持つ者が一定割合存在することが明らかになった。今後、情報系学部進学を検討する過程で本学情報工学部情報工学科を「進学先の候補の一つ」として検討する高校生をはじめとする幅広い層に対して、より詳細な教育研究内容を伝える理解・広報活動を積極的に展開することを通じて、「興味・関心のある層」から「進学を希望する層」に繋げ、より多くの志願者確保に努めていく。

以上のように、情報系人材の養成に対する社会からの要請や高校生の情報系学部への進学意向を踏まえると、新たに設置する情報工学部情報工学科（理工学部情報工学科の150人から30人増の180人）において入学定員を充足する見込みがあると分析する。

(3) 理工学部情報工学科

学生募集を停止するものであるため該当なし。

2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

ア. 多様な入試方式の実施

本学では、「一般選抜」及び「総合型選抜」等により、多様な観点から受験者の評価に努めている。「一般選抜」では、本学キャンパス以外に北海道から沖縄県まで全国 16 地区に試験会場を設定し、受験者の負担軽減、並びに多様な学生の確保を図っている。

イ. 広報活動

新型コロナウイルス感染症発生後は従来の対面形式での広報活動が困難となったが、オンライン形式での情報提供を行い、受験者・保護者・高校関係者等の本学に対する理解を促進するとともに、志願者確保に努めている。各活動の概要は次のとおりである。

(1) オープンキャンパス

例年は各キャンパスにおいて、学部紹介・入試相談会・キャンパスツアー等の企画を実施し、平成 28 (2016) 年度以降は毎年 17,000 人を超える来場者数であった。

令和 2 (2020) 年度は対面実施を中止し、「WEB OPEN CAMPUS」と題し、特設ページ上でのコンテンツ配信により、対面形式と同等の企画を実施した(令和 2 (2020) 年 7 月 31 日～一般選抜実施時期までの常時公開) (資料 5)。

(2) 進学懇談会

高等学校の進路担当教員等と本学教職員との意見交換、及び本学の特色や入試に関する情報提供を内容とする進学懇談会を実施している。

(3) 高校訪問

高等学校と本学との相互理解の促進を目的に、本学の入試広報担当職員が主に中部地区の高等学校を訪問し、進路担当教員に対して本学の特色や入試に関する情報提供を行っている。

(4) キャンパス見学会

進路検討の一環として本学キャンパスの見学を希望する高等学校を対象に、大学紹介・施設見学等を内容とするキャンパス見学会を実施している。

(5) 進学相談会

高校生の進学意欲醸成を目的に、本学の入試広報担当職員が高等学校等を訪問し、本学への進学希望者に対し、本学の特色や入試に関する説明・質疑応答を行う進学相談会を実施している。

(6) 本学ホームページへの情報掲載

入試特別ページ「Meijo Navi」を開設し、本学の入試に関する情報や、教育研究・学生生活・就職支援等の受験者が求める情報を本ページに一元化している（資料6）。

令和 4（2022）年度開設予定の情報工学部情報工学科については、特設ページを設計し、今後学部の特色や入試に関する情報等を掲載することを予定している（資料7）。

(7) 出前講義

本学の知的財産を地域社会に還元し社会貢献に寄与することを目的に、学校及び自治体等からの依頼に基づき、本学教職員を派遣している。高校生には大学の模擬授業を通じた「学び」への関心の高まりによる進学意欲の醸成・向上が期待できる。

ウ. 本学独自の給付型奨学金制度による経済的支援

本学では、学部生を対象とした独自の給付型奨学金制度を設けており、経済的理由により修学が困難な学生や学業優秀学生に対し、経済的支援を行っている（資料8）。

また、本学は「高等教育の修学支援新制度」の対象機関に認定されており、支援要件に該当する学生は本制度による支援を受けられる。

2. 人材需要の動向等社会の要請

1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

収容定員変更を行う学部・学科の人材養成目的及びその他の教育研究上の目的は以下の通りである。

ア. 都市情報学部・都市情報学部都市情報学科

都市情報学部は、サービスサイエンスの観点から、都市に関する総合的知識とバランス感覚を併せ持ち、まちづくりや組織経営に関するさまざまな課題を分析し、解決する人材の養成を目的とする。

イ. 情報工学部

情報工学部は、幅広い素養を備え、社会に通用する情報工学の専門知識とその応用力を持ち、情報技術者として自らの手で新しい分野を創造的に切り拓いてゆく人材の養成を目的とする。

ウ. 情報工学部情報工学科

産業や社会の様々な分野で情報技術者として活躍できるように、情報数学、コンピュータ基礎、プログラミングなどの「情報処理技術の基礎」を修得した上で、以下の4つのプログラムを通して、1つ以上の応用分野に関して体系的に修得し、かつ、自らが解決すべき課題を理解し、解決策を探索し、実践できる能力を身につけた人材を後述の異なる視点で編成された2つのコースで育成する。

①プログラム

- 1) ネットワークシステムプログラム：情報を交換する分野を扱う。伝送路を介して情報を高速に伝える方法や、ネットワークを介して情報を確実、かつ安全に交換する仕組みが理解できる。
- 2) フィジカルコンピューティングプログラム：情報を実体化する分野を扱う。情報を取得するためのハードウェアとそれを利用するためのソフトウェアについて、その両方の仕組みが理解できる。
- 3) データエンジニアリングプログラム：情報を処理する分野を扱う。基本ソフトウェアをはじめとするソフトウェアの原理や、情報管理、アルゴリズム、知識情報処理の方法論が理解できる。
- 4) ヒューマン・メディアプログラム：情報を表現する分野を扱う。画像・音・言語などのメディアから情報を抽出する仕組みや、それらを加工して利用する方法が理解できる。

②コース

- 1) 総合コース：自らが目指すプログラムを中心として、講義、演習、実験を通じてより深く体系的に情報工学の考え方や技術を学ぶ。
- 2) 先進プロジェクトコース：講義等を通して体系的に学ぶことに加えて、実践的なプロジェクト（課題）を通じて実社会で利用されている情報工学の方法論や技術を体験的に学び、そこから情報工学の考え方や技術を会得する。

エ．理工学部

理工学部は、幅広い素養を備え、社会に通用する専門知識とその応用力を持ち、科学技術者として自らの手で新しい分野を創造的に切り拓いてゆく人材の養成を目的とする。

オ．理工学部情報工学科

産業や社会の様々な分野で情報技術者として活躍できるように、情報数学、コンピュータ基礎、プログラミングなどの「情報処理技術の基礎」を修得した上で、以下のプログラムを通して、1 つ以上の応用分野に関して体系的に修得し、かつ、自らが解決すべき課題を理解し、解決策を探索し、実践できる能力を身につけた人材を育成する。

- (1)情報通信プログラム：情報を交換する分野を扱う。伝送路を介して情報を高速に伝える方法や、ネットワークを介して情報を確実、かつ安全に交換する仕組みが理解できる。
- (2)情報システムプログラム：情報を利用する分野を扱う。情報を取得するためのハードウェアとそれを利用するためのソフトウェアについて、その両方の仕組みが理解できる。
- (3)情報処理プログラム：情報を処理する分野を扱う。基本ソフトウェアをはじめとするソフトウェアの原理や、情報管理、アルゴリズム、知識情報処理の方法論が理解できる。
- (4)情報メディアプログラム：情報を表現する分野を扱う。画像・音・言語などのメディアから情報を抽出する仕組みや、それらを加工して利用する方法が理解できる。

2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

ア. 大学全体

(1) 学部卒業生の就職状況

大学全体の直近 5 年間（平成 27（2015）年度～令和元（2019）年度卒業生）の就職率は 99.4%～99.7%である（表 10）。これは文部科学省及び厚生労働省が毎年公表する「大学等卒業生及び高校卒業生の就職状況調査」における対象大学全体の直近 5 年間の就職率である 97.3%～98.0%（資料 9）と比較しても優れた水準であり、本学が輩出する人材への社会的な需要があると分析する。

また、本学の受入求人社数は近年 17,000 件程に増加していることから、今回の入学定員変更（3,370 人から 45 人増の 3,415 人）は社会的な人材需要を踏まえた対応と考える。

表 10 大学全体における就職率、実就職率の推移

	平成 27 (2015) 年度	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度
卒業生数 (A)	3,122	3,238	3,143	3,278	3,232
就職希望者数 (B)	2,688	2,798	2,777	2,915	2,859
進学者数 (D)	244	275	245	246	254
受付求人社数	14,202	16,017	15,623	17,615	17,213
就職者数 (C)	2,671	2,790	2,770	2,900	2,844
東海三県への就職者数	1,899	1,922	1,840	1,945	1,850
就職率 (C / B)	99.4%	99.7%	99.7%	99.5%	99.5%
実就職率 (C / (A - D))	92.8%	94.2%	95.6%	95.6%	95.5%

注：「就職率」「実就職率」は小数第 2 位を四捨五入。

イ. 都市情報学部都市情報学科

(1) 観光人材に関する社会的、地域的な人材需要動向

都市情報学部都市情報学科では、今回の定員変更に併せて、観光系科目群を新設し、観光分野の課題を分析・解決するための専門性を有した人材の養成を目指す。

平成 18（2006）年 12 月に成立した観光立国推進基本法において観光振興が国策の重要項目として明確に位置付けられ、平成 19（2007）年 6 月には同基本法に基づき「観光立国推進基本計画」が策定された。平成 29（2017）年 3 月に閣議決定された新たな同計画においては、平成 32（2020）年までに「訪日外国人旅行者数を 4,000 万人にすること」「国内旅行消費額を 21 兆円とすること」等が目標に掲げられている。我が国の観光業の発展は目覚ましく、平成 15（2003）年に 521 万人であった訪日外国人旅行者数は、令和元（2019）年には 3,188 万人にまで増加している（資料 10）。

昨今の新型コロナウイルス感染症の流行により、訪日外国人旅行者数は大幅に減少し、観光業界や観光業に支えられていた地域は大きな影響を受けた一方で、政府による GoTo トラベル事業では約 8,781 万人泊の利用があり、観光地域の経済回復の一助となったとともに、地域政策・経済と観光の関係性が改めて確認された（資料 11）。我が国では東京オリンピック・パラリンピック（令和 3（2021）年度）、大阪万博（令和 7（2025）年度）等の世界的なイベントを

控えている他、本学が所在する愛知県には令和 4（2022）年度に大型テーマパークの開業も予定されており、同感染症収束後の国内外からの観光需要や観光地域経済の回復・発展が期待できる。

こうした中、明日の日本を支える観光ビジョン構想会議が平成 28（2016）年 3 月に策定した「明日の日本を支える観光ビジョン」、或いは観光立国推進閣僚会議が令和 2（2020）年 7 月に策定した「観光ビジョン実現プログラム 2020」に掲げられる諸施策を実現していくための人材育成は社会的に要請されるものであり、教育機関にはそれを可能とする総合的な知識を持つ人材を養成することが求められている。

また、愛知県が令和 2（2020）年 12 月に策定した「あいち観光戦略 2021-2023」（計画期間：令和 3（2021）年度～令和 5（2023）年度）においては、持続可能な観光の実現のための施策の一つに「観光人材の確保・育成」が掲げられ、同県から教育機関に対して観光教育の実施及び観光人材の養成が求められている。

以上のことから、観光人材に関する社会的、地域的な人材需要があると考ええる。

（2）卒業生の就職状況

都市情報学部都市情報学科の直近 5 年間（平成 27（2015）年度～令和元（2019）年度卒業生）の就職率は 98.2%～100.0%である（表 1 1）。これは文部科学省及び厚生労働省が毎年公表する「大学等卒業者及び高校卒業者の就職状況調査」における対象大学全体の直近 5 年間の就職率である 97.3%～98.0%（資料 9）を上回る水準であり、同学科が輩出する人材への社会的な需要があると分析する。

表 1 1 都市情報学部都市情報学科における就職率、実就職率の推移

	平成 27 (2015) 年度	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度
卒業生数 (A)	180	188	174	217	239
就職希望者数 (B)	160	171	160	201	228
進学者数 (D)	6	4	4	4	5
受付求人社数	11,214	12,983	12,973	14,463	14,357
就職者数 (C)	160	168	160	201	225
東海三県への就職者数	109	107	97	143	152
就職率 (C / B)	100.0%	98.2%	100.0%	100.0%	98.7%
実就職率 (C / (A-D))	92.0%	91.3%	94.1%	94.4%	96.2%

注：「就職率」「実就職率」は小数第 2 位を四捨五入。

ウ. 情報工学部情報工学科

（1）AI 等人材に関する社会的、地域的な人材需要動向

平成 28（2016）年 6 月に閣議決定された「日本再興戦略 2016」において、IoT・ビッグデータ・人工知能等の進展に対応した未来社会を創造する人材の育成・確保に向け、高等教育において高度なレベルのデータサイエンティストなどを育成する学部・大学院の整備を促進していくことが明示されている。加えて、統合イノベーション戦略推進会議が令和元（2019）年 6

月に決定した「AI 戦略 2019」においては、「文理を問わず、全ての大学・高専生（約 50 万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AI を習得」することが具体目標として掲げられている。

また、愛知県が ICT 利活用・DX 推進の今後の展開を示すため、令和 2（2020）年 12 月に策定した「あいち DX 推進プラン 2025」（計画期間：令和 3（2021）年度～令和 7（2025）年度）においては、同県の行政及び社会全体のデジタル化を推進するとともに、数理・データサイエンス・AI・ICT 等の知識・技術を有するデジタル人材の育成・確保に取り組む必要があることが示されている。取り組みの一例として、モノづくりが盛んな当地域における IoT 人材の需要拡大を見込み、県内の情報系学部・学科を有する大学や県内経済団体と連携した PBL（課題解決型学習）の実施も想定されている。

以上のことから、AI 等人材に関する社会的、地域的な人材需要があると考えられる。

（2）卒業生の就職状況

基礎となる理工学部情報工学科の直近 5 年間（平成 27（2015）年度～令和元（2019）年度卒業生）の就職率は 98.4%～100.0%である（表 1 2）。これは文部科学省及び厚生労働省が毎年公表する「大学等卒業者及び高校卒業者の就職状況調査」における対象大学全体の直近 5 年間の就職率である 97.3%～98.0%（資料 9）を上回る水準であることから、同学科が輩出する人材への社会的な需要があり、新たに設置する情報工学部情報工学科においても安定的な人材需要の見込みがあると分析する。

表 1 2 理工学部情報工学科における就職率、実就職率の推移

	平成 27 (2015) 年度	平成 28 (2016) 年度	平成 29 (2017) 年度	平成 30 (2018) 年度	令和元 (2019) 年度
卒業生数 (A)	148	135	134	138	138
就職希望者数 (B)	123	107	111	113	115
進学者数 (D)	22	23	22	22	16
受付求人社数	13,475	15,215	14,834	14,137	14,019
就職者数 (C)	121	107	111	112	114
東海三県への就職者数	81	69	74	72	62
就職率 (C / B)	98.4%	100.0%	100.0%	99.1%	99.1%
実就職率 (C / (A - D))	96.0%	95.5%	99.1%	96.6%	93.4%

注：「就職率」「実就職率」は小数第 2 位を四捨五入。

以 上

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

- 資料 1 リクルート進学総研マーケットリポート（東海・全国）
- 資料 2 進学ブランド力調査 2020（東海）
- 資料 3 私立大学・短期大学等入学志願動向
- 資料 4 情報工学部情報工学科（仮称）の設置に関するアンケート調査結果
- 資料 5 名城大学 WEB OPEN CAMPUS
- 資料 6 受験生のための入試情報サイト Meijo Navi
- 資料 7 情報工学部設置構想に係る本学ホームページニュース
- 資料 8 名城大学学内奨学金制度
- 資料 9 大学等卒業者及び高校卒業者の就職状況調査
- 資料 1 0 年別 訪日外客数,出国日本人数の推移
- 資料 1 1 Go To トラベル事業の利用実績

リクルート進学総研マーケットレポート（東海・全国）

*1 リクルート進学総研公表資料「リクルート進学総研マーケットレポート Vol.70」及び「リクルート進学総研マーケットレポート Vol.77 東海版」を基に作成。

1. 18 歳人口予測（2019 年～2031 年）

		2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	2026 年	2027 年	2028 年	2029 年	2030 年	2031 年
東海	人数	147,041	145,478	143,651	140,422	138,255	133,282	136,990	137,732	136,346	134,321	134,406	132,217	129,707
	指数*2	100.0	98.9	97.7	95.5	94.0	90.6	93.2	93.7	92.7	91.3	91.4	89.9	88.2
岐阜	人数	20,490	20,069	20,034	19,463	18,641	18,163	18,514	18,349	18,298	17,677	17,788	17,450	17,027
	指数	100.0	97.9	97.8	95.0	91.0	88.6	90.4	89.6	89.3	86.3	86.8	85.2	83.1
静岡	人数	35,245	35,112	34,622	33,864	33,397	32,049	32,743	33,122	32,318	31,762	31,709	31,079	30,391
	指数	100.0	99.6	98.2	96.1	94.8	90.9	92.9	94.0	91.7	90.1	90.0	88.2	86.2
愛知	人数	73,454	72,784	71,537	70,201	69,740	67,330	69,571	70,118	69,703	69,164	69,342	68,275	67,453
	指数	100.0	99.1	97.4	95.6	94.9	91.7	94.7	95.5	94.9	94.2	94.4	92.9	91.8
三重	人数	17,852	17,513	17,458	16,894	16,477	15,740	16,162	16,143	16,027	15,718	15,567	15,413	14,836
	指数	100.0	98.1	97.8	94.6	92.3	88.2	90.5	90.4	89.8	88.0	87.2	86.3	83.1
全国	人数	1,174,801	1,167,348	1,141,140	1,121,276	1,097,105	1,061,961	1,089,005	1,093,565	1,085,011	1,068,978	1,066,720	1,048,177	1,033,386
	指数	100.0	99.4	97.1	95.4	93.4	90.4	92.7	93.1	92.4	91.0	90.8	89.2	88.0

*2 指数は 2019 年を 100 とした値

2. 大学進学者数・大学進学率（現役）の推移（2009 年～2018 年）

		2009 年	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年
東海	卒業者数	127,026	127,254	126,920	127,454	131,213	127,207	130,137	129,695	132,732	131,158
	進学者数	63,578	64,464	63,868	63,656	65,332	63,790	66,061	65,311	67,154	66,458
	進学率	50.1	50.7	50.3	49.9	49.8	50.1	50.8	50.4	50.6	50.7
岐阜	卒業者数	18,623	18,207	18,503	18,172	18,475	18,263	18,477	18,029	18,379	18,240
	進学者数	8,960	8,864	9,068	8,567	8,763	8,656	8,899	8,534	8,959	8,868
	進学率	48.1	48.7	49.0	47.1	47.4	47.4	48.2	47.3	48.7	48.6
静岡	卒業者数	32,809	33,349	31,883	32,523	33,516	31,726	32,404	32,058	32,825	32,434
	進学者数	16,016	16,307	15,496	15,693	16,051	15,314	15,922	15,521	15,941	15,744
	進学率	48.8	48.9	48.6	48.3	47.9	48.3	49.1	48.4	48.6	48.5
愛知	卒業者数	59,097	59,261	60,168	60,685	62,798	61,420	63,268	63,656	65,316	64,789
	進学者数	31,170	31,824	31,849	32,043	33,189	32,662	34,005	34,161	34,870	34,791
	進学率	52.7	53.7	52.9	52.8	52.9	53.2	53.7	53.7	53.4	53.7
三重	卒業者数	16,497	16,437	16,366	16,074	16,424	15,798	15,988	15,952	16,212	15,695
	進学者数	7,432	7,469	7,455	7,353	7,329	7,158	7,235	7,095	7,384	7,055
	進学率	45.1	45.4	45.6	45.7	44.6	45.3	45.3	44.5	45.5	45.0
全国	卒業者数*3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	進学者数*3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	進学率	47.3	47.9	47.7	47.7	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6	49.7

*3 「全国」の卒業者数及び進学者数は当該資料における公表データなし。

3. 大学進学者の地元残留率の推移（2010 年～2019 年）

	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年
東海	47.6	48.0	47.5	48.4	48.0	48.9	48.9	49.2	49.5	49.5
岐阜	18.8	18.7	19.2	18.4	18.8	18.9	18.9	19.7	20.1	21.5
静岡	26.6	26.6	26.1	28.2	28.4	27.7	27.9	28.3	29.4	29.2
愛知	72.6	72.8	71.2	72.0	70.6	72.0	71.4	72.0	71.2	70.7
三重	19.2	20.4	19.5	19.4	20.2	21.3	20.3	20.5	21.8	22.2
全国	43.4	43.2	43.2	43.4	43.2	43.6	43.7	44.1	44.2	44.4

進学ブランド力調査2020（東海）

* リクルート進学総研が実施した「進学ブランド力調査2020」のうち東海地方の高校3年生を対象とした調査結果を基に作成。

1. 志願度ランキング

1) 全体

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名城大学	私	12.7
2	名古屋大学	国	8.8
3	中京大学	私	7.6

男子			
順位	大学名	区分	%
1	名城大学	私	16.4
2	名古屋大学	国	10.8
3	中京大学	私	8.4

女子			
順位	大学名	区分	%
1	名城大学	私	8.2
2	南山大学	私	7.0
3	愛知県立大学	公	6.8

2) 文系

全体			
順位	大学名	区分	%
1	中京大学	私	11.5
2	南山大学	私	10.5
3	名城大学	私	10.3

3) 理系

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名城大学	私	16.7
2	名古屋大学	国	16.0
3	名古屋工業大学	国	11.9

2. イメージ項目別ランキング（機能的価値を示す項目）

1) 校風や雰囲気が良い

全体			
順位	大学名	区分	%
1	青山学院大学	私	16.5
2	東京大学	国	16.0
3	早稲田大学	私	15.3

2) 学びたい学部・学科がある

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名城大学	私	13.7
2	名古屋大学	国	12.4
3	名古屋市立大学	公	10.6

3) 自分の興味や可能性が上げられる

全体			
順位	大学名	区分	%
1	東京大学	国	16.0
2	早稲田大学	私	12.5
3	京都大学	国	12.1

4) 教師・教授陣が魅力的である

全体			
順位	大学名	区分	%
1	東京大学	国	18.4
2	京都大学	国	12.8
3	早稲田大学	私	10.5

5) 学習設備や環境が整っている

全体			
順位	大学名	区分	%
1	東京大学	国	19.1
2	早稲田大学	私	11.5
3	南山大学	私	10.8

6) キャンパスがきれいである

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名城大学	私	12.6
2	東京大学	国	12.5
3	早稲田大学	私	12.5

3. イメージ項目別ランキング（感性的価値を示す項目）

1) 先進的な

全体			
順位	大学名	区分	%
1	東京大学	国	17.7
2	早稲田大学	私	12.9
3	京都大学	国	12.8

2) 力強い

全体			
順位	大学名	区分	%
1	日本体育大学	私	12.5
2	京都大学	国	10.3
3	東京大学	国	9.7

3) 自由な

全体			
順位	大学名	区分	%
1	京都大学	国	13.2
2	早稲田大学	私	11.5
3	東京大学	国	11.1

4.分野別志願度ランキング

1) 法律・政治

全体			
順位	大学名	区分	%
1	南山大学	私	16.6
2	名城大学	私	16.0
3	中京大学	私	14.0

2) 経済・経営・商

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名城大学	私	16.7
2	中京大学	私	15.1
3	愛知大学	私	14.1

3) 社会

全体			
順位	大学名	区分	%
1	中京大学	私	16.5
2	南山大学	私	15.5
3	愛知大学	私	14.6

4) 情報

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名城大学	私	19.0
2	名古屋大学	国	13.0
3	静岡大学	国	11.1

5) 観光・コミュニケーション・メディア

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名城大学	私	13.6
2	愛知大学	私	13.2
3	南山大学	私	12.8

6) 外国語

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名古屋外国語大学	私	21.2
2	南山大学	私	18.2
3	愛知県立大学	公	14.5
4	名城大学	私	11.8

7) 人間・心理

全体			
順位	大学名	区分	%
1	中京大学	私	11.4
2	愛知淑徳大学	私	11.2
3	愛知学院大学	私	10.7

8) 理学

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名古屋大学	国	29.8
2	名城大学	私	16.8
3	名古屋工業大学	国	15.6

9) 工学（エネルギー）

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名古屋大学	国	28.3
2	名古屋工業大学	国	27.4
3	名城大学	私	21.0

10) 工学（機械）

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名古屋工業大学	国	28.6
2	名古屋大学	国	23.8
3	名城大学	私	21.4

11) 工学（電気・電子・情報）

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名古屋工業大学	国	27.1
2	名古屋大学	国	23.2
3	名城大学	私	20.4

12) 工学（建築・土木）

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名城大学	私	25.7
2	名古屋工業大学	国	20.2
3	名古屋大学	国	16.0

13) 薬学

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名古屋市立大学	公	18.7
2	名城大学	私	18.2
3	名古屋大学	国	15.0

14) 生物・農・獣医・林産・水産

全体			
順位	大学名	区分	%
1	名城大学	私	19.2
2	岐阜大学	国	17.6
3	名古屋大学	国	13.3

私立大学・短期大学等入学志願動向

1. 社会科学系学部 of 令和 2 年度入学志願動向

系統区分 学部名	集計学部数	入学定員	志願者数	入学者数
社会科学系	520	170,182	1,576,350	176,402
社会学部	24	8,313	96,310	8,410
総合政策学部	13	3,005	25,450	3,096
情報学部	9	2,040	22,907	2,155
観光学部	6	1,030	8,133	1,065

* 日本私立学校振興・共済事業団「令和 2（2020）年度私立大学・短期大学等入学志願動向」を基に作成。

2. 社会科学系学部の直近 5 年間の入学志願動向

学部名		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	平均
社会学部	志願倍率	9.9	11.0	12.7	12.7	11.6	11.6
	入学定員超過率	1.07	1.10	1.02	1.01	1.01	1.04
総合政策学部	志願倍率	8.8	8.5	9.3	9.6	8.5	8.9
	入学定員超過率	1.04	1.00	1.00	1.06	1.03	1.02
情報学部	志願倍率	5.9	6.8	7.5	10.1	11.2	8.3
	入学定員超過率	1.07	1.04	1.03	1.11	1.05	1.06
観光学部	志願倍率	7.2	7.2	9.2	8.9	7.9	8.1
	入学定員超過率	0.97	1.01	0.96	1.05	1.03	1.00

* 日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」（平成 28（2016）年度～令和 2（2020）年度）を基に集計。

志願倍率は小数点以下第 2 位四捨五入、入学定員超過率は同第 3 位切捨。

名城大学 情報工学部情報工学科（仮称）の設置に関するアンケート調査結果

1. 調査目的 : 2022（令和 4）年度の設置を構想している本学情報工学部情報工学科（仮称）について、高校生からの進学ニーズを把握する。これまでの本学への入学実績を考慮し、調査対象エリアを関東圏、中部圏、近畿圏に在住する高校生とした。

2. 調査概要 :

調査対象	2021（令和 3）年 4 月以降高校 1、2、3 年生となる者
調査エリア	関東圏（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川） 中部圏（富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重） 近畿圏（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）
調査方法	ウェブ調査
調査実施期間	2021（令和 3）年 3 月 8 日から 3 月 16 日
有効回答数	1,237 件
調査委託先	株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

3. 調査項目 : 別紙「調査票」参照

4. 調査結果 :

各選択肢の％は小数点第 2 位以下を四捨五入しており、合計が 100.0%とならない場合がある。

1) 回答者属性

①性別

		n	%
	全体	(1,237)	
1	男性	366	29.6
2	女性	871	70.4

②学年

		n	%
	全体	(1,237)	
1	高校 1 年生	527	42.6
2	高校 2 年生	516	41.7
3	高校 3 年生	194	15.7

③地域

		n	%
	全体	(1,237)	
1	関東圏	618	50.0
2	中部圏	310	25.1
3	近畿圏	309	25.0

2) 調査結果

Q1 あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。

次の中から1つ選んでください。

		n	%
	全体	(1,237)	
1	大学進学	821	66.4
2	短期大学進学	35	2.8
3	専門学校進学	187	15.1
4	就職	163	13.2
5	その他	31	2.5

Q2 あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。

次の中から第2希望まで選んでください。

※Q1で4.5を選択した者は除外し、1～3を選択したN=1,043を対象とする。

		n	%
	全体		
1	理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など）	244	23.4
2	社会科学（法学・政治学、商学・経営学、経済学、社会学など）	281	26.9
3	人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）	247	23.7
4	農学（農学、農業経済学、林学、水産学など）	53	5.1
5	医学・歯学・薬学	136	13.0
6	保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）	116	11.1
7	教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）	117	11.2
8	家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）	70	6.7
9	芸術学（音楽、デザイン、美術など）	130	12.5
10	その他	86	8.2

Q3 名城大学では、2022年4月に既存の理工学部情報工学科を発展させた「情報工学部 情報工学科」設置を検討しています。あなたはこの「情報工学部」に進学したいと思いますか。

次の中から1つ選んでください。

※Q1で4.5を選択した者は除外し、1～3を選択したN=1,043を対象とする。

		n	%
	全体	(1,043)	
1	進学を希望する	36	3.5
2	進学先の候補の一つとして検討する	281	26.9
3	進学を希望しない	726	69.6

学年別内訳

		高校1年生		高校2年生		高校3年生	
		n	%	n	%	n	%
	全体	(456)		(430)		(157)	
1	進学を希望する	22	4.8	12	2.8	2	1.3
2	進学先の候補の一つとして検討する	147	32.2	103	32.7	31	19.7
3	進学を希望しない	287	62.9	315	73.3	124	79.0

以上

あなたご自身に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。



「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。決して第三者に口外しないよう、ご協力をお願いします。



アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

戻る

回答をやめる

次へ

(戻るボタンは回答者には表示されません)

© Macromill, Inc. All Rights Reserved.

Q1

50%

あなたの現住所についておたずねします。
次の中から1つ選んでください。

☐ 単一回答 ☒ 必須回答

▲ とじる

【関東】

- ① 茨城県
- ② 栃木県
- ③ 群馬県
- ④ 埼玉県
- ⑤ 千葉県
- ⑥ 東京都
- ⑦ 神奈川県

【中部】

- ⑧ 富山県
- ⑨ 石川県
- ⑩ 福井県
- ⑪ 山梨県
- ⑫ 長野県
- ⑬ 岐阜県
- ⑭ 静岡県
- ⑮ 愛知県
- ⑯ 三重県

【近畿】

- ⑰ 滋賀県
- ⑱ 京都府
- ⑲ 大阪府
- ⑳ 兵庫県
- ㉑ 奈良県
- ㉒ 和歌山県
- ㉓ その他



戻る



次へ

Q2

100%

2021年4月からのあなたの学年についておたずねします。
次の中から1つ選んでください。

○ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

- ① 高校1年生
- ② 高校2年生
- ③ 高校3年生
- ④ その他／高校生ではない

アンケートは以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

＜
戻る

送 信

大学に関するアンケート

下記アンケートにご協力お願いいたします。

・ - - - - -

このアンケート調査は、2021年4月以降に高校1～3年生となる皆さんの進路についてお聞きし、2022年4月設置を構想している名城大学情報工学部の基礎資料にするものです。
なお、このアンケート調査の結果は、統計資料としてのみ用い、その他の用途に使用することはありません。
ご協力をお願いします。

・ - - - - -



「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。決して第三者に口外しないよう、ご協力をお願いします。



アンケート中は、ブラウザの「戻る」ボタンは押さぬようご注意ください。

戻る

回答をやめる

次へ

(戻るボタンは回答者には表示されません)

© Macromill, Inc. All Rights Reserved.

Q1

33%

あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。

次の中から1つ選んでください。

⦿ 単一回答

★ 必須回答

▲ とじる

① 大学進学

② 短期大学進学

③ 専門学校進学

④ 就職

⑤ その他

＜
戻る

次へ

Q2

66%

あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。

次の中から第2希望まで選んでください。

✓ 複数回答 (2個まで選択)

★ 必須回答

▲ とじる

1 理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、情報学、機械工学、電気電子工学、建築学など）

2 社会科学（法学・政治学、商学・経営学、経済学、社会学など）

3 人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語など）

4 農学（農学、農業経済学、林学、水産学など）

5 医学・歯学・薬学

6 保健衛生学（リハビリテーション学、看護学、臨床検査学、放射線など）

7 教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育士など）

8 家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）

9 芸術学（音楽、デザイン、美術など）

10 その他

<
戻る

次へ

情報工学部 情報工学科 の特色

【興味と適性に応じて選べる2つのコース】

総合コース：

情報工学の異なる4つの領域から自らが選んだプログラムを中心に、情報工学の考え方や技術を深く体系的に学びます。

先進プロジェクトコース：

PBL (Project Based Learning) 教育を導入し、実社会で利用されている情報工学を実践的・体験的に学びます。

【情報工学を広くカバーする4つのプログラム】

情報処理技術の基礎を学んだうえで、卒業までに1つ以上のプログラムを修得します。意欲次第で全プログラムを修了することも可能です。

(1) フィジカルコンピューティングプログラム：

情報を実体化する分野を扱います。情報を取得するためのハードウェアとそれを利用するためのソフトウェア、その両方のしくみを理解します。

(2) データエンジニアリングプログラム：

情報を処理する分野を扱います。基本ソフトウェアをはじめとするソフトウェアの原理や、情報管理、アルゴリズム、知識情報処理の方法論を理解します。

(3) ヒューマン・メディアプログラム：

情報を表現する分野を扱います。画像・音・言語などのメディアから情報を抽出するしくみや、それらを加工して利用する方法を理解します。

(4) ネットワークシステムプログラム：

情報を交換する分野を扱います。伝送路を介して情報を高速に伝える方法や、ネットワークを介して情報を確実かつ安全に交換するしくみを理解します。

詳細は【<https://www.meijo-u.ac.jp/>】をご覧ください。

Q3

名城大学では、2022年4月に既存の理工学部情報工学科を発展させた「情報工学部 情報工学科」設置を検討しています。

あなたはこの「情報工学部」に進学したいと思いますか。

次の中から1つ選んでください。

☐ 単一回答

☒ 必須回答

とじる

☐ ① 進学を希望する

☐ ② 進学先の候補の一つとして検討する

☐ ③ 進学を希望しない

アンケートは以上で終わりです。
ご協力ありがとうございました。
送信ボタンを押してください。

戻る

送信

名城大学
WEB OPEN CAMPUS

めざしたい未来へ、ともにふみ出そう。

WEB OPEN CAMPUS



吉野教授 × 池上教授
SPECIAL MESSAGE ▶



新型コロナウイルス感染症などの影響で入学試験（学部・大学院）に変更がある可能性があります。
入試情報を確認する際は、以下の「入試（学部・大学院）の変更点に関する情報はこちら」も必ずご確認ください。

入試（学部・大学院）の変更点に関する情報はこちら >

一般選抜

3教科型

共通テストプラス型

出願受付は終了しました
A方式

出願受付は終了しました
F方式

共通テスト型
出願受付は終了しました
G方式

全問マークシート方式
出願受付は終了しました
H方式 ※理工学部のみ

2教科型 **B方式**

出願受付中



入試を知る



イベントを知る



まなびを知る



キャンパスライフを知る



就職を知る

NEW



グローバルを知る

NEW

最新情報

一覧へ

- 2021/01/13 一般選抜合格発表（UCARO会員登録・出願連携）について
- 2021/01/07 令和3年度大学入学共通テストを名城大学で受験される皆さまへ
- 2020/12/14 合格通知書・入学手続要項等について
- 2020/12/04 12/19 入試対策講座・キャンパス見学会（天白）を実施します！
- 2020/12/04 八事キャンパス（薬学部）見学会を開催

Instagram

360° CAMPUS TOUR

天白キャンパス | 八事キャンパス |
ナゴヤドーム前キャンパス

名城大学天白キャン

[トップページ／ニュース](#)

2022年4月 情報工学部が誕生します！（設置構想中）

2021/01/15

いいね

第4次産業革命の次に来るSociety5.0では、あらゆる分野がAIやIoTなどの情報技術と結びついた社会となります。わたしたちは、その中で発生する多様で複雑な課題を解決していかなければなりません。

名城大学では、情報技術という強みを持ち、さらに、他分野の人と協働することで自分一人の手には負えない大きな課題を解決していける人材の育成を目指して、2022年度に「情報工学部」を開設する準備を進めています。

※情報工学部に関する内容は予定であり、変更となる場合があります。

情報工学部に関する情報は、今後特設WEBサイトで公開していきます。

[← ニュース](#)

- » 2021年度
- » 2020年度
- » 2019年度
- » 2018年度
- » 2017年度
- » 2016年度
- » 2015年度
- » 2014年度
- » 2013年度
- » 2012年度
- » 2011年度
- » 2010年度
- » 2009年度

名城大学 学内奨学金制度

(1) 学業優秀に関する奨学金

種類	資格	人数	給付額
入試成績優秀奨学生	一般入学試験（A 方式）において、各学部成績上位の合格者（対象者約 400 人）の内、入学した者	対象者全員	授業料年額の 1/2 （入学年度のみ対象）
学業優秀奨励制度	新 3 年次生で、2 年次までの学業成績および人物優秀者（薬学科は新 5 年次生で、4 年次までの学業成績および人物優秀者）	260 人	3 万円相当の金品
学業優秀奨学生	新 4 年次生で、3 年次までの学業成績および人物優秀者	各学科で 1 人（薬学科は 2 人）	授業料年額の 1/2

(2) 修学援助に関する奨学金

種類	資格	人数	給付額
修学援助 A 奨学生	学部生（1 年次を除く）で修学の意思があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な者。	90 人以内	年額一律 30 万円
修学援助 B 奨学生	学部生、大学院生で主たる家計支持者（学費負担者）の死亡、疾病、失業（自己都合を除く）、または、火災、風水害等の被害により家計が急変し、修学の意思があるにもかかわらず、経済的に著しく困難となった者。	該当者	年額一律 30 万円
利子補給奨学生	経済的な理由により、本学と提携する銀行の教育ローンを利用した者	該当者	当該年度までの学費を限度とする借入額の支払利子に、教育ローン利用者の年収に応じた給付率（50% または 100%）を乗じた額
大規模自然災害経済支援奨学生	災害救助法が適用された（または外務省による国際緊急援助が行われた）大規模自然災害により家計が急変し、修学が困難になった学生および入学試験出願者。	該当者	授業料・実験実習費・施設費の年額、または年額の 1/2。入学試験出願者については、加えて入学検定料、入学金の全額

(3) その他の奨学金

種類	資格	人数	給付額
社会人学生奨学生	社会人入学試験により入学した学部生	該当者	授業料および 実験実習費 年額の 1/2

種類	資格	人数	給付額
私費外国人留学生 A 奨学生	在留資格が「留学」の私費外国人留学生で、経済的に就学困難であると認められる者	該当者	授業料年額の 3/10
派遣交換留学奨学生	海外協定校との交換留学制度に基づく留学を認められた者で人物・学業成績優秀者、または各該当語学の語学能力検定試験高得点取得者。	30 人以内	[アジアへの交換留学] 月額：4 万円 [アジア以外への交換留学] 月額：6 万円
海外研修奨学生	本大学の大学間学術交流協定（条件を満たす学部または研究科間を含む）に基づく海外研修者で、研修期間が 7 日以上の方。ただし、人間学部の海外研修は除く。	該当者	5 万円
海外英語研修派遣支援 A 奨学生	国際化推進センターが募集する海外英語研修プログラムまたは学部等と国際化推進センターによる連携海外英語研修プログラムに参加する者で、学部等の国際委員会が実施する選考により採用された者 ※海外英語研修プログラムとは、外国における本大学の大学間学術交流協定校（条件を満たす学部または研究科間を含む。）または国際化推進センターによる認定校で、主として英語能力の向上を目的とした学習を行うものを指す。	毎年 180 人以内	20 万円または研修費用総額の 1/2 のいずれか少ない額
海外英語研修派遣支援 B 奨学生	国際化推進センターが募集する海外英語研修プログラムまたは学部等と国際化推進センターによる連携海外英語研修プログラムに参加する者 ※海外英語研修プログラムとは、外国における本大学の大学間学術交流協定校（条件を満たす学部または研究科間を含む。）または国際化推進センターによる認定校で、主として英語能力の向上を目的とした学習を行うものを指す。	該当者	5 万円
本学卒業等補助奨学生	(1) 本学卒で研究科、他の学部へ入学する者 (2) 本学に籍を置いた方で退学ののち、再度入学する者	該当者	入学金の額
校友会奨学生	人物優秀者で学業成績または体育技能優秀者	校友会 が指定	校友会が決定

各種奨学制度は、授業料・実験実習費・施設費の年額を超えない範囲で重複可能。ただし、本学卒業等補助奨学生と校友会奨学生の特別奨学生は、授業料・実験実習費・施設費の年額の範囲を超えて重複可能。

大学等卒業者及び高校卒業者の就職状況調査

1. 大学卒業者の就職率

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
97.3%	97.6%	98.0%	97.6%	98.0%

* 文部科学省「大学等卒業者及び高校卒業者の就職状況調査」（平成 27 年度～令和元年度卒業者を対象とする調査結果）を基に作成。

年別 訪日外客数, 出国日本人数の推移
Visitor Arrivals, Japanese Overseas Travelers

年 Year		旅行者数 International Travelers			
		訪日外客数 (*1) Visitor Arrivals	伸 率 Change	出国日本人数 (*2) Japanese Overseas Travelers	伸 率 Change
		人 persons	%	人 persons	%
1964	昭和39年	352,832	15.5	127,749	27.7
1965	昭和40年	366,649	3.9	158,827	24.3
1966	昭和41年	432,937	18.1	212,409	33.7
1967	昭和42年	476,771	10.1	267,538	26.0
1968	昭和43年	519,004	8.9	343,542	28.4
1969	昭和44年	608,744	17.3	492,880	43.5
1970	昭和45年	854,419	40.4	663,467	34.6
1971	昭和46年	660,715	△22.7	961,135	44.9
1972	昭和47年	723,744	9.5	1,392,045	44.8
1973	昭和48年	784,691	8.4	2,288,966	64.4
1974	昭和49年	764,246	△2.6	2,335,530	2.0
1975	昭和50年	811,672	6.2	2,466,326	5.6
1976	昭和51年	914,772	12.7	2,852,584	15.7
1977	昭和52年	1,028,140	12.4	3,151,431	10.5
1978	昭和53年	1,038,875	1.0	3,525,110	11.9
1979	昭和54年	1,112,606	7.1	4,038,298	14.6
1980	昭和55年	1,316,632	18.3	3,909,333	△3.2
1981	昭和56年	1,583,043	20.2	4,006,388	2.5
1982	昭和57年	1,793,164	13.3	4,086,138	2.0
1983	昭和58年	1,968,461	9.8	4,232,246	3.6
1984	昭和59年	2,110,346	7.2	4,658,833	10.1
1985	昭和60年	2,327,047	10.3	4,948,366	6.2
1986	昭和61年	2,061,526	△11.4	5,516,193	11.5
1987	昭和62年	2,154,864	4.5	6,829,338	23.8
1988	昭和63年	2,355,412	9.3	8,426,867	23.4
1989	平成 元年	2,835,064	20.4	9,662,752	14.7
1990	平成 2 年	3,235,860	14.1	10,997,431	13.8
1991	平成 3 年	3,532,651	9.2	10,633,777	△3.3
1992	平成 4 年	3,581,540	1.4	11,790,699	10.9
1993	平成 5 年	3,410,447	△4.8	11,933,620	1.2
1994	平成 6 年	3,468,055	1.7	13,578,934	13.8
1995	平成 7 年	3,345,274	△3.5	15,298,125	12.7
1996	平成 8 年	3,837,113	14.7	16,694,769	9.1
1997	平成 9 年	4,218,208	9.9	16,802,750	0.6
1998	平成 10年	4,106,057	△2.7	15,806,218	△5.9
1999	平成 11年	4,437,863	8.1	16,357,572	3.5
2000	平成 12年	4,757,146	7.2	17,818,590	8.9
2001	平成 13年	4,771,555	0.3	16,215,657	△9.0
2002	平成 14年	5,238,963	9.8	16,522,804	1.9
2003	平成 15年	5,211,725	△0.5	13,296,330	△19.5
2004	平成 16年	6,137,905	17.8	16,831,112	26.6
2005	平成 17年	6,727,926	9.6	17,403,565	3.4
2006	平成 18年	7,334,077	9.0	17,534,565	0.8
2007	平成 19年	8,346,969	13.8	17,294,935	△1.4
2008	平成 20年	8,350,835	0.0	15,987,250	△7.6
2009	平成 21年	6,789,658	△18.7	15,445,684	△3.4
2010	平成 22年	8,611,175	26.8	16,637,224	7.7
2011	平成 23年	6,218,752	△27.8	16,994,200	2.1
2012	平成 24年	8,358,105	34.4	18,490,657	8.8
2013	平成 25年	10,363,904	24.0	17,472,748	△5.5
2014	平成 26年	13,413,467	29.4	16,903,388	△3.3
2015	平成 27年	19,737,409	47.1	16,213,789	△4.1
2016	平成 28年	24,039,700	21.8	17,116,420	5.6
2017	平成 29年	28,691,073	19.3	17,889,292	4.5
2018	平成 30年	31,191,856	8.7	18,954,031	6.0
2019	平成31 / 令和元 年	31,882,049	2.2	20,080,669	5.9

- ◆注 (*1): 法務省資料に基づき、外国人正規入国者のうちから日本に永続的に居住する外国人を除き、さらに一時上陸客等を加えて集計した。
(*2): 法務省出入国管理統計 出入(帰)国者数より。
(*3): 値はすべて確定値である。
- ◆Notes (*1): These figures are compiled from the data of the Ministry of Justice. The recalculation serves to bring the visitor figures into line with the international standards.
(*2): Source is the Ministry of Justice.
(*3): Figures from 1964 to 2019 are confirmed figures.

観光庁について



政策について



委員会・審議会等



統計情報・白書



予算・調達情報



報道・会見

[観光庁ホーム](#) > [報道・会見](#) > [報道発表](#) > [2021年](#) > Go To トラベ[予算・税制・財政投融资](#)[入札・契約情報](#)

Go To トラベル事業の利用実績等について

最終更新日：2021年2月10日

Go To トラベル事業の利用実績及び利用状況について、以下のとおり発表いたします。

（１）Go To トラベル事業の利用実績について

Go To トラベル事業における最新の利用実績について、以下の通りGo To トラベル事務局から報告がありましたので、お知らせいたします（詳細は[別紙1](#)及び[別紙2](#)ご参照）。

【利用実績】

利用人数：少なくとも約8,781万人泊（7/22～12/28チェックアウト分）

支援額：少なくとも約5,399億円

宿泊・旅行代金の割引：少なくとも約4,082億円（7/22～12/28チェックアウト分）

地域共通クーポン利用額：少なくとも約1,317億円（10/1～12/28）

※ 本数値は推計値を含む速報値であり、確定値ではありませんので、その旨ご注意ください。

※ 地域共通クーポン利用額については、2/1までにGo To トラベル事務局に換金請求があったものを集計しております。

（２）Go To トラベル事業の利用状況について

Go To トラベル事業の昨年7月～10月の利用実績をもとに、利用価格帯分布を取りまとめたので、お知らせいたします（詳細は[別紙3](#)ご参照）。

このページに関するお問い合わせ

観光庁参事官（旅行振興）

TEL：03-5253-8330

出典：観光庁ホームページ

観光庁 [\[アクセス・地図\]](#)

住所：〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-2

電話：03-5253-8111（国土交通省代表）

[ご質問・使い方](#) | [サイトポリシー](#) | [著作権・リンク、免責事項について](#)

て

Copyright © Japan Tourism Agency. All Rights Reserved.

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	オハラ アキヒロ 小原 章裕 ＜平成31年4月＞		学術博士		名城大学学長 (平成31.4～令和5.3)

（注） 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

審査意見への対応を記載した書類（7月）

（目次）名城大学

1. 専任教員の教授数について、大学設置基準を満たしていないため、適切に改めること。（是正事項）・・・P1
2. 図書館の機能を十分発揮させるために必要な専門的職員が専任で配置されておらず、大学設置基準を満たしていないため、適切に改めること。（是正事項）・・・P2

(是正事項) 名城大学

1. 専任教員の教授数について、大学設置基準を満たしていないため、適切に改めること。

(対応)

情報工学部情報工学科の専任教員の人員において、開設時に既存の理工学部情報工学科から、大学設置基準必要教員数 17 人（うち教授 9 人）に対し、専任教員 19 人（うち教授 9 人）が移籍する（うち教授 1 人は学部開設 3 年目の年度末に定年退職予定）。

しかしながら、定年後の教授予定者は未確定のため、認可申請書類「基本計画書」上、完成年度専任教員数「18 人」、教授数を「8 人」と記載していた。

今回の専任教員の教授数が大学設置基準を満たしていないとの審査意見を踏まえ、学部開設 3 年目に定年退職年齢を迎える教授の教員の定年を、学校法人名城大学職員規則に基づき 1 年間延長することを機関決定した。これにより、完成年度に専任教員 19 人（うち教授 9 人）となり、大学設置基準を充足することになる。

(新旧対照表) 基本計画書 (3 ページ)

新						旧					
「教員組織の概要（情報工学部情報工学科）」						「教員組織の概要（情報工学部情報工学科）」					
専任教員等						専任教員等					
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手
<u>9</u> (9)	8 (8)	0 (0)	2 (2)	<u>19</u> (19)	0 (0)	<u>8</u> (9)	8 (8)	0 (0)	2 (2)	<u>18</u> (19)	0 (0)

(新旧対照表) 設置の趣旨を記載した書類 (20 ページ)

新	旧
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 3) 教員組織の変更内容 (2) 情報工学部情報工学科 (略) <u>なお、専任教員のうち 1 人（教授）は情報工学部開設 3 年目である令和 6（2024）年度に定年退職年齢を迎えるが、学校法人名城大学職員規則（資料 15）に基づき当該教員の定年を令和 7（2025）年度末まで 1 年間延長することを機関決定している。また、当該教員の後任者は令和 8（2026）年度の採用を予定しており、令和 6（2024）年度の常勤理事会で審議・承認の後、</u>	3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 3) 教員組織の変更内容 (2) 情報工学部情報工学科 (略)

<u>情報工学部において採用活動を開始する予定である。</u> 収容定員（720 人）に基づく設置基準上必要な教員数は 17 人（うち教授 9 人以上）であるため、教員数の規定を充足する。 （略）	収容定員（720 人）に基づく設置基準上必要な教員数は 17 人（うち教授 9 人以上）であるため、教員数の規定を充足する。 （略）
---	--

（是正事項）名城大学

2. 図書館の機能を十分発揮させるために必要な専門的職員が専任で配置されておらず、大学設置基準を満たしていないため、適切に改めること。

（対応）

当初は基本計画書「教員以外の職員の概要」のうち、図書館の機能を十分に発揮させるための「図書館専門職員」に計上すべき本学専任職員 5 人を「事務職員」として計上していたため、以下のとおり修正する。

（新旧対照表）基本計画書（3 ページ）

新		旧	
「教員以外の職員の概要」		「教員以外の職員の概要」	
職種	専任	職種	専任
事務職員	<u>233</u> (235)	事務職員	<u>238</u> (240)
技術職員	8 (8)	技術職員	8 (8)
図書館専門職員	<u>5</u> (5)	図書館専門職員	<u>0</u> (0)
その他の職員	0 (0)	その他の職員	0 (0)
計	246 (248)	計	246 (248)

以 上